

The 79th National Convention of IPSJ  
2017年



## 第79回全国大会

— オープン・イノベーションと情報処理 —

# 大会案内 / プログラム

会期：2017.3.16(木) ▶ 18(土)

会場：名古屋大学 東山キャンパス  
名古屋市千種区不老町

《大会会期中連絡先(大会本部)》  
Tel (080)6624-2658

第79回全国大会 ゴールドスポンサー



株式会社とめ研究所



株式会社フォーラムエイト



株式会社レコチョコ



CyberAgent.

株式会社サイバーエージェント



富士通株式会社

人と音楽の新しい関係をデザインする。

第79回全国大会 シルバースポンサー



アビームシステムズ  
株式会社



Google



株式会社  
クリーク・アンド・リバー社



LINE株式会社



株式会社  
デンソーITソリューションズ



株式会社  
クックパッド株式会社

共催：名古屋大学大学院工学研究科・情報科学研究科

情報処理学会編集の教科書シリーズ！ 新刊・最新改訂版のご案内！

Webサイト作成のプログラミングを実践的に解説！

## IT Text 基礎Web技術 改訂2版

松下 温 監修／市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著  
A5判／196頁／定価(本体2,500円＋税)

今後ますます重要となる画像認識・画像処理を学ぶ！

## IT Text 画像工学

堀越 力・森本正志・三浦康之・澤野弘明 共著  
A5判／232頁／定価(本体2,800円＋税)

### 今こそ始める、機械学習・深層学習！

鏡とお妃さまの対話から機械学習の基礎を理解！



## 機械学習入門 ボルツマン機械学習 から深層学習まで

大関 真之 著  
A5判／212頁  
定価(本体2,300円＋税)

注目のPythonを使って機械学習を実装できる！



## Pythonによる 機械学習入門

株式会社システム計画研究所 編  
A5判／248頁  
定価(本体2,600円＋税)

ディープラーニングを実務に活かすための考え方がわかる！



## 実装 ディープ ラーニング

株式会社フォワードネットワーク 監修  
藤田一弥・高原 歩 共著  
A5判／272頁  
定価(本体3,200円＋税)

ニューラルネットの基本と実践がわかる！



## Chainerによる 実践深層学習

新納浩幸 著  
A5判／192頁  
定価(本体2,400円＋税)

機械学習の全体像をしっかりとつかめる！



## 機械学習と 深層学習 C言語による シミュレーション

小高知宏 著  
A5判／232頁  
定価(本体2,600円＋税)

深層学習まですんなり導入できる！



## 進化計算と 深層学習 創発する知能

伊庭齊志 著  
A5判／192頁  
定価(本体2,700円＋税)

### パターン認識の基本がわかる！ 音声・画像処理、ビッグデータなど話題の分野に切り込める！

パターン認識について  
すぐに役立ち正しい知識が得られる！

## わかりやすいパターン認識

石井健一郎・上田修功・前田英作・村瀬 洋 共著  
A5判／216頁／定価(本体2,800円＋税)

『わかりやすいパターン認識』待望の続編！

## 続・わかりやすい パターン認識 教師なし学習入門

石井健一郎・上田修功 共著  
A5判／340頁／定価(本体3,200円＋税)



オーム社

〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1  
TEL 03(3233)0853 FAX 03(3233)3440

[www.ohmsha.co.jp](http://www.ohmsha.co.jp)

定価は変更になる場合があります。

# プログラム目次

インフォメーション	1
大会会場交通案内 (名古屋大学 東山キャンパス)	2
名古屋大学 東山キャンパス 全体図	3
館内案内図	4
展示会のご案内	7
タイムテーブル	10
講演論文集の分類と内容	15
全国大会イベント企画のご案内	16
全国大会会場別プログラム	17
全国大会招待講演企画・イベント企画の概要	22
一般/学生 セッションプログラム詳細	54

## (第1分冊 コンピュータシステム)

1A システム・アーキテクチャ	54
2A クラウドおよびIoTのための基盤技術	54
3A 並列処理	54
1G アプリケーション高速化	54
2G システム・アーキテクチャ	54
3G スマートフォン基盤技術	54
4G 組込みシステム 現実世界と応用	54
5G 行列計算	55
6G 組込みシステム 開発手法と実装	55
7G FPGA, アクセラレータ	55
1H クラウド	55
2H OS	55

## (第1分冊 ソフトウェア科学・工学)

5A アルゴリズム (3)	56
6A ソフトウェア工学	56
7A 数理モデル化と問題解決 (6)	56
1B 数理モデル化と問題解決 (1)	56
2B 数理モデル化と問題解決 (2)	56
3H アルゴリズム (1)	56
4H アルゴリズム (2)	56
5H 形式手法・静的解析	56
6H 数理モデル化と問題解決 (5)	57
7H ソフトウェアの構成と分析	57
1J プログラミング	57
2J 要求・設計	57
3J 数理モデル化と問題解決 (3)	57
4J 保守・テスト	58
5J 数理モデル化と問題解決 (4)	58

## (第1分冊 データとウェブ)

3B DBシステムと情報検索	58
4B データ分析 (1)	58
5B データ分析 (2)	58
1K 情報検索 (1)	58
2K 情報検索 (2)	59
3K 情報抽出・推薦	59
4K コンテンツと制作支援	59
5K データ分析	59
6K マイクロブログ	59
7K 食メディア	60
1L DBシステム	60
2L コンテンツ応用	60

## (第2分冊 人工知能と認知科学)

6B 機械学習と識別	61
1C 音楽・言語・音声	61
2C 知能システム応用	61
3C 探索と戦略	61
4C 機械学習 (一般)	61
5C コンピュータビジョン	61
3L 演奏・楽曲の分析	61
4L 自動作曲・編曲 (1)	61
5L 演奏・作曲支援	62
6L 自動作曲・編曲 (2)	62
7L 音楽音響信号処理・合成	62
1M ロボット制御とAI	62
2M 画像認識の応用	62
3M 認知科学とAI	62

4M 機械学習 (1)	63
5M 機械学習 (深層学習と強化学習)	63
6M 音声対話・認識・分析	63
7M 音声対話・合成・分析	63
1N 画像の処理と理解 (1)	63
2N 画像の処理と理解 (2)	63
3N 医療・農業画像	64
4N スポーツとVR	64
5N 色彩と光学・反射特性	64
6N 予測とAI	64
7N 災害応用とAI	64
1P ディープラーニングと識別	65
2P 日常生活を支える技術	65
3P 3次元形状復元とSLAM	65
4P 人・移動体	65
5P 都市空間と交通	65
6P ゲームAI	66
7P ゲームAI応用	66
1Q 実世界システム	66
2Q 実社会データ分析	66
3Q 自然言語処理 (1)	66
4Q 自然言語処理 (2)	66
5Q 自然言語処理 (3)	67
6Q 自然言語処理 (4)	67
7Q 自然言語処理 (5)	67
1R 機械学習 (2)	67
2R ゲーム理論と社会シミュレーション	67
3R エージェントシミュレーション	68

## (第3分冊 ネットワーク)

6C システム・ストレージ設計・管理	69
7C IoT 連携サービス・システム	69
1D 位置推定・位置情報応用	69
2D センシングとデータ収集・分析	69
3D 障害対策・品質予測	69
1S ホームネットワークと情報家電 (1)	69
2S 行動支援	69
3S コンシューマデバイス・システム (1)	70
4S コンシューマデバイス・システム (2)	70
5S スマートフォンと応用	70
6S セキュリティ	70
7S ネットワーク運用・管理	70
1T ネットワークプロトコル	71
2T Software Defined Network (SDN)	71
3T マルチエージェント・シミュレータ	71
4T ITSシステム	71
5T スマート農業・漁業	71
6T 行動・状態推定	71
7T クラウド・分散システム	72
1U マルチホップネットワーク (1)	72
2U マルチホップネットワーク (2)	72
3U 位置情報推定とその応用	72
4U 生体情報	72
5U センサネットワークとデータ処理	73
6U ネットワーク設計	73
7U ホームネットワークと情報家電 (2)	73
1V 自動運転・運転支援	73
2V 災害対策技術とネットワーク	73
3V 二輪・車・環境状態推定	73
4V 位置推定	74
5V マルチメディア通信	74
6V ナビゲーション・運行システム	74
7V コミュニケーション支援	74

(第3分冊 セキュリティ)

4D	リスク要因分析.....	74
5D	攻撃分類.....	75
1W	システムセキュリティ.....	75
2W	ネットワークセキュリティ.....	75
3W	認証技術.....	75
4W	機械学習によるセキュリティ.....	75
5W	リスク分析とマネージメント.....	75
6W	プライバシーと秘密分散.....	76

2ZF	博物館情報と人文科学.....	87
3ZF	エンタテインメント (1).....	88
4ZF	観光情報と社会 (2).....	88
5ZF	エンタテインメント (2).....	88

(第4分冊 インタフェース)

6D	インタフェース (2).....	77
7D	インタフェース (3).....	77
1E	インタフェース (1).....	77
1X	2次元グラフィックスと可視化.....	77
2X	物理シミュレーションに基づくCG.....	77
3X	AR/DR/VRと計測データの可視化.....	77
4X	人体・顔.....	77
5X	画像処理.....	78
6X	色と光.....	78
7X	モデリング・レンダリング.....	78
1Y	BCI・感性.....	78
2Y	コミュニケーション (1).....	78
3Y	コミュニケーション (2).....	78
4Y	ナビゲーション.....	79
5Y	VR・AR.....	79
6Y	デザイン・HRI (1).....	79
7Y	デザイン・HRI (2).....	79
1ZA	学習支援・センシング (1).....	79
2ZA	学習支援・センシング (2).....	80
3ZA	入力インタフェース (1).....	80
4ZA	入力インタフェース (2).....	80
5ZA	会議・学習支援.....	80
6ZA	コミュニティー支援.....	80
7ZA	推薦・コラボレーション.....	81
1ZB	アクセシビリティ・安心安全 (1).....	81
2ZB	アクセシビリティ・安心安全 (2).....	81

(第4分冊 コンピュータと人間社会)

3E	プログラミング教育.....	81
4E	学習支援.....	81
5E	情報処理教育.....	81
6E	ICTツールを用いた授業支援.....	82
1F	LMS・授業支援システム.....	82
2F	高齢社会デザイン.....	82
3F	災害及び社会への情報システム応用.....	82
4F	生体・生命と情報.....	82
5F	社会インフラとしての情報システム.....	82
6F	人文科学とコンピュータ.....	83
7F	情報社会.....	83
3ZB	異常検知手法.....	83
4ZB	高齢社会デザイン (1).....	83
5ZB	高齢社会デザイン (2).....	83
6ZB	アクセシビリティと文章内容.....	83
7ZB	バイオ情報学.....	84
1ZC	プログラミング教育 (1).....	84
2ZC	プログラミング教育 (2).....	84
3ZC	フィールドでの教育支援.....	84
4ZC	プログラミング教育 (3).....	84
5ZC	教育とゲーム.....	84
6ZC	学習支援.....	85
7ZC	情報処理教育.....	85
1ZD	計測と可視化.....	85
2ZD	システム開発と構築.....	85
3ZD	観光情報と社会 (1).....	85
4ZD	情報システムと人間社会.....	86
5ZD	行動支援システム.....	86
6ZD	エンタテインメント (3).....	86
7ZD	農業・牧畜支援システム.....	86
1ZE	災害情報.....	86
2ZE	音声・言語.....	87
3ZE	学習の可視化と動画教材の活用.....	87
4ZE	生体情報に基づくスキル教育.....	87
5ZE	LMS・Web.....	87
1ZF	空間情報と日本文化.....	87

## － インフォメーション －

### ■総受付（インフォメーションコーナー）名古屋大学東山キャンパス（以下、略）ES 総合館 1 階ロビー

受付時間：16 日（木）8:30 - 17:00 17 日（金）8:30 - 17:00 18 日（土）8:30 - 15:30  
各種受付、講演論文集・DVD-ROM 販売、各種問合せ窓口

### ■大会本部・手荷物預かり ES 総合館 1 階 ES 会議室

臨時電話：080-6624-2658（通話可能期間 16 日（木）～ 18 日（土）8:30 - 16:30）

### ■大会イベント企画聴講参加費〔プログラム・大会イベント企画聴講参加章付き〕（無料）

第 1～5 イベント会場・特別会場で開催するイベントおよび展示会場のみ聴講参加できます。  
\*一般セッション・学生セッションの聴講はできませんのでご注意ください。

### ■[当日申込価格] 大会共通聴講参加費〔プログラム・大会共通聴講参加章付き〕（税込）

正会員：4,000 円 正会員（DVD-ROM 付）：9,000 円 一般非会員：7,000 円  
学生：無料（会員非会員問わず）

\*大会で開催される全てのイベント企画、展示、一般セッション、学生セッションを聴講できます。

### ■[当日申込価格] 講演論文集・DVD-ROM（税込）\*DVD-ROM には一般講演全論文とプログラム収録

講演論文集セット（全論文集・DVD-ROM・カバー付き）：63,000 円  
講演論文集各分冊：14,000 円  
講演論文集 DVD-ROM（個人）：9,000 円  
講演論文集 DVD-ROM（法人）：57,000 円  
講演論文集 DVD-ROM（学生割引会場販売）：5,000 円

### ■懇親会

日時：3 月 16 日（木）18:30 - 20:30

会場：名古屋大学 東山キャンパス 野依記念交流館 1F イベントスペース

[当日申込価格] 参加費（税込）：一般（社会人）：5,000 円 学生：3,000 円 ジュニア会員：1,000 円

### ■その他お知らせ事項

#### [連絡掲示板]

大会会場での周知および伝言等は、総受付付近に設置する「掲示板」に掲示しますのでご注意ください。  
各会場への個別の連絡や館内アナウンス等は致しません。

#### [食堂・売店]

- ・レストラン：ユニバーサルクラブ（豊田講堂・シンポジオン 2F）〔平日 8:30 - 14:30, 土曜日閉店〕
- ・レストラン：シェ・ジロー（ES 総合館 1F）〔平日 11:30 - 14:00, 土曜日 11:30 - 14:00〕
- ・レストラン：グリーンサロン東山内レストラン花の木〔平日 11:00 - 14:00, 土曜日閉店〕
- ・食堂：七味亭（工学部 7 号館 B 棟 1F）〔平日 10:30 - 14:30, 土曜日閉店〕
- ・食堂：北部食堂（北部厚生会館 2F）〔平日 11:00 - 20:00, 土曜日 11:00 - 14:00〕
- ・カフェテリア：ダイニングフォレスト〔平日 11:00 - 20:00, 土曜日 11:30 - 13:30〕
- ・カフェ：スターバックス（中央図書館 1F）〔平日 8:30 - 21:00, 土曜日 9:00 - 18:00〕
- ・カフェ：クレイグスカフェ（理学部 E 館 1F）〔平日 8:00 - 19:00, 土曜日 8:00 - 17:00〕
- ・カフェ：IB カフェ（IB 電子情報館 1F）〔平日 10:00 - 19:30, 土曜日閉店〕
- ・カフェ：シアトルエスプレスカフェ（ナショナルイノベーションコンプレックス（NIC）1F）〔平日 8:00 - 20:00, 土曜日閉店〕
- ・カフェ：Cafe フロンテ〔平日 8:00 - 19:00, 土曜日閉店〕
- ・売店：北部厚生会館 1F〔平日 8:00 - 20:00, 土曜日 10:00 - 14:30〕
- ・売店：理系ショップ〔平日 8:00 - 22:00, 土曜日 10:00 - 16:00〕
- ・コンビニエンスストア：ファミリーマート IB 館店〔7:00 - 23:00〕

#### [ゴミ処理について]

ゴミは各自でお持ち帰り頂きますようお願いいたします。

#### [交通機関]

名古屋大学駅（地下鉄名城線）から出口すぐ

#### [ご注意 ※予めご了承ください]

- ・以下のイベントはニコニコ生放送において中継されます。また、映像記録はアーカイブされインターネット上で公開されます。
  - 第 1 イベント会場（16～18 日）および、特別会場（豊田講堂）で開催の全イベント
  - 第 3 イベント会場（IB 大講義室）、16 日開催イベント「人工知能とディープラーニング：研究開発を牽引する国プロと科学技術政策」
- ・本大会の各講演会場では、当学会やプレス等が写真撮影およびビデオ撮影を行う場合があります。これらは情報処理学会の学会誌を含め、各広報誌および Web ページ等で公開されることがあります。

### ■今後の全国大会・FIT 情報（予定）

FIT2017 第 16 回情報科学技術フォーラム [http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2017/]

会期：2017 年 9 月 12 日（火）～ 14 日（木）会場：東京大学 本郷キャンパス

情報処理学会 第 80 回全国大会 [http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/80/]

会期：2018 年 3 月 会場：早稲田大学 西早稲田キャンパス

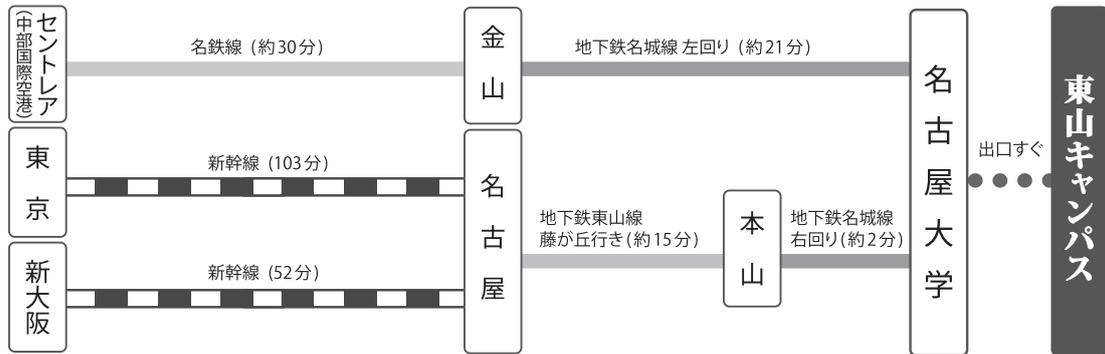
### ■問合せ先

一般社団法人 情報処理学会 事業部門 Tel.03-3518-8373 E-mail:jigyo@ipsj.or.jp

# 会場へのアクセス

会場：名古屋大学 東山キャンパス 所在地：名古屋市千種区不老町

## 主なターミナルからのアクセス



## 会場案内図



# 名古屋大学 東山キャンパス 全体図

会場：名古屋大学 東山キャンパス

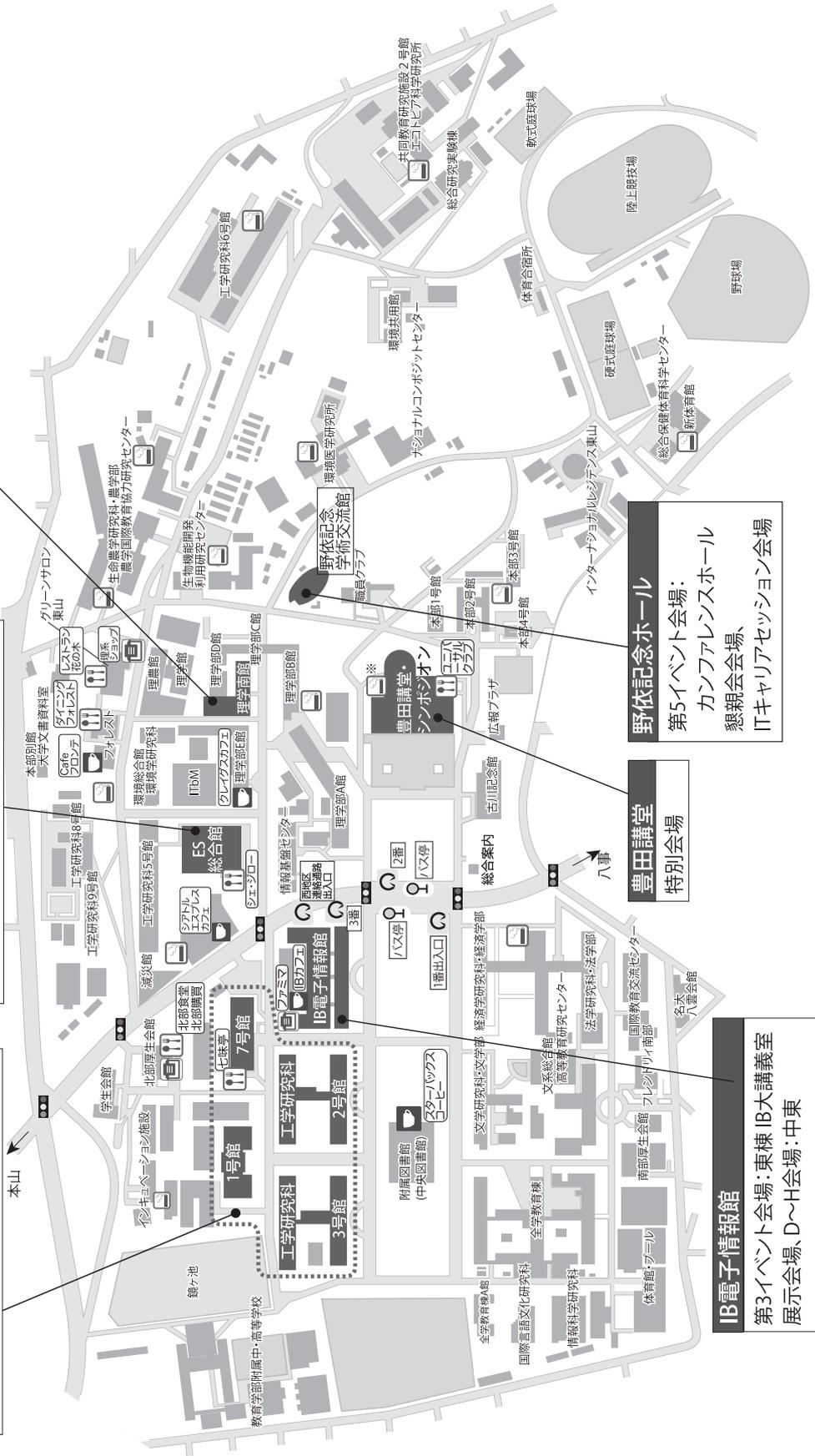
所在地：名古屋市千種区不老町



**工学研究科棟 1号～3号館、7号館**  
 1号館：J～R会場 7号館：ZD～ZF会場  
 2号館：S～Y会場  
 3号館：ZA～ZC会場

**ES総合館**  
 総受付、展示会場  
 大会本部(荷物預かり)、スタッフ控室  
 第2イベント会場：ESホール/A～C会場

**理学南館**  
 第1イベント会場：坂田・平田ホール  
 第4イベント会場：共通セミナー室



**IB電子情報館**  
 第3イベント会場：東棟IB大講義室  
 展示会場、D～H会場：中東

**豊田講堂**  
 特別会場

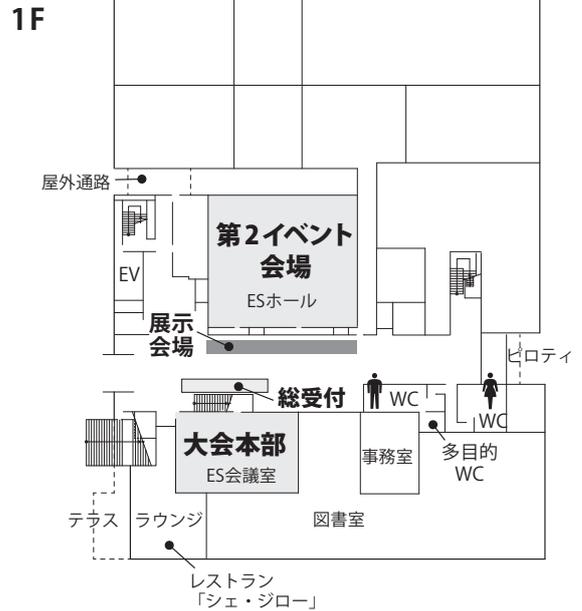
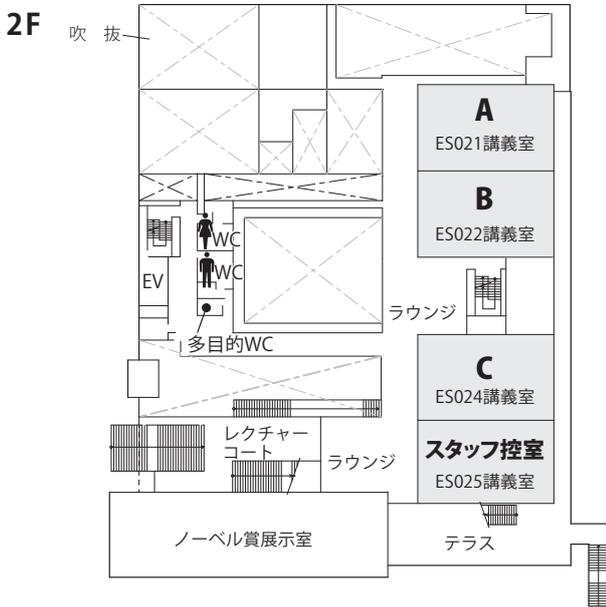
**野依記念ホール**  
 第5イベント会場：  
 カンファレンスホール  
 懇親会場、  
 ITキャリアセッション会場

- レストラン・カフェテリア
  - カフェ
  - 売店・コンビニ
  - 喫煙所
- ※ 豊田講堂でのイベント開催時のみ使用可

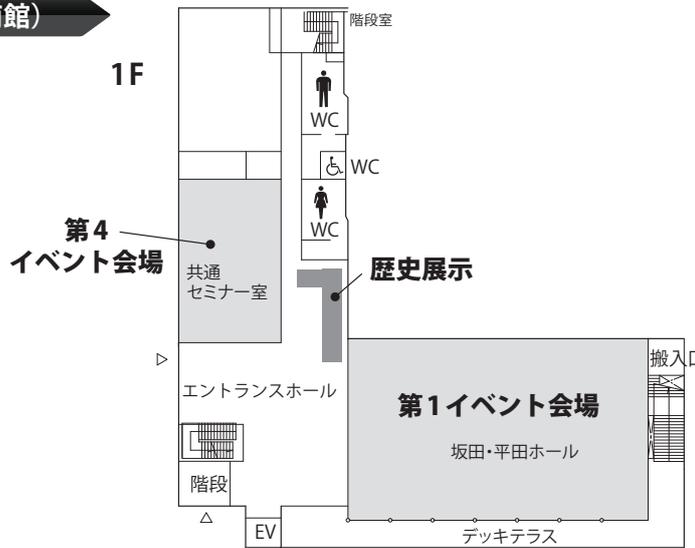
# 館内案内図



## ES 総合館

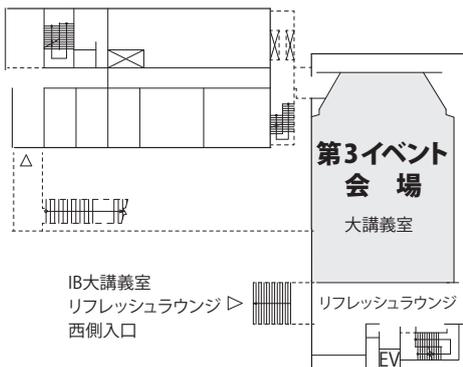


## 坂田・平田ホール(理学南館)



## IB 電子情報館

### 東棟 2F



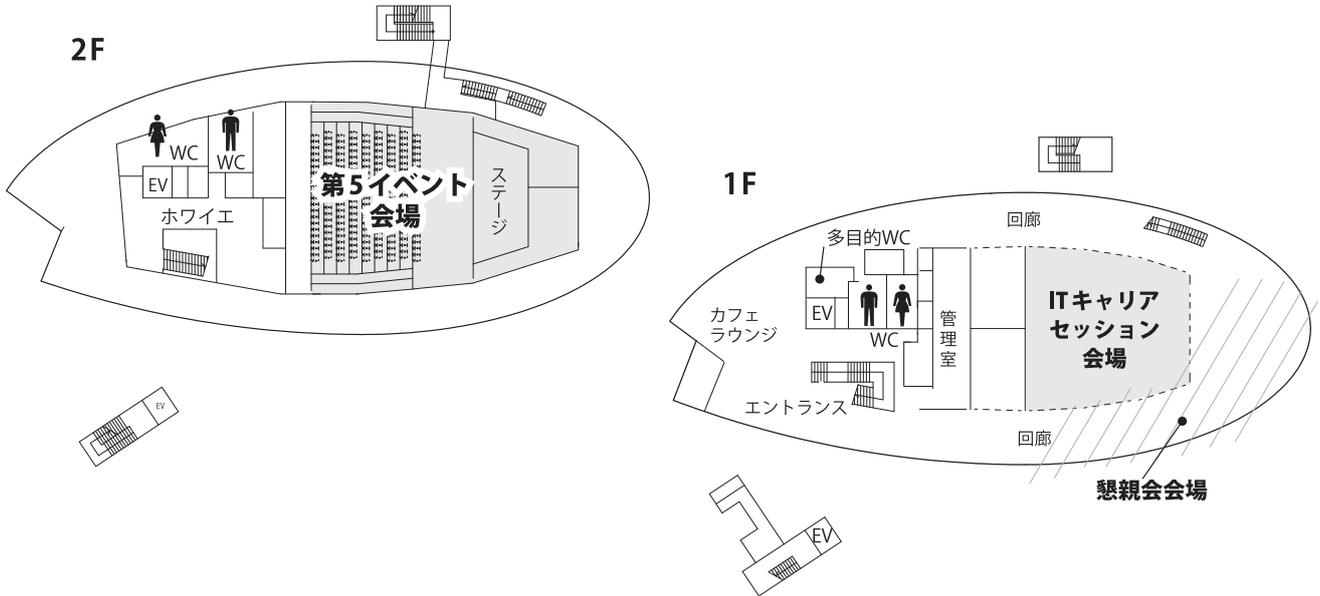
### 中棟 1F



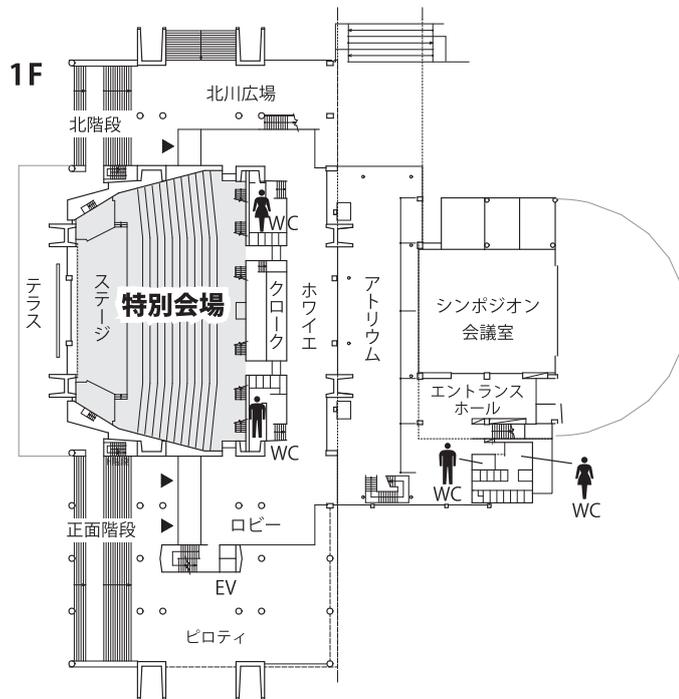
# 館内案内図



## 野依記念学術交流館

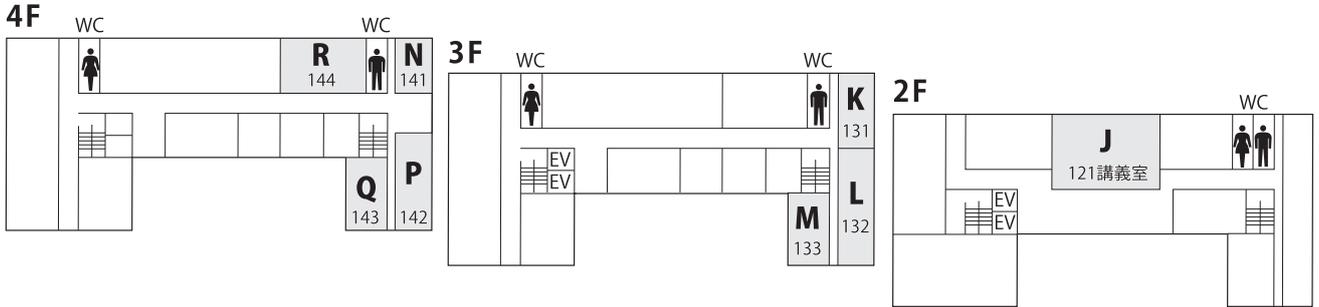


## 豊田講堂シンポジオン

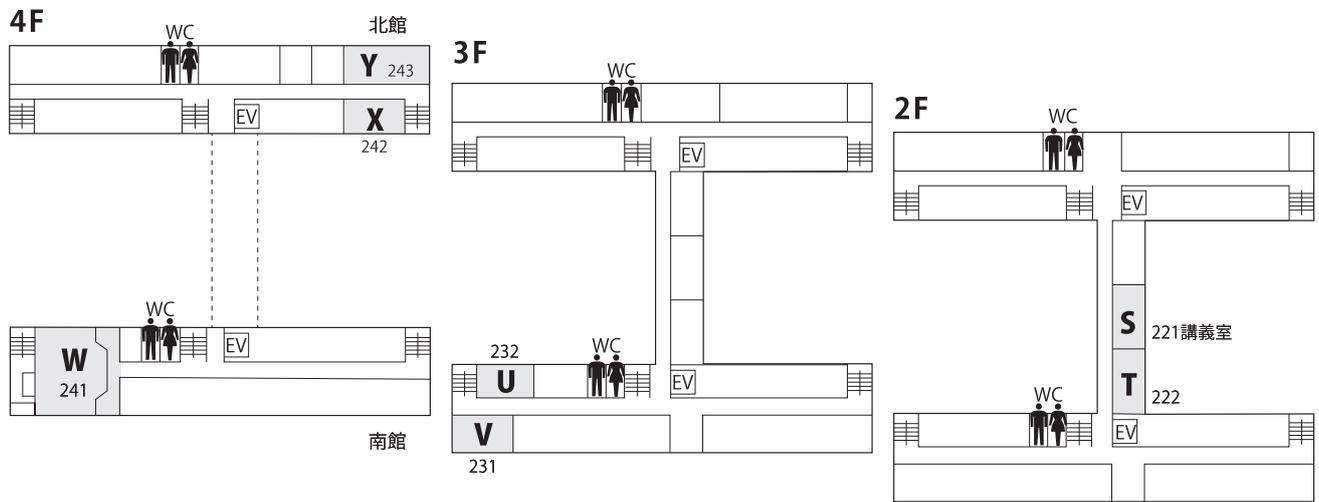


# 館内案内図

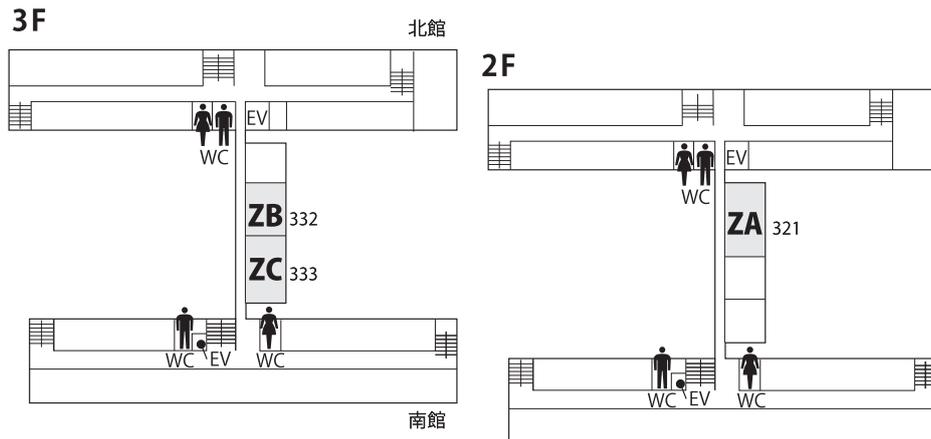
## 工学部1号館



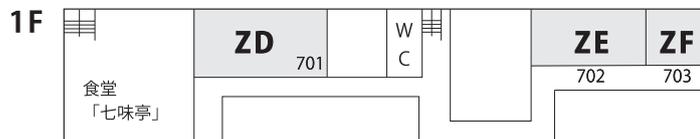
## 工学部2号館



## 工学部3号館



## 工学部7号館



## －展示会のご案内－

第 79 回全国大会では会期中、以下団体・企業・大学等による展示会を開催致します。

展示会場：名古屋大学 東山キャンパス ES 総合館 1F ホワイエ、IB 電子情報館中棟 1F ホワイエ

展示日時：3月16日（木）～18日（土）9：30-17：00 \*18日は15：00まで

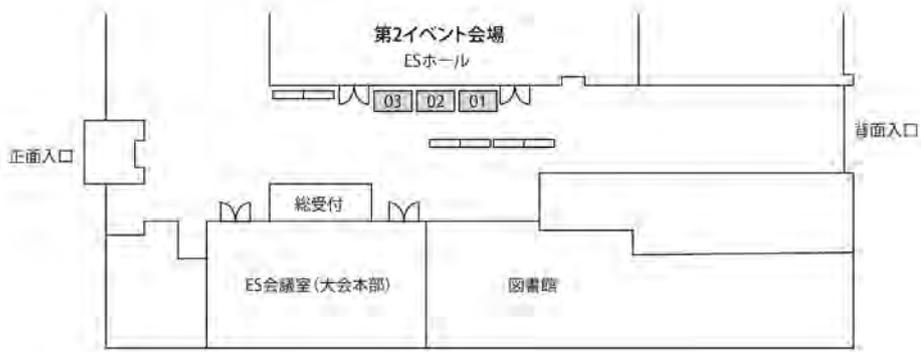
ブース番号	出展者名・出展者 Web サイト・展示名 展示概要
#01	<p><b>株式会社フォーラムエイト</b> [<a href="http://www.forum8.co.jp/">http://www.forum8.co.jp/</a>] 大会スポンサー（ゴールド） バーチャルリアリティの時代 UC-win/Road</p> <p>フォーラムエイトでは、創業以来ソフトウェアパッケージ開発技術を基盤として、土木・建築設計や交通・自動車研究を支援するソリューションを幅広く提供しています。なかでも、簡単な操作で VR 空間を構築し高度なリアルタイムシミュレーションが行える 3次元バーチャルリアリティソフト「UC-win/Road」では、高解像度化・多様化する映像やクラウド化といったニーズに対応して、さまざまな VR 連携システムの構築を積極的に展開しています。また、毎年、「UC-win/Road」を活用して、学生参加型コンテスト CPWC（Cloud Programming World Cup）を、実施しております。</p>
#02	<p><b>株式会社レコチョク</b> [<a href="http://recochoku.jp/corporate/">http://recochoku.jp/corporate/</a>、<a href="http://recolab.jp/">http://recolab.jp/</a>] 大会スポンサー（ゴールド） レコチョク ハイレゾ&amp; VR 体験会</p> <p>■ハイレゾ音源 FLAC 形式の 44.1kHz ～ 192kHz/24bit。 レコーディングスタジオやコンサートホールで録音されたクオリティがほぼ忠実に再現され、CD では聴こえなかったアーティストの息づかいや楽器の生々しさ、ライブの空気感・臨場感をより感動的に体験することができます。</p> <p>■VR アメリカの大型フェスの VR 撮影やライブ配信等で実績のあるサンフランシスコのスタートアップ企業 vantage.tv 社と共同で、高音質、高画質な VR コンテンツの制作を目指しています。VR で、まるでライブ会場にいるかのような感覚で楽しめ、本格的な追体験ができるような新たな音楽体験の創造や配信の可能性を研究しています。2つの最新サービスを体験いただける機器を準備しています。皆様の来場、お待ちしております。</p>
#03	<p><b>株式会社サイバーエージェント</b> [<a href="https://adtech.cyberagent.io/">https://adtech.cyberagent.io/</a>] 大会スポンサー（ゴールド） アドテクスタジオ「AI Lab」の取り組み</p> <p>アドテクスタジオはアドテクに関連するプロダクト・カンパニーの集合体で、現在 300 名近くのエンジニアが広告配信に関わるシステムの開発に取り組んでいます。</p> <p>その中でも、2016 年の 1 月に設立した「AI Lab」では、広告配信のデータ分析を中心としたデータサイエンスと中長期的な研究開発を行っています。</p> <p>我々の組織では、「対話システム」「広告ブランディング」「RTB(Real Time Bidding)」「画像・動画」領域の 4 つを注力分野としています。</p> <p>今回はこれらの領域の中から出てきたいいくつかの研究成果をご紹介します。</p> <p>特に、機械学習、画像処理、自然言語処理、因果推論などの内容が中心となっています。</p>
#04	<p><b>株式会社近代科学社</b> [<a href="http://www.kindaikagaku.co.jp/">http://www.kindaikagaku.co.jp/</a>] 株式会社近代科学社 展示販売</p> <p>情報処理学会会員の皆様への、適切な書籍の紹介と割引・情報処理関連の書籍を中心に、近年注目を集めている「人工知能関連」「データサイエンス関連」「統計関連」「応用数学関連」等の幅広い書籍の展示を行います。</p> <p>・会期中は、情報処理学会への協賛として会場特別価格での書籍販売も行います。</p>
#05	<p><b>日経 BP 社 / 日経 BP マーケティング</b> [<a href="http://pc.nikkeibp.co.jp/">http://pc.nikkeibp.co.jp/</a>] 日経 BP 社の書籍、教材テキスト、デジタル教材のご紹介</p> <p>情報処理学会に所属していらっしゃる先生方ご執筆の「これからの大学の情報教育」のご紹介。日経 BP 社で出版している大学の講義向けテキストの展示と e-Learning 教材、教育機関向けクラウドサービス日経パソコン Edu のデモンストレーション展示。</p>
#06	<p><b>アシアル株式会社</b> [<a href="http://www.asial.co.jp/">http://www.asial.co.jp/</a>] Monaca によるプログラミング教育の事例紹介</p> <p>Monaca を活用してプログラミング教育で実績を出されている学校の事例や学生が作成したアプリを紹介します。また教材サンプルの無料配付を予定しております。</p> <p>■ Monaca について Monaca は国内最大級のクラウド型アプリ開発ツールです。 現在 150,000 人以上の開発者と 500 以上の教育機関が利用しております。</p> <p>■ Monaca Education の取り組み プログラミング教育を成功させたい教育機関を開発ツール、教材、人材面から支援しております。</p>
#07	<p><b>Springer</b> [<a href="http://www.springer.com/">http://www.springer.com/</a>] 英文書籍の展示販売・出版相談</p> <p>英文書籍を展示販売し、出版相談を受けます。国際会議の Proceedings を出版する LNCS・CCIS の両シリーズやモノグラフなど、弊社からの出版方法についてご説明いたします。</p>

#08	<p><b>株式会社ブイエムシー</b> [<a href="http://www.vmc-motion.com/">http://www.vmc-motion.com/</a>] 物理エンジン「Algoryx Dynamics」の紹介</p> <p>「Algoryx Dynamics」は、通常のシミュレーション技術では困難な、変形する地面やワイヤー、ケーブルのシミュレーションを実現、また、高速かつ正確な物理演算が可能なソルバ、アルゴリズムを搭載し、リアルタイムにこだわったシミュレーター開発を支援する開発ツールです。</p> <p>ロボット、宇宙、重機・建機、大型クレーン、ROVなど幅広い用途のシミュレーターへの活用検討がいままさに現在進行形で進んでいます。</p> <p>ゲーム用とは異なるプロフェッショナルユースの物理エンジンを用いたシミュレーションの可能性をご紹介します。</p>
#09	<p><b>KEEPAD JAPAN 株式会社</b> [<a href="http://www.keepad.com/jp/">http://www.keepad.com/jp/</a>] クリックカーを利用した聴衆意識の見える化、データ化、そして、その活用方法</p> <p>講演、授業、プレゼン、一斉アンケート、意識調査にコンプライアンス調査…。大勢の参加者を前に情報を伝達するケースは本当に様々です。しかし、聴衆の「空気」は読みにくく、正確なフィードバックは得難いもの。</p> <p>KEEPAD JAPAN は企画から本番、終了後の分析まで、問題解決のパートナーとして様々なソリューションをご提案しております。新たにリリースされた「TurningPoint 7」は Windows/Mac の最新環境やスマホやラップトップからのオンライン投票にも対応。下記にご興味がある方は、是非お立ち寄り下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演中、その場で素早く聴衆の意思や気持ちを可視化（グラフ化）できます。</li> <li>・遠隔地の個人もミーティング、講義、意見集約の場に参加できます。</li> <li>・場の「空気」が瞬時に把握できます。</li> <li>・全体の意識を「こちら」に向けられます。</li> <li>・参加者の集中力と理解度が上げられます。</li> <li>・本番後、集計や分析にかかる時間が大幅に削減できます。</li> </ul>
#10	<p><b>国立情報学研究所 総務部企画課国際・教育支援チーム 大学院担当</b> [<a href="http://www.nii.ac.jp/graduate/">http://www.nii.ac.jp/graduate/</a>] NIIで学位を取る ～総合研究大学院大学情報学専攻の紹介～</p> <p>国立情報学研究所（NII）は、総合研究大学院大学複合科学研究科に情報学専攻を開設し、5年一貫制博士課程と3年次編入学博士課程を設置しています。これら2つの課程では、情報学の先駆的な国際的研究機関である本研究所の専門性を活かし、21世紀の「知識社会」をリードする優れた人材の育成を目指しています。</p> <p>情報学専攻は、都心に位置した好立地条件にあり、現在70名の学生が在籍しています。在学生の2割強が社会人であり、多くの社会人学生が仕事をしながら研究を行っている一方で、世界各国から来日している留学生が多数在籍しており、異文化交流や異業種交流が活発に行われているのが特色です。</p> <p>本ブースでは、情報学専攻の紹介及び平成29年10月及び平成30年4月入学を対象とした入試について説明を行います。</p>
#11	<p><b>Neuroinformatics Japan Center</b> [<a href="https://nijc.brain.riken.jp/">https://nijc.brain.riken.jp/</a>] ニューロインフォマティクス：国際ネットワークで進展する脳神経科学の研究基盤</p> <p>ニューロインフォマティクスは神経科学のデータベースの構築、データベース利用のための視覚化・解析ツールの開発、モデル構築などからなる神経科学と情報科学の接点となる分野です。全国の大学・研究機関との共同研究による開発と共に、国際ニューロインフォマティクス統合機構（INCF）と連携して国際的標準化も進めています。これまでに構築されて公開されているデータベース、ビッグデータへの取り組みなどを紹介します。</p>
#12	<p><b>トビー・テクノロジー株式会社</b> [<a href="http://www.tobiipro.com/ja/">http://www.tobiipro.com/ja/</a>] Tobii Pro アイトラッカー</p> <p>600Hzのハイスピードで、頭部を固定することなく計測可能な Tobii Pro スペクトラムや、両眼100Hzで動きながら計測が可能な Tobii Pro グラス2など、使いやすいアイトラッカーを展示しています。</p>
#13	<p><b>株式会社 NTT ドコモ</b> [<a href="https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/technology/rd/">https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/technology/rd/</a>] スマートフォン位置推定を目的とした回転型磁気マーカ</p> <p>回転する磁石により周期的に変化する磁界を発生させる磁気マーカの展示と、その磁気マーカを利用したスマートフォンの位置推定デモを行います。</p> <p>本磁気マーカを動作させることによって、自然界には存在しない特徴的な磁界を、狭い範囲に限定して生成することが可能となります。スマートフォンに標準装備されているセンサの情報を用いて、磁気マーカからの相対的な距離と角度を推定することができます。</p> <p>本磁気マーカは、商業施設におけるナビゲーションや棚前でのピンポイントな情報配信など、屋内で高精度な位置推定が求められる状況での使用を想定しています。</p>
#14	<p><b>株式会社 クリアクト・インターナショナル</b> [<a href="http://www.creact.co.jp">http://www.creact.co.jp</a>] モーションキャプチャ Polhemus &amp; CAPTIV</p> <p>アメリカ・Polhemus社の磁気式モーションキャプチャ『G4』、フランス・TEA社の慣性センサ式モーションキャプチャ『CAPTIV』をご紹介します。ブースでは実演も行ってまいります。ぜひご来場ください。</p>
#15	<p><b>IPSJ 会誌編集委員会 LINE スタンプチーム</b> [<a href="http://www.ipjs.or.jp/magazine/magazine.html">http://www.ipjs.or.jp/magazine/magazine.html</a>] 情報処理学会公式 LINE スタンプでボケてコンテンツ</p> <p>ついに情報処理学会公式 LINE 公式スタンプ #include &lt; 情報系技術者の日常.h&gt; がリリースされました。リリースを記念し、この全40種類のスタンプを使って「ボケてコンテンツ」を開催します。</p> <p>お題に合わせてあなたの渾身のボケを披露してもよし！これは面白いというボケに投票してもよし！楽しみ方は様々です。</p> <p>投票結果により選り抜かれた上位10作品には、素敵な景品をご用意してお待ちしております。ぜひ一度ブースへ足をお運びください。</p> <p>本ブースは、「仕掛学」著者の大阪大学 松村真宏先生監修によるリリース記念ブースです。</p>

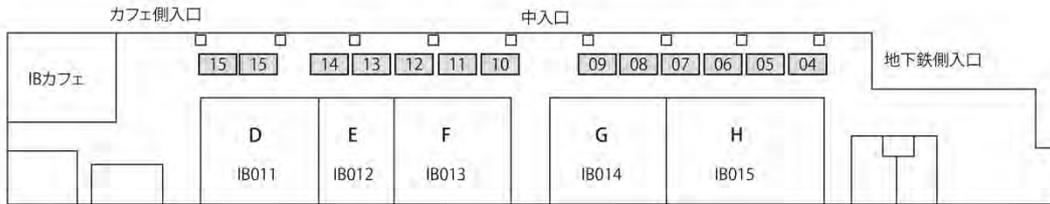
## 展示会場

(名古屋大学東山キャンパス ES 総合館 1F ホワイエ/IB 電子情報館中棟 1F ホワイエ)

【ES 総合館 1F ホワイエ】



【IB 電子情報館中棟 1F ホワイエ】



ブース番号	出 展 者
#01	株式会社フォーラムエイト
#02	株式会社レコチョコク
#03	株式会社サイバーエージェント
#04	株式会社近代科学社
#05	日経 BP 社/日経 BP マーケティング
#06	アシアル株式会社
#07	Springer
#08	株式会社 ブイエムシー
#09	KEEPAD JAPAN 株式会社
#10	国立情報学研究所 総務部企画課国際・教育支援チーム 大学院担当
#11	Neuroinformatics Japan Center
#12	トビー・テクノロジー株式会社
#13	株式会社 NTT ドコモ
#14	株式会社クレアクト・インターナショナル
#15	IPSJ 会誌編集委員会 LINE スタンプチーム

★ ES 総合館 1F ホワイエ, IB 電子情報館中棟 1F ホワイエ

日	時間	会場	第1イベント会場	第2イベント会場	第3イベント会場	第4イベント会場	第5イベント会場
			坂田平田ホール	ESホール	IB大講義室	坂田平田ホール ロビー、セミナー室	野依記念交流館ホール
3月16日(木)	9:30	1	2016年サイバー事件回顧録 ～技術と法制度の両面から～	論文必勝法 ～書こう！通そう！論文誌！～	10:00-12:00 ～コンピュータバイオニアが語る～ 「私の詩と真実」		
	12:00		27	35	42		
	13:00	2		文部科学省 大学入学者選抜改革 推進委託事業 「情報学的アプローチによる「情報科」 大学入学者選抜における評価手法の研究開発」	人工知能とディープラーニング ：研究開発を牽引する国プロと 科学技術政策		
	15:30			36	43		
	15:40	大会挨拶 表彰式 情報処理技術遺産認定式					
	16:35						
	16:40	招待講演 (1) Jean-Luc Gaudiot (Fellow, IEEE, AAAS)					
	17:10		22				
	17:10	招待講演 (2) Ninghui SUN (Director of Institute of Computing Technology, Chinese Academy of Sciences, Vice President of CCF)					
	17:40		22				
17:40	招待講演 (3) Bonghee HONG (Pusan National University Full Professor / KIISE President)						
18:10		22					
18:30	懇親会 (野依記念交流館 1F イベントスペース)						
20:30							
3月17日(金)	9:30	3	将来の情報学リーダーが 創造する新しい価値	日本の実情にマッチした アジャイル開発に向けて ～デジタルプラクティスライブ～	サイバーセキュリティを 確立するための戦略は？ ～サイバー攻撃の最前線からの レポート～	J17-J07から10年、 何を変え何を定めるか	「情報力」で街を変える ～ビッグデータ活用技術 開発とその社会実装～
	12:00		28	38	44	50	52
	13:00	4	情報通信技術が先導する オープンイノベーション				
	15:00		30				
	15:10	5th IPSJ SamurAI Programming Contest SamurAI Coding 2016-17 World Final  18:00-20:00 SamurAI Coding 2016-17 懇親会	CITP 続々誕生 ～国際的に通用する高度情報処 理技術者資格～	社会システム・サービス 最適化のためのソーシャル CPS の研究開発			
17:40		32	39	46			
3月18日(土)	9:30	6	メタサイエンスとしての 情報学をつくる	デジタルコンテンツ クリエーション最前線	Life Hacks for WorkPlace ※共催 enPiT 女性部会 WiT		
	12:00		32	41	47		
	13:00	7	コンピュータは、どんな作品を 生み出していくのだろうか ～人工知能と創造性		会誌「情報処理」 公開編集委員会	情報システムのデザインコンペ	
	15:00		33		48	51	
	15:30						
17:30							

※表中の右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。

タイムテーブル

特別会場	展示会場	一般セッション A	一般セッション B	一般セッション C	一般セッション D	一般セッション E	一般セッション F	学生セッション G
豊田講堂	★	ES021	ES022	ES024	IB011	IB012	IB013	IB014
	展示 (15件) 9:30-17:00	システム・アーキテクチャ 塩谷 亮太 (名大) ① 54	数理モデル化と問題解決 (1) 佐藤 彰洋 (京大) ① 56	音楽・言語・音声 宮島 千代美 (名大) ② 61	位置推定・位置情報応用 大村 廉 (豊橋技科大) ③ 69	インタフェース (1) 藤澤 誠 (筑波大) ④ 77	LMS・授業支援システム 宮崎 誠 (畿央大) ④ 82	アプリケーション高速化 野寺 隆 (慶大) ① 54
		クラウドおよびIoTのための基盤技術 山口 実靖 (工学院大) ① 54	数理モデル化と問題解決 (2) 松田 健 (長崎県立大) ① 56	知能システム応用 阿部 秀尚 (文教大) ② 61	センシングとデータ収集・分析 米澤 拓郎 (慶大) ③ 69		高齢社会デザイン 中澤 篤志 (京大) ④ 82	システム・アーキテクチャ 天野 英晴 (慶大) ① 54
懇親会 (野依記念交流館 1F イベントスペース)								
	展示 (15件) 9:30-17:00	並列処理 滝沢 寛之 (東北大) ① 54	DBシステムと情報検索 中野 美由紀 (産業技術大) ① 58	探索と戦略 田中 哲朗 (東大) ② 61	障害対策・品質予測 宮下 健輔 (京都市女子大) ③ 69	プログラミング教育 渡辺 博芳 (帝京大) ④ 81	災害及び社会への情報システム応用 大場 みち子 (はこだて未来大) ④ 82	スマートフォン基盤技術 佐藤 将也 (岡山大) ① 54
			データ分析 (1) 風間 一洋 (和歌山大) ① 58	機械学習 (一般) 長名 優子 (東京工科大) ② 61	リスク要因分析 高田 豊雄 (岩手県大) ③ 74	学習支援 大崎 理乃 (産業技術大) ④ 81	生体・生命と情報 吉本 潤一郎 (奈良先端大) ④ 82	組み込みシステム現実世界と応用 横山 孝典 (東京都市大) ① 54
		アルゴリズム (3) 西村 治道 (名大) ① 56	データ分析 (2) 川島 英之 (筑波大) ① 58	コンピュータビジョン 近藤 一晃 (京大) ② 61	攻撃分類 八城 年伸 (安田女子大) ③ 75	情報処理教育 坂東 宏和 (獨協医科大) ④ 81	社会インフラとしての情報システム 居駒 幹夫 (日立) ④ 82	行列計算 曾我部 知広 (名大) ① 55
	展示 (15件) 9:30-15:00	ソフトウェア工学 岸 知二 (早大) ① 56	機械学習と識別 金崎 朝子 (産総研) ② 61	システム・ストレージ設計・管理 山口 実靖 (工学院大) ③ 69	インタフェース (2) 塚田 晃司 (和歌山大) ④ 77	ICTツールを用いた授業支援 関谷 貴之 (東大) ④ 82	人文科学とコンピュータ 後藤 真 (国立歴史民俗博物館) ④ 83	組み込みシステム開発手法と実装 枝廣 正人 (名大) ① 55
		数理モデル化と問題解決 (6) 北 栄輔 (名大) ① 56		IoT連携サービス・システム 梶 克彦 (愛知工大) ③ 69	インタフェース (3) 柴田 邦臣 (津田塾大) ④ 77		情報社会 橋本 誠志 (徳島文理大) ④ 83	FPGA, アクセラレータ 請園 智玲 (福岡大) ① 55
特別講演 IPSJ-ONE								

日	時間	会場	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	
		H	J	K	L	M	N	P	Q	
		IB015	1号館 121	1号館 131	1号館 132	1号館 133	1号館 141	1号館 142	1号館 143	
3月16日(木)	9:30	クラウド	プログラミング	情報検索 (1)	DBシステム	ロボット制御とAI	画像の処理と理解 (1)	ディープラーニングと識別	実世界システム	
	1	山内 利宏 (岡山大)	松崎 公紀 (高知工大)	戸田 浩之 (NTT)	三島 健 (NTT)	堀川 優紀子 (ATR)	久徳 遙矢 (名大)	櫻田 健 (名大)	加藤 ジェーン (名大)	
	12:00	① 55	① 57	① 58	① 60	② 62	② 63	② 65	② 66	
	13:00	OS	要求・設計	情報検索 (2)	コンテンツ応用	画像認識の応用	画像の処理と理解 (2)	日常生活を支える技術	実社会データ分析	
	2	芝 公仁 (龍谷大)	立石 孝彰 (日本IBM)	大澤 裕 (埼玉大)	郭 清蓮 (金沢工大)	尾形 哲也 (早大)	平松 義崇 (日立)	平山 高嗣 (名大)	水野 貴之 (NII)	
	15:30	① 55	① 57	① 59	① 60	② 62	② 63	② 65	② 66	
	15:40	懇親会 (野依記念交流館 1F イベントスペース)								
	16:35									
	16:40									
	17:10									
	17:10									
	17:40									
	17:40									
	18:10									
18:30										
20:30										
3月17日(金)	9:30	アルゴリズム (1)	数理モデル化と問題解決 (3)	情報抽出・推薦	演奏・楽曲の分析	認知科学とAI	医療・農業画像	3次元形状復元とSLAM	自然言語処理 (1)	
	3	藤戸 敏弘 (豊橋技科大)	吉川 大弘 (名大)	河合 由紀子 (京産大)	前澤 陽 (ヤマハ)	庄野 逸 (電通大)	清水 彰一 (三菱)	阪野 貴彦 (産総研)	三浦 康秀 (富士ゼロックス)	
	12:00	① 56	① 57	① 59	② 61	② 62	② 64	② 65	② 66	
	13:00	アルゴリズム (2)	保守・テスト	コンテンツと制作支援	自動作曲・編曲 (1)	機械学習 (1)	スポーツとVR	人・移動体	自然言語処理 (2)	
	4	今井 敏行 (和歌山大)	田原 康之 (電通大)	森本 正志 (愛知工大)	深山 覚 (産総研)	藤田 悟 (法大)	三功 浩嗣 (KDDI総合研究所)	渡辺 顕司 (産総研)	森田 一 (京大)	
15:00	① 56	① 58	① 59	② 61	② 63	② 64	② 65	② 66		
15:10	形式手法・静的解析	数理モデル化と問題解決 (4)	データ分析	演奏・作曲支援	機械学習 (深層学習と強化学習)	色彩と光学・反射特性	都市空間と交通	自然言語処理 (3)		
5	立石 孝彰 (日本IBM)	庄野 逸 (電通大)	小林 亜樹 (工学院大)	前澤 陽 (ヤマハ)	松井 藤五郎 (中部大)	森本 哲郎 (凸版印刷)	出口 大輔 (名大)	大野 誠寛 (名大)		
17:40	① 56	① 58	① 59	② 62	② 63	② 64	② 65	② 67		
3月18日(土)	9:30	数理モデル化と問題解決 (5)		マイクロプログ	自動作曲・編曲 (2)	音声対話・認識・分析	予測とAI	ゲームAI	自然言語処理 (4)	
	6	森山 甲一 (名工大)		鈴木 優 (奈良先端大)	奥村 健太 (名工大)	李 見伸 (名工大)	平山 勝敏 (神戸大)	三輪 誠 (豊田工大)	牧野 拓哉 (富士通研)	
	12:00	① 57		① 59	② 62	② 63	② 64	② 66	② 67	
	13:00	ソフトウェアの構成と分析		食メディア	音楽音響信号処理・合成	音声対話・合成・分析	災害応用とAI	ゲームAI応用	自然言語処理 (5)	
	7	丸山 勝久 (立命館大)		井手 一郎 (名大)	前澤 陽 (ヤマハ)	西村 雅史 (静岡大)	斉藤 和巳 (静岡県大)	原田 智広 (立命館大)	小川 泰弘 (名大)	
15:00	① 57		① 60	② 62	② 63	② 64	② 66	② 67		
15:30										
17:30										

※表中の右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。

# タイムテーブル

学生セッション <b>R</b>	学生セッション <b>S</b>	学生セッション <b>T</b>	学生セッション <b>U</b>	学生セッション <b>V</b>	学生セッション <b>W</b>	学生セッション <b>X</b>	学生セッション <b>Y</b>	学生セッション <b>ZA</b>
1号館 144	2号館 221	2号館 222	2号館 232	2号館 231	2号館 241	2号館 242	2号館 243	3号館 321
機械学習 (2) 菊田 遥平 (クックパッド) ② 67	ホームネットワーク と情報家電 (1) 美原 義行 (NTT) ③ 69	ネットワーク プロトコル 植田 和憲 (高知工科大) ③ 71	マルチホップ ネットワーク (1) 吉廣 卓哉 (和歌山大) ③ 72	自動運転・運転支援 齊藤 裕一 (農工大) ③ 73	システム セキュリティ 沖野 浩二 (富山大) ③ 75	2次元グラフィックス と可視化 向井 智彦 (東海大) ④ 77	BCI・感性 倉本 到 (京都工繊大) ④ 78	学習支援・ センシング (1) 高田 秀志 (立命館大) ④ 79
ゲーム理論と社会 シミュレーション 藤田 桂英 (農工大) ② 67	行動支援 大村 廉 (豊橋技科大) ③ 69	Software Defined Network (SDN) 柏崎 礼生 (阪大) ③ 71	マルチホップ ネットワーク (2) 宮路 祐一 (豊橋技科大) ③ 72	災害対策技術と ネットワーク 重野 寛 (慶大) ③ 73	ネットワーク セキュリティ 平野 学 (豊田高専) ③ 75	物理シミュレー ションに基づくCG 藤代 一成 (慶大) ④ 77	コミュニケーション (1) 山本 倫也 (関西学院大) ④ 78	学習支援・ センシング (2) 新谷 虎松 (名工大) ④ 80
懇親会 (野依記念交流館 1F イベントスペース)								
エージェント シミュレーション 福田 直樹 (静岡大) ② 68	コンシューマ デバイス・システム (1) 石田 繁巳 (九大) ③ 70	マルチエージェント ・シミュレータ 齋藤 正史 (金沢工大) ③ 71	位置情報推定と その応用 中村 嘉隆 (はこだて未来大) ③ 72	二輪・車・環境状態 推定 森 信一郎 (千葉工大) ③ 73	認証技術 毛利 公一 (立命館大) ③ 75	AR/DR/VRと計測 データの可視化 竹島 由里子 (東京工科大) ④ 77	コミュニケーション (2) 吉野 孝 (和歌山大) ④ 78	入力インタフェース (1) 藤波 香織 (農工大) ④ 80
	コンシューマ デバイス・システム (2) 高橋 秀幸 (東北大) ③ 70	ITS システム 清原 良三 (神奈川工科大) ③ 71	生体情報 佐藤 永欣 (岩手県大) ③ 72	位置推定 宮田 章裕 (日大) ③ 74	機械学習による セキュリティ 中村 康弘 (防衛大) ③ 75	人体・顔 櫻井 快勢 (ダウンゴ) ④ 77	ナビゲーション 垂水 浩幸 (香川大) ④ 79	入力インタフェース (2) 前田 篤彦 (NTT 未来研) ④ 80
	スマートフォンと 応用 神山 剛 (NTT ドコモ) ③ 70	スマート農業・漁業 中澤 仁 (慶大) ③ 71	センサネットワーク とデータ処理 塚田 晃司 (和歌山大) ③ 73	マルチメディア通信 義久 智樹 (阪大) ③ 74	リスク分析と マネージメント 岡本 学 (神奈川工科大) ③ 75	画像処理 岡部 誠 (静岡大) ④ 78	VR・AR 樋口 啓太 (東大) ④ 79	会議・学習支援 服部 哲 (駒大) ④ 80
	セキュリティ 千田 浩司 (NTT) ③ 70	行動・状態推定 落合 桂一 (NTT ドコモ) ③ 71	ネットワーク設計 佐藤 文明 (東邦大) ③ 73	ナビゲーション・ 運行システム 川井 明 (滋賀大) ③ 74	プライバシーと 秘密分散 菊池 浩明 (明大) ③ 76	色と光 藤堂 英樹 (東京工科大) ④ 78	デザイン・HRI (1) 山本 倫也 (関西学院大) ④ 79	コミュニティー支援 柴田 邦臣 (津田塾大) ④ 80
	ネットワーク運用・ 管理 藤本 章宏 (和歌山大) ③ 70	クラウド・分散 システム 森 眞一郎 (福井大) ③ 72	ホームネットワーク と情報家電 (2) 廣井 慧 (名大) ③ 73	コミュニケーション 支援 岩本 健嗣 (富山県大) ③ 74		モデリング・ レンダリング 岩崎 慶 (和歌山大) ④ 78	デザイン・HRI (2) 古橋 武 (名大) ④ 79	推薦・ コラボレーション 高田 秀志 (立命館大) ④ 81

情報処理学会 第79回全国大会 タイムテーブル

日	時間	会場	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	学生セッション	
		ZB	ZC	ZD	ZE	ZF		
		3号館 332	3号館 333	7号館 701	7号館 702	7号館 703		
3月16日(木)	9:30	アクセシビリティ・安心安全 (1) 鈴木 彰真 (岩手県大) ④	プログラミング教育 (1) 中西 渉 (名高) ④	計測と可視化 本田 正美 (島根大) ④	災害情報 吉野 孝 (和歌山大) ④	空間情報と日本文化 山田 太造 (東大) ④	81 84 85 86 87	
	12:00	アクセシビリティ・安心安全 (2) 大星 直樹 (近畿大) ④	プログラミング教育 (2) 土肥 紳一 (電機大) ④	システム開発と構築 柿崎 淑郎 (電機大) ④	音声・言語 田中 洋一 (仁愛女子短大) ④	博物館情報と人文科学 山田 太造 (東大) ④	81 84 85 87 87	
	13:00							
	15:30							
	16:35							
	16:40							
	17:10							
	17:40							
18:10								
18:30	20:30	懇親会 (野依記念交流館 1F イベントスペース)						
3月17日(金)	9:30	異常検知手法 見玉 公信 (情報システム総研) ④	フィールドでの教育支援 伊藤 一成 (青学大) ④	観光情報と社会 (1) 本田 正美 (島根大) ④	学習の可視化と動画教材の活用 芳賀 瑛 (法大) ④	エンタテインメント (1) 松下 光範 (関西大) ④	83 84 85 87 88	
	12:00	高齢社会デザイン (1) 山田 和範 (パナソニック) ④	プログラミング教育 (3) 竹田 高彦 (文部科学省) ④	情報システムと人間社会 清水 則之 (名桜大) ④	生体情報に基づくスキル教育 芳賀 瑛 (法大) ④	観光情報と社会 (2) 原田 要之助 (情報セキュリティ大) ④	83 84 86 87 88	
	15:00	高齢社会デザイン (2) 赤津 裕子 (沖電気) ④	教育とゲーム 長瀧 寛之 (岡山大学) ④	行動支援システム 金子 格 (東京工芸大) ④	LMS・Web 黒田 嘉宏 (阪大) ④	エンタテインメント (2) 垂水 浩幸 (香川大) ④	83 84 86 87 88	
3月18日(土)	9:30	アクセシビリティと文章内容 馬場 哲晃 (首都大) ④	学習支援 野口 孝文 (釧路高専) ④	エンタテインメント (3) 築瀬 洋平 (Unity Technologies) ④			83 85 86	
	12:00	バイオ情報学 吉本 潤一郎 (奈良先端大) ④	情報処理教育 和田 勉 (長野大) ④	農業・畜産支援システム 萩野 紫穂 (武蔵大) ④			84 85 86	
	13:00							
	15:00							
	15:30							
	17:30							

※表中の右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。

## 第79回全国大会講演論文集の分類と内容 (括弧内はセッション会場名)

### ●第1分冊

- ・コンピュータシステム  
システム・アーキテクチャ, システムソフトウェアとオペレーティング・システム,  
ハイパフォーマンスコンピューティング, システムとLSIの設計技術, 組込みシステム  
(1A～3A, 1G～7G, 1H～2H)
- ・ソフトウェア科学・工学  
アルゴリズム, 数理モデル化と問題解決, ソフトウェア工学, プログラミング  
(5A～7A, 1B～2B, 3H～7H, 1J～5J)
- ・データとウェブ  
データベースシステム, 情報基礎とアクセス技術, デジタルコンテンツクリエーション  
(3B～5B, 1K～7K, 1L～2L)

### ●第2分冊

- ・人工知能と認知科学  
知能システム, 自然言語処理, 音声言語情報処理, 音楽情報科学, ゲーム情報学,  
コンピュータビジョンとイメージメディア  
(6B, 1C～5C, 3L～7L, 1M～7M, 1N～7N, 1P～7P, 1Q～7Q, 1R～3R)

### ●第3分冊

- ・ネットワーク  
マルチメディア通信と分散処理, インターネットと運用技術,  
モバイルコンピューティングとパーベイシブルシステム, ユビキタスコンピューティングシステム,  
高度交通システムとスマートコミュニティ, コンシューマ・デバイス&システム,  
オーディオビジュアル複合情報処理  
(6C～7C, 1D～3D, 1S～7S, 1T～7T, 1U～7U, 1V～7V)
- ・セキュリティ  
コンピュータセキュリティ, セキュリティ心理学とトラスト  
(4D～5D, 1W～6W)

### ●第4分冊

- ・インタフェース  
ヒューマンコンピュータインタラクション, グループウェアとネットワークサービス,  
コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学  
(6D～7D, 1E, 1X～7X, 1Y～7Y, 1ZA～7ZA, 1ZB～2ZB)
- ・コンピュータと人間社会  
コンピュータと教育, バイオ情報学, 情報システムと社会環境, ドキュメントコミュニケーション,  
人文科学とコンピュータ, エンタテインメントコンピューティング, 電子化知的財産・社会基盤,  
教育学習支援情報システム, 高齢社会デザイン, アクセシビリティ  
(3E～6E, 1F～7F, 3ZB～7ZB, 1ZC～7ZC, 1ZD～7ZD, 1ZE～5ZE, 1ZF～5ZF)

## ー全国大会イベント企画のご案内ー

### ■招待講演 (1) 16日 (木) 16:40-17:10

第1 イベント会場 (坂田平田ホール)  
[SPARTA: A Dataflow-Inspired System Design]  
Jean-Luc Gaudiot (Fellow, IEEE, AAAS)

### ■招待講演 (2) 16日 (木) 17:10-17:40

第1 イベント会場 (坂田平田ホール)  
[Research of Computer System and Architecture for Cloud Data Center]  
Ninghui SUN (Director of Institute of Computing Technology, Chinese Academy of Sciences,  
Vice President of CCF)

### ■招待講演 (3) 16日 (木) 17:40-18:10

第1 イベント会場 (坂田平田ホール)  
[Looking for Image Big Data Intelligence for Disaster Management and Product Defect Detection]  
Bonghee HONG (Pusan National University Full Professor / KIISE President)

### ■大会挨拶・各種表彰式・情報処理技術遺産認定式 16日 (木) 15:40-16:35

第1 イベント会場 (坂田平田ホール)

### ■イベント企画

特別会場 (豊田講堂)

- ・ 18日 (土) 15:30-17:30 特別講演 IPSJ-ONE

第1 イベント会場 (坂田平田ホール)

- ・ 16日 (木) 9:30-12:00 2016年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～
- ・ 17日 (金) 9:30-12:00 将来の情報学リーダーが創造する新しい価値
- ・ 17日 (金) 13:00-15:00 情報通信技術が先導するオープンイノベーション
- ・ 17日 (金) 15:10-17:40 5th IPSJ SamurAI Programming Contest SamurAI Coding 2016-17 World Final
- ・ 18日 (土) 9:30-12:00 メタサイエンスとしての情報学をつくる
- ・ 18日 (土) 13:00-15:00 コンピュータは、どんな作品を生み出していくのだろうかー人工知能と創造性

第2 イベント会場 (ES ホール)

- ・ 16日 (木) 9:30-12:00 論文必勝法～書こう！通そう！論文誌！～
- ・ 16日 (木) 13:00-15:30 文部科学省 大学入学者選抜改革推進委託事業  
「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」  
日本の実情にマッチしたアジャイル開発に向けて ～デジタルプラクティスライブ～
- ・ 17日 (金) 9:30-12:00 CITP 続々誕生 ー国際的に通用する高度情報処理技術者資格ー
- ・ 17日 (金) 15:10-17:40 デジタルコンテンツクリエイション最前線
- ・ 18日 (土) 9:30-12:00

第3 イベント会場 (IB 大講義室)

- ・ 16日 (木) 10:00-12:00 ～コンピュータパイオニアが語る～「私の詩と真実」
- ・ 16日 (木) 13:00-15:30 人工知能とディープラーニング：研究開発を牽引する国プロと科学技術政策
- ・ 17日 (金) 9:30-12:00 サイバーセキュリティを確立するための戦略は？ ーサイバー攻撃の最前線からのレポートー
- ・ 17日 (金) 15:10-17:40 社会システム・サービス最適化のためのソーシャル CPS の研究開発
- ・ 18日 (土) 9:30-12:00 Life Hacks for WorkPlace ※共催 enPiT 女性部会 WiT
- ・ 18日 (土) 13:00-15:00 会誌「情報処理」公開編集委員会

第4 イベント会場 (坂田平田ホール セミナー室)

- ・ 17日 (金) 9:30-12:00 J17 - J07 から 10年、何を変え何を定めるか
- ・ 18日 (土) 13:00-15:00 情報システムのデザインコンペ

第5 イベント会場 (野依記念交流館ホール)

- ・ 17日 (金) 9:30-12:00 「情報力」で街を変える ～ビッグデータ利活用技術開発とその社会実装～

－全国大会 会場別プログラム－

【特別会場（豊田講堂）】		
日	時間	内容
18 日 (土)	特別講演 IPSJ-ONE	
	15:30-17:30	司会：竹川 佳成 (IPSJ-ONE 企画・実施委員会 委員長／はこだて未来大) 司会：森勢 将雅 (IPSJ-ONE 企画・実施委員会 副委員長／山梨大) 研究会推薦：招待講演 (1) 「『攻撃者の視点に立つ』～情報セキュリティ研究の面白さ～」 [コンピュータセキュリティ研究会] 森 達哉 (早大)
		研究会推薦：招待講演 (2) 「コンピュータを用いた手芸設計支援」 [デジタルコンテンツクリエイション研究会] 五十嵐悠紀 (明大)
		研究会推薦：招待講演 (3) 「運動視差 ～動けばわかる～」 [グループウェアとネットワークサービス研究会] 坂本 竜基 (ヤフー)
		研究会推薦：招待講演 (4) 「知能システム・知能エージェントたちの開拓する未来」 [知能システム研究会] 大澤 博隆 (筑波大)
		研究会推薦：招待講演 (5) 「知覚の「編集」で現実を変える」 [エンタテインメントコンピューティング研究会] 鳴海 拓志 (東大)
		研究会推薦：招待講演 (6) 「スマホがあなたのココロの未来を予想する」 [モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム研究会] 深澤 佑介 (NTT ドコモ)
		研究会推薦：招待講演 (7) 「コンピューテーションがつなぐ人とデザイン」 [コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究会] 小山 裕己 (東大)
		研究会推薦：招待講演 (8) 「言葉を「計算」できる世界へ」 [自然言語処理研究会] 荒瀬 由紀 (阪大)
		研究会推薦：招待講演 (9) 「自動運転～破壊的創造と創造的破壊～」 [組込みシステム研究会] 加藤 真平 (東大)
		研究会推薦：招待講演 (10) 「ソフトウェア自動進化への挑戦」 [ソフトウェア工学研究会] 肥後 芳樹 (阪大)
		研究会推薦：招待講演 (11) 「ゆるふわコンピュータ」 [システム・アーキテクチャ研究会] 高前田伸也 (北大)
		研究会推薦：招待講演 (12) 「Door to Door の輸送サービスを目指した ICT サービス開発」 [高度交通システムとスマートコミュニティ研究会] 日高 洋祐 (JR 東日本／東大)
		研究会推薦：招待講演 (13) 「高度に発達したシステムの異常は神の怒りと見分けがつかない」 [インターネットと運用技術研究会] 坪内 佑樹 (はてな)
		研究会推薦：招待講演 (14) 「髪の毛で音を感じる新しいユーザインタフェース Antenna を世界中のろう者へ届けるために」 [アクセシビリティ研究会] 本多 達也 (富士通)
		研究会推薦：招待講演 (15) 「モンテカルロ法と集積回路設計の接点」 [システムと LSI の設計技術研究会] 栗野 皓光 (東大)
		研究会推薦：招待講演 (16) 「ビックデータ時代の超大規模グラフ処理への挑戦」 [ハイパフォーマンスコンピューティング研究会] 岩淵 圭太 (東工大)
	研究会推薦：招待講演 (17) 「歴史学の情報 part3 ～読めない文字への挑戦～」 [人文科学とコンピュータ研究会] 未代 誠仁 (桜美林大)	

【第1 イベント会場 (坂田平田ホール)】	
<b>2016年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～</b>	
16 日 (木)	9:30-12:00 パネル討論：2016年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～ 司 会：須川 賢洋 (新潟大) パネリスト：原田要之助 (情報セキュリティ大), 板倉陽一郎 (ひかり総合法律事務所), 金子 格 (東京工芸大), 加藤 尚徳 (KDDI 総研), 折田 明子 (関東学院大)
	15:40-16:35 <b>大会挨拶・各種表彰式・情報処理技術遺産認定式</b>
	16:40-17:10 招待講演 (1) : SPARTA: A Dataflow-Inspired System Design Jean-Luc Gaudiot (Fellow, IEEE, AAAS)
	17:10-17:40 招待講演 (2) : Research of Computer System and Architecture for Cloud Data Center Ninghui SUN (Director of Institute of Computing Technology, Chinese Academy of Sciences, Vice President of CCF)
	17:40-18:10 招待講演 (3) : Looking for Image Big Data Intelligence for Disaster Management and Product Defect Detection Bonghee HONG (Pusan National University Full Professor / KIISE President)
<b>将来の情報学リーダーが創造する新しい価値</b>	
17 日 (金)	9:30-9:35 オープニング
	9:35-9:50 講演 (1) : 超大規模脳情報を高度に技術するブレイン情報アーキテクトの育成 田村 秀希 (豊橋技科大), 関 博史 (豊橋技科大)
	10:05-10:35 講演 (2) : 実体情報学博士プログラム～機械と情報の融合の場～ 鈴木 遼 (早大), 金井 太郎 (早大)
	10:40-11:10 講演 (3) : 人々の身体的・社会的インタラクションをエンパワーする拡張生体技術 西田 惇 (筑波大)
	11:10-11:50 講演 (4) : 実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム 長江 祐樹 (名大), 橋川 雄樹 (名大), 松下 健 (名大)
	11:50-12:00 クロージング
	<b>情報通信技術が先導するオープンイノベーション</b>
13:00-13:40 講演 (1) : オープンイノベーションの展開と大学への期待 後藤 吉正 (JST)	
13:40-14:20 講演 (2) : 39Works: ドコモにおける オープンイノベーションプログラムの紹介 栄藤 稔 (NTT ドコモ)	
14:20-15:00 講演 (3) : トヨタ自動車におけるオープン・イノベーション『名古屋 COI の取り組み』 畔柳 滋 (トヨタ/名大)	
<b>5th IPSJ SamurAI Programming Contest SamurAI Coding 2016-17 World Final</b>	
15:10-17:40 コンテスト・司会：鷲崎 弘宜 (早大)	
18:00-20:00 SamurAI Coding 2016-17 懇親会 懇親会・司会：鷲崎 弘宜 (早大)	
<b>メタサイエンスとしての情報学をつくる</b>	
18 日 (土)	9:30-9:35 趣旨説明
	9:35-10:05 招待講演：情報学 2020 萩谷 昌己 (東大)
	10:05-10:35 基調講演：新設する名古屋大学情報学部・情報科学研究科の教育理念 北 栄輔 (名大)
	10:40-11:05 講演 (1) : 越える情報学 1 : 自動運転の技術と展望 竹内栄二郎 (名大)
	11:05-11:30 講演 (2) : 越える情報学 2 : 計算社会科学の最前線 笹原 和俊 (名大)
	11:30-11:55 講演 (3) : 越える情報学 3 : 人間と情報技術の関わりの哲学 久木田水生 (名大)
	11:55-12:00 総括：総括と今後の展望 東野 輝夫 (阪大)
<b>コンピュータは、どんな作品を生み出していくのだろうかー人工知能と創造性</b>	
13:00-13:05 開催趣旨説明	
13:05-13:30 講演 (1) : 人工知能と小説 松原 仁 (はこだて未来大)	
13:30-13:55 講演 (2) : 人工知能と音楽 嵯峨山茂樹 (明大)	
13:55-14:20 講演 (3) : 人工知能と芸術ー知能の美学 久保田晃弘 (多摩美大)	
14:20-14:45 講演 (4) : 人工知能と著作権 上野 達弘 (早大)	
14:45-15:00 全体討論	

【第2 イベント会場 (ES ホール)】	
論文必勝法～書こう！通そう！論文誌！～	
	9:30-10:30 基調講演：一流論文誌・国際会議への採択，そして人材育成 ～採択という目標の先へ 原 隆浩 (阪大)
	10:40-12:00 パネル討論：論文誌の査読プロセスの紹介と投稿における注意点 司 会：重安 哲也 (県立広島大) パネリスト：山名 早人 (早大)，立石 孝彰 (日本 IBM)，藤田 桂英 (農工大)，豊浦 正広 (山梨大)
16 日 (木)	文部科学省 大学入学者選抜改革推進委託事業 「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」
	13:00-13:20 基調講演：情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発 萩原 兼一 (阪大)
	13:20-13:40 報告 (1)：「情報科」の情報学参照基準による知識体系化 萩谷 昌己 (東大)
	13:40-13:55 報告 (2)：「情報科」大学入学者選抜における評価手法 久野 靖 (電通大)
	13:55-14:10 報告 (3)：「情報科」大学入学者選抜 CBT システム化の仕様 西田 知博 (大阪学院大)
	14:10-14:25 報告 (4)：「情報科」大学入学者選抜の国内外の動向 辰己 丈夫 (放送大)
	14:30-15:30 パネル討論：どうする「情報科」大学入学者選抜 司 会：中野 由章 (神戸市立科学技術高) パネリスト：萩原 兼一 (阪大)，萩谷 昌己 (東大)，久野 靖 (電通大)， 西田 知博 (大阪学院大)，辰己 丈夫 (放送大)
日本の実情にマッチしたアジャイル開発に向けて ～デジタルプラクティスライブ～	
	9:30-9:35 デジタルプラクティス誌編集委員長挨拶
	9:35-9:40 本セッションの趣旨説明
	9:40-10:05 講演 (1)：アジャイル開発の動向とオージス総研における取り組み 藤井 拓 (オージス総研)
	10:05-10:25 講演 (2)：NEC におけるアジャイル開発の位置づけと取り組み 岩崎 新一 (NEC)
	10:25-10:45 講演 (3)：富士通におけるアジャイル開発の取り組み 松浦 豪一 (富士通マーケティング)
17 日	10:45-11:55 パネル討論：日本のコンテキストで、アジャイル開発をその必要なところで適切に使って効果を上げるための、ベンダの役割 モデレータ：山本修一郎 (名大) パネリスト：藤井 拓 (オージス総研)，岩崎 新一 (NEC)，松浦 豪一 (富士通マーケティング)
	11:55-12:00 クロージング・リマーク
CITP 続々誕生 - 国際的に通用する高度情報処理技術者資格 -	
17 (金)	15:15-15:40 講演 (1)：認定情報技術者 (CITP) 制度 ～実績と今後の期待～ 旭 寛治 (日立)
	15:40-16:05 講演 (2)：資格制度の国際通用性を確保する IFIP・IP3 の認定取得への取り組み 芝田 晃 (三菱電機)
	16:05-16:30 講演 (3)：ソフトウェア技術者認証に関する国際標準 ISO/IEC 24773 とその改訂に向けた戦略 掛下 哲郎 (佐賀大)
	16:30-16:55 講演 (4)：CITP 制度を活用した高度 IT 人材の育成～超スマート社会を支える実践的技術者育成～ 松田 信之 (中電シーティーアイ)
	16:55-17:20 講演 (5)：サイバーセキュリティ分野における新たな国家資格について 秋元 裕和 (IPA)
	17:20-17:40 Q&A
デジタルコンテンツクリエイション最前線	
18 日 (土)	9:30-9:50 講演 (1)：メディアアートのデジタルコンテンツクリエイション最前線 水野 慎士 (愛知工大)
	9:50-10:10 講演 (2)：最先端のデジタルアニメーション技術 三上 浩司 (東京工科大)
	10:10-10:30 講演 (3)：ゲーム開発エンジニアリングの最前線 林 洋人 (セガゲームス)
	10:30-10:50 講演 (4)：最新のデジタルコンテンツと情報デザイン 楠 房子 (多摩美大)
	10:50-11:10 講演 (5)：インターネットライブ放送におけるビデオクリエイション最前線 義久 智樹 (阪大)
11:10-12:00 パネル討論：IoT 時代のデジタルコンテンツクリエイション 司 会：義久 智樹 (阪大) パネリスト：水野 慎士 (愛知工大)，三上 浩司 (東京工科大)，林 洋人 (セガゲームス)， 楠 房子 (多摩美大)	

<b>【第3 イベント会場 (IB 大講義室)】</b>	
16	～コンピュータパイオニアが語る～「私の詩と真実」
	10:05-11:00 講演 (1)：コンピュータが計算機と呼ばれた時代 三輪 修 (富士通)
日	11:05-12:00 講演 (2)：オートマトンに人工知能研究の夢を見た 稲垣 康善 (名大/愛知県大/豊橋技科大)
	人工知能とディープラーニング：研究開発を牽引する国プロと科学技術政策
(木)	13:00-14:00 基調講演：理化学研究所 革新知能統合研究センターの紹介 杉山 将 (理化学研/東大)
	14:00-15:30 パネル討論：AIP センターへの期待と情報科学技術政策の布石 司 会：間瀬 健二 (名大) パネリスト：栗原 潔 (文部科学省)，杉山 将 (理化学研/東大)，茂木 強 (JST)， 上田 修功 (NTT)
17	サイバーセキュリティを確立するための戦略は？ –サイバー攻撃の最前線からのレポート–
	9:30-9:55 ショートプレゼン (1)：大規模ネットワークに対する攻撃の現状 高倉 弘喜 (NII)
日	9:55-10:20 ショートプレゼン (2)：IoTにおけるサイバー攻撃の観測と対策 吉岡 克成 (横浜国大)
	10:20-10:45 ショートプレゼン (3)：CSIRT の視点での企業のサイバーセキュリティへの対応 杉浦 芳樹 (NTT データ先端技術)
(金)	10:45-11:10 ショートプレゼン (4)：経済産業省におけるサイバー攻撃への取り組み 伊東 寛 (経済産業省)
	11:10-12:00 パネル討論：サイバーセキュリティを確立するための人材育成 司 会：沖野 浩二 (富山大) パネリスト：高倉 弘喜 (NII)，吉岡 克成 (横浜国大)，杉浦 芳樹 (NTT データ先端技術)， 伊東 寛 (経済産業省)
日	社会システム・サービス最適化のためのソーシャル CPS の研究開発
	15:10-15:30 講演 (1)：ソーシャル CPS の目指すもの (プロジェクト概要) 安達 淳 (NII)
(金)	15:30-15:45 講演 (2)：札幌市における除排雪の効率的運用を目指したソーシャル CPS 技術の確立と応用 田中 讓 (北大)
	15:45-16:00 講演 (3)：群衆センシングと都市のスマート化 東野 輝夫 (阪大)
日	16:00-16:15 講演 (4)：センシング技術に基づく細粒度の電力利用最適化 谷口倫一郎 (九大)
	16:15-16:40 招待講演：ソーシャル CPS を支える知・人材・資金の良い循環 武田 一哉 (名大)
18	Life Hacks for WorkPlace ※共催 enPiT 女性部会 WiT
	9:30-12:00 司 会：木塚あゆみ (はこだて未来大) 登壇者：湯村 翼 (NICT)，矢島 卓 (エイチーム)，河合由起子 (京産大)， 岩切 晃子 (翔泳社)，渡辺知恵美 (筑波大)
日	会誌「情報処理」公開編集委員会
	13:00-14:00 対 談：IoT 社会の憂い 司 会：加藤 由花 (東京女子大) 対 談 者：齋藤ウィリアム (インテカー/内閣府)，塚本 昌彦 (神戸大)
(土)	14:00-15:00 パネル討論：会誌「情報処理」ができるまで 司 会：塚本 昌彦 (神戸大) パネリスト：五十嵐悠紀 (明大)，加藤 由花 (東京女子大)，金子 格 (東京工芸大)， 田名部元成 (横浜国大)，辻田 眸 (シンクフェーズ)，土井 千章 (NTT ドコモ)， 鳥澤健太郎 (NICT)，永野 秀尚 (NTT)，坂東 宏和 (獨協医科大)， 松崎 公紀 (高知工科大)

【第4 イベント会場（坂田平田ホール セミナー室）】		
	J17 - J07 から 10 年, 何を変え何を定めるか	
17 日	9:35-10:05	報告 (1) : 情報教育の国内現状 - 全大学対象の調査結果 高橋 尚子 (GE 副委員長)
	10:05-10:25	報告 (2) : カリキュラム改定の国際状況 - CC-2005 その後 角田 博保 (CS 委員長)
	10:30-12:00	パネル討論 : J17 をどう策定するか 司 会 : 筧 捷彦 (J17 WG 主査) パネリスト : 角田 博保 (CS 委員長), 辻 秀一 (IS 委員長), 岡部 忠 (CE 副委員長), 井上 克郎 (SE 委員長), 駒谷 昇一 (IT 委員長), 稲垣 知宏 (GE 委員長)
	情報システムのデザインコンペ	
(金)	13:00-13:30	基調講演 : 建築デザインにおけるコンペの実態と理想 松岡拓公雄 (亜大)
	13:30-14:50	ワールドカフェ形式によるデザインプレゼンテーション
	14:50-15:00	講 評 : 児玉 公信 (情報システム総研), 松岡拓公雄 (亜大)

【第5 イベント会場（野依記念交流館ホール）】		
	「情報力」で街を変える ～ビッグデータ利活用技術開発とその社会実装～	
17 日	9:30-9:45	講演 (1) : 「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」: プロジェクト概要 北川 博之 (筑波大)
	9:45-10:05	講演 (2) : 21 世紀の自治体が抱える諸問題とビッグデータ利活用の可能性 瀧 敦司 (藤沢市)
	10:05-10:20	講演 (3) : 収集量の見える化によるゴミ減量の取り組み ～ゴミ減量 G1 グランプリ～ 天笠 俊之 (筑波大)
	10:20-10:35	講演 (4) : エンティティリンクング技術に基づいた地理情報と言語情報の融合解析 松田 耕史 (東北大)
	10:35-10:50	講演 (5) : データ格納・可視化技術に基づくスマートシティアプリケーション 豊田 正史 (東大)
(金)	10:50-11:05	講演 (6) : システム統合化基盤技術を介したパッカー車センシングデータの流通 中澤 仁 (慶大)
	11:10-12:00	パネル討論 : ビッグデータ利活用と「情報力」 司会・パネリスト : 中澤 仁 (慶大) パネリスト : 瀧 敦司 (藤沢市), 天笠 俊之 (筑波大), 松田 耕史 (東北大), 豊田 正史 (東大)

# 全国大会 招待講演企画・イベント企画の概要

## 招待講演 1 「SPARTA: A Dataflow-Inspired System Design」 3月16日（木）16:40-17:10 [第1 イベント会場（坂田平田ホール）]

Jean-Luc Gaudiot (Fellow, IEEE, AAAS)

[講演概要]

Computer systems have undergone a fundamental transformation recently, from single-core processors to devices with increasingly higher core counts within a single chip. The semi-conductor industry now faces the infamous power and utilization walls. To meet these challenges, heterogeneity in design, both at the architecture and technology levels, will be the prevailing approach for energy efficient computing as specialized cores, accelerators, etc., can eliminate the energy overheads of general-purpose homogeneous cores. However, with future technological challenges pointing in the direction of on-chip heterogeneity, and because of the traditional difficulty of parallel programming, it becomes imperative to produce new system software stacks that can take advantage of the heterogeneous hardware. As a case in point, the core count per chip continues to increase dramatically while the available on-chip memory per core is only getting marginally bigger. Thus, data locality, already a must-have in high-performance computing, will become even more critical as memory technology progresses. In turn, this makes it crucial that new execution models be developed to better exploit the trends of future heterogeneous computing in many-core chips. To solve these issues, we propose a cross-cutting cross-layer approach to address the challenges posed by future heterogeneous many-core chips.



[略歴]

Jean-Luc Gaudiot received the Diplôme d'Ingénieur from ESIEE, Paris, France in 1976 and the M.S. and Ph.D. degrees in Computer Science from UCLA in 1977 and 1982, respectively. He is currently Professor in the Electrical Engineering and Computer Science Department at UC, Irvine. Prior to joining UCI in 2002, he was Professor of Electrical Engineering at the University of Southern California since 1982. His research interests include multithreaded architectures, fault-tolerant multiprocessors, and implementation of reconfigurable architectures. He has published over 250 journal and conference papers. His research has been sponsored by NSF, DoE, and DARPA, as well as a number of industrial companies. He has served the community in various positions and was just elected to the presidency of the IEEE Computer Society for 2017.

## 招待講演 2 「Research of Computer System and Architecture for Cloud Data Center」 3月16日（木）17:10-17:40 [第1 イベント会場（坂田平田ホール）]

Ninghui SUN (Director of Institute of Computing Technology, Chinese Academy of Sciences, Vice President of CCF)

[講演概要]

In this talk, I will discuss the contribution of the computer system and architecture in computing center and data center in the history. Today the cloud and Internet of everything is the main trend, and the high throughput computing is becoming the new application workload. I will discuss some system technique challenge in cloud data center, and introduce the undergoing research of computer system and architecture for cloud in our institute.



[略歴]

Dr. Ninghui Sun, is the professor of Institute of Computing Technology (ICT) of Chinese Academy of Science (CAS). He graduated at Peking University in 1989, and got the Master and PhD degrees from ICT of CAS in 1992 and 1999 respectively. Dr. Sun is the architect and main designer of Dawning2000, Dawning3000, Dawning4000, Dawning5000 and Dawning6000 high performance computers. His major research interests include computer architecture and high performance computer.

## 招待講演 3 「Looking for Image Big Data Intelligence for Disaster Management and Product Defect Detection」 3月16日（木）17:40-18:10 [第1 イベント会場（坂田平田ホール）]

Bonghee HONG (Pusan National University Full Professor / KIISE President)

[講演概要]

By analyzing CCTV images from road sided Cameras, it is possible to automatically extract image pattern graph from a huge volume of CCTV images. From the analytics and learning of image pattern graphs, the amount of rainfall would be roughly measured and also the river flooding could be automatically detected and expected. The techniques of image data analytics can be applied to detect the defects of injection molding products.

[略歴]

Seoul National University, BS/MS/Ph.D.



## 特別講演 IPSJ-ONE 3月18日(土) 15:30-17:30 [特別会場(豊田講堂)]

### [セッション概要]

情報処理学会では、3領域38の研究会で活動が行われ約2万人の会員が在籍しているが、異なる研究会や研究領域あるいは情報処理学会全体でどのような研究がなされ注目を集めているのかを知る機会が少ない。本企画では、その多様な研究分野を垣根なく俯瞰し、すぐれた研究を自らの言葉で語るプレゼン力の高い、若手を中心とした研究者を、希望する研究会が主体的に推薦する形式で募集し、応募の中から招待講演者を厳選する。この講演会はこの特別な招待講演者達による「見逃せない講演会」であり、持ち時間1人数分で次々に登壇していく。さらに講演内容は専門家のみならず、高校生、学部生、他分野での聴衆が理解しやすいように内容も配慮し、招待講演者を選定する。異分野間の融合やそれぞれの研究の発展に役立て、さらなる情報処理の可能性を社会に問い、新たなコラボレーションや展開を作り出ししていく場とするため、マスメディア・ネットメディア、動画中継、ステージ演出を含め、講演だけで終わることのない情報発信やネットワークの場として多数の演出やアウトリーチを予定している。



司会：竹川 佳成 (IPSJ-ONE 企画・実施委員会 委員長／公立はこだて未来大学 システム情報科学部 准教授)

#### [略歴]

2007年大阪大学大学院情報科学研究科博士課程修了。同年より神戸大学自然科学系先端融合研究環重点研究部助教。2012年より公立はこだて未来大学システム情報科学部助教。2014年より同大学システム情報科学部准教授。現在に至る。2015年IPSJ-ONE(音楽情報科学研究会推薦)にて「もしもピアノが弾けたなら～理想のピアノ学習支援システムを目指して～」という題目で講演し、ピアノに対するマッダな愛とその研究に関する発表が好評を博し、2016年IPSJ-ONEの司会者として抜擢される。2011年にはMIT Media Lab.にてAssistant Visiting Professorを兼務。博士(情報科学)。2013年度情報処理学会山下記念研究賞(音楽情報科学研究会およびエンタテインメントコンピューティング研究会)をダブル受賞する。同年度に2つの異なる研究会から山下記念研究賞を受賞することは初の事例。その他受賞多数。



司会：森勢 将雅 (IPSJ-ONE 企画・実施委員会 副委員長／山梨大学 大学院総合研究部 特任助教)

#### [略歴]

2008年和歌山大学大学院システム工学研究科博士課程修了。博士(工学)。関西学院大学大学院理工学研究科博士研究員、立命館大学情報理工学部助教を経て、2013年2月より現職。理工融合領域による音声・聴覚の研究に従事するため、医学部との共同研究として生理学実験の修行を積む。SNSによる緩い共同研究を新たな研究スタイルとして確立するため、ハンドルネームやP名で構成された本名すら知らないメンバーと学会発表する実験を試みる。2010年のエイブルフルネットとして始めたオープンソース音声合成システムWORLDの研究は、気が付けば自身最大の成果となる。意外にも、色々な賞を受賞する機会に恵まれた。

### [研究会推薦]

研究会推薦：招待講演(1)「[攻撃者の視点に立つ]～情報セキュリティ研究の面白さ～」

[コンピュータセキュリティ研究会]

森 達哉(早稲田大学 基幹理工学研究科 情報理工・情報通信専攻 准教授)

#### [講演概要]

サイバー攻撃対策に有効な技術としてAI技術が注目を集めている。例えばフィッシングサイトの検出やマルウェアの検知・分類はAI技術が有効に活用されてきた例であり、商業的にも成功を修めている。このようにAI技術はセキュリティ対策としても有用である。その一方で有用な技術は悪意をもつ者に悪用されてきた歴史があり、AIもその例外ではない可能性が高い。すなわち我々はAIで強化されたサイバー攻撃に備える必要がある。本講演では講演者が取り組んでいるAIを悪用したプライバシー情報漏えい攻撃とその対策に関する研究の概要と、情報セキュリティの研究に特徴的な「攻撃者視点の研究」の面白さを伝えたい。



#### [略歴]

1999年3月早稲田大学理工学研究科修了。同年よりNTT研究所勤務。2005年早稲田大学情報科学専攻博士後期課程修了。博士(情報科学)。2007年から2008年までウィスコンシン州立大学マディソン校訪問研究員。2013年4月より早稲田大学基幹理工学部准教授。データ解析技術を軸として、ハードウェアや電磁波等の低レイヤーからアプリケーションや人間といった上位レイヤーまで幅広く情報セキュリティに関する研究を行っている。最近では機械学習技術を活用したサイバー攻撃対策、および機械学習を悪用したサイバー攻撃に関する研究に注力している。

研究会推薦：招待講演(2)「コンピュータを用いた手芸設計支援」

[デジタルコンテンツクリエイション研究会]

五十嵐 悠紀(明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 専任講師)

#### [講演概要]

オリジナルな手芸作品を設計することは初心者には難しいが、コンピュータグラフィックスを利用することで、初心者でも簡単にオリジナルな手芸作品を設計できるような技術を研究・開発してきたので紹介する。通常3次元モデリングとシミュレーションは別々の過程で行われるが、我々はモデリングを行いながら並行してシミュレーションを用いることで、布や毛糸の特性を活かしたモデリングを効率良く行うことができることを提案した。ぬいぐるみ、ビーズ細工など、さまざまな手芸作品を題材に、提案手法を実装し、一般ユーザに使ってもらうためにワークショップを開催してきたので紹介する。



#### [略歴]

2010年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。2010年より日本学術振興会特別研究員PD、2013年よりRPDとして筑波大学に所属。2015年より明治大学総合数理学部先端メディアサイエンス学科専任講師。コンピュータグラフィックスやユーザインタフェースに関する研究に従事。2016年よりJST さきがけ研究員。Yahoo! ニュース個人、日本ビジネスプレス、オーサー。

### 研究会推薦：招待講演 (3) 「運動視差 ～動けばわかる～」

#### [グループウェアとネットワークサービス研究会]

坂本 竜基 (ヤフー株式会社 先端技術応用室 室長)

##### [講演概要]

人間がモノの形を立体的に把握するためには多方面からそれを見る必要があります。例えば、スーパーでリングを手を取ったら、手首をグルッとまわして、どんな形なのか、傷がないのかといったことを確認するでしょう。このグルッと回している瞬間、瞬間でのリングは2次元の画として眼に映っていますが、人間はこれら大量の画を頭の中で無意識に組み立て、三次元の形状を把握しています。このように、瞬間、瞬間での対象物の「見え」の変化は運動視差と呼ばれ、奥行や形状の把握だけではなく、存在感にも影響を与えますがWebの画像には運動視差がありません。そこで本講演では、運動視差付きの画像をWebで配信する試みについて紹介します。



##### [略歴]

ヤフー(株)先端技術応用室室長、北陸先端科学技術大学院大学博士後期課程修了後、ATR 知能ロボティクス研究所において看護業務のヒヤリハットを自由視点映像で記録する研究に従事し、2008年より和歌山大学システム工学部講師、2012年よりYahoo! JAPAN 研究所上席研究員に着任後、2015年より現職。2014年度社団法人情報処理学会山下記念研究賞受賞。IPA 未踏ソフトウェア創造事業天才プログラマー/スーパークリエイター。博士(知識科学)。

### 研究会推薦：招待講演 (4) 「知能システム・知能エージェントたちの開拓する未来」

#### [知能システム研究会]

大澤 博隆 (筑波大学 システム情報系 助教)

##### [講演概要]

計算機のように複雑な内的状態を保持できる道具が開発されたことにより、人間や動物と同じように、我々自身にとって志向姿勢を持つ他者として受容される人工物を、ユーザに対するインタフェースとして作成することが可能な時代となった。このような背景が現在のヒューマンエージェントインタラクション(HAI)研究を支えており、情報技術とHAI研究には大きな関わりがある。本研究では講演者の過去の研究を振り返りつつ、今後我々がどのような未来を迎えるか、ビジョンを示す。



##### [略歴]

2009年慶應義塾大学大学院開放環境科学専攻博士課程修了。2009年慶應義塾大学訪問研究員および米国マサチューセッツ工科大学AgeLab特別研究員。2010年日本学術振興会特別研究員PDに採択され、国立情報学研究所へ出向。同年から2011年にかけて、JST さきかけ専任研究員に従事。2011年より2013年まで、慶應義塾大学理工学部情報工学科助教。2013年より現在まで、筑波大学大学院システム情報系助教。ヒューマンエージェントインタラクションおよび人工知能の研究に従事。人工知能学会、情報処理学会、日本認知科学学会、ACM会員。博士(工学)。「戯曲の魔女」

### 研究会推薦：招待講演 (5) 「知覚の「編集」で現実を変える」

#### [エンタテインメントコンピューティング研究会]

鳴海 拓志 (東京大学 大学院情報理工学系研究科 講師)

##### [講演概要]

本年度は「バーチャルリアリティ (VR) 元年」という言葉がメディアを賑わし、エンタテインメントを中心にVRの活用が進んだ年でした。VRという没入感の高い映像を提示することで、現実とは切り離された別世界を体験するものというイメージを抱かれがちですが、VRの可能性はそれだけに留まりません。講演者は、触覚、嗅覚、味覚といった五感に働きかけるインタフェースを開発し、人の知覚を編集し、人の行動や気持ちに影響を与える技術を研究してきました。食べ物の見た目を変えることで食べる量を変えてしまう拡張満腹感技術などの研究事例の紹介を通じて、VRを活用した知覚の編集が持つ、現実を変える力の可能性について議論します。



##### [略歴]

2011年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。同大学情報理工学系研究科知能機械情報学専攻助教を経て、2016年より同専攻講師(現職)。バーチャルリアリティや拡張現実感の技術と認知科学・心理学の知見を融合し、限られた感覚刺激提示で多様な五感を感じさせるクロスモーダルインタフェース、五感に働きかけて人間の行動や認知、能力を変化させる人間拡張技術等の研究に取り組む。日本バーチャルリアリティ学会論文賞ほか、受賞多数。

### 研究会推薦：招待講演 (6) 「スマホがあなたのココロの未来を予想する」

#### [モバイルコンピューティングとパーソナライズシステム研究会]

深澤 佑介 (株式会社NTTドコモ サービスイノベーション部 担当課長/東京大学 人工物工学研究センター 客員研究員)

##### [講演概要]

ケータイを持っているだけであなたのココロの未来を予想してくれたらどんなことが起きるでしょう。ココロは常に変化します。何かに夢中になっている時、達成感であふれている時、失敗して落ち込んでいる時期、いやな思いをしている時。特に落ち込んでいるときにはだれかに気付いてほしいものです。モノの中で一番身近なスマホがそのような存在になれることを目指しています。ココロの状態が変化するとき、気づかないうちに日々の活動に表れると思います。スマホでそのような活動の変化が分かればココロの変化に気づけないかと考えています。ビッグデータと最先端の機械学習ロジックを組み合わせ、こんな未来の実現に取り組んでいます。



##### [略歴]

2002年東京大学工学部卒業。2004年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。同年(株)NTTドコモ入社。2011年東京大学大学院工学系研究科博士後期課程修了。同年10月より東京大学人工物工学研究センターにて協力研究員、2016年4月より客員研究員兼任。現在に至る。Webマイニング、パーソナライゼーション、確率モデルに関する研究開発を行っている。IEEE、情報処理学会、人工知能学会各会員。博士(工学)。

## 研究会推薦：招待講演 (7) 「コンピューテーションがつなぐ人とデザイン」

### [ コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究会 ]

小山 裕己 (東京大学 大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻 博士課程)

#### [講演概要]

「便利な」ものや「かっこいい」ものをデザインしたいと思うことはありませんか？本講演では、私が取り組んでいる「コンピューショナルデザイン」(= 計算機科学的な方法論に基づいて人間の行うデザイン活動をモデル化し、拡張し、支援する新しいデザインのパラダイム) を紹介します。デザイン活動を数学的な最適化計算として解釈することで、モノを置くのに便利なホルダーを全自動でデザインしたり、変な形の紙飛行機デザインでもよく飛ぶように賢く調整したり、さらには人間を計算資源として利用する「群衆計算」によってかっこいいデザインを半自動的に探索したりと、様々なことができるようになります。



#### [略歴]

東京大学大学院博士課程に在籍。日本学術振興会特別研究員 (DC1)。コンピューテーションを活用したデザイン支援技術の研究に従事。情報処理学会山下記念研究賞 (2012)、経済産業省 Innovative Technologies (2013, 2014)、情報処理学会 CGVI 研究会優秀研究発表賞 (2012, 2015, 2016) 等受賞。情報処理推進機構 (IPA) 認定未踏スーパークリエイター。

## 研究会推薦：招待講演 (8) 「言葉を「計算」できる世界へ」

### [ 自然言語処理研究会 ]

荒瀬 由紀 (大阪大学 大学院情報科学研究科 准教授)

#### [講演概要]

人間は言葉を使って思考し言葉でアイデアを表現します。しかし言葉はコンピュータにとっては扱いがとても難しいものです。なぜなら言葉はコンピュータが得意とする数値データではなく、記号である単語と、文に現れる構文構造により構成されるからです。さらに言葉には同意や反意の関係があり、また多義性もあります。このような複雑な性質をもつ言葉を数値データであるベクトルで表現する手法が研究されてきました。言葉をベクトル化することで高度な言語処理を簡潔な演算で実現でき、さらに画像データなど様々なデータと統合的に処理できるようになります。本講演では言葉を計算できる世界を目指して取り組んでいる研究について紹介します。



#### [略歴]

2006年大阪大学工学部電子情報エネルギー工学科卒業。2007年同大学院情報科学研究科博士前期課程、2010年同博士後期課程修了。博士(情報科学)。同年、Microsoft Research Asia(北京)に入社。自然言語処理に関する研究開発に従事。2014年より大阪大学大学院情報科学研究科マルチメディア工学専攻准教授、現在に至る。言い換え表現抽出、機械翻訳技術、対話システム研究に興味を持つ。

## 研究会推薦：招待講演 (9) 「自動運転～破壊的創造と創造的破壊～」

### [ 組込みシステム研究会 ]

加藤 真平 (東京大学 大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻 准教授)

#### [講演概要]

自動運転とは、クルマの運転における認知と判断と操作をすべてコンピュータが実行する技術をいう。高速道路に関しては自動車メーカーを中心として、既に2020年に向けた実用化が規定路線となっている。一方、本丸といえる市街地一般道での実用化に向けては、自動車メーカーのみならずIT企業や電機メーカーも市場に参入しようとしており、技術開発競争の熾烈さが増している。自動運転は社会と産業のあり方を変えてしまうかもしれない。その命運を握るのは最先端研究であるということ、そしてそのコア技術と勝者のエコシステムについて、是非多くの方々を知ってもらいたい。



#### [略歴]

2008年慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程修了。博士(工学)。2012年名古屋大学大学院情報科学研究科講師。2013年同研究科准教授。2016年東京大学情報理工学系研究科准教授。現在、オペレーティングシステム、並列分散システム、自動運転システムの研究開発に従事。

## 研究会推薦：招待講演 (10) 「ソフトウェア自動進化への挑戦」

### [ ソフトウェア工学研究会 ]

肥後 芳樹 (大阪大学 大学院情報科学研究科 准教授)

#### [講演概要]

ソフトウェアは一度リリースされてもそれで開発が終わりということはありません。使われている限り機能追加やバグ修正が行われます。現在はもちろん人がこのような作業を行っていますが、人の手を煩わせることなくできるようになると素晴らしいと思いませんか？難しいデバッグをしなくてよくなるし、新しい機能が追加されるのを長く待つ必要がなくなるでしょう。ソフトウェアが人のさまざまな要求に応えながら自動的に進化していく、そんな未来が早く来ればいいなと私は思っています。この講演では、ソフトウェアの自動進化実現に向けた現在までの取り組みを紹介します。



#### [略歴]

2006年大阪大学大学院情報科学研究科修了。博士(情報科学)。日本学術振興会特別研究員、大阪大学大学院情報科学研究科助教を経て、2015年3月より現職。高品質なソースコードを低コストで開発・維持することに興味を持ち、現在は主にソースコードの変更支援や重複コードに関する研究に従事。2015年情報処理学会長尾真記念特別賞、2010年同学会50周年記念論文賞、2007年および2014年同学会論文賞などを受賞。

## 研究会推薦：招待講演 (11) 「ゆるふわコンピュータ」

### [システム・アーキテクチャ研究会]

高前田 伸也 (北海道大学 大学院情報科学研究科 情報エレクトロニクス専攻 准教授)

#### [講演概要]

コンピュータの構成要素の中で、ソフトウェアはやわらかいもの、ハードウェアはかたいものだと、皆さん思っていないですか？今後のコンピュータの性能向上には、FPGA や再構成可能アクセラレータなどの、やわらかいハードウェアとその効率的な設計技術の導入が必須です。そして、このようなやわらかいハードウェアを用いることで、自分だけのカスタムコンピュータを作ることができます。本講演では、現在のアーキテクチャ研究で大注目されている、やわらかいハードウェアを用いたゆるふわコンピュータの実力と魅力を紹介します。また、そのようなハードウェア開発を効率的に、そして楽しく行うためのソフトウェア技術を合わせて紹介します。



#### [略歴]

2014年東京工業大学大学院情報理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。2011年から2014年まで日本学術振興会特別研究員。2014年から2016年まで奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教。2016年から北海道大学大学院情報科学研究科准教授。コンピュータアーキテクチャ、リコンフィギャラブルシステム、高位ハードウェア設計方式に関する研究に従事。Pythonを用いたハードウェア設計ツールをオープンソースにて開発中。

## 研究会推薦：招待講演 (12) 「Door to Doorの輸送サービスを目指した ICT サービス開発」

### [高度交通システムとスマートコミュニティ研究会]

日高 洋祐 (東日本旅客鉄道株式会社 JR 東日本研究開発センターフロンティアサービス研究所 研究員/東京大学 大学院学際情報学府 博士課程)

#### [講演概要]

本講演では、JR東日本におけるICTを活用した研究開発事例について紹介します。リアルタイム列車位置情報、駅構内ナビゲーションシステム、公共交通連携のためのスマートフォン向け情報提供サービスについて紹介し、将来的な公共交通サービスのあるべき姿について共有したいと思います。



#### [略歴]

2005年東京工業大学大学院メカノマイクロ工学専攻卒業。同年東日本旅客鉄道(株)入社。2010年慶応義塾大学SFC訪問研究員を経て、2011年より現職(JR東日本研究開発センターフロンティアサービス研究所)。ICTを活用した交通情報提供サービスの開発に従事。担当件名として、列車位置情報提供システム(JR東日本アプリ)、駅構内ナビゲーションシステム、公共交通情報連携システム等。2014年より東京大学大学院情報学環先端表現学コース(博士後期課程)に在籍。

## 研究会推薦：招待講演 (13) 「高度に発達したシステムの異常は神の怒りと見分けがつかない」

### [インターネットと運用技術研究会]

坪内 佑樹 (株式会社はてな サービス・システム開発本部システムプラットフォーム部 シニアエンジニア)

#### [講演概要]

複雑化したシステムの異常は、まるで神の怒りと表現したくなるような原因不明の現象と見分けがつきません。人は不明な現象に対して後ろ向きになりがちであり、不自由を強いられます。そこで、わたしは、システムを構成する各要素から情報を収集し、システムに何が起きているかを知るための研究開発をしています。システムを知るだけでなく、最終的に、人々がシステムの不自由から解放され、自由に操ることができるようになった先に全く新しいことができるようになるような世界が来ることを信じています。本発表では、無数のサーバの時系列な健康情報を収集し、データベース化する研究について紹介します。



#### [略歴]

株式会社はてなのWebオペレーションエンジニアとして、成長するウェブサービスを支えるインフラ基盤開発に取り組んでいる。2012年大阪大学基礎工学部情報科学科卒業。2013年同大学情報科学研究科修士課程中途退学。同年に(株)はてなに入社。サーバ監視サービスMackerelのサーバ・ネットワーク基盤の設計・構築を担当。2016年以降、同社シニアエンジニア兼システムプラットフォーム部基盤開発チームリーダー。

## 研究会推薦：招待講演 (14) 「髪の毛で音を感じる新しいユーザインタフェース Antenna を世界中のろう者へ届けるために」

### [アクセシビリティ研究会]

本多 達也 (富士通株式会社 グローバルマーケティング本部 総合デザインセンター UIデザイナー)

#### [講演概要]

Antennaは、ヘアピンのように髪の毛に装着し、振動と光によって音の特徴をユーザに伝える新しいユーザインタフェース装置です。「まるで、ねこのヒゲが空気の流れを感じるように、髪の毛で音を感じることできる装置」をコンセプトに、ろう者と協働して開発を試みました。Antennaは、30dB~90dBの音圧を256段階の振動と光の強さに変換して、音の特徴をユーザに伝達します。音源の鳴動パターンをリアルタイムに振動と光に変換することで、音のリズムやパターン、大きさを髪の毛を用いて知覚することができます。本講演では、Antennaの誕生ストーリーとこれからの展望について発表させていただきます。



#### [略歴]

1990年香川県生まれ。大学時代は手話通訳のボランティアや手話サークルの立ち上げ、NPOの設立などを経験。人間の身体や感覚の拡張をテーマに、ろう者と協働して新しい音知覚装置の研究を行う。2014年度未踏スーパークリエータ。第21回AMD Award 新人賞。2016年度グッドデザイン賞 特別賞。現在は、富士通(株)総合デザインセンターにてAntennaの開発に取り組む。

## 研究会推薦：招待講演 (15) 「モンテカルロ法と集積回路設計の接点」

### 【システムとLSIの設計技術研究会】

粟野 皓光 (東京大学 大規模集積システム設計教育研究センター 助教)

#### 【講演概要】

半導体製造技術の発展に伴い、数センチ四方のシリコン片に数十億個ものトランジスタを集積出来るようになった。これほどまでに微細化が進むと、原子レベルの凹凸ですら素子特性を大きくばらつかせてしまう。そこで、現代の集積回路設計では、ばらつきの影響を見積もるため、様々な数学的手法が活用されている。集積回路は社会インフラの要であり、非常に高い信頼性が求められるため（例えばメモリセルに許される故障確率は数百万分の1以下）、設計工程では、極めて稀にしか発生しない不良事象の生起確率を推定しなければならない。本発表では、モンテカルロ法に基づく稀少事象解析に関する最新のアプローチと、回路解析への応用例を紹介する。



#### 【略歴】

2016年京都大学大学院情報学研究所博士課程修了。博士(情報学)。日本学術振興会特別研究員(DC1)。日立製作所中央研究所を経て、2017年から東京大学大規模集積システム設計教育研究センター助教。集積回路の信頼性、計算機援用設計の研究に取り組む傍ら、生物のコミュニケーション解明も趣味で研究している。2015年山下記念研究賞、2016年CS領域奨励賞等を受賞。

## 研究会推薦：招待講演 (16) 「ビックデータ時代の超大規模グラフ処理への挑戦」

### 【ハイパフォーマンスコンピューティング研究会】

岩淵 圭太 (東京工業大学 大学院情報理工学研究所 数理・計算科学専攻 博士課程学生)

#### 【講演概要】

将来、IoTの発展等で膨大な量のデータがスーパーコンピュータ(スパコン)などの大規模システムに流れ込むことが予想され、行われる処理も従来の計算中心のものとは大きく異なり、膨大な量のデータから新たな知見や洞察を抽出するための複雑なデータアクセスを伴った処理となる。その代表例として、WebやSNSの解析、脳や人工知能まで、ものどもの「関係」に着目したグラフを用いた処理に注目が集まっており、さらにその問題サイズは数百万～数兆要素へと非常に巨大なものとなる。本講演では、超大規模グラフ処理に関する研究について、特にその膨大な量のデータをどのようにスパコン上で格納・保持するかについてを中心に紹介する。



#### 【略歴】

2014年東京工業大学大学院情報理工学研究所数理・計算科学専攻 修士課程修了。同年より、同専攻の博士課程に在学しながら、米ローレンスリバモア国立研究所にて複数回インターンシップを経験。大規模グラフ処理に関する研究に従事。日本学術振興会特別研究員(DC2)。2014年度情報処理学会山下記念研究賞、2016年度同学会コンピュータサイエンス領域奨励賞受賞。

## 研究会推薦：招待講演 (17) 「歴史学の情報 part3 ～読めない文字への挑戦～」

### 【人文科学とコンピュータ研究会】

未代 誠仁 (桜美林大学 総合科学系 専任講師)

#### 【講演概要】

日本の古文書には、私たちが知らない昔の人の暮らしや考え方、社会の仕組みなどの情報がたくさん書かれています。しかし、多くの文字が私たちにとって読めない「くずし字」であったり、文字の一部が欠けていたりして、せっかくの情報をうまく読み出せません。私は、パターンマッチングの技術を活用したMOJIZOというWebアプリケーションを開発しています。MOJIZOに文字の画像を入力すると、類似した古文書の文字画像を表示します。MOJIZOは、古文書を自動で読むことはできません。でも、表示した文字画像が古文書解読のヒントになるかもしれません。人とコンピュータの新しい協力関係を築く一つの研究についてご覧ください。



#### 【略歴】

2004年3月東京農工大学大学院工学研究科電子情報工学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。東京農工大学産官学連携・知的財産センター研究員、同大学共生科学技術研究院助手、助教、同大学大学院工学府特任准教授を経て、2010年度から桜美林大学総合科学系専任講師。手書き文字認識に関連する技術の歴史学/教育学分野への応用に関する研究に従事。日本情報考古学会2008年度論文賞、情報処理学会コンピュータと教育研究会SSS2009奨励賞、情報処理学会2012年度山下記念研究賞受賞。

## 2016年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～

3月16日(木) 9:30 - 12:00 [第1イベント会場(坂田平田ホール)]

#### 【セッション概要】

昨年度、人工知能の知的財産、ロボット法が大きな関心を生んだ。知的財産や社会基盤との関係は、情報技術においてますます重要な視点になっている。本パネル討論ではそうした情報技術と法の問題を扱い今年で設立19年になるEIP研究会より、技術者の立場と、法律や政策などを研究する社会科学の研究者のそれぞれの立場から対策や技術の健全な発展手法について意見を述べ合うものとする。パネルでは、2016年度に比較的大きく報じられた事件を中心に討論する。さらに必要に応じて、本年度の問題だけに留まらず過去の事件や近いうちに問題となるであろう事象も扱うこととしたい。

### 9:30-12:00 パネル討論「2016年サイバー事件回顧録～技術と法制度の両面から～」

#### 【討論概要】

2017年3月までに起きた、サイバー空間やITに関する様々な事件、問題、法律改正などについて多様な専門家からそれぞれの立場で意見を述べてもらう。・自動運転車の事故を教訓に、ロボットやAI(人工知能)に関する問題。・後を絶たない個人情報漏洩事件やネットワークへの侵入、その手段として使われる標的型攻撃を始めとする様々なサイバー攻撃。・個人情報保護法・行政機関個人情報保護法等の改正に伴う、パーソナルデータの保護と利活用。・TPPの知財条項が与える影響。・2020年に控えたオリンピックを見越したサイバーインフラ防衛のありかた。・IoTやM2Mの普及のために必要なことは何か。・その他、情報処理学会に関連する分野の様々な事件や裁判例。等々を扱う予定。



**司会：須川 賢洋（新潟大学 法学部 助教）**

**【略歴】**

新潟大学大学院法学研究科修了。修士（法学）。専門はサイバー法で、コンピュータ犯罪、デジタル知的財産、情報セキュリティ制度、デジタル・フォレンジックなど、先端技術と法律の関係を中心に研究。共著に「ITセキュリティカフェー見習いコンサルの事件簿」（丸善）、「実践的 e ディスカバリー米国民民事訴訟に備える」（NTT 出版）、「デジタル・フォレンジック事典」（日科技連）など。



**パネリスト：原田 要之助（情報セキュリティ大学院大学 情報セキュリティ研究科 教授）**

**【略歴】**

1954 年京都生まれ。1979 年京都大学大学院工学部数理工学専攻修了。電信電話公社（現 NTT）の研究所で通信ネットワークの監視、制御システムを開発。1999 年から情報通信総合研究所にてセキュリティコンサルやセキュリティ監査に従事。大阪大学工学部大学院工学研究科の特任教授を経て 2010 年より現職。2000 年から 2009 年まで OPCW（化学兵器禁止機関）の情報セキュリティ監査のチームリーダーを務める。経産省の IT 関連の委員会の委員、2008 年から 2010 年まで ISACA（情報システムコントロール協会）国際本部副会長、セキュリティマネジメント学会常任理事、日本 IT ガバナンス協会理事なども歴任。2016 年より日本セキュリティマネジメント学会会長。



**パネリスト：板倉 陽一郎（ひかり総合法律事務所 弁護士）**

**【略歴】**

2002 年慶應義塾大学総合政策学部卒。2004 年京都大学大学院情報学研究所社会情報学専攻修士課程修了。2007 年慶應義塾大学法務研究科（法科大学院）修了。弁護士（ひかり総合法律事務所）。2016 年 4 月よりパートナー弁護士。2010 年 4 月より 2012 年 12 月まで消費者庁に出向（消費者制度課個人情報保護推進室政策企画専門官）。情報ネットワーク法学会理事、情報処理学会電子化知的財産・社会基盤研究会幹事、第二東京弁護士会国際委員会副委員長、経済産業省、総務省、スポーツ庁等の有識者委員等を現任。主な取扱分野はデータ保護法、IT 関連法、知的財産権法等。



**パネリスト：金子 格（東京工芸大学 工学部コンピュータ応用学科オーディオビジュアルメディア研究室 准教授）**

**【略歴】**

1980 早稲田大学卒。2004 博士（情報科学）。(株)アスキーにてパソコンシステムソフトウェア、システム LSI、ASIC、ゲーム機ソフトウェアの開発に従事。その後グラフィックスコミュニケーションラボラトリーで MPEG 標準化の策定等に従事。SC29/WG11 オーディオ小委員会幹事、SC29/WG11 システム小委員会主査等を歴任。2004 年より東京工芸大学准教授。



**パネリスト：加藤 尚徳（株式会社 KDDI 総合研究所 フューチャーデザイン 1 部門 3 グループ）**

**【略歴】**

(株) KDDI 総研において、情報法制（プライバシー・個人情報等）を中心とした法制度や技術の調査・研究・コンサル業務に従事。また、大学の非常勤講師として、情報法、知的財産法、情報セキュリティに関する講義を担当している。総合研究大学院大学複合科学研究科情報学専攻単位取得満期退学、修士（情報学）、神奈川大学および神奈川工科大学非常勤講師、(一財)情報法制研究所研究員・理事長補佐、情報ネットワーク法学会理事、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員。



**パネリスト：折田 明子（関東学院大学 人間共生学部 コミュニケーション学科 准教授）**

**【略歴】**

2007 年慶應義塾大学にて博士（政策・メディア）取得。中央大学ビジネススクール助教、慶應義塾大学特任講師、米国ケネソー州立大学 Visiting Assistant Professor、関東学院大学人間環境学部専任講師を経て現職。インターネット利用における匿名性、プライバシー、若年層に対するリテラシー教育に関する研究に従事。

## 将来の情報学リーダーが創造する新しい価値 3月17日（金）9:30 - 12:00 [第1 イベント会場（坂田平田ホール）]

**【セッション概要】**

日本学術振興会「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成する博士課程前期・後期一貫の学位プログラムです。本イベント企画では、複合領域型（情報）に属し、平成 25 年度に採択された 4 つのプログラムにおける取り組みと成果を紹介し、将来の情報学リーダーとして期待されるプログラム履修者が創造する新たな経済的価値、学術的価値、そして政治的価値について言及します。



**司会：平山 高嗣（名古屋大学 大学院情報科学研究科メディア科学専攻 特任准教授）**

**【略歴】**

2005 年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。同年より京都大学大学院情報学研究科特任助教。2011 年より名古屋大学大学院情報科学研究科特任助教。同助教を経て、2014 年より名古屋大学博士課程教育リーディングプログラム「実世界データ循環型リーダー人材養成プログラム」特任准教授。コンピュータビジョン、ヒューマンビジョン、ヒューマンコンピュータインタラクションに関する研究に従事。

9:30-9:35

**オープニング**

## 9:35-9:50 講演 (1) 「超大規模脳情報を高度に技術するブレイン情報アーキテクトの育成」

### 【講演概要】

豊橋技術科学大学博士課程教育リーディングプログラム「超大規模脳情報を高度に技術するブレイン情報アーキテクトの育成」の履修生は、私たちのあらゆる感覚、知覚、行動を司る超大規模な脳情報に対し、直接的な計測、心理物理学のアプローチ、モデリングを用いることで、脳科学の様々な課題解決に挑みます。同時に、この脳に学んだ新規の原理を次のサイエンスに活かし、テクノロジーに展開できる能力をもつ人材として、国内外で活躍することを目指しています。講演では、これまでに本学博士課程リーディングプログラムが行ってきた、ブレイン情報アーキテクトの育成のため独自の活動について報告します。



田村 秀希 (豊橋技術科学大学 大学院工学研究科情報・知能工学専攻視覚認知情報学研究室)

### 【略歴】

2012年大島商船高等専門学校情報工学科卒業、2014年豊橋技術科学大学情報・知能工学課程卒業、2016年同大学院情報・知能工学専攻博士前期課程修了、同年4月同大学院情報・知能工学専攻博士後期課程入学、同大学院博士課程教育リーディングプログラム履修生、及び日本学術振興会特別研究員(DC1)、APCV 2014 Best Student Presentation Award, VSS 2015 The Best Student Poster Awardsを受賞。Vision Sciences Society Predoctoral Member。日本視覚学会学生会員。ヒト視覚系の質感認知メカニズムに関する研究に従事。



関 博史 (豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 情報・知能工学専攻 自然言語処理研究室)

### 【略歴】

2012年香川高等専門学校詫間キャンパス情報工学科卒業、2014年豊橋技術科学大学情報・知能工学課程卒業、2016年同大学院情報・知能工学専攻博士前期課程修了。現在、同大学院情報・知能工学専攻博士後期課程在学中。博士課程教育リーディングプログラム「ブレイン情報アーキテクトの育成」履修生。日本音響学会学生会員。自動音声認識システムの開発に関する研究を行い、現在はディープラーニングを用いた音響モデリングの研究に従事。

## 10:05-10:35 講演 (2) 「実体情報学博士プログラム～機械と情報の融合の場～」

### 【講演概要】

実体情報学博士プログラムでは、機械と情報通信の融合学として「実体情報学」を構築し、イノベーションを先導するグローバル人材の育成を目指しています。異分野の学生の交流・相互研鑽の場である「工房」でのこれまでの活動から生まれた開発事例を紹介します。

### 【個別研究紹介】

金井：宇宙船の火星や地球着陸時に使用されるパラシュートの数値解析を行っています。パラシュートは実験による正確な航行条件の再現が難しく、正確な性能を評価することは困難な状況にあります。設計支援のための数値解析の研究について発表します。

鈴木：私たちの便利で豊かな情報社会を支える音声処理、画像処理、センシングデバイスなどの技術を活用して、自分にとって、社会にとって新しい価値を創出するソフトウェアを誰もが手軽に開発できれば素敵です。インタラクションのためのプログラミングツール「Siv3D」はそんな未来を先取りします。



鈴木 遼 (早稲田大学 基幹理工学研究科表現工学専攻長研究室)

### 【略歴】

早稲田大学基幹理工学研究科表現工学専攻、長研究室所属(博士後期1年)。2013年度IPA未踏IT人材発掘・育成事業採択、同年度スーパークリエイター認定。プログラミングを楽しく簡単にする、インタラクションのためのプログラミングツール「Siv3D」を開発。



金井 太郎 (早稲田大学 大学院創造理工学研究科総合機械工学専攻滝沢研究室)

### 【略歴】

早稲田大学大学院創造理工学研究科総合機械工学専攻博士後期課程在学中。2014年よりリーディング大学院実体情報学博士プログラムに所属。2016年から日本学術振興会特別研究員(DC1)。2014年日本機械学会若手優秀講演フェロー賞。2015年計算工学講演会グラフィクスアワード最優秀賞。日本機械学会、日本計算工学会会員。

## 10:40-11:10 講演 (3) 「人々の身体的・社会的インタラクションをエンパワーする拡張生体技術」

西田 惇 (筑波大学 グローバル教育院 人工知能研究室)

### 【講演概要】

本講演では、人の自立を支援し、人々の生活の質を向上させる新しいインタラクションとこれを実現する拡張生体技術について紹介する。運動覚体験の融合に基づく身体性共有とリハビリ支援や、身体性変換に基づく小児の身体性の再現とデザイン支援といった、人々の相互理解を支援するウェアラブルデバイスについて述べる。エンパワー(Empower)とは人に能力や権限を与えるという意味であり、これまで個人や集団が潜在的な能力を発揮することを可能にする社会を実現しようという社会的な意味で用いられてきた。ここでは人々の残存機能の最大活用と主体的なインタラクションの保存に着目した新たな情報学を提唱し、その展望について述べる。



### 【略歴】

2014年筑波大学理工学群工学システム学類卒業。現在同大学院グローバル教育院一貫制博士課程エンパワーメント情報学プログラム在学中。2016年より日本学術振興会特別研究員(DC1)。ヒューマンコンピュータインタフェース、拡張生体技術、ウェアラブルデバイスに関する研究に従事。受賞: Microsoft Research Asia Fellowship Award, IEEE VR Honorable Mention, 筑波大学長表彰他 35件。

11:10-11:50 講演 (4) 「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」  
長江 祐樹 (名古屋大学 大学院工学研究科結晶材料工学専攻 博士課程後期課程 1年)

【講演概要】

昨今、ビッグデータや人工知能が学術領域・ビジネスへ応用され始めている。「実世界データによる社会価値創出」を可能とするリーダー人材の輩出を目指す教育プログラムの履修生の立場から、研究・事業・グローバル経験の3トピックに沿って講演する。研究は主専攻の材料科学領域への応用について、近年着目されているマテリアルズインフォマティクスプロジェクトについて紹介する。また、本プログラムで得た知見を土台にして2016年6月に立ち上げたスタートアップ事業についても、本プログラムとの関係性を中心に述べる。また「産学官にわたりグローバルに活躍するリーダー」育成のための海外研究支援の取り組みについても、自らの経験に基づいて話題提供を行う予定である。



【略歴】

2016年名古屋大学大学院工学研究科結晶材料工学専攻博士課程前期課程修了。同年より、同大学院博士課程後期課程在学。2014年より博士課程教育リーディングプログラム「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」1期生として活動。第一原理計算（計算物性物理）と機械学習（情報科学）の異分野融合を土台にした材料探索研究に従事。現在、立石科学研究助成を受けて「無給電センサデバイス」を応用を見据えた、環境調和型センサモジュールの開発研究を遂行中。同年6月より名古屋大学発ベンチャー・(株) Tryeting 代表取締役 CEO として人工知能を用いた人材分析・マッチングサービスに従事。応用物理学会、日本金属学会、データサイエンティスト協会会員。

橋川 雄樹 (名古屋大学 大学院 情報科学研究科 情報システム学専攻 枝廣研究室 博士課程後期課程 1年)

【講演概要】

自動運転は将来の人々のモビリティを変えようとする技術として注目され、多くの企業、研究機関で研究開発が進められている。我々の研究室では、オープンソース自動運転ソフトウェア「Autoware」の開発を進めており、市街地における実証実験にも取り組んでいる。自動運転を実現する上で欠かせない要素が高精度3次元地図である。高精度3次元地図は、自動運転車両の位置推定や行動計画に用いられる。本講演では、データ循環に基づく、自動運転車両から得られるデータを用いた大規模高精度3次元地図の作成・更新技術について述べる。



【略歴】

2014年名古屋大学工学部電気電子・情報工学科卒業。2016年名古屋大学大学院情報科学研究科情報システム学専攻博士前期課程修了。現在同博士後期課程在学中。博士課程教育リーディングプログラム「実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム」1期生。大学発ベンチャー (株) マップフォー代表取締役。自動運転の位置推定・地図作成技術に関する研究に従事。

松下 健 (名古屋大学 情報科学研究科 計算機数理論理学専攻 柳浦研究室)

【講演概要】

所属する名古屋大学博士課程リーディングプログラム「実世界データ循環学リーダー育成プログラム」に2年間所属したことで、得られた様々な経験と価値、成長した部分について触れさせて頂くとともに、その活動が、現在の自分で起業した会社とどのように結びついてきているのか、について報告させていただきます。また、周りのメンバーとの環境であったり、得られた海外経験、今後の自分の目指す姿、リーディングプログラムの進む道のイメージなどについてもご報告させていただきます。



【略歴】

2015年名古屋大学情報文化学部自然情報学科卒業。同年、名古屋大学大学院情報科学研究科計算機数理論理学専攻入学。専門は組合せ最適化、オペレーションズ・リサーチ。現在、博士課程前期2年。また、名古屋大学博士課程データ循環学リーディングプログラムに参画。ベンチャー企業・(合) オプティマインドを立ち上げ、教育、講演会向けシステムの販売、ならびに新サービスの開発に従事。

11:50-12:00 クロージング

情報通信技術が先導するオープンイノベーション  
3月17日 (金) 13:00 - 15:00 [第1イベント会場 (坂田平田ホール)]

【セッション概要】

我が国の産業界においては、従来、必要な技術は自社開発すべきという考え方が強かったが、情報通信技術の急速な進化により、そのような自前主義では急速な技術革新に取り残されるという認識が広がっており、オープンイノベーションの必要性が高まっている。第5期科学技術基本計画においても、情報通信技術の進化がもたらす大変革時代における知識・価値の創造プロセスとして、オープンイノベーションに着目している。このセッションでは、国 (ファンディングエージェンシー) および産業界の立場から、情報通信技術分野を中心とするオープンイノベーションに対する認識と取り組みについて紹介する。



司会：高田 広章 (名古屋大学 未来社会創造機構 / 大学院情報科学研究科 教授)

【略歴】

名古屋大学未来社会創造機構教授。東京大学助手、豊橋技術科学大学助教授等を経て、2003年より名古屋大学大学院情報科学研究科情報システム学専攻教授。2006年4月より附属組込みシステム研究センター長を兼務。2014年より現職。博士 (理学)。組込みシステム開発技術の研究に従事。オープンソースのリアルタイム OS 等を開発する TOPPERS プロジェクトを主宰。名古屋大学発ベンチャー企業 APTJ (株) を設立し、その代表取締役会長・CTO を務める。

13:00-13:40 講演 (1) 「オープンイノベーションの展開と大学への期待」  
後藤 吉正 (国立研究開発法人 科学技術振興機構 理事)

【講演概要】

オープンイノベーションは新しい概念ではなく、特定の業界では活発に実践されてきた。しかし、近年のわが国でのオープンイノベーションの動向は次の2つの特徴がある。①産業界が大学を研究パートナーとして位置づけ、従来は企業内で実施していた研究を大胆に大学に依拠しようとする動向である。②多数の企業がオープンイノベーションに動いている。これらを促進する国の政策や産業界の提案も少なくない。講演者は、企業、大学を経て、現在は、科学技術振興機構 (JST) で、大学や公的研究機関に研究資金を提供する業務を担当している。JST は、アカデミアの研究資金を供給する国内の主要な研究ファイディング機関の一つである。企業や大学での経験を踏まえ、研究ファイディング機関の視点から見た、わが国のオープンイノベーションの進展を踏まえ、今後一層に進化するための条件や課題を考察する。特に、大学への期待や大学に迫られた課題を検討する。



【略歴】

1979年3月名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程修了。1993年9月同博士後期課程修了。博士 (工学)。1981年2月松下電器産業 (株) (現パナソニック (株))。1985年7月カーネギーメロン大学コンピューターサイエンス学科客員研究員 (1988年3月まで)。2001年12月松下電器産業 (株) 経営企画グループチームリーダー。2003年9月同 R&D 知的財産権センター所長。2008年4月同上席理事 (国際標準化及び知的財産担当)。2012年4月国立大学法人名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部教授。2015年10月国立研究開発法人科学技術振興機構理事。2016年3月立命館大学大学院博士後期課程修了博士 (技術経営)。

13:40-14:20 講演 (2) 「39Works: ドコモにおける オープンイノベーションプログラムの紹介」  
栄藤 稔 (株式会社 NTT ドコモ イノベーション統括部 執行役員 部長)

【講演概要】

大企業では、イノベーションは起きないと通説ができつつある。どの企業も創業期は情熱とリスクへの挑戦があったはずだが、成長すると、既存事業維持を目標とする管理エリート集団に変貌してしまう。この状況を打破するには、もういちど0から1を生む組織と文化を作るしかない。この観点で NTT ドコモの 39works というイノベーション創出プログラムを紹介する。この 39Works では、企業内外に関係なく起業家集団を作ること、企業内にある政治、慣習、既存エコシステムのしがらみから逃れて、事業企画、技術開発、サービス運用を一体として行うことに特徴がある。事例を持って前述の通説を打破したい。



【略歴】

3年毎にやることが変わる技術屋。学生時代は Z80 で並列コンピュータ試作する計算機研究。パナソニックに就職と共にデジタル VCR 試作。3年後 ATR に出向。役に立たない非単調推論、知識構造表現を研究。ATR から大学に行き、パターン認識と機械学習の研究を2年間。これで学位取得。今起きている AI ブームに対応できる素養となった。パナソニックに戻り動画像符号化を始め MPEG 標準化のリーダー。2000年にドコモに転じ、モバイルマルチメディアを担当。そのとき Apple と組んで定めたファイル形式が MP4。自称 iPod の外祖父。2002年末にシリコンバレーに異動となり、モバイルインターネット。一方で、標準化活動で MPEG のエミー賞受賞に貢献。2005年に日本に戻り、分散音声認識を商用化。2007年にデータマイニングを立ち上げ、並列分散ベタバイトデータベースを構築。この活動がその後10年に渡って起こるドコモのビックデータによるイノベーションの原点となった。自然言語処理応用をデータ量と並列計算システムで解決するアプローチを実践。これは「しゃべってコンシェル」で具現化。現在は自動翻訳の商用化やクラウド利用による開発手法の変革、さらにマイクロサービスなど R & D の再定義に挑戦している。twitter ID は「mickbean」。詳しい略歴は以下を参照のこと。http://www.linkedin.com/in/micketoh

14:20-15:00 講演 (3) 「トヨタ自動車におけるオープン・イノベーション『名古屋 COI の取り組み』」  
畔柳 滋 (トヨタ自動車 未来開拓室 担当部長 / 名古屋大学 名古屋 COI 拠点 拠点長)

【講演概要】

超高齢化の進む日本において、名古屋 COI 拠点は「多様化・個別化社会イノベーション拠点」として、すべての人が地域差・個人差なくいつまでも社会の現役として活躍できる社会の実現に向けて、高齢者が自らの意思でいつでもどこでも移動できる「高齢者が元気になるモビリティ社会」の構築をビジョンに掲げ、産官学連携での革新的イノベーションを創出すべく研究開発を推進しています。チャレンジングな研究開発課題を克服するために、アンダーワンルーフで大学・企業・行政の関係者が一体となって議論し大学や企業だけでは実現できない研究開発に取り組み、プロトタイプングや実証実験も活用しながら確実にイノベーションを創出していきます。スピーディな社会実装に向け新たな共同研究機関の参画により拠点活動を活性化しつつあります。このスタイルは今後のオープン・イノベーションにおける産官学連携のグランドデザイン構築につなげていきます。本講演では、トヨタ自動車におけるオープン・イノベーションの1つである名古屋 COI の取り組みにつきご紹介いたします。



【略歴】

1983年慶應義塾大学工学部を卒業。同年、トヨタ自動車 (株) に入社。パワートレイン電子制御システムの先行・量産開発を担当。近年は電子プラットフォーム主査として電子システム全体のアーキテクチャ及び要素技術開発の企画を担当し、2009年より制御システム基盤開発部部長として次世代制御開発の革新的なプロセス構築およびツール開発を推進。同年、(一社) JASPAR 運営委員長に就任。2016年4月より現職。

## 5th IPSJ SamurAI Programming Contest SamurAI Coding 2016-17 World Final 3月17日(金) 15:10 - 17:40 [第1イベント会場(坂田平田ホール)]

### [セッション概要]

情報処理学会では2012年度より、新たな取り組みといたしまして、昨今のインターネット産業の急速な発展によるエンジニアの質と量の確保がますます重要となるなか、若い世代から将来第一線の研究者や開発者になりうる、また世界市場を舞台に活躍できる人材を育てることを開催の目的として、AIプログラミングコンテスト、IPSJ International AI Programming Contest "SamurAI Coding"を開催しております。今年度もSamurAI Coding 2016-17を開催いたします。 <http://samuraicoding.info/>



コンテスト・司会：鷺崎 弘宜(早稲田大学 グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所 所長)

### [略歴]

早稲田大学グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所所長、国立情報学研究所客員教授、(株)システム情報社外取締役、2015年Ecole Polytechnique de Montreal, Visiting Professor、博士(情報科学)、ソフトウェアや情報システムの研究、教育、社会実装に従事、他の活動にISO/IEC/JTC 1/SC 7/WG 20 Convenor、IEEE Computer Society Japan Chapter Chair、SEMATECH Japan Chapter Chair、IEEE ICST 2017 PC Co-Chair、IEEE CSEE&T 2017 PC Co-Chair、G7 Programming Learning Summit 実行委員長ほか。

18:00-20:00

**SamurAI Coding 2016-17 懇親会**

懇親会・司会：鷺崎 弘宜(早稲田大学 グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所 所長)

## メタサイエンスとしての情報学をつくる 3月18日(土) 9:30 - 12:00 [第1イベント会場(坂田平田ホール)]

### [セッション概要]

日本学術会議は、情報技術による急激な社会変動、情報の専門性を涵養する教育への要求に応え、情報学分野の参照基準を2016年3月にとりまとめた。そこでは、情報学の目的を「情報によって世界に意味と秩序をもたらすとともに社会的価値を創造すること」とし、諸科学を広く覆う「メタサイエンス」としての情報学の側面を重視している。一方、2017年4月に新設される名古屋大学情報学部・情報科学研究科は、情報科学技術を活用した問題解決と価値創造を実現するための情報学の創出と人材の育成を目的とする。本イベントの前半では、参照基準制定のとりまとめをされた萩谷先生をお招きして、情報学の新しい基軸を示していただいた後、新部局をケーススタディとして位置づける。後半では、分野を超えるメタサイエンスとしての情報学の可能性について、技術、社会、哲学の最新の題材に基づいて考察する。最後に、本学会副会長の東野先生に総括と今後の展望を示していただく。



司会：有田 隆也(名古屋大学 大学院情報科学研究科複雑系科学専攻 教授)

### [略歴]

1983年東京大学工学部計数工学科卒業。1988年同大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。名古屋工業大学講師、カリフォルニア大学ロサンゼルス校客員研究員を経て、現在、名古屋大学大学院情報科学研究科教授(情報文化学部兼務)。人工生命や情報科学の研究に従事。進化ダイナミクス、仮想生態系、言語進化等に興味を持つ。情報処理学会、人工知能学会、電子情報通信学会、日本認知科学学会等の会員。

9:30-9:35

趣旨説明

9:35-10:05

**招待講演「情報学 2020」**

萩谷 昌己(東京大学 大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻 教授)

### [講演概要]

日本学術会議は、情報学分野の参照基準を2016年3月に公開した。この参照基準は、日本学術会議の分野別委員会の一つである情報学委員会のもとにある情報科学技術教育分科会が、情報処理学会情報処理教育委員会の協力のもとに、策定したものである。特にその知識の体系は、現存の大学教育と学術コミュニティを踏まえたものになっており、本来一つであるべき項目が、いくつかの分野に分かれていたり、大項目であるべきものが小項目であったりするなど、決して理想的な形にはなっていない。また、社会的価値を創造することを目的と謳っているにもかかわらず、そのための原理が明確なものとして知識体系には含まれていない。いうなれば、教育と学術の現状と妥協している側面があることは否めない。本講演では、情報学分野の参照基準について振り返り、その基本的な考え方を解説するとともに、その理想的な形について講演者個人の考えを述べたい。なお、2020は単に将来を象徴的に意味しており、2020に改訂を計画するというわけではない。



### [略歴]

1982年3月東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。1982年4月京都大学数理解析研究所助手。1988年3月京都大学理学博士。1988年10月京都大学数理解析研究所助教授。1992年4月東京大学理学部助教授。1993年4月東京大学大学院理学系研究科助教授。1995年11月東京大学大学院理学系研究科教授。2001年4月～東京大学大学院情報理工学系研究科教授。2010年4月～2013年3月東京大学大学院情報理工学系研究科研究科長。2011年10月～日本学術会議会員。

10:05-10:35

**基調講演「新設する名古屋大学情報学部・情報科学研究科の教育理念」**

北 栄輔(名古屋大学 大学院情報科学研究科 教授)

### [講演概要]

名古屋大学情報学部・情報科学研究科は平成29年4月に設置される。学部・研究科の教育理念、教育カリキュラム、カリキュラムと情報学の参照基準との関連について述べる。続いて、カリキュラムの特徴、学科編成、専攻編成などについても紹介する。



### [略歴]

1991年、名古屋大学大学院工学研究科博士課程後期課程修了。同大学助手、講師、助教授、准教授を経て、2009年より名古屋大学大学院情報科学研究科、教授。IEEE、情報処理学会、日本機械学会、電子情報通信学会、人工知能学会、等会員。

10:40-11:05 講演 (1) 「越える情報学1：自動運転の技術と展望」  
竹内 栄二郎 (名古屋大学 情報科学研究科メディア科学専攻武田研究室 准教授)

【講演概要】

近年自動運転技術がメディアに多く取り上げられるようになってきている。そもそも自動運転の研究自体は歴史が長く、今に始まった話ではない。近年メディアで取り上げられるようになったのは計算機やセンサ、それらを活かすアルゴリズムの研究、およびインテグレーション技術等が発展し、全体のパフォーマンスがある種の閾値を超えたからであろう。自動運転技術の発展には、ロボティクスや AI 研究等様々な情報処理技術の発展が不可欠である。本講演では、自動運転技術を支えるロボティクスや近年の自動運転研究、名古屋大学での自動運転研究の取り組み等を紹介し、今後自動運転技術が超えるべき関やその先にもたらす社会の展望について述べる。



【略歴】

2008年東北大学助教、2014年名古屋大学未来社会創造機構特任准教授、2016年名古屋大学情報科学研究科准教授、現在に至る。移動ロボットの自律化や自動車の運転支援に関する研究に従事。日本機械学会、日本ロボット学会、計測自動制御学会、IEEE 各会員。

11:05-11:30 講演 (2) 「越える情報学2：計算社会科学の最前線」  
笹原 和俊 (名古屋大学 大学院情報科学研究科 助教)

【講演概要】

オンライン・コミュニケーションが日常化した今日、ビッグデータに潜在する「行動の痕跡」を取得・処理し、分析・モデル化して、オフライン（実世界）の人間行動や社会現象を定量的に理解しようとする計算社会科学（Computational Social Science）という新しい学際領域が誕生し、今注目を集めている。本発表では、計算社会科学の最新動向を概説した後、ソーシャルセンサーの集合現象、エコリーチェンバーの社会問題、ソーシャルメディアを用いた道徳基盤の検証など具体的な研究事例を紹介する。最後に、「ビッグデータ×情報技術×数理」が可能にする新しい人間・社会の分り方の可能性と計算社会科学の展望について述べる。



【略歴】

2005年東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。理化学研究所脳科学総合研究センター研究員、日本学術振興会特別研究員 PD、FIRST 合原最先端数理モデルプロジェクト研究員を経て、2012年より名古屋大学大学院情報科学研究科助教。2016年4月からインディアナ大学客員研究員、2016年12月から JST さきがけ研究者を兼任。博士（学術）。

11:30-11:55 講演 (3) 「越える情報学3：人間と情報技術の関わり方の哲学」  
久木田 水生 (名古屋大学 大学院情報科学研究科 准教授)

【講演概要】

テクノロジーは人間と世界との間の「媒介」である。人間はテクノロジーを介して世界を知覚、認識、解釈し、そしてテクノロジーを介して世界に働きかける。この意味では、テクノロジーは私たちの認識能力・行動能力の一部である。だとすればテクノロジーが変化することは私たちの世界認識の仕方が変わることであり、そして私たちの世界への働きかけ方が変わるということである。一言で言うとそれは私たちにとって「世界とは何か」、「人間とは何か」を規定する。近年の情報技術の急激な発展は、私たちと世界、そしてそこに含まれる他者との関係を劇的に変える可能性を持っている。そしてそのことは私たちの世界観や人間観、価値観をも大きく変えるだろう。本発表では情報技術の発展が私たちにどのような変化をこれまでにもたらしてきたか、現在もたらしつつあるか、そして将来もたらさうかを考察する。



【略歴】

2005年、京都大学大学院文学研究科思想文化学専攻博士課程修了。文学博士。2014年より名古屋大学大学院情報科学研究科准教授。専門は言語哲学、技術哲学、技術倫理。記号を用いたコミュニケーションにおける意味の創発を中心的なテーマとしている。また近年は特にロボット工学と人工知能に関する哲学的倫理的問題について考察している。

11:55-12:00 総括 「総括と今後の展望」  
東野 輝夫 (大阪大学 大学院情報科学研究科 教授)



【略歴】

1986年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。工博。同年同大学助手。2002年より大阪大学大学院情報科学研究科・情報ネットワーク学専攻・教授。モバイル・ユビキタスコンピューティングに関する研究に従事。日本学術会議会員。本会副会長。日本学術振興会・学術システム研究センター・主任研究員（2013-2016）、本会理事、監事などを歴任。

コンピュータは、どんな作品を生み出していくのだろうかー人工知能と創造性  
3月18日（土）13:00 - 15:00 [第1 イベント会場（坂田平田ホール）]

【セッション概要】

人工知能技術を利用して、小説・音楽・アートといった芸術分野の作品を「創作」させる取り組みは、もはや珍しくなくなった。本イベントでは、芸術作品の自動生成・自動創作を対象とした人工知能研究についてご報告いただき、その現状について理解を深める。現在、どうやってコンピュータは作品を作っているのか、それは「創作」と呼べるのか、もし呼べるのであればその創作主体は誰なのか、併せて、今後問題となると考えられている、コンピュータを利用して作成された作品等の著作権の扱いについて、法改正に向けた議論の現状についてご報告いただく。



司会：佐藤 理史 (名古屋大学 大学院工学研究科電子情報システム専攻 教授)

【略歴】

1988年京都大学大学院工学研究科博士後期課程電気工学第二専攻研究指導認定退学。京都大学工学部助手、北陸先端科学技術大学院大学助教授、京都大学大学院情報学研究科助教授を経て、2005年より名古屋大学大学院工学研究科教授。工学博士。自然言語処理、人工知能の研究に従事。

13:00-13:05 開催趣旨説明

13:05-13:30 講演 (1) 「人工知能と小説」

松原 仁 (公立はこだて未来大学 システム情報科学部 複雑系知能学科 副学長・教授)

【講演概要】

従来の人工知能はもっぱら既存の(むずかしい)問題をコンピュータに解かせることを目指してきた。いわば知能の理性的な側面を実現しようとしてきたのだが、それがある程度達成できた現在は知能の感性的な側面の実現に取りかかる時期と考える。そこでコンピュータに小説を創作させるプロジェクトを立ち上げた。星新一氏のショートショートを手本にして彼のような作品をコンピュータに作らせることを目標としている。まだ目標の達成までは遠いが、人間とコンピュータが共同で創作した作品が第3回の星新一賞という文学賞で一次審査を通過した。ここではこのプロジェクトを通じて浮かび上がってきた、コンピュータに小説を書かせるというのはどういうことか、小説における独創性をどう考えるか、小説の良し悪しの評価をどう考えるかなどについて議論する。



【略歴】

1986年東大大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。同年通産省工技院電子技術総合研究所(現産業技術総合研究所)入所。2000年公立はこだて未来大学教授。2016年同副理事長。人工知能、ゲーム情報学、観光情報学などに興味を持つ。人工知能学会前会長、本会理事。

13:30-13:55 講演 (2) 「人工知能と音楽」

嵯峨山 茂樹 (明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科・大学院先端数理研究科 現象数理学専攻 専任教授)

【講演概要】

音楽分野と人工知能の関わりに関して、我々の研究をいくつか紹介する。日本語歌詞からの自動作曲システム“Orpheus”は、漢字仮名混じりの日本語歌詞の読みと韻律を解析し、指定されたリズムパターンで、指定された和声進行との和声学的要求を満たす旋律を生成し、伴奏パターンと組み合わせ、作曲結果を楽譜表示するとともに、合成音声と合成器楽音で演奏するものである。同様の原理で二重唱も可能である。確率統計モデルによる自動作詞などの機能も付加して、webベースの実験システムをwww.orpheus-music.orgにて公開して、今までに同じ歌詞での作曲を含めて40万曲作曲され、公開曲は300万アクセスされている。自動伴奏システム“Eurydice”は、電子ピアノで楽譜を演奏する際に、テンポ変動や弾き誤りや任意のジャンプがあっても、確率モデルによって演奏箇所を追跡し、オーケストラなどの伴奏譜を同期して演奏するものである。これにより、ピアノ協奏曲や連弾や三重奏などの一人練習や小コンサートも可能になる。その他、ギター自動運指決定や自動編曲など、数理モデル化とアルゴリズムにより解決する音楽情報処理の面白さを紹介したい。



【略歴】

1974年東京大学大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程了。電電公社武蔵野電気通信研究所(現NTT研究開発センタ)に勤務。音声信号処理・認識・合成の研究に従事(1990～93年ATR自動翻訳電話研究所にて自動翻訳電話プロジェクトを遂行)。1998年北陸先端科学技術大学院大学教授。2001年東京大学大学院情報理工学系研究科教授。2014年から明治大学総合数理学部および大学院先端数理科学研究科教授。音楽情報処理の研究に従事。科学技術庁長官賞などを受賞。電子情報通信学会フェロー。

13:55-14:20 講演 (3) 「人工知能と芸術—知能の美学」

久保田 晃弘 (多摩美術大学 美術学部 情報デザイン学科 メディア芸術コース 教授)

【講演概要】

地球外知的生命体のための芸術作品を制作することに、一体どういう方法や意味があるのだろうか。「自然知能研究グループ」では現在、美学に対する、新しいアプローチの研究を推進している。具体的には、圏論という現代数学から得られる公理的構造(導来圏の八面体公理)が、人間の美的活動を総合的に説明できることを示し、そこから美学の数学的構造が存在する可能性を検討している。美学を人間の感覚や感性ではなく、数学という普遍的な言語で記述することができれば、美や美学という人間にとって本質的な活動を、人工知能を含む人間以外の知性や地球以外の知的生命体とも共有することができ、美術作品や芸術活動の場や意味が飛躍的に拡大するだろう。古代の石器や洞窟壁画がそうであるように、知能は芸術の基盤である。だとすれば、知能の結果(美術作品)の美だけでなく、知能そのものの美—すなわち知能の美学がそこにはあるに違いない。



【略歴】

多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース教授・メディアセンター所長。世界初の芸術衛星と深宇宙彫刻の打ち上げに成功した衛星芸術プロジェクト(ARTSAT.JP)をはじめ、バイオメディア・アート、自然知能と美学の数学的構造、ライブ・コーディングによるサウンド・パフォーマンスなど、さまざまな領域を横断・結合するハイブリッドなメディア芸術の世界を開拓中。芸術衛星1号機の「ARTSAT1:INVADER」でARS ELECTRONICA 2015 HYBRID ART部門優秀賞をチーム受賞。「ARTSATプロジェクト」の成果により、平成27年度芸術選奨文部科学大臣賞(メディア芸術部門)を受賞。

14:20-14:45 講演 (4) 「人工知能と著作権」

上野 達弘 (早稲田大学 法学学術院 教授)

【講演概要】

人工知能をめぐる著作権問題は、人工知能によって生成された“作品”の法的保護の問題のみならず、機械学習の成果としての学習済みモデルや、効果的な学習のために作成される学習用データセットの法的保護の問題。さらには、機械学習の発展のために行われる大量のコンテンツ利用の可否等が問題となる。著作権法の現状を踏まえつつ、現在展開されている政府レベルでの議論や外国の状況を紹介した上で、今後の課題と将来の展望を模索する。



【略歴】

1994年京都大学法学部卒業。1996年同大学大学院法学研究科修士課程修了。1999年同大学院博士後期課程単位取得退学。1999年日本学術振興会研究員および(財)国際高等研究所研究員。2001年成城大学法学部専任講師。2004年立教大学法学部助教授。2010年マックスプランク知的財産研究所客員研究員。2011年立教大学法学部教授。2013年早稲田大学法学学術院教授。著作権法学会・理事。日本工業所有権法学会・常務理事。ALAI Japan 理事。法とコンピュータ学会・理事のほか、文化審議会著作権分科会・国際小委員会・委員。同法制・基本問題小委員会・委員。知的財産戦略本部・次世代知財システム検討委員会・委員等を歴任。専門は知的財産法(特に著作権法)。

14:45-15:00 全体討論

**論文必勝法～書こう！通そう！論文誌！～**  
**3月16日（木）9:30 - 12:00 [第2イベント会場（ESホール）]**

**[セッション概要]**

論文誌ジャーナル/JIP編集委員会主催の本セッションでは、現在、論文誌への掲載を目指して論文を執筆中もしくは、今後、執筆する予定のある情報処理分野の若手研究者の方々へ有益な情報を提供いたします。具体的には、まず、経験豊富な講師をお迎えして研究成果を論文として執筆する過程についてお話をいただきます。また、パネル討論では、編集委員会から委員長ならびに、各グループの主査による、採録される多くの論文にみられる傾向や、査読コメントへの対応方法などのアドバイス、さらには、編集作業の内側について討論します。本セッションは、論文著者の方のみならず、査読をお引き受けくださる方にも必見です。



**司会：重安 哲也（県立広島大学 経営情報学部）**

**[略歴]**

県立広島大学経営情報学部准教授。2010年大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。無線ネットワーク、情報ネットワークなどの研究に従事。情報処理学会論文誌編集委員会ネットワークグループ主査。平成20年度情報処理学会山下記念研究賞受賞。

**9:30-10:30 基調講演「一流論文誌・国際会議への採択、そして人材育成～採択という目標の先へ」**  
**原 隆浩（大阪大学 情報科学研究科 教授）**

**[講演概要]**

一流論文誌・国際会議に採択されることは、単なるステータスではなく、研究者・技術者が自身の研究内容を社会に周知しインパクトを与える上で必要不可欠となっている。本講演では、まず講演者の経験に基づいて、一流論文誌・国際会議に採択されるためのノウハウについて解説する。さらに、論文記述の技術面に留まらず、インパクトのある「良い研究」をすることの重要性や、高い志を持ち、我が国の将来を支える優秀な若手を育成するために心がける点について、講演者の経験・私見をもとに解説する。



**[略歴]**

1997年大阪大学工学研究科博士前期課程修了。同年同助手。2004年大阪大学情報科学研究科准教授。2015年より同教授となり、現在に至る。工学博士。2003年本学会研究開発奨励賞受賞。2008年、2009年本学会論文賞受賞。2015年日本学術振興会賞受賞。パイルコンピューティング、ネットワーク環境におけるデータ管理技術に関する研究に従事。ACMのDistinguished Scientist、IEEE、情報処理学会、電子情報通信学会のシニア会員。日本データベース学会の会員・理事。

**10:40-12:00 パネル討論「論文誌の査読プロセスの紹介と投稿における注意点」**

**[討論概要]**

情報処理学会論文誌ジャーナル編集委員会は、基盤グループ、ネットワークグループ、知能グループ、情報システムグループの4つのグループに分かれて、論文の編集を行っています。各グループに属する論文誌編集委員は日頃から多くの投稿論文を扱っており、投稿論文が採録されるまでのプロセスやあらたな論文投稿システムや論文誌の査読ポリシーなど、情報処理学会論文誌に投稿する際に役立つ情報を持っています。そこで、本パネル討論では、論文誌編集委員の立場から見た論文の書き方や査読の仕方について、各グループの主査に熟く語って頂き、フロアと一緒に論文必勝法に関する議論を深めたいと思います。

**司 会：重安 哲也（県立広島大学 経営情報学部）**

略歴・写真は「論文必勝法～書こう！通そう！論文誌！～」司会紹介を参照。



**パネリスト：山名 早人（早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科 教授）**

**[略歴]**

1993年早大・博士後期課程了。博士(工学)。1993年～2000年電子技術総合研究所。1996年～1997年通産省機械情報産業局電子機器課。課付。2000年早稲田大学理工学部助教授。2005年早稲田大学理工学術院教授。データベース学会論文賞(2009年)。IBM Faculty Award(2009年)。電子情報通信学会論文賞(2014年)。情報処理学会理事、日本データベース学会理事、電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ副会長を歴任。ビッグデータ解析、Webマイニング、並列・分散処理等の研究に従事。



**パネリスト：立石 孝彰（日本アイ・ビー・エム）**

**[略歴]**

2003年北陸先端科学技術大学院大学博士課程を修了後、日本IBM東京基礎研究所に入所。2014年よりIPSJ論文誌編集委員。ソフトウェア工学分野（主にプログラム解析、形式手法等）の研究に従事。



**パネリスト：藤田 桂英（東京農工大学 大学院工学研究院先端情報科学部門 准教授）**

**[略歴]**

2010年～2011年日本学術振興会特別研究員(DC1)。2010年～2011年マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院訪問学生。2011年名古屋工業大学大学院情報工学専攻博士課程修了。2011年～2012年東京大学大学院工学系研究科特任研究員。2012年東京農工大学大学院工学研究院准教授。博士(工学)。人工知能、マルチエージェントシステムなどの研究に従事。情報処理学会論文誌編集委員会知能グループ委員(2012年～)、同主査(2016年～)。



**パネリスト：豊浦 正広（山梨大学 大学院総合研究部 助教）**

**[略歴]**

2003年京都大学工学部情報学科卒業。2008年同大学院情報学研究科博士後期課程修了。2007年～2008年日本学術振興会特別研究員(DC2, PD)。2008年カリフォルニア大学サンタバーバラ校訪問研究員。2009年山梨大学大学院総合研究部助教。博士(情報学)。論文誌編集委員会情報システムグループ委員(2013年～)、副査(2014年～)、主査(2016年)。コンピュータグラフィックス、視覚情報処理に関する研究に従事。2016年度山下記念研究賞受賞。

**文部科学省 大学入学者選抜改革推進委託事業**  
**「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」**  
**3月16日（木）13:00-15:30 [第2イベント会場（ESホール）]**

**【セッション概要】**

文部科学省の大学入学者選抜改革推進委託事業に、大阪大学、東京大学、情報処理学会が連携して応募し、情報分野での現行の入学選抜における課題や問題点を調査・分析の上、その改善に向けた実践的で具体的な手法を研究・開発している。特に「思考力・判断力・表現力」の評価に関する考え方、現在審議中の学習指導要領改訂の方向性などに留意し、学力を適切に評価するための革新的な手法の開発に取り組んでいる。本事業では、「情報科」入試実施における評価手法の検討、「情報科」CBTシステム化に関する研究、情報技術による入試の評価に関する研究、広報活動と動向調査研究、を4つの柱として活動しており、現状で得られたいくつかの成果に付いて、報告し、議論したい。



**司会：角田 博保（情報処理学会 情報入試委員会 委員長）**

**【略歴】**

1974年東京工業大学理学部情報科学科卒業。1976年同大学院修士課程修了。1981年同大学院博士課程単位取得退学。1982年電気通信大学計算機科学科助手。1990年同大学情報工学科講師。1992年助教、2007年准教授、2016年定年退職。理学博士。計算機システムのヒューマンインタフェース、教育支援システム、文字列処理等に興味を持つ。情報処理学会コンピュータ科学教育委員会委員長、情報入試委員会委員長、ACM、ヒューマンインタフェース学会各会員。

**13:00-13:20 基調講演「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」**

**萩原 兼一（大阪大学 大学院情報科学研究科 教授）**

**【講演概要】**

文部科学省の大学入学者選抜改革推進委託事業を大阪大学が受託機関、東京大学および情報処理学会が連携機関として受託し、高校科目「情報科」に関する大学入試評価手法の研究開発を実施しています。現在、高校の次期学習指導要領が検討されていて、平成34年度の高校入学生から実施されます。したがって、平成37年度の大学入学生から入試内容が変わります。その大学入試では、今までの入試内容は主に知識・技能を評価していたが、思考力・判断力・表現力も評価することが求められています。本事業では、その要求を満たす「情報科」の入試問題はどのようなものであるかを明確にし、その試験を実施するCBT（Computer Based Testing）システムを開発することを目標としています。本講演ではこの事業の概略を説明します。



**【略歴】**

1974年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。1979年同大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。工学博士。同基礎工学部助手、講師、助教授を経て、1993年奈良先端科学技術大学院大学教授。1994年より大阪大学教授（基礎工学部、現在、情報科学研究科）。1992～1993年文部省在外研究員（米国メリーランド大）。データベース、VLSIアルゴリズム、分散アルゴリズム、並列処理に関する研究に従事。2005～06年情報処理学会理事、同関西支部長。1997年より同アカレディテーション委員。J97策定WG委員。2013～14年理工系情報科学・専攻協議会会長。

**13:20-13:40 報告（1）「「情報科」の情報学参照基準による知識体系化」**

**萩谷 昌己（東京大学 大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻 教授）**

**【講演概要】**

本事業では、理工系大学教育の分野別質保証、参照基準を考慮した「情報科」入試評価項目の検討を行うことを目標としている。日本学術会議の大学教育の分野別質保証委員会では、専攻分野毎に大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準を設けている。本事業では、上記目標を達成するために、主に理工系大学教育の各分野および情報学分野で共通に必要な「情報科」の内容について考慮し、入試評価項目を検討する。具体的に、「情報科」で教えられる知識および技能を、情報学の参照基準に照らして体系化することを試みている。また、他の分野の参照基準も参照し、各分野に共通的に必要となる知識と技能を明らかにする。本講演では以上の検討の結果について報告する。また、本事業では、試験問題作成段階でAI／ビッグデータ技術の適用可能性について探ることも目標としており、時間があればその成果についても報告する。



**【略歴】**

1982年3月東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。1982年4月京都大学数理解析研究所助手。1988年3月京都大学理学博士。1988年10月京都大学数理解析研究所助教授。1992年4月東京大学理学部助教授。1993年4月東京大学大学院理学系研究科助教授。1995年11月東京大学大学院理学系研究科教授。2001年4月～東京大学大学院情報理工学系研究科教授。2010年4月～2013年3月東京大学大学院情報理工学系研究科研究科長。2011年10月～日本学術会議会員。

**13:40-13:55 報告（2）「「情報科」大学入学者選抜における評価手法」**

**久野 靖（電気通信大学 大学院情報理工学系研究科 教授）**

**【講演概要】**

現在我々は、文部科学省の大学入学者選抜改革推進委託事業の一環として、情報分野での具体的な選抜手法を研究・開発している。その中でもとくに重要となるのが、思考力・判断力・表現力を評価できるような試験方式やその作題の手法を定式化することである。本報告では、思考力・判断力・表現力を試験で問える形にするためにどのように定式化し、またそれに対応する力を見るためにどのような形で設問を構築しようとしているかについて、現状を報告する。



**【略歴】**

1984年東京工業大学大学院情報理工学系研究科情報科学専攻博士後期課程単位取得退学。東京工業大学助手、筑波大学講師、助教授、教授を経て、現在、電気通信大学教授。筑波大学名誉教授。理学博士（1986年東京工業大学）。

### 13:55-14:10 報告 (3) 「情報科」大学入学者選抜 CBT システム化の仕様」

西田 知博 (大阪学院大学 情報学部 准教授)

#### 【講演概要】

現在大学入試センター試験では試験科目とはなっていない「情報科」の学力評価を全国規模で行うことは、それを CBT (Computer Based Testing) として採点コストを削減することにより実現性が高くなると考えられる。また、コスト削減だけでなく、コンピュータの操作を通じた評価や、個々の受験者に適した出題など、CBT を導入により実現できることも多くある。本事業では、これまで情報入試研究会として実施してきた大学情報入試全国模擬試験を出発点とし、「思考力・判断力・表現力」を評価するという視点も加えて「情報科」大学入学者選抜を CBT システム化するためにはどのような機能が必要かを検討している。ここではそこで挙げられた要求仕様とそれらの実現可能性について紹介する。



#### 【略歴】

1991 年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業、1996 年同大学基礎工学研究科単位取得満期退学。大阪大学情報処理教育センター助手、大阪学院大学情報学部講師を経て、現在、同大学准教授。2014 年より情報処理学会コンピュータと教育研究会主査、同学会情報入試委員会委員、初等中等教育委員会、情報規格調査会 SC36 専門委員会委員などを務める。同学会シニア会員。

### 14:10-14:25 報告 (4) 「情報科」大学入学者選抜の国内外の動向」

辰己 丈夫 (放送大学 教養学部 教授)

#### 【講演概要】

我が国で「情報活用能力」とされる内容は、多くの国の初等中等教育段階では「情報科」のような独立した教科ではなく、他教科で学習される。本講演では、その能力を他国ではどのように測定・評価し、それが本人のキャリアにどの程度関連するようになっているのかについて、複数の国での聞き取り調査などを元にして報告する。



#### 【略歴】

1997 年早稲田大学理工学研究科数学専攻博士後期課程退学。2014 年筑波大学大学院ビジネス科学研究科博士課程修了。博士(システムズ・マネジメント)。1993 年早稲田大学情報科学研究教育センター助手。その後、神戸大学講師、東京農工大学助教授、放送大学准教授を経て、2016 年 4 月から放送大学教授。現在、本会情報処理教育委員会幹事、コンピュータと教育研究会・運営委員など。

### 14:30-15:30 パネル討論「どうする「情報科」大学入学者選抜」

#### 【討論概要】

高等学校共通教科情報科の次期学習指導要領の全範囲に亘って、「思考力・判断力・表現力」を評価する観点からどのような問題をどのような方法で課し、それをどうやって評価すべきかを議論する。具体的な手段としては、CBT を想定しているがその有効性についても考える。そもそも、高等学校共通教科情報科は必修教科であるにも関わらず、現段階においてそれを入学試験に取り入れている大学は極めて少数である。このことが、高等学校において情報科の軽視や教科内容の過剰な分散、さらには教員の採用や配置の不適切な状態を放置することにもつながっている。この現状が望ましくないことは誰の目にも明らかで、大学、高校双方に改善のための努力が必要である。一方、PISA では課題解決力が非常に重視されており、情報科は課題解決力を涵養する中核的な教科として期待されている部分もある。そこで、高等学校共通教科情報科を大学入試に導入するために克服すべき課題や、われわれは何をしていけばいいのか、各パネリストの立場から議論する。



司会：中野 由章 (神戸市立科学技術高等学校)

#### 【略歴】

芝浦工業大学工学部通信工学科卒、同大学院工学研究科電気工学専攻修了、大阪大学大学院人間科学研究科人間科学専攻単位取得退学。日本 IBM 大和研究所、三重県立高校、千里金蘭大学、大阪電気通信大学を経て、神戸市立科学技術高校教諭兼大阪電気通信大学客員准教授。初等中等教育における情報教育に関心をもつ。情報処理学会シニア会員、情報入試委員会幹事、初等中等教育委員会委員、コンピュータと教育研究会幹事、関西支部 プログラミング・情報教育研究会主査、技術士 (総合技術監理・情報工学)。

パネリスト：萩原 兼一 (大阪大学 大学院情報科学研究科 教授)

略歴・写真は基調講演「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」を参照。

萩谷 昌己 (東京大学 大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻 教授)

略歴・写真は報告 (1) 「「情報科」の情報学参照基準による知識体系化」を参照。

久野 靖 (電気通信大学 大学院情報理工学研究科 教授)

略歴・写真は報告 (2) 「「情報科」大学入学者選抜における評価手法」を参照。

西田 知博 (大阪学院大学 情報学部 准教授)

略歴・写真は報告 (3) 「「情報科」大学入学者選抜 CBT システム化の仕様」を参照。

辰己 丈夫 (放送大学 教養学部 教授)

略歴・写真は報告 (4) 「「情報科」大学入学者選抜の国内外の動向」を参照。

# 日本の実情にマッチしたアジャイル開発に向けて ～デジタルプラクティスライブ～ 3月17日（金）9:30 - 12:00 [第2 イベント会場（ESホール）]

## [セッション概要]

ビジネスの競争優位を維持し続けるために、今やビジネスの根幹をなす ICT システムの対応がきわめて重要になっています。すなわち、ICT システムはビジネス環境の変化に機敏に対応することが必須となっており、そのための開発手法として、アジャイル開発が世界の主流となっています。アジャイル開発は、本来はユーザ企業が主体となって進めるべき手法ですが、日本の場合、IT 技術者の所属先は、ユーザ企業に3割、ベンダ企業に7割であり、米国の逆という状況です。このような実情を踏まえ、アジャイル開発への対応が比較的進んでいるベンダ企業が担うべき役割について、各社の取り組みを紹介するとともに、我が国の進むべき方向性について議論します。



**司会・趣旨説明・クロージング・リマーク：山下 博之（独立行政法人情報処理推進機構 技術本部 ソフトウェア高信頼化センター グループリーダー）**

### [略歴]

1981年京都大学大学院修士課程（情報工学）修了。同年、日本電信電話公社（現NTT）入社。以後、研究所において、通信制御処理システム、通信プロトコル、著作権管理、コンテンツ流通などに関する研究開発・標準化活動に従事。2003年10月に（株）NTTデータに転籍。2004年～2008年、JST に出向。2009年4月に（株）NTTデータアイ入社、同時にIPA に出向。2003年10月～2008年4月、科学技術振興調整費プログラムオフィサー。2010年4月～2014年3月、本学会電子化知的財産・社会基盤研究会主査。2007年5月～2015年12月、情報規格調査会 SC6 専門委員会委員長。IEEE、情報処理学会、電子情報通信学会各会員。

9:30-9:35

## デジタルプラクティス誌編集委員長挨拶

挨拶：吉野 松樹（株式会社日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 IoT・クラウドサービス事業部 主管技師長）

9:35-9:40

## 本セッションの趣旨説明

9:40-10:05

## 講演（1）「アジャイル開発の動向とオーグス総研における取り組み」

藤井 拓（株式会社オーグス総研 技術部アジャイル開発センター センター長）

### [講演概要]

まず、欧米の現状を理解するために、Agile Conference の Enterprise Agile セッションで行われている講演を簡単に紹介します。その後、日本におけるエンタープライズアジャイルの3つの可能性を示し、アジャイル開発を行う際のアンチパターンと日本の企業でのエンタープライズアジャイルに該当する事例を紹介します。アンチパターンでは、戦略や動機の不明確さ、既存のやり方を変えないとアジャイル開発の本来的な利点はなかなか感じられないことが多いという状況を説明します。また、情報通信業、製造業のSCM系システムへの適用など、ビジネス競争力の強化にアジャイル開発を適用している例を挙げます。最後に、オーグス総研の反復開発とアジャイル開発の取り組みと、アジャイル開発の本来的な利点を活かすための注目すべき手法やフレームワークを紹介します。



### [略歴]

1984年京都大学理学研究科博士前期課程修了。2002年京都大学情報学研究科博士後期課程指導認定退学。1990年（株）オーグス情報システム総研（現（株）オーグス総研）に中途入社。ソフトウェア開発プロジェクトの測定、アジャイル開発を含む反復的な開発手法やモデリングの実践、研究、教育や普及に従事。エンタープライズアジャイル勉強会実行委員会委員長。認定スクラムマスター、SAFe Program Consultant、技術士（情報工学部門）、博士（情報学）。

10:05-10:25

## 講演（2）「NECにおけるアジャイル開発の位置づけと取り組み」

岩崎 新一（日本電気株式会社 ソフトウェアエンジニアリング本部 本部長）

### [講演概要]

NECでは、アジャイル開発における品質向上を目的としたガイドを数年前に作成し、主に製品/社内システム開発に適用することで、ウォーターフォール開発と同等の品質を少ない工数で実現できることを確認してまいりました。近年、お客様システム・サービスの構築において、ビジネスの変化に俊敏かつ柔軟に対応する必要性が高まっております。これに対応するために、NECではアジャイル開発をプロセスの中核におき、大規模システム対応、マイクロサービス、最新PaaS対応などを統合したDevOps対応のSIフレームワークを開発しました。契約や要員育成の課題を含めて、概要を紹介いたします。



### [略歴]

1986年早稲田大学大学院理工学研究科修了。同年日本電気（株）入社。入社以来、ソフトウェアエンジニアリングに関する業務に従事。CASE/ワークフロー/KM製品開発、EC/EAIのフレームワーク開発などを経て、現在はソフトウェアQCD向上、イノベーション促進を支える施策の開発と展開を統括。その一環として、SIフレームワーク、組織プロセス改善、高信頼化技術、自動化、再利用、OSS活用、クラウド開発環境、DevOpsなどを推進。

10:25-10:45

## 講演（3）「富士通におけるアジャイル開発の取り組み」

松浦 豪一（株式会社富士通マーケティング GLOVIA 事業本部 サポート・サービス統括部 サービスビジネス部）

### [講演概要]

ビジネス要求に素早く対応するという場合でも、新規にビジネスを創出するリーンスタートアップ、開発するものがある程度見通した上でインクリメンタルに開発することで着実に前進していくなど、開発のやり方が異なります。アジャイル開発はこれらのどちらにも対応できる手法です。ユーザ企業主導といわれる中にも、ベンダ企業が実践するアジャイル開発は存在し、求められる役割があります。富士通での実践例を通して、これらについて考察します。



### [略歴]

1986年（株）富士通静岡エンジニアリングに入社し、基本ソフトウェアの開発に従事する。2007年TPS（トヨタ生産方式）のKAIZEN 伝道師の教育を受け KAIZEN 活動の伝道を行う。富士通のERPパッケージGLOVIAの製品開発をアジャイル開発で行う。現在、（株）富士通マーケティングにてERPパッケージを利用したSI構築をしながら、富士通アジャイル実践センターからの依頼のもと、アジャイル開発の教育講師および、アジャイル開発現場の支援を行っている。

10:45-11:55 **パネル討論「日本のコンテキストで、アジャイル開発をその必要なところで適切に使って効果を上げるための、ベンダの役割」**

**[討論概要]**

まず、モデレータから、急速なビジネス変化に迅速対応するにはアジャイル開発が必要という趣旨の背景説明を行います。その後、前半の各社の取り組み内容をも題材としながら、日本の実情において、当面、ベンダ企業が担うべき役割について議論します。

論点：IT技術者がユーザ企業に3割、ベンダ企業に7割という日本の状況は、米国とは逆であり、加えて人材の流動性も小さい。それに伴い、開発には契約が存在する。ビジネスの主体であるユーザ企業主導で推進するのがアジャイル開発の本質にもかかわらず、日本ではこのような状況がアジャイル開発普及の障害となっている。しかし、この状況はすぐには変わらないので、多くのIT技術者を抱えるベンダはどうすべきか？



**モデレータ：山本 修一郎 (国立大学法人名古屋大学大学院 情報科学研究科 教授)**

**[略歴]**

1979年名古屋大学大学院修士課程修了。同年、日本電信電話公社(現NTT)入社。以後、研究所において、言語処理プログラム、ソフトウェア開発支援環境、DBトランザクションモニタ、Webデータベース連携エンジン、ICカード運用管理システムなどの研究・実用化に従事。2002年(株)NTTデータ技術開発本部副本部長。2007年同社初代フェロー、システム科学研究所 所長、2007年東京工業大学 統合研究院 医療情報プロジェクト特任教授。2009年名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授。2016年同大学情報科学研究科教授。ACM, IEEE, 情報処理学会, 電子情報通信学会, 人工知能学会, 日本情報経営学会各会員。

**パネリスト：藤井 拓 (株式会社オーグス総研 技術部アジャイル開発センター センター長)**

略歴・写真は講演 (1)「アジャイル開発の動向とオーグス総研における取り組み」を参照。

**岩崎 新一 (日本電気株式会社 ソフトウェアエンジニアリング本部 本部長)**

略歴・写真は講演 (2)「NECにおけるアジャイル開発の位置づけと取り組み」を参照。

**松浦 豪一 (株式会社富士通マーケティング GLOVIA 事業本部 サポート・サービス統括部 サービスビジネス部)**

略歴・写真は講演 (3)「富士通におけるアジャイル開発の取り組み」を参照。

11:55-12:00 **クロージング・リマーク**

**CITP 続々誕生 —国際的に通用する高度情報処理技術者資格—  
3月17日(金) 15:10 - 17:40 [第2イベント会場 (ESホール)]**

**[セッション概要]**

情報システムは現代社会の基本的なインフラとなっており、それを支える情報技術者は高度な能力を有するプロフェッショナルであることが望まれます。本学会では、その能力を可視化するとともに、資格を有する情報技術者からなるプロフェッショナル・コミュニティを構築していくことを目的に、認定情報技術者(CITP)制度を制定しました。CITP制度は、ITスキル標準のレベル4以上の上級技術者を認定する制度で、本学会が技術者を直接認定する「個人認証」と、本学会が企業の資格制度を認定し、その制度の下で認定を受けた技術者にCITP資格を与える「企業認定」の2方式から成り立っています。本セッションでは、本格運用を開始して3年が経過した本制度の実績について報告すると共に、CITP制度に対するIFIP・IP3の国際的認定の取得への取り組み、システム・エンジニアやソフトウェア・エンジニアの認証に関する国際標準ISO/IEC 24773の改訂の状況、CITPのコミュニティの活動等について紹介します。



**司会：芝田 晃 (三菱電機株式会社 インフォメーションシステム業務部 主席技師)**

**[略歴]**

1978年東京大学大学院工学系研究科情報工学専門課程修了(工学修士)、同年三菱電機(株)入社。2001年よりCMMIを用いたプロセス改善に従事。2005年CMMIリード・アプレイザ、CMMI入門コース・インストラクタ資格を取得、現職に至る。2001年より本会コンピュータ博物館実行小委員会委員。2008年より本会にて高度IT人材資格(現CITP)の制度設計を担当。個人認証審査委員長を経て、2016年度より資格制度運営委員会委員長。2004年および2016年に学会活動貢献賞を受賞。

15:15-15:40 **講演(1)「認定情報技術者(CITP)制度 ～実績と今後の期待～」**

**旭 寛治 (株式会社日立製作所)**

**[講演概要]**

本学会は2013年に認定情報技術者(CITP)制度の新設を発表し、翌2014年には個人認証、2015年には企業認定の本運用を開始した。既に6000名近いCITPが誕生しており、順調な滑り出しといえるだろう。企業認定では、7つの企業または企業グループの社内資格制度が認定を受けている。CITPのコミュニティも形成されつつあり、有志による分科会活動も始まった。医療、土木、建築等の分野では、専門の資格を有する者が業務に従事しているが、情報の分野においてもその責任性に鑑みて、有資格者による業務遂行が望まれる。2017年には「情報処理安全確保支援士」の国家資格が新設される等、情報技術者の資格に対する関心が高まっており、CITPの活躍が期待される。本講演では、CITP制度の概要を紹介するとともに、これまでの実績、今後の方向について述べる。



**[略歴]**

(株)日立製作所オープンソフトウェア本部長、基本ソフトウェア本部長、ストレージソリューション本部長、(株)日立テクニカルコミュニケーションズ代表取締役社長等を歴任。1999年本会理事、2005年副会長。ITプロフェッショナル委員会委員長、資格制度運営委員会委員、アクレディテーション委員会幹事、本会フェロー、名誉会員。

15:40-16:05 講演 (2) 「資格制度の国際通用性を確保する IFIP・IP3 の認定取得への取組み」  
芝田 晃 (三菱電機株式会社 インフォメーションシステム業務部 主席技師)

【講演概要】

本会が日本代表として参加している IFIP (情報処理国際連合) では、2007 年に、高度 IT 人材の国際的な相互認証を推進する IP3 (International Professional Practice Partnership) が設立された。本会は、2009 年から IP3 に参加している。IP3 では、各国の高度 IT 人材資格制度に一定の要件を課すことにより国際的通用性を確保しようとしており、この要件を満たしている資格制度を認定している。既に、オーストラリア、カナダ、南アフリカの資格制度が認定された。CITP 資格制度は、既に認定を受けた制度と比べ、学会員に限定せず広く一般の人材を対象とし、本会の審査で認証を受けた人材に加えて本会が認定した企業内資格制度で認証を受けた人材にも CITP 資格を与えるという特徴を持っている。本講演では、IP3 の活動状況、CITP 資格制度における IP3 認定取得の目的、認定要件への対応等について紹介する。

略歴・写真は「CITP 続々誕生 - 国際的に通用する高度情報処理技術者資格 -」司会紹介を参照。

16:05-16:30 講演 (3) 「ソフトウェア技術者認証に関する国際標準 ISO/IEC 24773 とその改訂に向けた戦略」  
掛下 哲郎 (国立大学法人 佐賀大学 工学系研究科 知能情報システム学専攻 准教授)

【講演概要】

ISO/IEC JTC 1/SC 7/WG 20 (ソフトウェア及びシステム知識体系とプロフェッショナル形成) は 2008 年に ISO/IEC 24773 を策定した。これはソフトウェア技術者を対象とする各種の資格制度を相互に比較するための枠組みであった。ISO の枠組みでは certification (更新制度のある資格制度) と qualification (更新制度のない資格制度) を厳密に区別している。現在、同標準規格を改訂し、ソフトウェア技術者およびシステム工学技術者を対象とする certification に対する要求事項を定義する取り組みが進んでいる。新たに策定中の ISO/IEC 24773 は 4 つのパート (Part 1~4) から構成されており、2015 年 11 月には Part 1 (共通の要求事項) に対する NWIP が正式に承認された。Part 1 が正式な ISO 標準になるのは 2018 年末の予定だが、実質的な検討は終盤を迎えつつある。本講演では、ISO/IEC 24773 改訂を巡る各国の動向 (IEEE-CS, EU, 英国の EU 離脱) や影響、日本の IT 資格の現状 (技術士 (情報工学) 資格と情報処理技術者試験の相互連携や CITP 資格など) を踏まえた対応などについて、最新状況を報告する。



【略歴】

1989 年九州大学工学研究科博士後期課程 (情報工学専攻) 修了。工学博士。現在、佐賀大学工学系研究科知能情報システム学専攻准教授。ソフトウェア工学、データベース、情報専門教育に関する研究に従事。2012 年本会優秀教育賞受賞。ISO/IEC JTC 1/SC 7/WG 20 委員。ISO/IEC 24773 Part 1 co-editor。

16:30-16:55 講演 (4) 「CITP 制度を活用した高度 IT 人材の育成～超スマート社会を支える実践的技術者育成～」  
松田 信之 (株式会社中電シーティーアイ 人財開発センター 取締役 人財開発センター長)

【講演概要】

当社は中部電力の情報子会社であり社員の質は高いものの提案やコンサルの機会は少なく、より高度な業務へのシフトや社員のモチベーション向上に努めているところである。現在、新設された CITP 制度を用いた人材育成を試みている。筆者自らが CITP を取得するとともに、社員の本資格取得やプロフェッショナル貢献活動を支援する制度を作り、これまでに 7 名が個人認証され、12 名が申請中である。自社内のコミュニティ活動も開始している。日本は欧米と比べ、IT サービスのスピードやイノベーションで大きく差を開けられ、IT 技術者がレスペクトされない状況にある。本制度を活用すれば、企業は優れた人材を発掘し、全国大のコミュニティ活動を通じて最先端技術を吸収することができる。そしてこれらの人材が今後の超スマート社会を牽引し、社会に貢献していくことが期待できる。



【略歴】

1982 年中部電力入社 1989 年米国 Boeing Computer Services AI スクール修了 新規事業を含めた様々な IT プロジェクトにかかわり、2011 年 7 月から執行役員情報システム部長、2014 年 7 月から中電シーティーアイ取締役人財開発センター長。CITP 初年度個人認証。高度情報処理技術者 (IT ストラテジスト、プロジェクトマネジメント)、TOEIC875 (2016/3)。

16:55-17:20 講演 (5) 「サイバーセキュリティ分野における新たな国家資格について」  
秋元 裕和 (独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) IT 人材育成本部 HRD イニシアティブセンター センター長)

【講演概要】

情報技術の浸透に伴い、サイバー攻撃の件数は増加傾向にあり、情報漏えい事案も頻発している。しかしサイバーセキュリティ対策を担う実践的な能力を有する人材は不足しており、このため最新のサイバーセキュリティに関する知識・技能を備えた高度かつ実践的な人材に関する新たな国家資格「情報処理安全確保支援士 (通称:登録情報セキュリティスペシャリスト)」制度が創設された。そして登録可能な対象者による申請手続きは 2016 年 10 月より開始され、その運営は IPA が担っている。さらに 2017 年上期より、資格維持のための講習も開始される予定である。その制度の創設目的や手続き等の概要と併に、対象者に必要とされる能力、想定される業務の例について説明する。さらには情報処理技術者試験、IT スキル標準や i コンピテンシディクショナリとの関係についての説明を通して、情報処理学会が運営されている認定情報技術者制度 (CITP) との関係についても考察する。



【略歴】

富士通 (株) で金融機関をお客様としたフィールド SE 作業に従事。2003 年、IPA の IT スキル標準センターの設立に研究員として参加。プロフェッショナルコミュニティの立ち上げ、ビジネス戦略の達成を目的とした人材育成施策の普及を担当。2005 年、富士通 (株) に復職し、人材開発部所属にて SE・営業職を対象とした人材育成施策の企画と展開を担当。2010 年、(株) 富士通ラーニングメディア勤務。2012 年 2 月、IPA へ異動。同年 4 月より現職。

17:20-17:40 Q&A

# デジタルコンテンツクリエイション最前線

3月18日(土) 9:30 - 12:00 [第2 イベント会場 (ES ホール)]

## [セッション概要]

近年のコンテンツ産業の成長に伴い、様々な分野でデジタルコンテンツ（映像、ホームページ、ゲーム、音声、音楽、テキスト、コミック、アニメ、写真、アート、CG、キャラクターなど）が制作、利用されている。特に我が国では、ゆるキャラやボーカロイドなどの特異なキャラクター、コンテンツ文化が骨太に成長してデジタルコンテンツ産業は独自の成長と進化を遂げ、情報処理技術と密接な関係にある。本講演会では、このようなデジタルコンテンツに関わる研究者や技術者により、最前線のデジタルコンテンツクリエイションの動向を紹介する。さらに、デジタルコンテンツの制作、流通、利活用の促進を目指してIoT時代のデジタルコンテンツクリエイションについて討論する。



司会：義久 智樹 (大阪大学 サイバーメディアセンター 准教授)

### [略歴]

2005年、博士(情報科学)の学位を期間短縮して取得、京都大学学術情報メディアセンター助教を経て2009年より大阪大学サイバーメディアセンター准教授、現在に至る。この間カリフォルニア大学アーバイン校客員研究員、ICMU Best Paper Award、DPSWS優秀論文賞、大阪大学総長顕彰等を受賞。ストーリーミング配信に関する研究を専門とし、インターネット放送やIoTデバイスに興味をもつ。情報処理学会デジタルコンテンツクリエイション研究会幹事。

## 9:30-9:50 講演 (1) 「メディアアートのデジタルコンテンツクリエイション最前線」 水野 慎士 (愛知工業大学 情報科学部 教授)

### [講演概要]

近年、演劇や生け花展などエンタテインメント分野に対して、講演者が開発したインタラクティブデジタルコンテンツを応用する機会が増えてきている。本講演では、それらの事例を具体的に紹介するとともに、その実現手法や直面した問題点とその解決法について、デモ映像も交えながら紹介する。



### [略歴]

1998年名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程修了。豊橋技術科学大学助手、助教、愛知工業大学情報科学部講師、准教授を経て2014年より現職。コンピュータグラフィックス、バーチャルリアリティ、インタラクティブデジタルコンテンツに関する研究・教育に従事。

## 9:50-10:10 講演 (2) 「最先端のデジタルアニメーション技術」 三上 浩司 (東京工科大学 メディア学部 教授)

### [講演概要]

1980年代にはじまった、アニメーション制作へのコンピュータ利用は、1990年代の後半に急速に広がりました。2000年初頭には従来のセルを用いたアニメーションからコンピュータ上で彩色、合成、編集するデジタルアニメーションへと移行しました。現在では、紙ではなくペンタブレットを用いたデジタル作画による新たなワークフローへの取り組みも増えてきました。また、3DCGと組み合わせた表現も多彩で、Non-Photorealistic Renderingを利用したセルルックの表現やビジュアルシミュレーションを用いた自然現象の表現など、多彩な制作手法や表現手法が利用されています。日本のアニメーションはアニメと称され、手描きによるアニメーション表現を色濃く残した独特な制作手法や表現手法が特徴となっています。こうした独特な制作手法を拡張、支援するために、様々なアニメのためのCG技術が生み出されてきました。そうしたアニメ制作技術の最新事例などを、具体的な研究の進め方などとともに紹介します。



### [略歴]

1995年慶應義塾大学環境情報学部卒業、博士(政策・メディア:2008年慶應義塾大学)。1995年より日商岩井(株)にてオンラインゲーム事業の立ち上げに従事。(株)エムケイにおいてPCゲームの開発をプロデュースし、1999年より東京工科大学片柳研究所クリエイティブ・ラボに従事し、現在は同大学メディア学部教授。主に3DCGを利用したアニメ、ゲームの制作技術と管理手法の研究に従事。情報処理学会、芸術科学会会長、日本デジタルゲーム学会理事、ACM SIGGRAPH、他所属。

## 10:10-10:30 講演 (3) 「ゲーム開発エンジニアリングの最前線」 林 洋人 (株式会社セガゲームス 開発技術部)

### [講演概要]

ついに家庭への普及が始まったバーチャルリアリティ、ゲームエンジンを利用したゲーム開発など、ゲーム開発エンジニアリングのトレンドと、セガグループ内での取り組みについて論じます。



### [略歴]

1997年(株)セガ入社以来、社内向けおよび外注向け技術開発全般に携わる。ソニックワールドアドベンチャー Wii版、リルぷりっゅびおるひめチェン!、え〜でるすなば等グラフィックス全般担当。情報処理学会論文誌：デジタルコンテンツ編集委員。

## 10:30-10:50 講演 (4) 「最新のデジタルコンテンツと情報デザイン」

楠 房子 (多摩美術大学 美術学部情報デザイン学科 教授)

### 【講演概要】

博物館の展示支援システムは、音声やビデオガイドを用いたシステムが多く、表示されるコンテンツが年齢や知識差などのユーザの多様性に応えられるのが難しいのが現状である。この画一性を打破する試みとして、講演者らの研究グループでは、博物館の展示内容の世界・環境を仮想的に再現、その中に擬似的に「入り込める」コンテンツとセンシングシステムを同時に開発すると共に、ユーザの行動に応じて提示の手段や方法、コンテンツの内容を変えることで、展示が描く世界にあたかも「没入するかのとき」効果を与えることを目的とした学習支援の研究を行っている。本講演では、これらの取り組みをふまえ、最新のデジタルコンテンツと情報デザインについて事例等を紹介する。



### 【略歴】

1983年横浜国立大学教育学部卒、1994年筑波大学大学院ビジネス科学研究科・修士課程（修士・経営システム）修了1997年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、博士（工学）。多摩美術大学美術学部講師、准教授を経て現職。1997年科学技術振興事業団（現科学技術振興機構：JST）さきがけ研究「情報と知」領域研究員、2004年オランダ国 Eindhoven 工科大学デザイン学科客員研究員、学習支援、情報デザイン分野の研究に従事。

## 10:50-11:10 講演 (5) 「インターネットライブ放送におけるビデオクリエーション最前線」

義久 智樹 (大阪大学 サイバーメディアセンター 准教授)

### 【講演概要】

近年のインターネットの高速化に伴い、インターネットを介して個人がリアルタイムビデオ配信を行えるインターネットライブ放送サービスが普及している。例えば、震度情報を表示しながら地震発生地域の様子を配信したり、雑音除去を行いながら人気のある観光地の様子を配信したりしている。インターネットライブ放送では、これらの例のように、付加情報を表示したり視聴しやすくしたりするために、映像音声処理をしながら配信を行うことがある。講演者らの研究グループにおいても、あたかも異世界にいるようなリアルタイムビデオ配信を実現する異世界放送と呼ぶシステムを開発している。映像音声処理を施すことで、配信者や視聴者、サービス提供者が制作した所望の映像音声でインターネットライブ放送を行える。本講演では、映像音声処理を伴うインターネットライブ放送の現状と最新技術を紹介する。

略歴・写真は「デジタルコンテンツクリエーション最前線」司会紹介を参照。

## 11:10-12:00 パネル討論 「IoT時代のデジタルコンテンツクリエーション」

### 【討論概要】

近年の情報通信技術の発展に伴い、様々なモノが相互に接続するIoT (Internet of Things) に対する注目が高まっている。センサーやカメラといった様々なモノを活用してデジタルコンテンツを制作することがあり、IoTとデジタルコンテンツクリエーションは密接な関係にある。例えば、温度センサーから取得した温度の値に応じて変化するデジタル絵画や、複数のカメラから取得した映像を組み合わせた映像などがある。そこで本企画では、デジタルコンテンツの制作、流通、利活用の促進を目指し、パネル討論を行う。本パネル討論では、最前線のデジタルコンテンツクリエーションの動向を紹介いただいた講演者等をパネリストに迎え、IoT時代のデジタルコンテンツクリエーションについて、今後のデジタルコンテンツクリエーションも含めて討論する。

司 会：義久 智樹 (大阪大学 サイバーメディアセンター 准教授)

略歴・写真は「デジタルコンテンツクリエーション最前線」司会紹介を参照。

パネリスト：水野 慎士 (愛知工業大学 情報科学部 教授)

略歴・写真は講演 (1)「メディアアートのデジタルコンテンツクリエーション最前線」を参照。

三上 浩司 (東京工科大学 メディア学部 教授)

略歴・写真は講演 (2)「最先端のデジタルアニメーション技術」を参照。

林 洋人 (株式会社セガゲームス 開発技術部)

略歴・写真は講演 (3)「ゲーム開発エンジニアリングの最前線」を参照。

楠 房子 (多摩美術大学 美術学部情報デザイン学科 教授)

略歴・写真は講演 (4)「最新のデジタルコンテンツと情報デザイン」を参照。

## ～コンピュータパイオニアが語る～ 「私の詩と真実」

3月16日 (木) 10:00 - 12:00 [第3 イベント会場 (IB 大講義室)]

### 【セッション概要】

情報処理学会歴史特別委員会ではオーラルヒストリのインタビューを進めているが、大先輩のお話は毎回大変示唆に富み印象的なので、これを広く会員の方々に、特に若い世代の会員に直接お聞かせ出来ないものかと検討してきた。そして海外の事例なども参考にし、コンピュータパイオニアあるいは情報処理学会会長経験者、またはそれらに相当する経歴の大先輩をお招きして、若い頃の研究生生活の思い出や今の若い世代に伝えたい経験談などをお話頂くシンポジウムを企画した。なお本シンポジウムは第70回大会から開催しており今回が第10回目となる。



司会：浦城 恒雄 (東京工科大学 名誉教授)

### 【略歴】

1959年東京大学理学部物理学科卒業。1991年日立製作所研究開発推進本部長。1995年同所技師長。1999年東京工科大学教授。2007年同大名誉教授。

10:05-11:00 講演 (1) 「コンピュータが計算機と呼ばれた時代」  
三輪 修 (富士通株式会社 OB)

【講演概要】

京都大学工学部電気電子工学科の階段教室で、富士通の池田敏雄さんによる計算機の講義があった。その時、池田さんから、「一緒に計算機を作らないか」と声を掛けられた。この一言が、富士通でコンピュータ開発に心血を注ぐ契機となった。その頃の我が国は、銀行や電力会社をはじめ、多くの企業が、IBM や UNIVAC のコンピュータを導入していた。このような時代背景で、日本のメーカーが次々とアメリカのメーカーと技術提携を結ぶ中、富士通は独自路線を歩むことを決断した。そこで生まれたのが、革新的コンピュータ FACOM 230-60 システムである。本講演では、この FACOM 230-60 システム開発にかかわる話を中心になるが、これまで公表されたことのない、「今だから話せる」ことにも触れたいと考えている。



【略歴】

1959年3月京都大学工学部電子工学科卒業。同年富士通信機製造(株)(現富士通(株))入社。以来電算機技術部門において20年余にわたり大型、超大型コンピュータ、スーパーコンピュータ等の開発に従事。1970年科学技術庁長官賞受賞(「大型計算機システムFACOM230-60の開発」)。1991年(株)富士通東北システムエンジニアリング代表取締役社長就任。2007年4月週刊朝日創刊85周年記念懸賞エッセーに投稿、最優秀賞受賞、週刊朝日5|4・11合併増大号に受賞作「夕日街道をゆく」が掲載される。

11:05-12:00 講演 (2) 「オートマトンに人工知能研究の夢を見た」  
稲垣 康善 (名古屋大学/愛知県立大学 名誉教授/豊橋技術科学大学 名誉教授・特命教授)

【講演概要】

東京大学で真空管式電子計算機TACの開発が進んでいた頃、「電子計算機は0と1でどうやって計算するのですか」と問うた名古屋の中学生が、やがて名古屋大学工学部電子工学科4年生。卒業研究、そして大学院に進学、「情報は、論理と確率。二つの融合を試みたまえ」のサジェスション。戸惑いながら始めた確率論理、そしてオートマトンの研究。1962年のことだった。当時、オートマトンは人工知能研究であった。ダートマス会議で人工知能という用語が使われたのが1956年、その年は、プリンストン大学出版局から Automata Studies が出版された年でもあった。電気通信学会雑誌1963年11月号はオートマトン特集号、1966年3月開催の東北大学通信研究所シンポジウムのテーマは Artificial Intelligence であった。当時を振り返って「私の詩と真実」をお話してみたい。情報工学分野で研究と教育の中に身を置いて55年になるこの3月、母校で開催の第79回全国大会で。



【略歴】

1939年生。1967年名古屋大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士。1967～1977年同大講師・助教授、1977～1980年三重大学教授、1981～2003年名古屋大学教授、1997～2000年同大工学部長・研究科長併任、2000～2002年同大大型計算機センター長併任、2003～2007年愛知県立大学教授、2004～2007年同大情報科学部長・研究科長併任、2008～2014年豊橋技術科学大学理事・副学長、2001年情報処理学会功績賞、2005年電子情報通信学会功績賞、2006年情報処理学会名誉員、電子情報通信学会名誉員。電子情報通信学会副会長、理事、情報処理学会理事・調査研究運営委員会委員長、人工知能学会理事・会誌編集委員長など歴任、IEEE、ACM各会員。

人工知能とディープラーニング：研究開発を牽引する国プロと科学技術政策  
3月16日(木) 13:00 - 15:30 [第3イベント会場 (IB大講義室)]

【セッション概要】

ディープラーニングをきっかけとする3度目のAIブームは、とどまるところを知らない。産総研のAIセンターに引き続き、理化学研究所のAIPプロジェクトが立ち上がったかと思うと、東大をはじめとする大学でAI研究センターがつくられ、企業にはAI部が作られている。この波の基盤となっているのは、情報処理学会会員が長年築いてきたデジタル革命である。研究者・技術者は、真摯に課題にとりくみ、技術レベルの向上と産業・経済・生活への科学技術のフィードバックを目指さなければならない。このセッションでは国プロでもある理研AIPのセンター長から今後の研究方針を聞くとともに、科学技術政策を牽引する方々から次の布石への意見をうかがう。



司会：間瀬 健二 (名古屋大学 大学院情報科学研究科社会システム情報学専攻 教授)

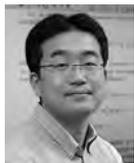
【略歴】

1979年名古屋大学工学部電気学科卒。1981年同大大学院工学研究科前期課程情報工学専攻修了。1992年博士(工学)号取得(名古屋大学)。1981年日本電信電話公社(現在NTT)入社。1988～89年米国MITメディア研究所客員研究員。1995～2002年(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)研究室室長。2002年より名古屋大学教授。現在同大学院情報科学研究科所属。現在は、画像処理・ウェアラブルコンピュータ・ユビキタスシステムによる、ライフログとコミュニケーション支援の研究を推進している。人工知能学会1999年度論文賞、同2013年功労賞など。IEEE、ACM、情報処理学会、人工知能学会、電子情報通信学会(フェロー)、ヒューマンインタフェース学会、VR学会、画像電子学会各会員。博士(工学)。

13:00-14:00 基調講演「理化学研究所 革新知能統合研究センターの紹介」  
杉山 将 (理化学研究所 革新知能統合研究センター センター長/東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授)

【講演概要】

2016年度より、文部科学省はAIPプロジェクト(Advanced Integrated Intelligence Platform Project):人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクトを開始し、理化学研究所に革新知能統合研究センターを設置しました。本講演では、革新知能統合研究センターの取り組みを紹介します。



【略歴】

2001年東京工業大学計算工学専攻博士課程修了。博士(工学)。同年より同大学助手、2003年より同大学助教授(2007年より准教授に改称)、2014年より東京大学教授(現職)、2016年より理化学研究所革新知能統合研究センター長を併任。

14:00-15:30 パネル討論「AIPセンターへの期待と情報科学技術政策の布石」

【討論概要】

このセッションでは理化学研究所に設置された革新知能統合研究センター(AIPセンター)の杉山センター長から、AIPセンターが掲げる今後の人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクトに関する研究方針のご紹介をうけて、科学技術政策を牽引する文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付専門官栗原潔様ならびに科学技術振興機構研究開発戦略センター(JST CRDS)岩野和生様、そしてAIP副センター長のNTTコミュニケーション科学研究所上田功様を交えて、AIPセンターへの期待と次への布石、さらに人工知能とICTを基軸とする情報科学技術政策のあるべき姿をうかがいます。

司 会：間瀬 健二（名古屋大学 大学院情報科学研究科社会システム情報学専攻 教授）

略歴・写真は「人工知能とディープラーニング：研究開発を牽引する国プロと科学技術政策」司会紹介を参照。



パネリスト：栗原 潔（文部科学省 研究振興局情報担当 専門官）  
「情報科学研究支援の大きな進展 ～ H29 年度政府予算を中心に～」  
【講演概要】

情報科学技術の大きな進展により、様々な技術が社会と産業に与えたインパクトとは大きく異なる展開が世界的規模で進み中、文部科学省・総務省・経済産業省を中心とした各府省庁連携での新たな研究開発の取組が進展しています。本講演では、政府の情報科学技術の研究開発戦略と学会への期待についてお話しします。

【略歴】

2006年4月文部科学省研究振興局研究環境・産業連携課研究基盤係長、2007年6月経済産業省通商政策局北東アジア課企画調整係長、2009年7月文部科学省研究振興局ライフサイエンス課幹細胞再生医学企画係長、2011年4月内閣府原子力安全委員会事務局管理環境課課長補佐、2012年9月環境省 原子力規制委員会原子力規制庁国際課課長補佐、2014年3月英国マンチェスター大学ビジネススクール客員研究員、2015年3月文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付専門官。

パネリスト：杉山 将（理化学研究所 革新知能統合研究センター センター長／東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授）

略歴・写真は基調講演「理化学研究所 革新知能統合研究センターの紹介」を参照。



パネリスト：茂木 強（国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー）  
「JSTにおける研究開発戦略立案活動と戦略的創造研究推進事業の紹介」  
【講演概要】

JSTにおける研究開発戦略立案活動（俯瞰活動、戦略提言）と現在進行中の戦略的創造研究推進事業（CREST、さきがけ、ACT-Iなど）を紹介する。

【略歴】

1980年京都大学理学部卒、同年三菱電機(株)入社、計算機製作所、情報技術総合研究所などに所属、1991年米国スタンフォード大学留学、2012年より国立研究開発法人科学技術振興機構研究開発戦略センターにてシステム・情報科学技術分野に関する研究開発戦略策定に従事、2010～11年情報処理学会理事。



パネリスト：上田 修功（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）  
「深層学習研究の今後の展望」  
【講演概要】

近年、深層学習は音声認識、画像認識などのパターンや囲碁、TVゲームなどのゲームで人間以上の性能を発揮している。しかし、研究面では幾つか重要な課題もあり、完成した技術とは必ずしも言えない。講演では、深層学習の今後の研究課題について言及する。

【略歴】

1984年大阪大学大学院通信工学専攻修士課程修了、日本電信電話公社（現NTT）入社、1991年NTTコミュニケーション科学研究科主任研究員、1993年米国Purdue大学客員研究員、2010年同研究所所長、2016年同研究所特別研究室長（NTTフェロー）、機械学習・データ科学センタ代表、理化学研究所革新知能統合研究センター副センター長、国立情報学研究所客員教授、京都大学大学院情報学研究科連携教授、電子情報通信学会、情報処理学会、IEEE各会員。

## サイバーセキュリティを確立するための戦略は？ —サイバー攻撃の最前線からのレポート— 3月17日（金）9:30 - 12:00 [第3イベント会場（IB大講義室）]

【セッション概要】

ここ数年の間にサイバーセキュリティを取り巻く環境は激変している。サイバー攻撃は、PCやスマホなど情報デバイスから、PrinterやNASへ、さらにはIoTが進むにつれて、防犯カメラや自動車・テレビなど家庭や職場にある身近なものへと、変化することが予想される。社会的にも、伊勢志摩サミットでは、サイバーセキュリティが重要議題として取り上げられ、「サイバーに関するG7の原則と行動」に合意するとともに、サイバーセキュリティに関するG7の協力を強化することが確認された。このような中、本セッションでは、情報セキュリティの専門家らにより、サイバーセキュリティを取り巻く現状を確認した上で、サイバーセキュリティを強固なものとして確立するためには何が必要かを議論する。



司会：沖野 浩二（富山大学 総合情報基盤センター）

【略歴】

2000年 富山大学大学院 電子情報工学科 修了、西日本電信電話（株）、金沢星稜大学 研究員、富山大学 総合情報基盤センター 助手を経て、2016年より富山大学 総合情報基盤センター 情報セキュリティ研究開発部門 准教授、工学修士。主な研究分野は、ネットワークセキュリティ、システムセキュリティ。電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会 会員。

9:30-9:55

ショートプレゼン (1) 「大規模ネットワークに対する攻撃の現状」

高倉 弘喜（国立情報学研究所 サイバーセキュリティ研究開発センター センター長）

【講演概要】

様々な情報機器がインターネットに繋がり我々の生活を支えるようになる一方で、我々の活動はサイバー攻撃による影響を複雑かつ広範囲に受けるようになった。その結果、単なる個々の事象であるインシデントへの対応ではなく、複数のインシデントが複合的に作用する状況、および、それらへの対応策が我々の活動全体に及ぼす影響を考慮し、アクシデント化し大きな被害が想定される事象を優先的に選択し、最も効果的な対応策を適用するという考え方が必要となった。これに対し、国立情報学研究所では、多くの学術研究機関が利用するSINET全体を俯瞰することで、アクシデント化する事象の予兆把握や発見能力、および、各学術研究機関のアクシデント対応能力の向上を目的とした「大学間連携に基づく情報セキュリティ体制の基盤構築」を実施している。本講演では、本プロジェクトの説明を通じて、新たなサイバーセキュリティ対策の概念を説明する。

【略歴】



1990年九州大学工学部卒、1992年同大工学研究科修士課程修了、1995年京都大学工学研究科博士後期課程修了、博士（工学）。奈良先端科学技術大学院大学助手、イリノイ州立大学訪問研究員、京都大学講師、助教授、名古屋大学教授を経て、2015年より現職。サイバーセキュリティに関する研究に従事し、学術ネットワークのサイバーセキュリティの能力向上を担当。情報処理学会、電子情報通信学会、システム制御情報学会、地理情報システム学会、ACM各会員。

9:55-10:20 ショートプレゼン (2) 「IoTにおけるサイバー攻撃の観測と対策」  
吉岡 克成 (横浜国立大学)

【講演概要】

本講演では、ネットワークの受動的観測、および、能動的観測により認識可能なIoT機器の脆弱性やマルウェア感染状況について述べる。特に数年前から続いているIoT機器の大量マルウェア感染の最新状況や、感染機器を悪用した大規模サービス妨害攻撃の事例について説明する。また、感染機器からのマルウェア駆除手法に関する検討結果についても述べる。



【略歴】

2005年より(独)情報通信研究機構にてインシデント対策センター NICTERの研究開発に従事。2008年より横浜国立大学にてサイバーセキュリティ研究開発を開始。2009年文部科学大臣表彰。総務省「国際連携によるサイバー攻撃の予知即応技術の研究開発」他、プロジェクトに多数参画。博士(工学)。

10:20-10:45 ショートプレゼン (3) 「CSIRTの視点での企業のサイバーセキュリティへの対応」  
杉浦 芳樹 (NTTデータ先端技術株式会社 NTT-CERT)

【講演概要】

現在、企業のCSIRTを中心としたコミュニティである日本シーサート協議会のメンバーは186チーム(2016年10月1日現在)となり(2015年1月1日現在)、CSIRTを構築する組織が増えてきている。このような状況の中で、CSIRTやセキュリティ担当者の皆さんがサイバー攻撃に対してどのような対応をしているのかをお話し、その対応やCSIRT運用の課題を取り上げる。また、本来のセキュリティインシデントレスポンスのあり方を検討する。



【略歴】

NTT-CERT(日本電信電話(株))メンバー、日本シーサート協議会運営委員、IL-CSIRT(NTTデータ先端技術(株))メンバー、1998年よりJPCERT/CCのメンバーとしてCSIRTの活動に関わる。CSIRT構築/運用のプロとして活動。2004年より、NTT-CERTの構築・運用に関わる。2007年に日本シーサート協議会の設立を実施。専門はCSIRTの構築・運用、チームビルディング。

10:45-11:10 ショートプレゼン (4) 「経済産業省におけるサイバー攻撃への取り組み」  
伊東 寛 (経済産業省 大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官)

【講演概要】

昨今のサイバー空間を取り巻く環境は大きく変化している。このようなサイバー空間における重要な課題としてサイバーセキュリティが挙げられている。本講演では、経済産業省の取り組みサイバー攻撃への対応について解説します。



【略歴】

1980年 陸上自衛隊 入隊、1999年 防衛省情報本部電波部地域担当課長、2005年 陸上自衛隊システム防護隊隊長、2007年(株)シマンテック 主席アナリスト、2010年(株)ラック 特別研究員、執行役員、常務理事兼サイバークリットジャパンナショナルセキュリティ研究所長を経て、2016年5月より経済産業省において、大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官。

11:10-12:00 パネル討論 「サイバーセキュリティを確立するための人材育成」

【討論概要】

サイバー空間を取り巻く環境は激戦しており、特にサイバーセキュリティの確保が多方面から求められている。セキュリティを確保するためには技術的な問題解決だけでなく、それらを運用するための技術者の育成なども含めて考える必要がある。本パネルでは、サイバーセキュリティを強固なものとして確立するためには何が必要かを議論する。

司 会：沖野 浩二(富山大学 総合情報基盤センター)

略歴・写真は「サイバーセキュリティを確立するための戦略は？ -サイバー攻撃の最前線からのレポート-」司会紹介を参照。

パネリスト：高倉 弘喜(国立情報学研究所 サイバーセキュリティ研究開発センター センター長)

略歴・写真はショートプレゼン(1)「大規模ネットワークに対する攻撃の現状」を参照。

吉岡 克成(横浜国立大学)

略歴・写真はショートプレゼン(2)「IoTにおけるサイバー攻撃の観測と対策」を参照。

杉浦 芳樹(NTTデータ先端技術株式会社 NTT-CERT)

略歴・写真はショートプレゼン(3)「CSIRTの視点での企業のサイバーセキュリティへの対応」を参照。

伊東 寛(経済産業省 大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官)

略歴・写真はショートプレゼン(4)「経済産業省におけるサイバー攻撃への取り組み」を参照。

# 社会システム・サービス最適化のためのソーシャル CPS の研究開発 3月17日（金）15:10 - 17:40 [第3 イベント会場（IB 大講義室）]

## [セッション概要]

多様なセンサーを通じて人やモノから得たデータから実世界の事象を把握し、その分析結果から実世界に対して適切なフィードバックすることで実世界の課題解決をめざすサイバー・フィジカルシステム（CPS）に期待が集まっている。平成24年度に開始した文部科学省事業「社会システム・サービスの最適化のためのサイバーフィジカルIT統合基盤研究」においては、特に社会システムの効率化をめざしたソーシャルCPSを提案し、そのIT統合基盤技術の研究を推進するとともに有効性の実証のためのサービス実験に取り組んできた。本イベントでは、このシステムへの要求条件や統合基盤のデザインコンセプト、センシング機構、データ管理・可視化・統合分析基盤、実証実験の概要と今後の展望を議論したい。



司会：安達 淳（国立情報学研究所 教授）

### [略歴]

1981年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博。東京大学大型計算機センター助手、文部省学術情報センター助教授、教授を経て現在国立情報学研究所教授。東京大学大学院情報理工学系研究科教授を兼任。データベースシステム、情報検索、テキストマイニング等の開発研究や学術情報基盤の企画、開発、運用等に従事。電子情報通信学会、情報処理学会各フェロー、データベース学会、IEEE、ACM各会員。

## 15:10-15:30 講演 (1) 「ソーシャル CPS の目指すもの（プロジェクト概要）」

安達 淳（国立情報学研究所 教授）

### [講演概要]

社会システムやサービスをさらに高度化していくために必要なITプラットフォームとして「ソーシャルCPS (Social Cyber-Physical Systems)」を提案している。現実世界から様々なセンサーによりリアルタイムにデータを獲得し、それにクラウドソーシングで得られるデータも加味して、データ分析や可視化を行う。さらにシミュレーションをも活用し総合的に状況把握し、ステークホルダーの多い環境下での課題解決方法を見いだす。このような一連の作業をリアルタイムに行うためのプラットフォームである。ビッグデータ処理、機械学習、IoTなどの最近のITが盛り込まれたシステムでもある。運用時には実世界へのフィードバックを行い、社会システム全体の効率化をめざすために効果を発揮する。このようなソーシャルCPSの基本アーキテクチャ、要素技術、そしてこのプラットフォームの有効性を示すために行った実証実験などを総覧し、我々のプロジェクトの全体像を紹介する。また、研究開発の過程で明らかになった課題や社会実装における考慮点などについてまとめる。

略歴・写真は「社会システム・サービス最適化のためのソーシャルCPSの研究開発」司会紹介を参照。

## 15:30-15:45 講演 (2) 「札幌市における除排雪の効率的運用を目指したソーシャルCPS技術の確立と応用」

田中 譲（北海道大学 大学院情報科学研究科 特任教授）

### [講演概要]

ソーシャルCPS基盤技術の適用実証実験として昨年度から2年間の予定で遂行している札幌市における除排雪の効率的運用に関する研究開発とその実証実験に関して報告する。札幌市の年間積雪量は6mであり、人口100万人以上の世界中の都市の中で最も多く、除排雪の年間予算は180億円に達する。本研究では、札幌市全域にわたる、気象、交通、除排雪作業、交通事故に関する多様な過去データや実時間データを網羅的に用い、これらの可視化分析を通じて、降雪による交通への影響度や、路線バスの遅延状況などの現状分析を実時間で情報提供し、除排雪作業による交通改善効果を定量的に評価し、プローブカーデータの分析により路側堆雪の局所的出っ張りや違法駐車などの渋滞原因の位置特定を行い、ピンポイント除排雪を提案する。さらには、気象の変化とABS起動データの分析による路面凍結予測法、気象、除排雪作業の履歴と交通状況の分析による除排雪の要否判断法について紹介する。



### [略歴]

1974年京都大学電子工学専攻修士課程修了。同年北海道大学電気工学科助手、講師、助教授を経て1990年同教授。2004年同大学情報科学研究科教授、現在に至る。1985年～1986年IBMワトソン研究所客員研究員。1996年～2014年北海道大学知識メディアラボラトリ長。1998年～2000年京都大学情報学研究科併任教授。2004年より国立情報学研究所客員教授。2013年よりJST CRESTプログラム「ビッグデータ応用」研究領域研究総括。工学博士（東京大学）。データベース理論、データベースマシン、知識メディア、知識フェデレーション、探索的可視化分析などの研究に従事。

## 15:45-16:00 講演 (3) 「群衆センシングと都市のスマート化」

東野 輝夫（大阪大学 大学院情報科学研究科 情報ネットワーク学専攻 教授）

### [講演概要]

ソーシャルCPS (Social Cyber-Physical Systems) の適用分野として都市のスマート化が考えられる。米国NSFでも次世代のスマート・シティ研究としてSmart and Connected Communitiesの研究開発が進められている。都市のスマート化を考える場合、都市空間の群衆の動き (Mobility) をできるだけ正確且つリアルタイムに収集できることが望まれる。本研究では、レーザーレンジスキャナーや様々なセンサを活用した群衆センシング技術を紹介すると共に、人の活動をセンシングし、ビルや商業施設のエネルギー利用の効率化やサービスの改善につなげる「人間中心のエネルギー利用効率化」の試みについて紹介する。



### [略歴]

1986年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。工学博。同年同大学助手。2002年より大阪大学大学院情報科学研究科・情報ネットワーク学専攻・教授。モバイル・ユビキタスコンピューティングに関する研究に従事。日本学術会議会員、本会副会長、日本学術振興会・学術システム研究センター・主任研究員（2013-2016）、本会理事、監事などを歴任。

## 16:00-16:15 講演 (4) 「センシング技術に基づく細粒度の電力利用最適化」

谷口 倫一郎（九州大学 大学院システム情報科学研究科 教授）

### [講演概要]

サイバーフィジカルシステムの具体的な応用分野としてエネルギー分野が挙げられる。すでに様々なエネルギーマネジメントシステムが研究・開発され、省エネルギーや環境負荷の低減に貢献している。本発表では、従来の研究では対象としてこなかった、細粒度の省エネルギーにサイバーフィジカルシステムの考え方を適用した事例について報告する。具体的には、研究室や企業のオフィスなどその構成員がはっきりしているところに対して、構成員の行動や電力利用の状況を個人レベルでセンシングし、それに基づいて電力利用を低減させるためのリコメンデーションを行う。各構成員の電力利用状況が全体の中でどのような位置づけになっているかを可視化したり、事前に入力された予定表に基づいて、若干の予定の変更を推薦することを通して、電力利用の削減を目指すシステムについて発表する。

**【略歴】**

1978年九州大学情報工学科卒業。1980年同大学院修士課程修了。九州大学大学院総合理工学研究科助手、助教授を経て1996年より現職。2011～2013年度同研究院長。2014年度より九州大学情報基盤研究開発センター長を併任。コンピュータビジョン、サイバーフィジカルシステム等の研究に従事。本会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会主査、理事等を歴任。1993年本会論文賞、1995年本会坂井記念特別賞等を受賞。2013年本会フェロー。

**16:15-16:40 招待講演「ソーシャルCPSを支える知・人材・資金の良い循環」**  
**武田 一哉 (名古屋大学大学院 未来社会創造機構／情報科学研究科 教授)**

**【講演概要】**

「ソーシャルCPS」は、わが国が目指す「超スマート社会」の実現そのものとも言うべき重要な課題であり、名古屋大学でも、地域に集積される製造産業との協業により「新しい価値の創造」を支えるソーシャルCPSの様々な研究が行われています。講演では、本学が進める2つのプロジェクト、博士課程リーディングプログラム (JSPS)「実世界データ循環学リーダー養成プログラム」、共創プラットフォーム共同研究推進事業 (JST)「人と知能機械との協業メカニズム解明と共創価値に基づく新しい社会システムを構築するための基盤技術の創出」の活動を紹介し、ソーシャルCPSを支える「知・人材・資金の循環」について考えたいと思います。

**【略歴】**

1985年名古屋大学工学研究科博士 (前期) 課程修了 (都市環境騒音の評価法の研究)。同年、国際電信電話 (現KDDI) 入社。1986年、ATR自動翻訳電話研究所出向 (音声データベース、音声合成の研究)。1988-89年、マサチューセッツ工科大滞任研究員。1990年、国際電信電話研究所復職 (音声認識システムの研究)。1995年、名古屋大学助教授 (音響・音声信号処理の教育研究)。2003年、名古屋大学教授 (行動情報処理の教育研究)。

**16:40-17:40 パネル討論「ソーシャルCPSの展開と課題」**

**【討論概要】**

CPS研究プロジェクトとしてのこれまでの成果を踏まえ、ソーシャルCPSとしての今後の価値創造の可能性と課題を議論する。従来のサイバー空間での情報処理に閉じず、実世界との連携、融合によって様々な応用分野の基盤となるCPSは、IoT、ビッグデータ、AI等の「総合化技術」とも言え、多くの技術的課題や実証上の問題も抱えている。そこで、実世界データ収集から管理・分析、そしてサービスとしてのフィードバックというソーシャルCPS実現のための各ステージでどのような課題が想定され、それらにどのように取り組んで来たかについて、実証実験等を通じた経験なども含め議論する。そして研究成果から期待される社会的価値創造の可能性について、社会ニーズとコストの視点も含め社会実装上の課題や展望を総合的に議論する。



**司会：今井 和雄 (国立情報学研究所 研究戦略室 シニアリサーチアドミニストレーター 特任教授)**

**【略歴】**

1976年京都大学大学院修士 (数理工学) 修了後、NTT研究所に入所。データ交換、広帯域パケット通信方式、情報配信プラットフォーム等の研究開発に従事。1994年～98年米国NTT America社に勤務。2000年よりNTTドコモにてネットワーク研究所長、総合研究所長として将来のモバイル・ネットワークやサービスの研究を推進。2007年～2011年ドコモUSA研究所 President & CEO。2011年7月より現職。電子通信学会、情報処理学会、IEEE各会員。博士 (国際情報通信)。

**パネリスト：安達 淳 (国立情報学研究所 教授)**

略歴・写真は「社会システム・サービス最適化のためのソーシャルCPSの研究開発」司会紹介を参照。

**田中 譲 (北海道大学 大学院情報科学研究科 特任教授)**

略歴・写真は講演 (2)「札幌市における除排雪の効率化の運用を目指したソーシャルCPS技術の確立と応用」を参照。

**東野 輝夫 (大阪大学 大学院情報科学研究科 情報ネットワーク学専攻 教授)**

略歴・写真は講演 (3)「群衆センシングと都市のスマート化」を参照。

**谷口 倫一郎 (九州大学 大学院システム情報科学研究科 教授)**

略歴・写真は講演 (4)「センシング技術に基づく細粒度の電力利用最適化」を参照。

**武田 一哉 (名古屋大学大学院 未来社会創造機構／情報科学研究科 教授)**

略歴・写真は招待講演「ソーシャルCPSを支える知・人材・資金の良い循環」を参照。

**Life Hacks for WorkPlace ※共催 enPiT 女性部会 WiT**  
**3月18日 (土) 9:30 - 12:00 [第3イベント会場 (IB大講義室)]**

**【セッション概要】**

これからみんなが活躍するための場 (WorkPlace) を作っていくためのライフハック術を共有するLT (LightningTalk) 大会を行います。ライフハックとは、情報処理技術を活用してラクして仕事&生活を効率よく行うためのテクニクやノウハウのことです。朝起きられないのをどうにかしたい、毎日運動したいけれど続かない、研究にバイトにサークルと時間管理を有効にしたい、家族と家事をうまく分担したい……などの場面、ITを使って解決できますよね。ITを仕事や研究に使うだけでももったいない!

学生と社会人がエンジニア・研究者・Maker魂を発揮して、本気ライフハック術を共有したらどうなる? 自分のためのノウハウでみんなが助かるかもしれません。明日使えるライフハック術を持ち帰って実践しませんか。ゲリラ発表も歓迎です。

**司会：木塚 あゆみ (公立はこだて未来大学 システム情報科学部 特任助教)**

**【略歴】**

公立はこだて未来大学システム情報科学部特任助教、及び博士 (後期) 課程。メディアデザイン研究・教育に従事。2008年同大学大学院システム情報科学研究科修了後、岡山県立大学デザイン学部助手、その後インタラクティブコンテンツの開発と教育に携わり、現職に至る。創造性には多様な価値観が大事だという観点から女性技術者支援も行なう。情報処理学会 Info-WorkPlace 委員会委員長、修士 (システム情報科学)。





**登壇者 (LT 大会)：湯村 翼 (国立研究開発法人 情報通信研究機構 研究員)**

**【略歴】**

北海道大学, 東京大学大学院, JAXA 宇宙科学研究所にて宇宙プラズマの研究に従事。修士課程修了後は東芝, Koozyt, 明治大学にてネットワークや位置情報, AR に関する研究開発を行う。現在は情報通信研究機構北陸StarBED 技術センターでネットワークテストベッドの研究に従事。2010 年より社会人学生として北陸先端科学技術大学院大学博士後期課程在学中。2014 年にソニー CSL 大和田氏と共におうちハック同好会を立ち上げ, おうちハック発表会などのイベントを定期的に開催。



**登壇者 (LT 大会)：矢島 卓 (株式会社エイチーム)**

**【略歴】**

中京大学大学院情報科学研究科修士課程修了。東京の情報サービス企業にて6年間 Web システム開発を経験した後, 2011 年8月より現職である(株)エイチームに所属。「Web サービスやスマートフォンアプリの開発・運用」, 「アジャイル開発プロセスの社内導入支援」, 「自社基幹システムおよび社内ネットワークの管理・運用」等の業務に従事。第二子を授かった事をきっかけに, 2014 年に4ヶ月間の育児休業を取得。



**登壇者 (LT 大会)：河合 由起子 (京都産業大学 コンピュータ理工学部)**

**【略歴】**

京都産業大学コンピュータ理工学部准教授。2001 年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報システム学博士後期課程修了。同年(独)情報通信研究機構, 2006 年京都産業大学理学部コンピュータ科学科講師を経て2008 年より現職。博士(工学)。情報推薦, Web マイニング, 信憑性分析の研究に従事。電子情報通信学会, 日本データベース学会各会員。



**登壇者 (LT 大会)：岩切 晃子 (株式会社翔泳社 取締役)**

**【略歴】**

(株)翔泳社で, Developers Summit のコンテンツの取りまとめを担当後, 現在は, 書籍の流通部門に勤務。IT で課題を Hack する精神を, デベロッパーの皆さんに教えていただき今に至ります。岩手県釜石市出身東京在住。釜石を出てから, ずっと旅をしているような気がしています。東京内の引越し歴8回。仲間とモノを作り上げていくのが好き。音楽が好き。お酒が好き。旅が好き。



**登壇者 (LT 大会)：渡辺 知恵美 (筑波大学 システム情報系 助教)**

**【略歴】**

2003 年お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科修了。同年奈良女子大学大学院 人間文化研究科 助手, 2005 年お茶の水女子大学 理学部 情報科学科 講師, 2011 年ジョージア工科大学 客員研究員 兼任。2013 年より筑波大学 システム情報系 助教。データベースセキュリティ, プライバシーに関する研究に従事。

## 会誌「情報処理」公開編集委員会 3月18日(土) 13:00 - 15:00 [第3 イベント会場 (IB 大講義室)]

### 【セッション概要】

会誌編集委員会の主催で, 公開編集委員会形式のパネル討論を実施する。今年は, 会誌記事連動企画として, 企業家でありサイバーセキュリティに関する第一人者でもある齋藤ウィリアム浩幸さんをお迎えし, 会誌編集長との対談を企画した。対談内容は, 後日会誌で報告されるが, 生体認証からウェアラブルデバイスまで, どんな話しが飛び出するか, 楽しみにしたい。後半は, 会誌「情報処理」ができあがるまでの舞台裏を聴衆に知ってもらうことを目的に, 編集委員から, 緊急企画が記事になるまでの苦労話, IT 日和(4コマ漫画)の舞台裏などを語ってもらう。また, いちおし記事の紹介や, 今後企画されているお薦めの特集の紹介なども行う。会場とのやりとりの時間を設け, 読者から会誌への要望を直接伝えてもらう場にも意図する。

**13:00-14:00 対談「IoT 社会の憂い」**

### 【対談概要】

起業家でありサイバーセキュリティに関する第一人者でもある齋藤ウィリアムさんと, ウェアラブルの伝道師こと塚本会誌編集長が, IoT 社会の行く末から最近思っていることまで, さっくばらんに語り尽くす。途中からは公開編集委員会に参加する会誌編集委員たちも加わり, 情報処理技術の未来(と憂い)について, ともに議論する。



**対談司会：加藤 由花 (東京女子大学 数理学科 教授)**

**【略歴】**

1989 年東京大学理学部卒業。同年日本電信電話(株)入社。2002 年電気通信大学大学院情報システム学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。電気通信大学助手, 産業技術大学院大学教授を経て, 2014 年より東京女子大学教授。情報ネットワーク, ネットワークを利用したロボットサービスに関する研究に従事。情報処理学会理事(会誌・出版担当)。



**対談者：齋藤 ウィリアム (株式会社インテカー代表取締役社長/内閣府参与)**

**【略歴】**

1971 年ロサンゼルス生まれ日系2世の起業家。ベンチャー支援コンサルタント, 暗号・生体認証技術の専門家。指紋認証などの生体認証暗号システムを開発し, 160 社以上の企業とライセンス契約を締結。2004 年に会社をマイクロソフトに売却後, 2005 年に拠点を東京に移して, 2007 年に(株)インテカーを設立。日本再生に必要なリーダーシップやチームづくりを訴え, スタートアップ企業の育成を手助けするとともに, 世界各国の政府機関への協力, 企業研修, 政策提言など幅広く活躍している。2013 年12月, 内閣府参与に就任。2015 年6月からパロアルトネットワークス(株)副会長。2016 年10月, 紺綬褒章を叙勲。



**対談者：塚本 昌彦 (神戸大学 大学院工学研究科電気電子工学専攻 教授)**

**【略歴】**

京都大学工学部数理工学科卒, 工学研究科応用システム科学専攻修士課程修了, 京都大学博士(工学)。シャープ(株)研究員, 大阪大学講師, 助教授を経て現職。NPO ウェアラブルコンピュータ研究開発機構理事長, NPO 日本ウェアラブルデバイスユーザ会会長。2001 年よりウェアラブルの実践生活を行っている。研究テーマはウェアラブル・ユビキタスコンピューティングシステム, デバイス, インタフェースとそれらの応用。2014 年より情報処理学会会誌編集長。

14:00-15:00 パネル討論「会誌「情報処理」ができるまで」

【討論概要】

会誌「情報処理」の企画を行う。4コマ漫画のネタ出しや特集の立案などをその場で行う。会誌に対する意見、要望などを会場で集め、それに対する議論を行う。

司 会：塚本 昌彦（神戸大学 大学院工学研究科電気電子工学専攻 教授）

略歴・写真は対談「IoT 社会の憂い」対談者紹介を参照。



パネリスト：五十嵐 悠紀（明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 専任講師）

【略歴】

2010年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士（工学）。2010年より日本学術振興会特別研究員PD、その後育児休暇復帰支援であるRPDとして筑波大学に所属。2015年より現職。コンピュータグラフィックスやユーザインタフェースの研究に従事。Yahoo! ニュース個人オナーサー、日本ビジネスプレスオナーサー、として執筆業にも励む。

パネリスト：加藤 由花（東京女子大学 数理科学科 教授）

略歴・写真は対談「IoT 社会の憂い」司会紹介を参照。



パネリスト：金子 格（東京工芸大学 工学部コンピュータ応用学科 准教授）

【略歴】

1980年早稲田大学卒。2004年博士（情報科学）。(株)アスキーにてパソコンシステムソフトウェア、システムLSI、ASICの開発、グラフィックスコミュニケーションラボラトリーでMPEG標準の策定等に従事。2004年より東京工芸大学准教授。会誌編集委員としては、IT・ソフトウェア特許の新潮流、連載-鉄道運行システムにおける情報処理技術、オリンピックのための情報処理、フィンテック～金融とITの融合～、ゲーム産業の最前線、他単発記事多数を担当した。



パネリスト：田名部 元成（横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授）

【略歴】

1998年東京工業大学大学院総合理工学研究科システム科学専攻博士課程修了。博士（工学）。横浜国立大学経営学部講師、助教授を経て、2012年より現職。2015年より情報基盤センター長（兼任）。情報システム研究方法論、シミュレーション&ゲーミングの情報システム教育への適用に関心を持つ。会誌編集委員会、情報システム教育委員会、アクレディテーション委員会、教科書編集委員会委員。



パネリスト：辻田 眸（株式会社シンクフェーズ）

【略歴】

2006年お茶の水女子大学理学部情報科学科卒業。2007年同大学院人間文化研究科数理情報科学専攻修士課程修了（短縮修了）、2010年同大学院博士課程修了（短縮修了）。2006年にIPA「未踏ソフトウェア創造事業」に採択され、「遠距離恋愛支援システム」の開発を行う。2009年より日本学術振興会特別研究員DCとしてヒューマンコンピュータインタラクションの研究に従事。2010年より米国ジョージア工科大学客員研究員。2011年より日本学術振興会特別研究員PDとして東京大学暦本研究室にて研究に従事。この研究成果「笑わないと開かない冷蔵庫」は、2012年のグッドデザイン賞ベスト100を受賞。出産を機に今後のキャリアについて考え、2014年に(株)シンクフェーズを設立。



パネリスト：土井 千章（NTTドコモ 先進技術研究所）

【略歴】

(株)NTTドコモ先進技術研究所勤務。2009年慶應義塾大学理工学研究科博士前期課程修了。同年(株)NTTドコモ入社。モバイルコンピューティング、Androidアプリケーションのセキュリティ、大規模データを用いた行動分析の研究に従事。2014年から情報処理学会会誌編集委員会委員。2016年4月より大学院博士後期課程に入学。博士号取得を目指している。



パネリスト：鳥澤 健太郎（国立研究開発法人 情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 データ駆動知能システム研究センター センター長）

【略歴】

1995年東京大学大学院理学系研究科博士課程中退。博士（理学）。同大学院助手、北陸先端科学技術大学院大学准教授を経て、現在、(国研)情報通信研究機構・データ駆動知能システム研究センターセンター長。日本学術振興会賞、ドコモモバイルサイエンス賞、前島密賞、Twitter Data Grants等受賞。自然言語処理の研究に従事し、対災害SNS情報分析システムDISAANA、D-SUMM、Web情報分析システムWISDOM X等を開発。現在一般に公開している。情報処理学会理事（会誌・出版担当）。



パネリスト：永野 秀尚（日本電信電話株式会社 NTT コミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員）

【略歴】

1994年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。1996年同大学院基礎工学研究科物理系専攻情報工学分野修士課程修了。2005年同大学院情報科学研究科マルチメディア工学専攻博士課程修了。博士（情報科学）。1996年NTTに入社。現在、NTT コミュニケーション科学基礎研究所主任研究員。音や映像などのメディア情報の認識・探索に関する研究に取り組む。2011年3月から2012年3月まで英国Queen Mary University of London 客員研究員。電気通信普及財団テレコムシステム技術賞奨励賞、通信協会前島賞、日本応用数理学会ベストオナー賞各受賞。IEEE Senior Member、電子情報通信学会、情報処理学会各会員。2002年1月より2006年3月まで情報処理学会会誌編集委員会専門委員会（基礎・理論分野/FWG）編集委員。2014年4月より同学会誌編集委員。



パネリスト：坂東 宏和（獨協医科大学 基本医学情報教育部門 講師）

【略歴】

2002年東京農工大学大学院工学研究科電子情報工学専攻博士後期課程修了。博士（工学）。福岡工業大学、桜美林大学、アイラボ（株）、東京学芸大学等を経て、2014年より獨協医科大学基本医学情報教育部門講師。教育の情報化に関する研究に従事。論文誌教育とコンピュータ（TCE）編集委員会編集幹事。会誌編集委員会専門委員会（EWG）主査。シニア会員。



パネリスト：松崎 公紀（高知工科大学 情報学群 准教授）

【略歴】

2001年東京大学工学部計数工学科卒。2003年同大学院情報理工学系研究科修士課程修了。2005年同研究科博士課程中退。同年より同研究科助手、2007年より助教、2009年より高知工科大学情報学群准教授となり現在に至る。博士（情報理工学）。並列プログラミング、アルゴリズム導出、ゲームプログラミングなどに興味を持つ。

## J17 - J07 から 10 年, 何を 変え何を 定めるか 3 月 17 日 (金) 9:30 - 12:00 [第 4 イベント会場 (坂田平田ホール セミナー室)]

【セッション概要】

情報系専門学科カリキュラム標準 J07 を定めてから 10 年が経とうとしている。この 10 年の間に IT の科学技術は進展を続け、情報専門系学科の研究・教育に対して社会の期待も変化し、より一層、高度 IT 人材育成に対する要求が高まっている。そうした中で、2016 年 3 月には日本学術会議が情報学分野に対する大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準を公表している。目を海外に転じると、J07 が参照した ACM、IEEE-CS によるカリキュラム標準 CC-2005 の各分野 CS、IS、CE、SE、IT に対する標準もそれぞれに改定が行われてきた。これに加えて、情報セキュリティとデータサイエンスの 2 つの分野に対する標準策定が始まっているし、これらを統括したカリキュラム標準 CC-2020 を策定する動きも始まっている。

こうした背景の下で、J07 をどう変え、どう改定して J17 とするかの検討が情報処理教育委員会でも基本的な方向づけの検討が行われてきた。J07 では CC2005 の枠を超えて一般情報教育 (GE) のカリキュラム標準や副専攻向けのカリキュラム標準も策定したことを引き継いで、J17 でのこれらのカリキュラム標準を組み込む方向づけが行われた。

2016 年度になって J17WG が設けられ、J17 プロジェクトが正式に始動した。2016 年度作業としては、文部科学省委託事業による情報専門教育の国内外の現状調査が行われ、各カリキュラム委員会でも J17 に向けて何をどう策定するかについての検討が行われた。

このセッションでは、まず、4 年制大学すべてを対象にした総括的な情報教育の現状調査の結果報告と、CC-2005 以後の ACM/IEEE/AIS によるカリキュラム標準改定状況の報告を行う。その上で、各カリキュラム委員会から委員長をパネリストとして招いてパネル討論を行い、フロアの発言も受けながら J17 の策定方針に関する議論を深める。



司会：寛 捷彦 (J17 WG 主査)

【略歴】

1970 年東京大学大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了。1970 年東京大学工学部助手、1974 年立教大学理学部数学科講師、(1978) 助教授、1986 年早稲田大学理工学部数学科教授、(1991) 情報学科、(2003) コンピュータ・ネットワーク工学科、(2004) 基幹理工学部情報理工学科、2016 年早稲田大学名誉教授。本会フェロー、日本ソフトウェア科学会会員、ACM 会員、情報処理教育委員会 J17 WG 主査。

9:35-10:05 報告 (1) 「情報教育の国内現状 - 全大学対象の調査結果」

高橋 尚子 (GE 副委員長)

【講演概要】

2016 年 11 月に、文部科学省の委託を受け「超スマート社会における情報教育の在り方に関する調査研究」の一環として、情報学分野の教育に関する現状調査を行い、その結果を報告する。調査は、日本国内の大学で実施されている情報学分野の教育実態（プログラム構成、教育内容、プログラム履修者、担当者、教育環境等）を把握し、分析する目的で実施した。情報学分野の詳細な定義は、「日本学術会議大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準：情報学分野」（情報学の参照基準）に基づいた。情報の専門教育課程を持つ学部や学科だけでなく、非情報系学部・学科における情報教育、全学または学部等の共通教育において情報学分野の教育（一般情報教育）、高校教科「情報」の教職課程のうち教科に関する科目にまで範囲を広げた。さらに、大学で運用管理している教育用電子計算機システムの状況についても調査した。



【略歴】

東京女子大学在学中に女子大初のマイコンクラブを結成。卒業後、女性 SE 第一期生として富士通入社。大型コンピュータからパソコンまで多数の業務システムを開発。ASCII でのビジネスパソコンスクール開校、OA インストラクタを経て、ソフトウェアコンサルティング、人材育成、テクニカルライティング（マニュアル制作）を行うナウハウス（有）として独立。1995 年から大学で PC スキルの非常勤講師を始め、2007 年から國學院大学経済学部で情報教育に携わる。文系学生に、情報システムや情報通信ネットワークをわかりやすく解説することを心がけている。Office シェアアプリケーションや情報リテラシー、資格検定、マニュアル制作に関する著書多数。

10:05-10:25 報告 (2) 「カリキュラム改定の国際状況 - CC-2005 その後」

角田 博保 (CS 委員長)

【講演概要】

情報系専門学科カリキュラム標準 J07 が参考としている ACM/IEEE-CS によるカリキュラム標準 CC2005 は CS、IS、CE、SE、IT の 5 分野からなっている。各分野ごとにカリキュラム標準が定められており、J07 が参考としたのは CS2001、IS2002、CE2004、SE2004、IT2006 であった。このそれぞれの分野において、その後改定作業がなされ、CS は CS2013、IS は IS2010、CE は CE2016、SE は SE2014、IT は IT2017 へと改定されている。更に CC2020 への策定作業が進んでいる。本報告では、現状での ACM/IEEE-CS のカリキュラム標準の変更状況を大まかに述べるとともに、特に、それらの基礎となりうる CS2013 をより詳しく、知識、技能の要求レベルにおいて比較検討する。



【略歴】

1974 年東京工業大学理学部情報科学科卒業。1976 年同大学院修士課程修了。1981 年同大学院博士課程単位取得退学。1982 年電気通信大学計算機科学科助手。1990 年同大学情報工学科講師、1992 年助教授、2007 年准教授、2016 年定年退職。理学博士。計算機システムのヒューマンインタフェース、教育支援システム、文字列処理等に興味を持つ。情報処理学会コンピュータ科学教育委員会委員長、情報入試委員会委員長、ACM、ヒューマンインタフェース学会各会員。

## 10:30-12:00 パネル討論「J17をどう策定するか」

### [討論概要]

J17プロジェクトの1年目のまとめとして、文部科学省委託事業として実施した情報学教育の現状調査の結果と、各カリキュラム委員会によるACM/IEEE-CSのカリキュラム標準改定の調査の結果に基づいて、J07の後継としてのカリキュラム標準J17をどのような形で取りまとめるかについて検討を重ねてきたことを報告し、2017年度に行うJ17策定の方針について議論を行う。

司 会： 筧 捷彦 (J17 WG 主査)

略歴・写真は「J17-J07から10年、何を变え何を定めるか」司会紹介を参照。

パネリスト： 角田 博保 (CS 委員長)

略歴・写真は報告(2)「カリキュラム改定の国際状況-CC-2005その後」を参照。



パネリスト： 辻 秀一 (IS 委員長)

[略歴]

1974年大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程修了、工学博士。同年、三菱電機(株)入社。中央研究所、コンピュータシステム製作所、情報技術総合研究所にて勤務。2000年東海大学に奉職。情報理工学部情報メディア学科教授、情報通信学部組込みソフトウェア工学科教授として勤務。2015年東海大学を定年退職。NPO法人M2M研究会理事、現在に至る。この間、ヒューマンインタフェース、人工知能などの研究開発、および電子商取引、情報セキュリティ、M2M/IoTシステムの研究・教育に従事。また、2014年より情報処理学会・情報システム教育委員会委員長。



パネリスト： 岡部 忠 (CE 副委員長)

[略歴]

2006年名古屋大学大学院理学研究科博士前記課程修了。同年4月川崎マイクロエレクトロニクス(株)入社。2009年10月(地独)東京都立産業技術研究センター入所。都産技研入所以来、組込みシステムの開発、システムの高速度・低消費電力化、FPGAの応用研究及びハードウェアエンジニアの育成等に従事。2016年4月より情報処理学会情報処理教育委員会委員。



パネリスト： 井上 克郎 (SE 委員長)

[略歴]

1979年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。1984年同大学大学院博士課程修了。同年同大学基礎工学部助手。1984-86年ハワイ大マノア校情報工学科助教授。1989年大阪大学基礎工学部講師。1991年同助教授。1995年同教授。2002年大阪大学大学院情報科学研究科教授、工学博士。ソフトウェア工学、特に、ソフトウェア開発手法、プログラム解析、再利用技術の研究に従事。



パネリスト： 駒谷 昇一 (IT 委員長)

[略歴]

1985～2007年NTTソフトウェア(株)。2007～2013年(株)NTTデータ。2007～2010年筑波大学。2013年～奈良女子大学。情報処理学会情報処理教育委員会委員。著書「ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの授業」、情報処理学会IT Textシリーズ「情報とネットワーク社会」、「情報と職業」、「情報システム基礎」他。



パネリスト： 稲垣 知宏 (GE 委員長)

[略歴]

1995年広島大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。広島大学総合情報処理センター助手、広島大学総合科学部講師、広島大学情報メディア教育研究センター准教授などを経て、2015年から教授。広島大学の情報教育改革に取り組んできた。主な研究分野は情報教育、計算物理学など。

## 情報システムのデザインコンペ

3月18日(土) 13:00 - 15:00 [第4イベント会場(坂田平田ホール セミナー室)]

### [セッション概要]

情報システムと社会環境研究会が一昨年に主催した情報システムのデザイン論シンポジウムにおいて、製品、建築の分野におけるデザインコンペの教育的役割を知りました。デザインコンペとは、発注者が要求を提示して応募してきた複数のデザインを競わせる活動です。応募者は自分の案に対する発注者の評価や、他者の案とのふれあいを通して相互作用的に創造を導くこと、すべての案を俯瞰して客観的に見る目を養うことができます。私たちは、これを情報システムの領域で実験的にやってみることにしました。本学会では、ソフトウェア工学の共通問題が提示され、よいソフトウェアを追求する試みが行われてきました。情報システム学においても、それにふさわしい共通問題を提示して、情報システムのデザインを競うことは、デザイナー自身の深い学びだけでなく、情報システムのデザイン論の構築にとって意義のあることだと考えます。ただし、現在、デザインを評価する基準はありません。むしろ、それを実践的に検討することが本イベントの狙いです。



主催者挨拶： 児玉 公信 (株式会社情報システム総研)

[略歴]

石油元売り、大学受託研究員、鉄鋼系情報子会社を経て、現在(株)情報システム総研 代表取締役社長。企業情報システムの基幹部分の再構築のためのモデリング、アーキテクティングを提供。技術士(情報工学部門)、博士(情報学)。情報システムと社会環境研究会主査、技術士委員会委員長、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員。著書に「UMLモデリング入門」「UMLモデリングの本質」ほか、訳書に「アナリシスパターン」「リファクタリング」ほか。

13:00-13:30 **基調講演「建築デザインにおけるコンペの実態と理想」**  
松岡 拓夫雄 (亜細亜大学 都市創造学部都市創造学科 教授・学部長)

**【講演概要】**

建築設計のコンペで問われる内容は、規模やテーマによって様々であり、アイデアのみを求めるものからコスト管理から工程管理まで建設可能なプロセスまで求めるもの、受ける側も学生からアトリエ事務所、大手設計事務所まで、その出す側、受ける側での組み合わせは多様である。しかし、国立競技場を始めとした公共建築のプロポーザルコンペなどで起きている問題は、提案する側、使う側、管理する側にとってのギャップが原因でもある。そこで問題の多い自治体とスムーズに行われる民間のコンペの違いとは何か、目指すものの理念の違いとは何か、隠れた問題は何かなどに触れて、本来のコンペの良さや意義について語り、ものづくり、アーキテクチャーのより良い進展のためにどうあるべきか実態を紹介し言及する。



**【略歴】**

建築家・亜細亜大学都市創造学部教授・学部長／1952年姫路市生まれ、76年東京芸術大学美術学部建築学科卒業、78年同大学院修了、78年～86年丹下健三・都市・建築設計研究所勤務、86年～07年アーキテクトファイブ共同主宰、99年～16年滋賀県立大学環境科学部教授、現在LLCアーキテクトシップ主催、専門は都市と建築デザイン、地域創生など、GD大賞、日本建築美術工芸協会賞、土木学会デザイン最優秀賞、日本建築学会賞業績賞など多数。

13:30-14:50 **ワールドカフェ形式によるデザインプレゼンテーション**

14:50-15:00 **講評**

講 評：児玉 公信 (株式会社情報システム総研)

略歴・写真は「情報システムのデザインコンペ」主催者挨拶を参照。

松岡 拓夫雄 (亜細亜大学 都市創造学部都市創造学科 教授・学部長)

略歴・写真は基調講演「建築デザインにおけるコンペの実態と理想」を参照。

**「情報力」で街を変える ～ビッグデータ利活用技術開発とその社会実装～**  
3月17日 (金) 9:30 - 12:00 [第5 イベント会場 (野依記念交流館ホール)]

**【セッション概要】**

「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」では、筑波大、東北大、東大、慶応大が連携し、実社会から生成されるリアルタイムデータを含む異種データを連携利用するための共通のデータ統合・解析技術の研究開発と、社会実装を意識した実証実験を同時に進めている。これまでの研究開発を通して、神奈川県藤沢市を中心に実証実験を進めるための基盤技術の開発が進展し、今年度からは本格的な実証実験のフェーズに進みつつある。本企画では、これまでの技術開発の概要や具体的な実証実験テーマ、アプリケーション等について紹介すると共に、情報技術の研究開発とその社会実装、社会還元、技術移転等に関わる諸課題について、自治体関係者等も交えて議論する。



司会：中澤 仁 (慶應義塾大学 環境情報学部 准教授)

**【略歴】**

慶應義塾大学環境情報学部准教授。2003年慶應義塾大学博士号取得 (政策・メディア)。2004年ジョージア工科大学客員研究員。街に埋もれて見えない無限の情報を採集するのがライフワークの一つ。ユビキタス・モバイルコンピューティング、センシングシステム、ディメンダブルシステム、スマートシティ等の研究に従事。

9:30-9:45 **講演 (1) 「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」：プロジェクト概要**  
北川 博之 (筑波大学 計算科学研究センター 教授)

**【講演概要】**

情報技術の発展及び情報化の進展に伴い、実社会の各種活動に伴い生成・取得されるデータは爆発的に増加しており、これらのビッグデータの利活用が強く求められています。2014年度から始まった文部科学省事業「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」では、データ連携技術、高性能データ融合解析技術、データ格納・可視化技術、システム統合化技術を軸に、実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発を行うとともに、社会実装を意識した実証実験を行うことを目的としています。本講演では、主に、事業の全体概要について報告します。



**【略歴】**

1980年東京大学理学系研究科修士課程修了。日本電気 (株) 勤務の後、1988年筑波大学電子・情報工学系講師。同助教授を経て、現在、筑波大学計算科学研究センター教授、大学院システム情報工学研究科長。理学博士 (東京大学)。専門：データ工学。情報処理学会フェロー、電子情報通信学会フェロー、日本データベース学会前会長。

9:45-10:05 **講演 (2) 「21世紀の自治体が抱える諸問題とビッグデータ利活用の可能性」**  
瀧 敦司 (藤沢市 総務部 IT推進課 上級主査)

**【講演概要】**

神奈川県藤沢市は相模湾に面し、温暖な気候と交通の利便性を背景に、住宅都市、商工業都市、農水産業都市、観光都市、学園都市などの様々な性格を合わせ持つ湘南の中心的な都市である。本講演では、自治体が抱える様々な共通課題 (高齢化、ゴミ減量、インフラ維持管理、健康増進等) を具体的に紹介するとともに、課題解決に向けたアプローチとして、ビッグデータ利活用の可能性について紹介する。



**【略歴】**

2001年藤沢市入庁、財務部、人事部等を経て、2013年よりIT推進課にて地域情報化の推進に関する業務を担当。近年はビッグデータの利活用に関する研究に携わり、行政事務の効率化に従事。

10:05-10:20 **講演 (3) 「収集量の見える化によるゴミ減量の取り組み ～ゴミ減量 G1 グランプリ～」**  
天笠 俊之 (筑波大学 計算科学研究センター 准教授)

**【講演概要】**

ごみは我々の生活と切っても切り離せない関係にある一方で、その処分には莫大なコストがかかっている。また最終処分場をはじめとした処理施設の維持や確保は年々難しくなっており、ごみ減量は極めて重要な課題となっている。理研「実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発」プロジェクトでは、ごみ収集量の見える化を通じたごみ減量を目的とした実証実験アプリ「ごみ減量 G1 グランプリ」を開発している。本講演ではその概要と課題、今後の展望について述べる。



**【略歴】**

1999年群馬大学大学院工学研究科修了。博士(工学)。奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助手。筑波大学大学院システム情報工学研究科講師を経て、筑波大学計算科学研究センター准教授。データベース、データマイニング等の研究に従事。情報処理学会、日本データベース学会、ACM各会員。電子情報通信学会、IEEE各シニア会員。

10:20-10:35 **講演 (4) 「エンティティリンキング技術に基づいた地理情報と言語情報の融合解析」**  
松田 耕史 (東北大学 大学院情報科学研究科 研究員)

**【講演概要】**

本講演では、実世界ビッグデータ利活用のためデータ統合・解析技術を用いた藤沢市における実証実験について報告する。特に、東北大学で進めているテキストデータに対するエンティティリンキングと、それに基づいた地理情報との融合、特に交通情報との融合解析に焦点をあてて報告する。



**【略歴】**

2012年東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士課程修了。2014年より東北大学情報科学研究科研究員。自然言語処理、地理情報処理などに関する研究に従事。人工知能学会、言語処理学会各会員。

10:35-10:50 **講演 (5) 「データ格納・可視化技術に基づくスマートシティアプリケーション」**  
豊田 正史 (東京大学 生産技術研究所 准教授)

**【講演概要】**

本研究開発において構築を進めている大規模データ格納・可視化技術に基づき、ソーシャルメディアやドライブレコーダデータを活用したスマートシティアプリケーションの開発を進めている。本アプリケーションを用いた藤沢市における実証実験について紹介する。



**【略歴】**

1999年東京工業大学大学院情報理工学研究科博士後期課程修了。博士(理学)。同年科学技術振興事業団計算科学技術研究員。2001年東京大学生産技術研究所学術研究支援員、同大同研究所産学官連携研究員、同大学生産技術研究所特任助教授、助教授を経て現在、同大学生産技術研究所准教授。ウェブマイニング、実世界ビッグデータ分析、ユーザインタフェースに興味を持つ。ACM、IEEE CS、日本ソフトウェア科学会各会員。

10:50-11:05 **講演 (6) 「システム統合化基盤技術を介したパッカー車センシングデータの流通」**  
中澤 仁 (慶應義塾大学 環境情報学部 准教授)

**【講演概要】**

慶應義塾大学と神奈川県藤沢市が協力して取り組んでいるパッカー車のIoT化プロジェクトでは、パッカー車の位置や加速度、紫外線量、PM2.5等のセンサデータを100Hzで同市全域から収集し、Sensor over XMPP技術を核とするシステム統合化基盤技術を介してそれを流通させ、実空間の状況認識や市役所での業務支援等に活用している。市全域から細粒度かつ広域のデータを収集する際の技術的課題とその解決のための手法、およびそれを社会に実装していく上での課題を報告するとともに、そこでのシステム統合化基盤技術の有効性を示す。

略歴・写真は「情報力」で街を変える～ビッグデータ利活用技術開発とその社会実装～ 司会紹介を参照。

11:10-12:00 **パネル討論 「ビッグデータ利活用と「情報力」**

**【討論概要】**

実空間から収集した情報を処理して付加価値の高い情報を生産しそれを実社会へ還元することで、人の行動が変化し、社会がより良い方向へ変わりうる。特に地方自治体では、少子高齢化や省エネルギー化、環境の維持管理といった様々な問題に対し、様々な技術を用いて実空間から情報を効率的に収集し、効果的な可視化や分析を行って行政や市民に提示することで、問題の解決に資すると考えられる。情報が持つこのような力を「情報力」と呼び、これまで自治体を対象とした実証実験に取り組んできた研究者や地方自治体関係者が、それぞれの立場から議論する。

**司会・パネリスト：中澤 仁 (慶應義塾大学 環境情報学部 准教授)**

略歴・写真は「情報力」で街を変える～ビッグデータ利活用技術開発とその社会実装～ 司会紹介を参照。

**パネリスト：瀧 敦司 (藤沢市 総務部 IT推進課 上級主査)**

略歴・写真は講演 (2) 「21世紀の自治体が抱える諸問題とビッグデータ利活用の可能性」を参照。

**天笠 俊之 (筑波大学 計算科学研究センター 准教授)**

略歴・写真は講演 (3) 「収集量の見える化によるゴミ減量の取り組み ～ゴミ減量 G1 グランプリ～」を参照。

**松田 耕史 (東北大学 大学院情報科学研究科 研究員)**

略歴・写真は講演 (4) 「エンティティリンキング技術に基づいた地理情報と言語情報の融合解析」を参照。

**豊田 正史 (東京大学 生産技術研究所 准教授)**

略歴・写真は講演 (5) 「データ格納・可視化技術に基づくスマートシティアプリケーション」を参照。

## 第1分冊

## (コンピュータシステム)

## 一般セッション [1A会場] (3月16日(木) 9:30~12:00)

システム・アーキテクチャ 座長 塩谷 亮太 (名大)

- 1 大規模 FPGA ボードの開発によるホログラフィ専用計算機 HORN-8 プロジェクト  
○伊藤智義, 杉江崇繁, 赤松孝則, 木村祐哉, 川口梨紗花, 角江 崇, 下馬場朋禄 (千葉大)
- 2 チップ間誘導結合 TCI を用いたヘテロジニアスマルチコア Cube-2 の評価  
○天野英晴 (慶大)
- 3 UdAD (User-driven Architecture for Devices) のクラウド側アーキテクチャの検討  
○大橋 正 (アイリクト)
- 4 大容量 Flash を活用したメモリ拡張キャッシュサーバの設計と評価  
○五木田駿, 吉田英司, 三吉貴史, 小川淳二 (富士通研)
- 5 RTOS の FPGA によるハードウェア化の検討  
○宮内哲夫, 田中清史 (北陸先端大)
- 6 画像認識処理における SIMD 命令の有効性の評価  
○高島志泰 (日立)

## 一般セッション [2A会場] (3月16日(木) 13:00~15:30)

クラウドおよび IoT のための基盤技術 座長 山口 実晴 (工学院大)

- 1 KVM における機密情報の拡散追跡機能における性能改善策  
○森山英明 (有明高専), 山内利宏, 佐藤将也, 谷口秀夫 (岡山大)
- 2 ソフトウェア開発用プライベートクラウドにおける資源効率の改善事例  
○住田宏己, 吉本安男 (富士通)
- 3 Upgrading Job Scheduling by Disaggregating Rack Resources in Datacenters  
○胡 曜 (NII), 藤原一毅 (NICT), 鯉淵道結 (NII)
- 4 小型 IoT 機器を対象とした動的システムマイグレーションの研究状況  
○大谷 真, 中尾司ピエール (湘南工科大)
- 5 多数のタスクが動作する環境下でのタスク起動応答性評価  
○東山知彦 (三菱)
- 6 静的優先度スケジューリングにおけるタスク分割によるジッタ削減の検討  
○鈴木隆元, 田中清史 (北陸先端大)

## 一般セッション [3A会場] (3月17日(金) 9:30~12:00)

並列処理 座長 滝沢 寛之 (東北大)

- 1 モデル解析によるマルチレート Simulink モデル並列化  
○池田良裕, 市橋友樹, 仲田壮佑, 枝廣正人 (名大)
- 2 モデルベース開発における KALRAY MPPA メニューコア向け並列化  
○鍾 兆前, 枝廣正人 (名大)
- 3 永久磁石同期モータ電流制御系のための予測制御アルゴリズム並列化  
○竹松慎弥, 市村駿太郎, 岩間拓也, 嶋岡雅浩, 道木慎二, 枝廣正人 (名大)
- 4 POWER8 プロセッサ上での Top-down アプローチによる幅優先探索の階層的並列処理  
○慶野一朗, 吉田明正 (明大)
- 5 GPU アクセラレータを伴うマルチコア上での階層統合型粗粒度並列処理  
○安部拓未, 吉田明正 (明大)
- 6 GPU を用いた気候変動影響評価における全球規模トレンド分析の高速化  
○山本昭夫 (東大), 喜連川優 (NII/東大)

## 学生セッション [1G会場] (3月16日(木) 9:30~12:00)

アプリケーション高速化 座長 野寺 隆 (慶大)

- 1 Arria 10 SoC を用いた Full-PIC 法における割付処理の高速化  
○野田裕之, 酒井諒太郎 (慶大), 宮島敬明 (JAXA), 天野英晴 (慶大)
- 2 メニューコアプロセッサを用いた集合間類似結合の高速化  
○菅野健太, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)
- 3 データ同化処理における時空間ブロックの異機種性能評価  
○藤川隼人, 池田朋哉, 片桐孝洋, 永井 亨, 荻野正雄 (名大)
- 4 GPGPU を用いた MAS の高速アルゴリズムライブラリの実装  
○吉川翔子, 大岩 朗, 芳賀博英 (同志社大)

- 5 シナリオテンプレートをを用いた自動チューニングに関する研究  
○佐藤大智, 平澤将一, 滝沢寛之, 小林広明 (東北大)
- 6 自動チューニングにおける d-Spline 近似の実時間のプレを考慮した手法の提案  
○范 谷瑛, 望月大義, 田中輝雄, 藤井昭宏 (工学院大), 片桐孝洋 (名大)
- 7 ベイズ型情報量基準 ABIC を用いた不等間隔データのあてはめ  
○高見澤淳弘, 范 谷瑛, 望月大義, 藤井昭宏, 田中輝雄 (工学院大)

## 学生セッション [2G会場] (3月16日(木) 13:00~15:30)

システム・アーキテクチャ 座長 天野 英晴 (慶大)

- 1 多倍長型 MPI プログラムの自動生成に向けた多倍長型通信ライブラリの実装と評価  
○愛沢菜穂, 斯波 柁 (工学院大), 菱沼利彰 (筑波大), 田中輝雄, 藤井昭宏 (工学院大), 平澤将一 (東北大)
- 2 RDMA コードの置き換えによる隣接通信の高速化  
○野口貴希, 藤井昭宏, 田中輝雄 (工学院大)
- 3 神経回路網による相互結合網パケットスケジュール最適化の初期検討  
○相澤和秀, 横田隆史, 大津金光, 大川 猛 (宇都宮大)
- 4 CUDA による並行処理のためのデータ転送のスケジューリング手法の提案  
○甲田亮太, 杉野栄二, 猪股俊光, 成田匡輝, 新井義和, 今井信太郎 (岩手県大)
- 5 Flash メモリ上の Key-Value Store のデータ構造のための IoT 向け低消費電力マイクロアーキテクチャの評価  
○馬場裕之, 請園智玲, 佐藤寿倫 (福岡大)
- 6 SSD における RAM Buffer 管理アルゴリズムの動的チューニング手法  
○小川愛理, 吉瀬謙二 (東工大)
- 7 LLVM を活用したバイナリ変換のための ARM 機械語から IR への変換手法の検討  
○重信晃太, 大津金光, 大川 猛, 横田隆史 (宇都宮大)
- 8 下位レベルキャッシュメモリへのアクセスフィルタによるタグ参照電力の削減  
○石田隆太, 請園智玲, 佐藤寿倫 (福岡大)
- 9 スレッドレベル並列投機実行のためのデータ依存解析機構  
○出島貴史, 布目 淳, 平田博章 (京都工繊大)

## 学生セッション [3G会場] (3月17日(金) 9:30~12:00)

スマートフォン基盤技術 座長 佐藤 将也 (岡山大)

- 1 Promote 条件の制御による Android 世代別 GC の性能向上に関する一考察  
○森 竜佑, 濱中真太郎 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大), 山口実晴 (工学院大)
- 2 Android OS におけるオブジェクト寿命を考慮した GC 選択に関する一考察  
○濱中真太郎, 栗原 駿, 福田翔貴, 森 竜佑 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大), 山口実晴 (工学院大)
- 3 クライアントサーバ型実アプリケーションにおける高速動作観察環境  
○福田翔貴, 栗原 駿, 濱中真太郎 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大), 山口実晴 (工学院大)
- 4 DMTCP によるノード構成の動的変更に対応した並列分散処理環境の検討  
○杉山裕紀, 澤田祐樹, 大津金光, 横田隆史, 大川 猛 (宇都宮大)

## 学生セッション [4G会場] (3月17日(金) 13:00~15:00)

組込みシステム 現実世界と応用 座長 横山 孝典 (東京都市大)

- 1 RFID を利用した視覚障がい者向けナビシステムの改良及びその実証実験  
○大塚康平, 伊藤篤志, 上川畑慎吾, 佐藤 佳, 佐藤俊太, 山下晃弘, 松林勝志 (東京高専)
- 2 視覚障がい者向けナビシステムにおけるカメラ画像を用いた障害物検出及び自己位置推定法  
○遠藤勇樹, 尾崎和真, 山下晃弘, 松林勝志 (東京高専)
- 3 人工知能を用いた感情認識人型ロボットによる図書検索システムの試作  
○飯干杏美, 前田洋征, 田中康一郎 (九産大)

- 4 ロボットによる人に対する障害物除去依頼の研究  
○西川琢磨, 羽田靖史 (工学院大)
- 5 水中ドローンの実験環境の開発  
○島袋真成, 早川栄一 (拓大)
- 6 低速時における自転車転倒の予測  
○鈴木愛一郎, 岡 誠, 森 博彦 (東京都市大)
- 7 レジ混雑状況緩和システムの開発  
○外山祥平, 平山雅之 (日大)

学生セッション [5G 会場] (3月17日 (金) 15:10 ~ 17:40)

行列計算 座長 曾我部 知広 (名大)

- 1 MIC アーキテクチャ上での Hierarchical Diagonal Blocking を利用した疎行列ベクトル積の性能評価  
○山口 翔, 藤井昭宏, 田中輝雄 (工学院大)
- 2 Hierarchical Diagonal Blocking の階層構造に着目した疎行列ベクトル積の性能評価  
○室 燎, 田中輝雄, 藤井昭宏 (工学院大)
- 3 高精度計算ライブラリを利用した多倍長精度行列ベクトル演算の性能評価  
○関谷和明, 荻野正雄, 片桐孝洋, 永井 亨 (名大)
- 4 ディープラーニングを用いた数値計算ライブラリの最適実装選択の検討  
○山田賢也, 片桐孝洋, 永井 亨, 荻野正雄 (名大)
- 5 複素数電磁場解析の問題における Smoothed Aggregation Algebraic Multigrid 法の適用  
○朝倉豪彦, 野村直也, 藤井昭宏, 田中輝雄 (工学院大)
- 6 大規模なカルシウムイメージングデータに対する自動ソーティングアルゴリズムのチューニング  
○根本貴大, 田中輝雄, 藤井昭宏, 竹川高志 (工学院大)
- 7 発展方程式のための Parallel Shift-invert Rational Krylov 法  
○橋本悠香, 野寺 隆 (慶大)
- 8 Lanczos 法を利用した TSVD 法の積分方程式への応用  
○辺 遠, 野寺 隆 (慶大)
- 9  $L_1$ 正則化問題に対する Hybrid 法の適用  
○富樫 大, 野寺 隆 (慶大)

学生セッション [6G 会場] (3月18日 (土) 9:30 ~ 12:00)

組込みシステム 開発手法と実装 座長 枝廣 正人 (名大)

- 1 組込ソフト開発におけるスクリプト言語の利用とメソッドチェック手法  
○森田 亘, 田中和明 (九工大)
- 2 組み込みシステムのモデル駆動開発における D-Case の活用  
○菊池雄太郎, 力武克彰 (仙台高専)
- 3 関数型リアクティブプログラミングによる組み込みシステム向け DSL の実装  
○中野史彬, 佐々木晃 (法大)
- 4 Yet Another Target Software Simulator  
○ Rui Shao, 中本幸一 (兵庫県大)
- 5 タイムスタンプを用いた組込みシステム向け時間駆動分散処理環境の提案  
○市村 歩, 兪 明連, 横山孝典 (東京都市大)
- 6 マルチコアプロセッサを含む分散型組込み制御システム向けリアルタイム OS  
○細山博史 (東京都市大), 横山幸太郎 (日立), 兪 明連, 横山孝典 (東京都市大)
- 7 リアルタイム OS におけるマルチタスク機能の実装方法と評価  
○有馬明日香, 田中和明 (九工大)
- 8 エナジーハーベスティングに適した軽量通信プロトコルの実装と評価  
○樽水康平, 田中和明 (九工大)
- 9 Haskell による複数ロボットの協調動作に関する研究  
○堀 麻衣 (法大)

学生セッション [7G 会場] (3月18日 (土) 13:00 ~ 15:00)

FPGA, アクセラレータ 座長 譜園 智玲 (福岡大)

- 1 カメラ画像からの簡易的な距離推定を行う FPGA/SW 協調処理システムの検討  
○小林都生, 松本拓也, 渡邊晋平, 大川 猛, 大津金光, 横田隆史 (宇都宮大)

- 2 ROS の Publish/Subscribe 通信のハードウェア実装による高速化の検討  
○菅田悠平, 山科和史, 大川 猛, 大津金光, 横田隆史 (宇都宮大)
- 3 Parallella アーキテクチャを用いたユークリッド距離変換の並列化  
○東村将志, 森本康彦 (広島大)
- 4 無線3次元積層チップを用いた Deep Learning アクセラレータのシステムレベルシミュレーション  
○大久保徹以, 小島拓也, 天野英晴 (慶大), 高田 遼, 石井 潤, 坂本龍一, 近藤正章, 中村 宏 (東大)
- 5 フィードバックレコード数の最適なマージネットワークを用いたマージツリー  
○齊藤 誠, 吉瀬謙二 (東工大)
- 6 FPGA アクセラレータを用いた大規模 NoC におけるルーティング手法の検討  
○史 発, Thiem Van Chu, 吉瀬謙二 (東工大)
- 7 FPGA デザインのモジュール別消費電力解析ツール  
○川井博斗, 吉瀬謙二 (東工大)
- 8 FPGA アクセラレーションを可能にするストリーミングフレームワークの評価  
○味曾野智礼, 吉瀬謙二 (東工大)

学生セッション [1H 会場] (3月16日 (木) 9:30 ~ 12:00)

クラウド 座長 山内 利宏 (岡山大)

- 1 コンテナ型仮想化を用いた高集約環境の性能に関する考察  
○梅澤綾果, 山口実靖 (工学院大)
- 2 マルチテナントシステムの開発を支援する IaaS 環境  
○松本拓也, 古橋健斗 (芝浦工大)
- 3 アプリケーション実行性能の類似性を用いた計算資源選択手法の提案  
○真鍋 優, 小坂隆浩 (同志社大)
- 4 データのアクセス頻度に着目した Hadoop 分散ファイルシステムの性能向上  
○山本 景, 川原 純, 笠原正治 (奈良先端大)
- 5 HDFS シーケンシャルファイルアクセス性能の向上に関する考察  
○近丈一郎, 中島健司, 藤島永太, 山口実靖 (工学院大)
- 6 複数の仮想マシンが動作する環境における効率的なページキャッシュ管理手法  
○岡本崇典, 芝 公仁 (龍谷大)
- 7 複数ストレージデバイスを用いるセキュアビッグデータ基盤の I/O 高速化  
○中島健司, 近丈一郎, 藤島永太, 山口実靖 (工学院大)

学生セッション [2H 会場] (3月16日 (木) 13:00 ~ 15:30)

OS 座長 芝 公仁 (龍谷大)

- 1 マルチコア AnT のスケジューリング機構における優先度逆転抑制効果  
○鴨生悠冬, 佐藤将也, 山内利宏, 谷口秀夫 (岡山大)
- 2 マルチコア AnT におけるサーバプログラム間通信性能の評価  
○寺本大風, 鴨生悠冬, 佐藤将也, 谷口秀夫 (岡山大)
- 3 マイクロカーネル OS における NIC ドライバプロセスの入替え性能の比較  
○澤田 淳, 山内利宏, 谷口秀夫 (岡山大)
- 4 サーバの並列処理を促進する AnT の一括依頼並列処理機能  
○村岡勇希, 佐藤将也, 山内利宏, 谷口秀夫 (岡山大)
- 5 OS 資源をノード毎に管理する Tender の構成  
○須頭滉平, 山内利宏, 谷口秀夫 (岡山大)
- 6 Tender の再利用機能における未使用資源の削除機能  
○田村 大, 山内利宏, 谷口秀夫 (岡山大)
- 7 プロセッサの違いに着目した走行モード変更機構の評価  
○福居誠二, 佐藤将也, 山内利宏, 谷口秀夫 (岡山大)
- 8 未参照バッファ数に着目した入出力バッファ分割法における Web サーバ応答時間の評価  
○河辺誠弥, 山内利宏, 乃村能成, 谷口秀夫 (岡山大)
- 9 高信頼な組込みシステムに向けた障害情報収集機能を持つ監視用 OS の試作  
○山本遼介 (立命館大), 片山吉章 (三菱), 明田修平, 瀧本栄二, 毛利公一 (立命館大)

**第1分冊****(ソフトウェア科学・工学)**

一般セッション [5A会場] (3月17日(金) 15:10 ~ 17:40)

アルゴリズム (3) 座長 西村 治道 (名大)

- The LR-dispersion problem  
○赤木俊裕 (群馬大), 荒木徹也 (NII), 中野真一 (群馬大)
- 運行管理者 (貨物) 業務に関わるトラック運転者のスケジューリングに関する一考察  
○鈴木邦成, 村山要司, 若林敬造 (日大)
- トラス埋め込みによる可逆なエントロピー削減方法  
○野間 唯 (富士通研)
- ZDD を用いた 0-1 多目的ナップサック問題のバレート解列挙  
○鈴木浩史, 湊 真一 (北大)
- 複数の順列に共通して現れるパターンの列挙法  
○井上祐馬, 湊 真一 (北大)
- グラフ構造の分布情報を用いた有界な次数と木幅の文脈自由グラフ言語の多項式時間機械学習  
○松本哲志 (東海大), 正代隆義 (九州国際大), 鈴木祐介 (広島市大)
- 領域隣接情報が厳密な円の Voronoi 図の近似構成の性能評価  
○今井敏行 (和歌山大)

一般セッション [6A会場] (3月18日(土) 9:30 ~ 12:00)

ソフトウェア工学 座長 岸 知二 (早大)

- AI を導入したソフトウェア開発の品質管理  
○豊谷 純 (日大), 村田大治 (テックバン)
- ソースコードの部分的な等価性検証による等価性判定範囲の精度向上手法  
○吉田三喜也, 米持一樹, 伊藤益夫 (三菱)
- モデル検査に基づくネットワーク機器製品の性能検証手法  
○大林浩気 (日立)
- 拡張プレス / トランジションネットに基づく VDM 仕様の構築手法の提案  
○高木智彦, 赤木章紀 (香川大)
- 既存資産を活用したシングルページアプリケーション (SPA) 開発方式の考察  
○岡田 太, 佐藤裕介, 森田孝哉 (日立)
- マイクロホンアレイ搭載 UAV を用いた屋外実環境実時間音源探索  
○干場功太郎 (東工大), 若林瑞保, 鷺崎 海, 石木隆洋, 公文 誠 (熊本大), Daniel Gabriel (東工大), 中臺一博 (東工大 / ホンダ RIJ), 奥乃 博 (早大)
- C++14 における名前付き引数の実装  
○鈴木 遼, 長 幾郎 (早大)

一般セッション [7A会場] (3月18日(土) 13:00 ~ 15:00)

数理モデル化と問題解決 (6) 座長 北 栄輔 (名大)

- 数理エコシステムによるアクセス市場の分析 - 数理エコシステムは IoT 時代のツールとなり得るか? -  
○池末成明 (ダイレクトコンサルティング)
- 位置情報付き SNS メッセージ分布に対する事件影響のモデル化  
○中渡瀬秀一, 水野貴之 (NII)
- 会員ステージ向上に着目した重要商品の分析手法に関する一考察  
○楊 添翔, 山下 遥, 後藤正幸 (早大)
- 街のイメージと調和した広告看板のデザイン法に関する研究  
○日吉久礎, 大口里奈 (青学大)
- 陰的初期条件  
○諏澤寛源

一般セッション [1B会場] (3月16日(木) 9:30 ~ 12:00)

数理モデル化と問題解決 (1) 座長 佐藤 彰洋 (京大)

- 他個体を参照する進化的アルゴリズムによる巡回セールスマン問題の解法  
○佐藤豊浩, 穴田 一 (東京都市大)
- 納豆菌のコロニー形成と分布拡大: 環境条件による影響  
○中桐齊之, 萩野周平, 遠藤敏生, 波尋拓哉, 榎原周平 (兵庫県大), 向坂幸雄 (中村学園大短大)

- マルチエージェント津波避難シミュレーションの高速化と市街地スケール計算での評価  
○牧野嶋文泰, 今村文彦 (東北大)

- 金融ビッグデータによるバブルの早期警戒技術  
○水野貴之 (NII), 大西立顕, 渡辺 努 (東大)
- リカレントニューラルネットワークによるポラリティ・クラスタリングのモデル化  
○五島圭一 (東工大), 高橋大志 (慶大), 寺野隆雄 (東工大)

一般セッション [2B会場] (3月16日(木) 13:00 ~ 15:30)

数理モデル化と問題解決 (2) 座長 松田 健 (長崎県立大)

- 世界メッシュ統計とその利活用  
○佐藤彰洋 (京大), 椿 広計 (統計センター)
- 多項分布ストリームデータにおける異常区間検出の比較実験  
○山岸祐己, 齊藤和巳 (静岡県大)
- 多変量時空間データのベイズ的テンソル補完法による配水網のネットワークコスト推定  
○平野敏弘 (NEC)
- コールドスタート問題解決のためのソフトクラスタリング活用の提案  
○大西佑紀, 菅谷信介 (ビズリーチ)
- 質的産業連関表の中心性尺度の頑健性 ~ RAS 法を使ったシミュレーションによる確認 ~  
○田村 肇 (筑波大)

学生セッション [3H会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)

アルゴリズム (1) 座長 藤戸 敏弘 (豊橋技科大)

- 大規模なバイナリー 2 次計画問題に対する反復貪欲法の改良  
○岡野翔哉, 外山 史, 森 博志, 東海林健二 (宇都宮大)
- 論理制約を伴う最短経路問題を解く動的計画法の空間計算量の削減  
○竹内文登 (北大), 安田宜仁, 西野正彬 (NTT), 湊 真一 (北大)
- Delaunay 図と Lp-Delaunay 図のメッシュとしての複数規準による形状比較  
○岩本龍馬, 今井敏行 (和歌山大)
- Reed-Solomon 符号を用いた修正積符号による不均一誤り訂正符号の構成  
○高橋 悠 (法大)
- GF(2<sup>4</sup>) 上の Reed-Solomon 符号の 2 元重み分布多項式について  
○白木夏織 (法大)

学生セッション [4H会場] (3月17日(金) 13:00 ~ 15:00)

アルゴリズム (2) 座長 今井 敏行 (和歌山大)

- 区分的微分可能関数と一般化自動微分  
○吉田北斗, 久保田光一 (中大)
- 直線上の min-sum r-cellular Clustering  
○小川航平, 中野真一, 宮田洋行, 赤木俊裕 (群馬大)
- 恒久的連結頂点被覆問題について  
○中村友哉, 藤戸敏弘 (豊橋技科大)
- ファジィ時系列モデルを利用したキーワード検索数の動向予測手法の提案  
○長沼博則, 藤田ハミド, 樽松理樹, 羽倉 淳 (岩手県大)
- 外平面グラフに対する Koller の L(2,1) ラベリングアルゴリズムの計算時間解析  
○山中寿登, 小野廣隆 (九大)

学生セッション [5H会場] (3月17日(金) 15:10 ~ 17:40)

形式手法・静的解析 座長 立石 孝彰 (日本 IBM)

- 自動翻訳された日本語バグレポートを用いたバグ局所化の試行  
○上杉正紀, 森崎修司 (名大), 渥美紀寿 (京大), 山本修一郎 (名大)
- 関数呼び出しを含む LLVM IR プログラム用スライシングツールの開発  
○Huu Hoang Nguyen, 芳賀博英, 斎藤崇雅, 増原孝昭 (同志社大)
- プログラム理解のためのスライス基準の特定と評価  
○増原孝昭, 芳賀博英 (同志社大)
- 静的解析を利用したセキュアなハイブリッドアプリの開発支援に関する研究  
○坂 周英, 清 雄一, 田原康之, 大須賀昭彦 (電通大)

- 5 Ruby on Rails を対象としたモデル検査による画面遷移検証  
○大嶋乃斗, 岸 知二 (早大)
- 6 形式手法と保証ケースによるコンポーネントの妥当性確認方式の提案  
○山本椋太, 山本修一郎 (名大)
- 7 モジュール構造に対応したソフトウェア合成手法  
○横山 仁, 織田 健 (電通大)
- 8 形式仕様に基づくソフトウェア部品の結合手法  
○高橋宏夢 (電通大)
- 9 状態遷移図と抽象的仕様記述のマッチングによる仕様の誤り検出  
○岡野純平 (電通大)
- 学生セッション [6H 会場] (3月18日(土) 9:30 ~ 12:00)**  
**数理モデル化と問題解決 (5) 座長 森山 甲一 (名工大)**
- 1 顧客の成長に着目したネットワーク分析による重要商品の抽出に関する一考察  
○伊藤寛彬, 雲居玄道, 山下 遥, 後藤正幸 (早大)
- 2 非負値行列因子分解に基づく気象条件と商品売上パターンとの関係分析モデルに関する一考察  
○岡山 成, 山下 遥 (早大), 三川健太 (湘南工科大), 後藤正幸 (早大), 吉開朋弘 (日本気象協会)
- 3 学生の自己内省を考慮した講義課題処理過程のモデル化とその性能評価  
○鈴木一輝, 田中秀明, 宇都宮陽一, 奥田隆史 (愛知県大)
- 4 サッカーにおけるパスの質の定量的評価方法の提案  
○脇田健哉, 室田真男 (東工大)
- 5 執務に関して異なる照度に対する満足度の測定およびその結果に基づいた知的照明システムの新たな制御方式について  
○那須大晃, 三木光範, 上南遼平, 提中慎哉, 間 博人 (同志社大)
- 6 非ホロノミック拘束条件を含むハミルトニアン系に対するシンプレクティック数値積分法と修正法の適用  
○岡田裕佑 (同志社大)
- 7 単純なデータ構造を用いた CUDA のための Delaunay 三角形分割計算手法  
○石河孝太, 山本修身 (名城大)
- 8 熟達度と環境に基づいたピッキング作業員行動遷移モデルの記述  
○太田大智, 中平勝子, 北島宗雄 (長岡技科大)
- 学生セッション [7H 会場] (3月18日(土) 13:00 ~ 15:00)**  
**ソフトウェアの構成と分析 座長 丸山 勝久 (立命館大)**
- 1 Interactive human-robot interface for kinesthetic task-level-programming of robot arm  
○アレクシス オルガド, ギエルモ エンリケズ, 橋本周司 (早大)
- 2 ウェブサイトデザインのためのフレームワーク組み合わせ手法の提案  
○島藤大誉, 満田成紀, 松延拓生, 福安直樹, 鯉坂恒夫 (和歌山大)
- 3 ホームネットワークシステムにおけるサービスモデルと web サービスを用いた実装の一方  
○中根康介, 河野克己 (阪工大)
- 4 グラフモデルを用いた OSS コミュニティ進化の構造分析方法の提案と評価  
○加藤聖也, 稲垣遥太, 青山幹雄 (南山大)
- 5 C 言語プログラムを対象とした効率の良い盗用検知手法の提案および実装  
○東 拓磨, 篠埜 功 (芝浦工大)
- 6 機能追加によるユーザ操作の変更からシステム変更による影響を予測する手法の提案  
○許 亮, 岡田直也, 高木智彦, 八重樫理人 (香川大)
- 7 ソフトウェア工学の最先端研究は中・小規模企業のニーズに答えられているのか?  
○村上優佳紗, 角田雅照 (近畿大)
- 8 コードメトリクスを用いたプログラミング能力の評価とその応用  
○伊藤瑠哉, 竹島 亮, 長尾 確 (名大)
- 学生セッション [1J 会場] (3月16日(木) 9:30 ~ 12:00)**  
**プログラミング 座長 松崎 公紀 (高知工科大)**
- 1 ループ終了判定命令を考慮した Software Pipelining の多重ループへの適応  
○畠山雄樹, 宮内 新, 中野秀洋 (東京都市大)
- 2 非同期並列プログラミング言語の意味論と実装  
○諏訪重貴 (芝浦工大)
- 3 LLDB を用いたソース-to-C 型トランスレータ用ソースレベルデバッガの実装手法  
○柳 震, 小宮常康 (電通大)
- 4 可逆プログラミング言語 RWHILE による万能可逆チューリング機械の構成  
○青木 峻, 柴田心太郎, 横山哲郎 (南山大)
- 5 多重 Ambient Calculus を用いた海上物産監視システム  
○高岡久裕, 加藤 暢, 樋口昌宏 (近畿大)
- 6 非専門プログラマのための JavaScript 言語の拡張: 共有可能 own 変数  
○柏倉 歩, 大谷 真 (湘南工科大)
- 7 Ruby における Unicode プロパティ処理の拡張と効率化  
○小山拓美, 松原俊一, Martin Duerst (青学大)
- 8 任意桁数の精度保証が可能な数値計算ライブラリ IFN の区間演算ライブラリ MPFI を用いた高速化  
○村田早夜香, 川端英之, 弘中哲夫 (広島市大)
- 9 区間演算ライブラリ MPFI への Haskell バインディングの設計と実装  
○長濱ななみ, 川端英之, 弘中哲夫 (広島市大)
- 学生セッション [2J 会場] (3月16日(木) 13:00 ~ 15:30)**  
**要求・設計 座長 立石 孝彰 (日本 IBM)**
- 1 SLA 契約の自動化方法の提案と評価  
○中島啓貴, 青山幹雄 (南山大)
- 2 機械学習を用いたステークホルダ分析方法の提案と評価  
○市川裕也, 青山幹雄 (南山大)
- 3 モジュール型ペルソナ作成方法の提案と評価  
○野村 凌, 森泉千尋, 青山幹雄 (南山大)
- 4 セマンティックグラフモデルを用いたステークホルダ分析方法の提案と評価  
○白崎悠太, 小林勇也, 青山幹雄 (南山大)
- 5 ソフトウェア開発における潜在要求発見の支援手法  
○鶴貝康男, 高橋竜一, 深澤良彰 (早大)
- 6 スマートフォン特有の操作性に注目した GUI のモデル駆動開発手法  
○張カンウ, 岸 知二 (早大)
- 7 組込みシステムにおける要求分析モデルからのテストケース導出手法  
○西川 俊, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 8 ソフトウェアセキュリティ知識ベースを活用したセキュリティ要求分析からセキュリティ設計を支援するシステムの提案  
○宮原 光, 樫山淳雄 (東京学芸大), 田中昂文 (農工大), 橋浦弘明 (日本工大), 鷲崎弘宣 (早大), 吉岡信和 (NII), 海谷治彦 (神奈川大), 大久保隆夫 (情報セキュリティ大)
- 9 STAMP/STPA 安全分析のためのツールの開発  
○佐藤葉介 (仙台高専)
- 学生セッション [3J 会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)**  
**数理モデル化と問題解決 (3) 座長 吉川 大弘 (名大)**
- 1 ネットワークの構造的制限を導入した友人関係形成モデルの提案  
○菱田祥吾, 武藤敦子, 森山甲一, 犬塚信博 (名工大), 松井藤五郎 (中部大)
- 2 対数感度と改良型 Memory を用いた MAX-MIN Ant System による巡回セールスマン問題の解法  
○磯崎敬志, 穴田 一 (東京都市大)
- 3 MAS を応用した連立方程式の解法の提案  
○中尾 空, 芳賀博英 (同志社大)
- 4 MAS による国民の不満を考慮した選挙制度のシミュレーション  
○北島秀有記, 芳賀博英 (同志社大)
- 5 MAS を使用したセルフレジシミュレータの開発と検証  
○平田直也, 中桐斉之 (兵庫県大)
- 6 多目的最適化における遺伝的アルゴリズムの初期個体群に関する評価  
○藤本大輝, 久保田光一 (中大)

- 7 人の繋がりに着目したコミュニティ活動の活性化への関わり度合いの分析

○賀川祐耶, 武藤敦子 (名工大), 松井藤五郎 (中部大), 森山甲一, 犬塚信博 (名工大)

- 8 格子確率モデルによる工場の分布拡大と閉鎖のシミュレーション

○藤原涼子, 中桐齊之 (兵庫県大)

- 9 二次元格子上繰り返し四人のジレンマゲームにおけるフリーライダーの影響

○藤原紫王里, 中桐齊之 (兵庫県大)

**学生セッション [4J会場] (3月17日(金) 13:00 ~ 15:00)**

**保守・テスト** 座長 原田 康之 (電通大)

- 1 自己適応における動的な優先順位変更のための制御器生成コストの削減に関する研究

○惣津美穂, 片江将希, 田邊萌香 (早大), 鄭 顕志 (NII), 深澤良彰 (早大), 本位田真一 (NII)

- 2 サーバOSアップグレード作業の効率化の提案

○佐藤彰太, 綿名一樹, 五味悠一郎 (日大)

- 3 ヘルプデスク補助に向けたWeb UI操作ログ収集ツールの試作

○中島徳雅, 小形真平, 岡野浩三 (信州大)

- 4 GitHubとStack Overflowにおけるユーザ行動の統一的な分析

○永野真知, 早瀬康裕, 駒水孝裕, 北川博之 (筑波大)

- 5 形式仕様に基づくテストケースの自動生成とテスト結果の自動評価

○池田逸人, 劉 少英 (法大)

- 6 形式仕様に基づくテストにおけるテストスクリプト自動生成

○網谷拓海 (法大)

- 7 テスト順序を考慮したペアワイズ法によるテストケース生成手法

○木村健太, 岸 知二 (早大)

- 8 ソフトウェアの更新差分情報を用いたテストケース生成手法

○櫻井佳樹, 岸 知二 (早大)

**学生セッション [5J会場] (3月17日(金) 15:10 ~ 17:40)**

**数理モデル化と問題解決 (4)** 座長 庄野 逸 (電通大)

- 1 パターン認識システムに対する高速なノイズ耐性検査手法

○坂田浩規, 安田宗樹 (山形大)

- 2 誤り教師データを含むデータセットを用いた統計的機械学習に関する研究

○小堀美香, 安田宗樹 (山形大)

- 3 多値表現の隠れ変数を持つ制限ボルツマンマシン

○横山悠貴, 安田宗樹 (山形大)

- 4 深層ボルツマンマシンに対する高性能な平均場近似アルゴリズム

○高橋茶子, 安田宗樹 (山形大)

- 5 ノード視点によるコミュニティ抽出手法のマルチレイヤネットワークへの拡張

○盛 燎平, 須貝康雄 (千葉大)

- 6 注射技術における手指運動の数理的解析と考察

○吉田優多朗 (静岡理工科大), 松田 健 (長崎県立大), 真嶋由貴恵 (阪府大), 大谷康介 (binary lab), 野口俊樹 (CAIメディア)

- 7 機械学習を用いたクロスサイトスクリプティング攻撃の検知実験と特徴抽出法に関する考察

○梅原章宏 (中大), 松田 健 (長崎県立大), 園田道夫 (中大), 水野信也 (静岡理工科大), 趙 晋輝 (中大)

- 8 アセンブラ命令の出現状況に着目したバッファオーバーフロー攻撃の検知とその考察

○南後吉秀 (中大), 松田 健 (長崎県立大), 園田道夫 (サイバー大), 趙 晋輝 (中大)

- 9 統計モデルを用いた沿岸部近辺の地上環境データから推定する沿岸水温情報に関する検討

○岡田 学, 岸上順一 (室蘭工大)

**第1分冊**

**(データとウェブ)**

**一般セッション [3B会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)**

**DBシステムと情報検索** 座長 中野 美由紀 (産業技術大)

- 1 OLTPワークロードを用いたAFAストレージ向け重複除去の評価

○鈴木康介 (富士通研)

- 2 道路構造の類似性に着目した機能クラスタ抽出の高速化

○伏見卓恭 (筑波大), 齊藤和巳 (静岡県大), 風間一洋 (和歌山大)

- 3 PostgreSQLへの進捗度取得機能の導入

○片山大河, 廣瀬繁雄, 嶋村 誠, 金松基孝 (東芝インダストリアルICTソリューション社)

- 4 ランク付集合ラベルデータのための評価基準系列

○葛西正裕 (愛知学院大), 古川哲也 (九大)

- 5 不具合情報を活用したFTA支援システムの開発

○清水勇喜, 大野耕作, 丹野洋平, 川下道宏 (日立)

- 6 論文QAのための画像処理~グラフを読む~

○磯崎秀樹, 中野仁登, 浅川 護, 荒木良元 (岡山県大)

**一般セッション [4B会場] (3月17日(金) 13:00 ~ 15:00)**

**データ分析 (1)** 座長 風間 一洋 (和歌山大)

- 1 アンケート調査を伴う自由回答によるリスク情報の分析

○齋藤耕一 (コウゲツ)

- 2 料理タイプに特徴的な食材集合の抽出について

○尾崎知伸, 高 霞 (日大)

- 3 概念階層を考慮した拡張TF-IDF法に基づく料理タイプの分析

○尾崎知伸, 水谷真子 (日大)

- 4 クチコミ拡散の定量化手法の開発とメディア別の傾向分析

○福田浩至 (ループス・コミュニケーションズ), 大曾根匡 (専修大)

- 5 カテゴリ変数セットの距離を用いたファッション・コーディネートコミュニティ分析

○大槻 明 (日大)

- 6 料理レシピサービスにおけるユーザセグメント分析

○佐々木健太 (クックパッド)

**一般セッション [5B会場] (3月17日(金) 15:10 ~ 17:40)**

**データ分析 (2)** 座長 川島 英之 (筑波大)

- 1 都市における混雑度推定のためのスポーツ観戦者数の予測手法: 日本におけるプロ野球観戦に関する考察

○小林 峻, 新井教広, 一ノ木繁, 金丸正憲, 鎌柄拓志, 吉野悦郎, 中野美由紀 (産業技術大)

- 2 XRAIN合成雨量データを用いた高リスク優先手法アルゴリズムの提案

○佐野仁美, 生駒栄司 (東大), 喜連川優 (NII/東大), 小口正人 (お茶の水女子大)

- 3 施設園芸における果菜生長のモデル化に関する一考察~葉菜と果菜の違いに着目した、モデル化、環境制御に対する課題~

○竹内智晴, 太田一史 (三菱)

- 4 アクセスログからの大域的特徴量を考慮したユーザ属性推定

○佐藤 哲 (NHN テコラス)

- 5 情報システムのアクセス制御における通行履歴の活用

○小宮 崇 (三菱)

- 6 情報システムのアクセス制御における通行履歴の活用

○小宮 崇 (三菱)

**学生セッション [1K会場] (3月16日(木) 9:30 ~ 12:00)**

**情報検索 (1)** 座長 戸田 浩之 (NTT)

- 1 (講演取消)

- 2 分散表現を用いたWeb検索結果の自動タギング

○細川涼平, 早川智一, 正田輝雄 (明大)

- 3 flexにおける遷移関数と正規表現マッチングの高速化

○増田優香, 篠原哲平, 望月久敏 (大阪教大)

- 4 道路ネットワーク上における複数評価視点を考慮した空間情報検索アルゴリズムの検討

○中山泰宏, 佐藤秀樹 (大同大)

- 5 Linked Open Dataにおける確率モデルに基づいたリソース間の経路ランキング手法

○西田寛章, 古崎晃司, 駒谷和範 (阪大)

- 6 大規模グラフに対する逐次的なノードの枝刈りを用いた ObjectRank の高速化  
○佐藤朋紀, 塩川浩昭, 北川博之 (筑波大)
- 7 連続最適巡回路検索方式  
○菊地弘樹, Htoo Htoo, 大沢 裕 (埼玉大)
- 8 Top-k 最適旅行路検索  
○押野泰雅, Htoo Htoo, 大沢 裕 (埼玉大)
- 学生セッション [2K 会場] (3月16日(木) 13:00 ~ 15:30)**
- 情報検索 (2) 座長 大澤 裕 (埼玉大)**
- 1 解釈性を考慮したレビュー分類に関する一考察  
○白瀧勝平, 山口実靖 (工学院大)
- 2 ネットワーク QoE 制御のための SNS による集合知に基づいた大規模災害時における情報抽出  
○丸 千尋 (お茶の水女子大), 榎 美紀 (日本 IBM), 中尾彰宏, 山本 周 (東大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 3 場所と時間を考慮したタイムリーなイベント提示のための SNS を用いた情報抽出  
○工藤瑠璃子, 丸 千尋 (お茶の水女子大), 榎 美紀 (日本 IBM), 中尾彰宏, 山本 周 (東大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 4 通訳クラウドソーシングにおける不完全なタスク結果の統合手法  
○橋本大空 (筑波大), 白石優旗, 張 建偉, 若月大輔 (筑波技術大), 関 洋平, 森嶋厚行 (筑波大)
- 5 (講演取消)
- 6 Web ニュース記事を補足する画像コンテンツの検索  
○村田真澄, 安藤一秋 (香川大)
- 7 甲骨文字データベースの構築と候補テンプレートの検索  
○柴田睦月, 辻 翼, 紙徳直生, 山形卓也, 孟 林, 山崎勝弘 (立命館大)
- 8 視覚的コンテキストとクラスタリングによる Web 検索結果の提示  
○平田宗一郎 (明星大), 井桁正人 (楽天), 寺田 実 (電通大), 丸山一貴 (明星大)
- 9 オントロジに基づく移動軌跡の意味的な拡張と検索  
○勝田健斗, 中村 亮, 瀧本祥章, 石川佳治 (名大)
- 学生セッション [3K 会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)**
- 情報抽出・推薦 座長 河合 由紀子 (京産大)**
- 1 災害時における現地情報 Tweet 抽出手法  
○湯沢昭夫, 小林亜樹 (工学院大)
- 2 土産情報 DB 構築に向けたブログからの品名の抽出  
○長尾哲志, 安藤一秋 (香川大)
- 3 知識ベース型手法を用いたお土産推薦システムの構築  
○池田俊輝, 奥野 拓 (はこだて未来大)
- 4 EC サイトにおける探索行動を加味した商品推薦施策の提案 - 顧客の探索行動と購買商品の関係性に関する分析を通じて -  
○橋本 鴻, 大竹恒平, 生田目崇 (中大)
- 5 興味領域とキーワードを考慮した Twitter ユーザ推薦に関する考察  
○牧岡竜人, 平川 豊, 大関和夫 (芝浦工大)
- 6 フォロー関係を用いた異なるコミュニティのアカウント推薦手法  
○森戸健太, 小林亜樹 (工学院大)
- 7 時刻同期コメントを用いた動画の特徴シーンの推定  
○末永智彦, 早川智一, 疋田輝雄 (明大)
- 8 セレンディピティを考慮したレコメンドシステムの提案  
○土田滉也 (電機大)
- 9 深層学習を用いた情報推薦のための欠損値を含む学習の検討  
○田中恒平, 小林亜樹 (工学院大)
- 学生セッション [4K 会場] (3月17日(金) 13:00 ~ 15:00)**
- コンテンツと制作支援 座長 森本 正志 (愛知工大)**
- 1 特定人物に注目したダイジェスト動画生成支援のためのインタフェース  
○山下紗季, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 2 機械学習に基づくポスターの自動評価とそれを用いたポスター制作支援システム  
○野本聡史, 竹島 亮, 長尾 確 (名大)
- 3 ソーシャルメディアの特性を活かした新しいりレー小説創作手段の提案  
○松永健太郎, 藤澤公也 (東京工科大)
- 4 ネットワーク管理におけるコレクティブインタラクション支援機構の検討  
○星野拓也, 谷村優介, 笹井一人, 北形 元, 木下哲男 (東北大)
- 5 3DCG 作成用フレームワーク Sardonyx の CSG 対応の提案と実装  
○石井優史朗, 松原俊一, Martin Duerst (青学大)
- 6 プロジェクションマッピングによく用いられるモデリング・レンダリング手法  
○本川大樹 (金沢工大)
- 7 対戦型学習ゲームに関する研究と実践  
○松井 直 (金沢工大)
- 8 創造活動支援のための能動的な情報提示機能  
○河間勇気, 高橋秀幸, 木下哲男 (東北大)
- 学生セッション [5K 会場] (3月17日(金) 15:10 ~ 17:40)**
- データ分析 座長 小林 亜樹 (工学院大)**
- 1 間取り図グラフ作成における誤認識・不認識の分析  
○上堀健太, 尾崎知伸 (日大)
- 2 特定物体認識における SIFT 特徴点マッチング手法の改善  
○中西雅哉, 獅々堀正幹, 大野将樹 (徳島大)
- 3 深層学習を用いたマウスの睡眠ステージ分析  
○山部剛士, 北川博之, 塩川浩昭, 柳沢正史, 佐藤牧人 (筑波大)
- 4 EC サイトの閲覧履歴に基づく商品購入断念要因の推定  
○小林亮太, 豊田哲也, 大原剛三 (青学大)
- 5 リストバンド型センサで取得した動作データからの運動状態の分類に対する SAX 適用の試み  
○中島彩花, 新谷隆彦, 大森 匡, 藤田秀之 (電通大)
- 6 ゴルフ場予約サイトにおけるゴルフ場の特性を加味したキャンセル要因の分析  
○西條直哉, 大竹恒平, 生田目崇 (中大)
- 7 スーパーマーケットチェーンにおける店舗コーザルを用いた顧客特徴と購買行動の評価  
○宇佐美俊, 大竹恒平, 生田目崇 (中大)
- 8 EC サイトにおけるレポート顧客の特徴の分析  
○佐藤由将, 大竹恒平, 生田目崇 (中大)
- 9 地下街歩行者ナビのための人流情報提示システムの提案  
○井上 翔, 河合由起子, 秋山豊和 (京産大), 川崎 洋 (鹿児島大), 若宮翔子, 荒牧英治 (奈良先端大), 安井豪基 (京産大)
- 学生セッション [6K 会場] (3月18日(土) 9:30 ~ 12:00)**
- マイクロブログ 座長 鈴木 優 (奈良先端大)**
- 1 機械学習によるソーシャル情報のトレンド予測  
○馬 劍 (東京工科大)
- 2 マイクロブログにおける投稿パターンを考慮したコミュニケーションスキルの分析  
○石川将吾, 武田直人, 関 洋平 (筑波大)
- 3 Twitter における流言訂正情報の時間的推移の分析  
○紀本雅大 (和歌山大), 荒牧英治 (奈良先端大), 宮部真衣 (和歌山大)
- 4 マイクロブログを用いた飲食店の“おいしさ”情報収集手法の構築  
○森田真季 (和歌山大), 荒牧英治 (奈良先端大), 瀧本明代 (甲南大), 宮部真衣 (和歌山大)
- 5 ツイートに基づく国政選挙候補者の政策変化の可視化  
○川崎景人, 豊田哲也, 大原剛三 (青学大)
- 6 鉄道の混雑検出センサとして機能する Twitter ユーザの推定  
○巨理 湧, 豊田哲也, 大原剛三 (青学大)
- 7 マイクロブログにおけるジオタグのクラスタリングを用いた観光地発見  
○平久江知樹, 早川智一, 疋田輝雄 (明大)
- 8 ジオタグツイートの多言語分析に基づく認知特性可視化システムの提案  
○岡山 愛, 河合由起子 (京産大), Adam Jatowt (京大), 秋山豊和 (京産大)

学生セッション [7K会場] (3月18日(土) 13:00～15:00)

食メディア 座長 井手 一郎 (名大)

- 1 地域性に基づく品目に対する付け合せマップの提案  
○谷谷芽生, 河合由起子 (京産大), 熊本忠彦 (千葉工大),  
張 建偉, 白石優旗 (筑波技術大)
- 2 感性と間隔尺度を用いた醤油推薦システムにおける検索方法の検討  
○菅原未裕, 鈴木彰真, 佐藤永欣, 村田嘉利 (岩手県大)
- 3 ローカルフード検索システムの提案  
○岡村雅仁, 鈴木彰真, 佐藤永欣, 村田嘉利 (岩手県大)
- 4 属性付きレビュー関係ネットワークを利用したレシピ共有サイトにおける高影響度ユーザ/レシピの特徴分析  
○平野雅也, 豊田哲也, 大原剛三 (青学大)
- 5 マイクログログにおける郷土料理・ご当地グルメのおいしさ情報に関する分析  
○谷村里穂 (和歌山大), 灘本明代 (甲南大), 荒牧英治 (奈良先端大),  
宮部真衣 (和歌山大)
- 6 食感表現を利用したユーザレビューからのレシピ情報可視化  
○上野弘樹, 清光英成 (神戸大)
- 7 調理動作・器具・食材に着目した調理動画からの調理コスト判定手法の検討  
○大滝健太郎, 鷹野孝典 (神奈川工科大)

学生セッション [1L会場] (3月16日(木) 9:30～12:00)

DBシステム 座長 三島 健 (NTT)

- 1 高速大規模I/Oが可能なファイルシステムによるビッグデータ統合利用基盤の性能向上  
○藤島永太, 中島健司, 山口実靖 (工学院大)
- 2 クエリの処理時間を考慮したクエリキャッシュ制御手法  
○藤木 学, 芝 公仁 (龍谷大)
- 3 配列志向DBMSを用いた避難シミュレーションデータの格納と分析  
○河井悠佑, 杉浦健人, 趙 菁, 石川佳治, 脇田佑希子 (名大)
- 4 ストリームデータに対する空間的OLAPシステムの設計と開発  
○那須勇弥, 塩川浩昭, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)
- 5 Event Calculusに基づく複合イベント処理について  
○金山貴紀, 杉浦健人, 石川佳治 (名大)
- 6 クラウド環境下におけるデータベース管理システムの提案  
○西出彩花, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 7 Sparkを利用した密度ベースクラスタリングOPTICSの高速化  
○三浦大地, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)

学生セッション [2L会場] (3月16日(木) 13:00～15:30)

コンテンツ応用 座長 郭 清蓮 (金沢工大)

- 1 農作業名称の標準化に基づいた作業記録アプリケーションの開発  
○山森滉二, 兼松篤子, 浦田真由, 遠藤 守, 安田孝美 (名大)
- 2 一方的に配信されてくる広告を生活者が取捨選択し自己コントロールが可能なアドマネージメントサービスの開発  
○平野龍二, 横山 誠, 上林憲行 (東京工科大)
- 3 撮影した写真とリアルタイムに連動する広告サービス「AdPhotos」の提案と試作  
○南 原, 横山 誠, 村上貴彦, 上林憲行 (東京工科大)
- 4 生活者のコンテキストに応じて広告の提示タイミングを自己コントロール可能なサービスの開発  
○横山 誠, 村上貴彦, 上林憲行 (東京工科大)
- 5 小説における振り返り支援システムの提案  
○竹村徳文, 河合由起子 (京産大), 熊本忠彦 (千葉工大),  
白石優旗, 張 建偉 (筑波技術大)
- 6 RSSを利用したニュースキュレーションアプリの提案と実装  
○柳澤伸幸, 寺澤卓也 (東京工科大)
- 7 (講演取消)
- 8 道路モルタル法面管理のための3次元地形情報 Linked Database Systemの構築  
○立花健太郎, 野中 晃, 田口奈津子, 阪口愛紀, 高橋伸弥,  
奥村 勝, 前田佐嘉志, 鶴田直之 (福岡大)

**第2分冊****(人工知能と認知科学)**

一般セッション [6B会場] (3月18日(土) 9:30~12:00)

**機械学習と識別** 座長 金崎 朝子(産総研)

- 二値判別器の性能に着目した ECOC 法による多値文書分類における符号語構成に関する一考察  
○雲居玄道(早大), 八木秀樹(電通大), 後藤正幸, 平澤茂一(早大)
- 2 値判別器を用いた多値分類方式のシステム評価(続)  
○平澤茂一, 雲居玄道(早大), 小林 学(湘南工科大), 後藤正幸(早大), 稲積宏誠(青学大)
- 家庭用エアコン向け人識別技術  
○小松佑人, 浜田宏一(日立), 磯田貴宏, 上田貴郎, 神野憲之(日立ジョンソンコントロールズ空調)
- 大規模映像監視の実現に向けた映像センシング処理最適化アーキテクチャの提案  
○有熊 威, 岩松洋介, 北野貴稔(NEC)
- 大規模・高解像度解析を実現する映像内容適応型の負荷低減手法  
○岩松洋介, 有熊 威, 北野貴稔(NEC)
- Deep CNN と SVM を用いた物体画像と文字パターンに共通なカテゴリ分類器の一提案  
○嶋 好博, 中島由美, 安田道夫(明星大)
- 疎なネットワーク構造を持つ Deep Learning を用いた映像分析システム  
○中尾亮理, 井ノ口裕也(三菱電機インフォメーションシステムズ), 趙 雄心(三菱), 山足光義, 後藤央明, 佐藤啓紀(三菱電機インフォメーションシステムズ), 松本 渉(三菱)

一般セッション [1C会場] (3月16日(木) 9:30~12:00)

**音楽・言語・音声** 座長 宮島 千代美(名大)

- 応答義務推定の補助としての繰り返し発話検出手法の比較検討  
○川井雄太(Nextremer), 藤田寛泰(高知工科大), 谷川晃大(Nextremer), 山下 峻(北大), 船越孝太郎(ホンダRIJ)
- Dynamic Social Choice for Pronoun Resolution  
○西口純代(東理大)
- 動詞における連想と共起の差異性  
○寺岡丈博(東京工科大), 石崎 俊(慶大)
- アーティストの創作活動における自動作曲システムの活用ー『akaihane』のケーススタディー  
○大谷紀子, 岡部大介(東京都大), 白井大輔, 高田志麻(Office FUKUROU), 沼尾正行(阪大)
- 音の再生信号の情報処理に関する研究  
○高橋公太(コータサウンド)
- 歌唱音響に見られる促音と撥音の歌詞付けの相違  
○榎山陽子(名古屋大)
- リカレントニューラルネットワークを用いた音楽データの予測と生成  
○武田敦志(東北学院大)

一般セッション [2C会場] (3月16日(木) 13:00~15:30)

**知能システム応用** 座長 阿部 秀尚(文教大)

- 自律案内ロボットにおけるユーザグループの認識と追跡を同時に行うシステム  
○張 斌, 中村友昭, 金子正秀(電通大)
- タッチの類似性を考慮したイラスト検索の精度向上ー特徴量と類似度の算出方法の変更ー  
○長名優子, 川端隼矢(東京工科大)
- (講演取消)
- ロボット技術を中心とした米国における倫理的・法的・社会的課題の動向  
○堀川優紀子, 萩田紀博(ATR)

一般セッション [3C会場] (3月17日(金) 9:30~12:00)

**探索と戦略** 座長 田中 哲朗(東大)

- CDCL SAT ソルバーにおけるバックトラック条件の緩和  
○榎崎修二(長崎大)

- 分割決定木で表現された提携構造形成問題の MaxSAT 符号化  
○越村三幸, 查 澳龍, 野本一貴, 櫻井祐子, 横尾 真(九大)
- SAT ソルバーを用いた Magic Graph の構成とその応用  
○杉山雅英(会津大)
- カードゲーム「籠城」の空列数と成功可能性の関係  
○新谷敏朗(福山大)
- MC-nets に基づく大規模提携形ゲームのための上界保証付きイプシロンコア  
○赤木 純, 平山勝敏, 沖本天太(神戸大)
- 戦略更新におけるリンクの重みの異質性が協力の進化に与える影響  
○成田洋平(筑波大), 岩田 学(防衛省), 秋山英三(筑波大)

一般セッション [4C会場] (3月17日(金) 13:00~15:00)

**機械学習(一般)** 座長 長名 優子(東京工科大)

- 数値属性の離散化に人工的欠損値を導入したルールベースのクラス分類手法  
○嶋田 香, 荒平高章, 埴岡 隆(福岡歯科大学)
- スパース・モデリングを応用したマハラノビス・タグチ法による異常検知  
○大久保豪人, 永田 靖(早大)
- 深層学習における遺伝的プログラミングによるモデル構成法の一手法  
○平野廣美(楽天)
- 複数木構造を持つ GP のための木の数の自動決定  
○伊藤 崇, 高橋健一, 稲葉通将(広島市大)
- ROS 環境上での機械学習実行モジュールの設計と実装  
○阿部秀尚(文教大), 森田武史, 山口高平(慶大)

一般セッション [5C会場] (3月17日(金) 15:10~17:40)

**コンピュータビジョン** 座長 近藤 一晃(京大)

- ソフトウェア分割による低消費電力ロボット・クラウド連携 Visual SLAM システムの設計  
○大川 猛, 松本拓也, 大津金光, 横田隆史(宇都宮大)
- 現実景観の眺望行動と景観画像の観察における視線追跡分析  
○宇田紀之, 伊藤正太(名産大)
- (講演取消)
- An Application of Automatic 3D Reconstruction with Velodyne HDL-32E LiDAR to GEXPO2016 Indoor Exhibition  
○王 維民, 櫻田 健, 河口信夫(名大)
- 直線構造に着目した Shearlet による光線空間のグループスパースコーディング  
○藤田 秀, 高橋桂太, 藤井俊彰(名大)
- 距離標画像認識によるトンネル内保守点検向け拡張現実  
○加島隆博, 宮本 健, 川浦健央, 塚原 整(三菱)
- RSSI と画像を併用した位置・姿勢推定方法の検討  
○宮本 健, 川浦健央, 塚原 整(三菱)

学生セッション [3L会場] (3月17日(金) 9:30~12:00)

**演奏・楽曲の分析** 座長 前澤 陽(ヤマハ)

- パターン認識を用いた特定のベーシストの特徴的分析  
○松浦佳輝, 棚橋 徹, 北原鉄朗(日大)
- 日本語楽曲の旋律と歌詞のアクセントの関係分析のための自動対応付け  
○藤村春花, 岩野公司(京都市大)
- 自然な DJ ミックスを目的とした自動選曲手法の提案  
○大野木俊樹, 大谷紀子(京都市大)
- 声質・伴奏・楽曲全体の印象評価結果の関係分析  
○吉久怜子, 伊藤貴之(お茶の水女子大)
- J-POP におけるヒット曲の構造分析  
○井上恵太(明星大)
- (講演取消)

学生セッション [4L会場] (3月17日(金) 13:00~15:00)

**自動作曲・編曲(1)** 座長 深山 覚(産総研)

- 感性に基づく楽曲生成のためのコードネーム推定  
○土屋直樹, 大谷紀子(京都市大), 沼尾正行(阪大)
- ペイズ文脈自由文法に基づく和音系列の教師なし構文解析と自動生成  
○津島啓晃, 吉井和佳, 糸山克寿, 中村栄太(京大)

- 3 ユーザの好みのリズムに基づく自動作曲システム  
○相澤明希 (早大), 北山慎太郎 (無所属), 三輪貴信, 橋本周司 (早大)
- 4 原曲の楽譜情報に基づいたピアノアレンジ譜面の生成  
○高森啓史, 佐藤晴紀, 中塚貴之 (早大), 森島繁生 (早大/JST ACCEL)
- 5 対話型遺伝的アルゴリズムを利用した楽曲の半自動生成  
○村上 啓, 馬淵浩司 (岩手県大), 高橋和志 (ビー・アール・オー), Goutam Chakraborty, 松原雅文 (岩手県大)
- 6 音楽ジャンル印象を考慮したメロディ自動編曲  
○伊藤康佑, 金囀 愛, 菊池英明 (早大)

**学生セッション [5L会場] (3月17日 (金) 15:10 ~ 17:40)**

**演奏・作曲支援 座長 前澤 陽 (ヤマハ)**

- 1 市販音楽CDを用いたユーザ歌唱に伴奏音が自動追従するスマートカラオケシステム  
○和田雄介, 中村栄太, 糸山克寿, 吉井和佳 (京大)
- 2 日本語歌詞からの自動作曲における手描き入力による旋律制御  
○大森 陽, 光本大記, 濱田康弘, 嵯峨山茂樹 (明大)
- 3 協調編曲におけるコミュニケーション支援のための同期型楽譜エディタの試作  
○天野雅也, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 4 既存楽曲の再生に合わせた即興演奏の支援システム  
○吉館 要 (筑波大), 深山 覚, 後藤真孝 (産総研)
- 5 ピアノ練習支援のための楽譜表示システムの試作  
○島田彩女, 松村ひかる (日大), 森尻有貴 (東京学芸大), 北原鉄朗 (日大)
- 6 画像処理を用いたギター演奏支援プログラム  
○樋口拓也, 飯田汰河, 入江 俊, 檜山正樹, 中田 仁, 田村 仁 (日本工大)
- 7 拍節構造を用いたドラマ演奏初心者向けフィルイン変換  
○佐藤航太, 伊藤克亘 (法大)

**学生セッション [6L会場] (3月18日 (土) 9:30 ~ 12:00)**

**自動作曲・編曲 (2) 座長 奥村 健太 (名工大)**

- 1 遺伝的アルゴリズムを用いた自動作曲システムの改良  
○小濱耀介, 長名優子 (東京工科大)
- 2 遺伝的アルゴリズムを用いたモチーフを考慮した合唱パートの生成  
○堀籠一輝, 長名優子 (東京工科大)
- 3 自己組織化特徴マップに基づいた確率的連想メモリによる伴奏生成  
○高橋 健, 長名優子 (東京工科大)
- 4 音楽の三要素からの生成モデルアプローチによる音楽生成手法の提案  
○川村誠護 (電通大), 寺田英雄 (オープンストリーム), 庄野 逸 (電通大)
- 5 楽曲の構成を考慮した進化的自動作曲  
○戸松研人, 長尾智晴 (横浜国大)
- 6 旋律の役割分類による総譜から電子オルガン譜への自動編曲  
○田中大貴, 伊藤克亘 (法大)

**学生セッション [7L会場] (3月18日 (土) 13:00 ~ 15:00)**

**音楽音響信号処理・合成 座長 前澤 陽 (ヤマハ)**

- 1 スケールと音高の過渡的变化を考慮したHSMMに基づく歌声F0軌跡に対する音符推定  
○錦見 亮, 中村栄太, 糸山克寿, 吉井和佳 (京大)
- 2 オープンスペースにおけるノイズ抑制システムの提案  
○高野稜平, 岡 誠, 森 博彦 (東京都市大)
- 3 既存歌唱曲のリアルタイム歌声アレンジシステム  
○尾島優太 (京大), 中野倫靖, 深山 覚, 加藤 淳, 後藤真孝 (産総研), 糸山克寿, 吉井和佳 (京大)
- 4 HMMに基づくジャズセッションシステムにおけるベース・ドラムスの演奏に関する検討  
○保利武志, 中村和幸, 嵯峨山茂樹 (明大)
- 5 音の音- NMFを用いた音の異音表現とそのエフェクト応用  
○柴田理央, 小坂直敏 (電機大)

- 6 LSTMによる音楽音響信号の修復法の提案-周波数フィルタ導入による学習データ量削減の検討-  
○谷口亮輔, 小島諒介, 干場功太郎 (東工大), 中臺一博 (東工大/ホンダRIJ)

**学生セッション [1M会場] (3月16日 (木) 9:30 ~ 12:00)**

**ロボット制御とAI 座長 堀川 優紀子 (ATR)**

- 1 深層強化学習を用いた動作制御に関する一考察  
○橋本さゆり, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 2 手先拘束平面を用いた受身姿勢生成によるヒューマノイドロボットの転倒制御  
○松井元希, 加藤昇平 (名工大)
- 3 POMDPs環境における強化学習を用いたロボットの衝突回避行動学習  
○田中健太, 長名優子 (東京工科大)
- 4 自己組織化特徴マップに基づいた時系列パターンのための確率的連想メモリによる強化学習を用いたロボットの行動学習  
○水野暁翔, 長名優子 (東京工科大)
- 5 自己組織化特徴マップに基づいた確率的連想メモリによる Profit Sharingを用いた障害物回避の学習  
○天間大輔, 長名優子 (東京工科大)
- 6 障害物あり環境の追跡問題における協調動作の獲得と評価  
○賀数元春, 深海 悟 (阪工大)
- 7 深層学習によるロボット知能化のためのモーションキャプチャ表示システム  
○大山知理, 鈴木彼方 (早大), 陽 品駒, 尾形哲也 (産総研)
- 8 (講演取消)
- 9 (講演取消)

**学生セッション [2M会場] (3月16日 (木) 13:00 ~ 15:30)**

**画像認識の応用 座長 尾形 哲也 (早大)**

- 1 不応性を有する自己組織化特徴マップによる類似画像検索 - 画素の重要度を用いた検索精度の向上 -  
○秦満里菜, 長名優子 (東京工科大)
- 2 類似したパターン画像の検索における精度向上  
○村松 守, 長名優子 (東京工科大)
- 3 不応性を有する自己組織化特徴マップによる類似画像検索 - 特徴量ごとの傾向を考慮した閾値の設定 -  
○松田 翔, 長名優子 (東京工科大)
- 4 画像を用いたディープラーニングを利用した柔軟関節ロボットのダイナミックな動作学習  
○呉 雨恒, 高橋城志, 山田浩貴, 金 杞泰, 尾形哲也, 菅野重樹 (早大)
- 5 視覚情報を用いた把持計画と置き場所探索に基づく品出しロボットの研究  
○堀慎太郎, 笹渕一宏, 長濱虎太郎, 矢口裕明, 稲葉雅幸 (東大)
- 6 自動駐車に向けたLiDARデータを用いた車両位置検出への取り組み  
○倉橋 碧 (お茶の水女子大), 塚原裕史 (デンソーアイティ-ラボラトリ), 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 7 深層学習による走行状況画像の識別の検討  
○Wasin Hawaree, 松永 亮, 信川 創 (福井工大)
- 8 ディープラーニングを用いた風景画像中の人工物領域の特定  
○砂川 皓, 長名優子 (東京工科大)
- 9 大脳皮質における予測符号化を模倣した動画像予測に関する取り組み  
○藤山千紘, 小林一郎 (お茶の水女子大), 西本伸志, 西田知史 (NICT), 麻生英樹 (産総研)

**学生セッション [3M会場] (3月17日 (金) 9:30 ~ 12:00)**

**認知科学とAI 座長 庄野 逸 (電通大)**

- 1 Statistical approach for the emotional speeches of Parkinson Dysarthria  
○SUSEENDRAN VIJAYAN, 加藤昇平 (名工大)
- 2 OpenCVに基づいた表情認識方法の検討  
○耿 宇林 (東京工科大)
- 3 (講演取消)

- 4 深層ニューラルネットワークを用いたロボットにおける文字描画視覚運動の学習モデル  
○増田慎平, 高橋泰岳 (福井大)
- 5 スパースコーディングを用いた脳活動の意味表象推定への取り組み  
○川瀬千晶 (お茶の水女子大), 西本伸志, 西田知史 (NICT), 麻生英樹 (産総研)
- 6 強化学習を用いたロボットの行動に関する概念獲得への取り組み  
○恒川英里, 小林一郎 (お茶の水女子大), 麻生英樹 (産総研), 持橋大地 (統数研), 中村友昭, 長井隆之 (電通大)
- 7 形式概念の並列計算における負荷分散方式の検討  
○戸崎友斗, 長尾雅弘, 世木博久 (名工大)
- 8 複合的知識獲得モデルへの並列学習の導入  
○辺見航平, 服部元信 (山梨大)
- 9 概念と言語の相互学習における育児語の影響の解析  
○船田美雪, 中村友昭, 長井隆行, 金子正秀 (電通大)

学生セッション [4M会場] (3月17日(金) 13:00 ~ 15:00)

機械学習 (1) 座長 藤田 悟 (法大)

- 1 Long short-term memory と拡張カルマンフィルターを用いた SLAM の検討  
○岩村紀与彦 (琉球大)
- 2 線形・2次関数で学習した Convolutional Neural Network による3次元数の相関  
○奥谷文徳, 川原圭博, 浅見 徹 (東大)
- 3 共有する潜在空間への異なる時系列データの次元圧縮に関する一考察  
○大山まりほ, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 4 随伴性を持つロボットの振る舞い統合手法  
○滝本佑介, 長谷川孔明, 今井倫太 (慶大)
- 5 コンセプトチェンジを含むデータストリームに対する回帰分析  
○甲斐健太 (芝浦工大)
- 6 (講演取消)

学生セッション [5M会場] (3月17日(金) 15:10 ~ 17:40)

機械学習 (深層学習と強化学習) 座長 松井 藤五郎 (中部大)

- 1 パラメータの自動調整が可能なカオス四元数多方向連想メモリの想起能力に関する検討  
○中村 翼, 長名優子 (東京工科大)
- 2 パラメータの自動調整が可能なカオス連想メモリ  
○岡田達哉, 長名優子 (東京工科大)
- 3 パラメータの自動調整が可能なカオス複素連想メモリ  
○中野千具早, 長名優子 (東京工科大)
- 4 強化学習と満足化による素早い行動系列の獲得  
○牛田有哉, 甲野 佑, 高橋達二 (電機大)
- 5 神経生理に触発された仮想報酬関数を自己改造する強化学習  
○水戸亜友美, 甲野 佑 (電機大), 太田宏之 (防衛医大), 笹川隆史 (電機大)
- 6 畳み込みニューラルネットワークを用いた過去の履歴を考慮した強化学習  
○新妻 純, 長名優子 (東京工科大)
- 7 Deep-Q-Network を用いた迷路の学習  
○市川椋太, 長名優子 (東京工科大)
- 8 畳み込みニューラルネットワークを用いた Profit Sharing の実現  
○中矢裕太, 長名優子 (東京工科大)
- 9 転移学習による Deep Q-Network の学習高速化に向けた検討  
○足立一樹, 佐々木勇人, 中田雅也, 濱上文哉, 濱上知樹 (横浜国大)

学生セッション [6M会場] (3月18日(土) 9:30 ~ 12:00)

音声対話・認識・分析 座長 李 晃伸 (名工大)

- 1 ロボット対話における深層学習を用いたセミブラインド音声強調  
○和氣雅弥, 坂東宜昭, 三村正人, 糸山克寿, 吉井和佳, 河原達也 (京大)
- 2 遠隔音声認識のためのブラインド音源分離に基づくビームフォーマ  
○島田一希, 坂東宜昭, 板倉光佑, 三村正人, 糸山克寿, 吉井和佳, 河原達也 (京大)
- 3 非言語音響情報を利用した話題誘導を行う対話システムの検討  
○梅井良太, 阿部元樹, 綱川隆司, 西田昌史, 西村雅史 (静岡大)

- 4 非言語音響情報を利用した対話破綻検出に関する検討  
○阿部元樹, 梅井良太, 綱川隆司, 西田昌史, 西村雅史 (静岡大)
- 5 マルチモーダル情報を利用した家庭用ロボットのためのロボストな音声命令理解  
○小堀嵩博, 中村友昭, 長井隆行 (電通大), 岩橋直人 (岡山県大), 船越孝太郎 (ホンダ RIJ), 金子正秀 (電通大)
- 6 Iterative Outlier Removal Method Using In-Cluster Variance Changes in Multi-Microphone Array Sound Source Localization.  
○Daniel Gabriel, 小島諒介, 干場功太郎 (東工大), 中臺一博 (東工大/ホンダ RIJ)
- 7 系列データ分類に基づく繰り返し発話検出  
○藤田寛泰 (高知工科大), 川井雄太, 谷川晃大 (Nextremer), 山下 峻 (北大), 船越孝太郎 (ホンダ RIJ)
- 8 話者照合におけるプロの物真似タレントの声真似攻撃の影響の分析  
○堀畑拓斗, 岩野公司 (東京都市大)
- 9 英語音声における連音の自動検出の検討  
○佐藤 玄, 加藤正治, 小坂哲夫 (山形大)

学生セッション [7M会場] (3月18日(土) 13:00 ~ 15:00)

音声対話・合成・分析 座長 西村 雅史 (静岡大)

- 1 自律型アンドロイドのキャラクタ表現のための対話の振る舞い制御  
○山本賢太, 井上昂治, 中村 静, 高梨克也, 河原達也 (京大)
- 2 傾聴対話システムにおける自分語りを含む多様な聞き手応答の生成  
○石田真也, 井上昂治, 中村 静, 高梨克也, 河原達也 (京大)
- 3 自律型アンドロイドによる対話における「同調的笑い」の生成  
○勝見久央, 井上昂治, 中村 静, 高梨克也, 河原達也 (京大)
- 4 ニューラルネットワークによる音声対話における非言語的振る舞いの検出  
○稲熊寛文, 井上昂治, 河原達也 (京大)
- 5 話者の感情印象の変化を抑制する話速変換手法  
○江田燎平, 伊藤克巨 (法大)
- 6 アクセント成分を用いた講演の強調語検出  
○小島淳嗣, 伊藤克巨 (法大)
- 7 複合ウェーブレットモデルを用いたテキスト音声合成の検討  
○小口純矢, 濱田康弘, 嵯峨山茂樹 (明大)

学生セッション [1N会場] (3月16日(木) 9:30 ~ 12:00)

画像の処理と理解 (1) 座長 久徳 遙矢 (名大)

- 1 ラドン変換を用いた消失点検出による射影歪み補正 - RANSAC アルゴリズムを用いた線分ノイズ除去検討 -  
○武澤裕介, 石原聖司 (電機大), 古川貴雄 (共立女子大), 滝口孝志 (防衛大), 長谷川誠 (電機大)
- 2 圧縮画像中の顔検出に適した JPEG 量子化テーブルの設計  
○長谷川圭佑, 杉浦彰彦 (静岡大)
- 3 グラフカットを用いたユーザ入力不要の画像領域分割  
○小川 真, 久保田光一 (中大)
- 4 進化的画像処理による拡大画像生成手法の提案  
○斎藤 翠, 長尾智晴 (横浜国大)
- 5 全天球画像の円筒平面における直線検出を用いた水平補正  
○石井雄飛, 栗原 徹 (高知工科大)
- 6 (講演取消)
- 7 キャッシュ効率を考慮したガイドフィルタの高速化  
○中村将大, 前田慶博, 福岡慶繁 (名工大)
- 8 セルラ進化型神経回路網を用いる医用画像の超解像処理  
○徐 欣欣, 長尾智晴 (横浜国大)
- 9 (講演取消)

学生セッション [2N会場] (3月16日(木) 13:00 ~ 15:30)

画像の処理と理解 (2) 座長 平松 義崇 (日立)

- 1 線分の距離依存関係を用いたクラスタリングでの主線分決定による甲骨文字認識  
○辻 翼, 岸 雅大, 石井康史, 孟 林, 山崎勝弘 (立命館大)
- 2 superpixel を用いた背景の変動に頑健な移動物体領域抽出手法  
○笠原優也, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)
- 3 情景画像からの文字抽出における高周波情報を用いた再現率向上  
○齋藤武蔵, 小嶋和徳 (岩手県大), 陳 国躍 (秋田県大), 伊藤慶明 (岩手県大)

- 4 部分領域間の構成を考慮した類似図面検索  
○清水智史, 長尾智晴 (横浜国大)
- 5 Brick Partitioning と初期閾値推定を用いたテンプレートマッチング法における距離下限値初期分割レベルについての検討  
○松本 涼, 外山 史, 東海林健二, 森 博志 (宇都宮大)
- 6 TCG プレイ動画におけるカード特定のための SURF 特徴量を用いたカード認識  
○本園 遥, 栗原 徹 (高知工科大)
- 7 複数視点からの CNN 出力結果の統合による実時間セグメンテーション及び物体認識  
○中島由勝, 斎藤英雄 (慶大)
- 8 畳み込みニューラルネットワークを用いた夜間全天画像からの雲領域検出  
○佐久間惇一, 井上中順, 篠田浩一, 谷津陽一, 吉井健敏, 河合誠之, 下川辺隆史 (東工大)
- 9 近傍ベクトルを用いた甲骨文字の特徴点と線の検出  
○岸 雅大, 石井康史, 孟 林, 山崎勝弘 (立命館大)

学生セッション [3N 会場] (3月17日 (金) 9:30 ~ 12:00)

医療・農業画像 座長 清水 彰一 (三菱)

- 1 Cartesian Genetic Programming による 3DCT 画像からの 4DCT 画像推定  
○崎津実穂, 長尾智晴 (横浜国大)
- 2 ディープラーニングを用いた画像処理による農作物病害診断への Data Augmentation の応用  
○小林賢一, 辻 順平, 能登正人 (神奈川大)
- 3 Deep Convolutional Neural Network を用いた高山植物認識システム  
○根岸知誠, 服部元信 (山梨大)
- 4 転移学習を用いた植物病害自動診断システムの試み  
○藤田恵梨香, 川崎雄介 (法大), 宇賀博之 (埼玉県農業技術研究センター), 鍵和田聡, 彌富 仁 (法大)
- 5 植物病害自動診断システムの為の広範囲にわたる葉領域検出の試み  
○諏訪勝元, 藤田恵梨香, 川崎雄介 (法大), 宇賀博之 (埼玉県農業技術研究センター), 鍵和田聡, 彌富 仁 (法大)
- 6 Sparse Subspace Clustering を用いた頑健な植物病自動診断のための基礎検討  
○榊原友助, 藤田恵梨香, 川崎雄介 (法大), 宇賀博之 (埼玉県農業技術研究センター), 鍵和田聡, 彌富 仁 (法大)
- 7 河川堤防におけるイタダリの成長状況と色情報変化の傾向に関する検討  
○遠藤賢太, 石沢千佳子, 景山陽一, 西田 眞 (秋田大), 佐藤浩志, 金子光義, 長岐孝司 (国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所)
- 8 SVM による階層的植生分類法に用いる学習データ生成に関する検討  
○鈴木将友, 景山陽一, 石沢千佳子, 西田 眞 (秋田大), 佐藤浩志, 金子光義, 長岐孝司 (国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所)
- 9 果実の収穫適期の定量評価を目的とした画像補正手法  
○草田育美, 石井雅樹 (秋田県大), 山根治起 (秋田産業技術センター)

学生セッション [4N 会場] (3月17日 (金) 13:00 ~ 15:00)

スポーツと VR 座長 三功 浩嗣 (KDDI 総合研究所)

- 1 複数の全天球画像による光源分布推定を用いた仮想空間に対するライティング  
○永山拓哉, 小池崇文 (法大)
- 2 動的非平面背景可視化のためのライトフィールドレンダリング  
○前澤桃子, 家永直人, 森 尚平, 斎藤英雄 (慶大)
- 3 3次元地図とオブジェクトの動的配置による VR 災害シミュレーションシステム  
○宮川祐輔, 長尾 確 (名大)
- 4 Android 端末と OpenCV を用いたテニスボール追跡  
○山崎直人, 中屋敷かほる, 坂東忠秋 (関東学院大)
- 5 スマートフォンを用いた射撃用標的採点システム  
○附田大輝, 中屋敷かほる, 坂東忠秋 (関東学院大)

- 6 画像処理を用いたバドミントンショットタイミング測定  
○瀬戸口務, 中屋敷かほる, 坂東忠秋 (関東学院大)
- 7 コート情報に基づくバレーボール映像の鑑賞支援とラリー解析  
○板摺貴大, 福里 司, 山口周悟 (早大), 森島繁生 (早大 / JST ACCEL)
- 8 3D-LIDAR と魚眼カメラを用いた隠消現実感  
○大石 圭, 斎藤英雄, 森 尚平 (慶大)

学生セッション [5N 会場] (3月17日 (金) 15:10 ~ 17:40)

色彩と光学・反射特性 座長 森本 哲郎 (凸版印刷)

- 1 X-Slit を備えた光源とカメラを用いた BRDF 計測  
○宮田明裕, 久保尋之, 船富卓哉, 向川康博 (奈良先端大)
- 2 有彩色光源による色変化に頑健な物体追跡  
○林藤晃平, 栗山 繁, 神納貴生 (豊橋技科大)
- 3 LCD 上での色の切り替え表示に伴うちらつきの発生条件に関する検討  
○北野将伍, 石沢千佳子, 景山陽一, 西田 眞 (秋田大)
- 4 均等色特徴と PFH 特徴量に基づく統合記述子を用いた 3次元部分検索  
○木澤栄一, 森本正志 (愛知工大)
- 5 (講演取消)
- 6 テレセントリックレンズを用いた多視点画像による工業部品の傷検出  
○鶏内朋也 (慶大), 足立秀之, 菅野純一 (ヴィスコ・テクノロジーズ), 森 尚平, 斎藤英雄 (慶大)
- 7 ラインスキャン型ハイパースペクトルカメラ画像の輝度補正  
○中嶋倫太郎, 岡部孝弘 (九工大)
- 8 単一カラー画像に基づく材質識別のための照明とグレースケール変換の同時最適化  
○王 超, 岡部孝弘 (九工大)
- 9 代表色選択と最小歪み基準を用いた一般物体認識  
○鈴木慎人, 若原 徹 (法大)

学生セッション [6N 会場] (3月18日 (土) 9:30 ~ 12:00)

予測と AI 座長 平山 勝敏 (神戸大)

- 1 大型貨物船の行動の予測  
○吉田翔太, 長尾智晴 (横浜国大)
- 2 数値情報とテキスト情報によるバルチック海運指数の予測  
○藤 玲, 長尾智晴 (横浜国大)
- 3 家電内のセンサ情報による RNN を活用した消費電力予測  
○宮澤重明, 志田 匠, 一色正男, 杉村 博 (神奈川工科大)
- 4 深層強化学習による株式売買戦略の構築  
○和田裕貴, 長尾智晴 (横浜国大)
- 5 進化型ニューラルネットワークとフル板情報による株価変動の分析  
○熊添勇人, 藤田 悟 (法大)
- 6 複数のメディアのセンチメントの推移と株価変動の関係性の分析  
○西開地晃司, 豊田哲也, 大原剛三 (青学大)
- 7 外国為替取引における通貨ペア選択を対象とした複利型強化学習と最適レバレッジの学習  
○塚本智大, 松井藤五郎 (中部大)
- 8 深層学習を用いた新聞記事分析による市場動向予測  
○松本一樹, 松井藤五郎 (中部大)

学生セッション [7N 会場] (3月18日 (土) 13:00 ~ 15:00)

災害応用と AI 座長 齊藤 和巳 (静岡県大)

- 1 乗合バス路線に基づく災害ロードマップ作成  
○伊角愛結, 沖本天太, 平山勝敏 (神戸大)
- 2 DMAT 編成問題  
○岸田有平, 沖本天太, 平山勝敏 (神戸大)
- 3 歩行者モデルを用いた移動ロボットの走行誘導  
○畑中信哉, 五十嵐治一 (芝浦工大)
- 4 ロボットによる避難誘導実現のためのマルチエージェントシミュレーションの作成  
○杉江竜太, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)
- 5 火災避難を対象としたマルチエージェントシミュレーション  
○安田恭平, 水野一徳 (拓大)

- 6 混雑回避モデルを組み込んだエージェントベースの避難シミュレーション  
○市之瀬克己, 高橋友一 (名城大)
- 7 オフィスを対象とした避難誘導法を考慮した避難シミュレーション  
○森 友裕, 長名優子 (東京工大)
- 8 地下街避難における誘導と情報伝達が避難行動に及ぼす影響  
○本多雄大, 須貝康雄 (千葉大)

学生セッション [1P会場] (3月16日(木) 9:30 ~ 12:00)

ディープラーニングと識別 座長 櫻田 健 (名大)

- 1 ディープラーニングを用いた写真と絵画, イラストの識別  
○大崎一輝, 田村 仁, 檜山正樹, 入江 俊, 仲田 仁 (日本工大)
- 2 畳み込みニューラルネットワークによる特定部分へのスタイル転移  
○新家 歩, トゥングェン, 原田智広, ラック ターウォンマット (立命館大)
- 3 (講演取消)
- 4 Forward 計算と Genetic Algorithm による Binary Weight 可変構造 DNN の最適化  
○渡部直弘, 高木俊平 (農工大), 大塚卓哉 (NTT), 北澤仁志 (農工大)
- 5 Genetic Algorithm に基づく Binary Weight 可変構造 DNN の高速学習ハードウェア  
○高木俊平, 渡部直弘 (農工大), 大塚卓哉 (NTT), 北澤仁志 (農工大)
- 6 言語的な階層構造を用いた一般物体認識  
○下田 誠, 藤江真也 (千葉工大)
- 7 教師なし学習を導入した深層距離学習法  
○松岡佑磨, 島田大樹, 彌富 仁 (法大)
- 8 畳み込みニューラルネットワークの特徴マップ選択によるトラッキング  
○山田真生, 渡辺 崇 (名大)
- 9 ディープラーニングを用いた撮影画像による前方路面状況及び床路面の静摩擦係数の推定  
○入江 俊, 田村 仁 (日本工大)

学生セッション [2P会場] (3月16日(木) 13:00 ~ 15:30)

日常生活を支える技術 座長 平山 高嗣 (名大)

- 1 (講演取消)
- 2 生活支援ロボットによる液体注ぎ道具操作における軌道推定視覚処理と操作修正認識制御に関する研究  
○石倉祥平, 長濱虎太郎, 矢口裕明, 稲葉雅幸 (東大)
- 3 スマートフォンカメラによる指先検出を用いた適応型ハンドジェスチャ認識  
○清田優子, 若原 徹 (法大)
- 4 美容室での利用を想定した 3D ヘアシミュレータの開発  
○佐藤翔大, 横山洋之, 西田 真, 景山陽一, 石沢千佳子 (秋田大), 小西和晴 (トインピ)
- 5 ブライバシー保護を目的とした人物抽出と背景差し替え処理に関する検討  
○佐藤翔太, 景山陽一, 石沢千佳子, 西田 真 (秋田大)
- 6 実世界筆記バージョン管理システム  
○西田昂世, 栗原 徹 (高知工大)
- 7 深度カメラとスマートフォン用赤外線サーモカメラを用いたリアルタイム 3次元温度マッピング  
○佐藤広樹, 藤田サトル (法大)
- 8 ボリュームディスプレイのプロジェクションマッピング自動化システムの開発  
○池田正隆, 白木厚司 (千葉大), 中山弘敬 (国立天文台), 平山竜士, 角江 崇, 下馬場朋祿, 伊藤智義 (千葉大)
- 9 体動の 3次元データに着目した「喜び」の情動判別に関する基礎検討  
○張 華偉, 高橋 毅, 景山陽一, 西田 真 (秋田大)

学生セッション [3P会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)

3次元形状復元と SLAM 座長 阪野 貴彦 (産総研)

- 1 特徴の学習に基づく単一画像からの 3次元形状復元  
○坂井健太郎 (芝浦工大)

- 2 文字認識と SFM を用いた携帯端末ユーザの位置推定  
○山森康生, 廣瀬 詢, 藤里和樹, 頼光拓真, 檀 寛成, 安室喜弘 (関西大)
- 3 X-means 法による Depth 値のクラスタリングと InfiniTAM を用いた隠消現実感  
○竹嶋渉太, 小池崇文 (法大)
- 4 RGB-D センサの較正を目的とした補正テーブルの作成と評価  
○藤野慎也, 石井雅樹, 佐藤俊太郎 (秋田県大)
- 5 3次元点群に対する平面フィッティングによる SLAM システムの精度向上  
○小澤岳大, 中島由勝, 斎藤英雄 (慶大)
- 6 (講演取消)
- 7 都市環境における線分特徴の方向性分布を利用した SLAM  
○上原 啓, 斎藤英雄 (慶大), 原 孝介 (デンソーアイティラボラトリ)
- 8 信号波形を基にした測域センサにおける誤検出データ除去手法の提案  
○吉田 裕, 羽田靖史 (工学院大)
- 9 形状マップによる三次元形状データカテゴリ分類のための形状特徴抽出  
○金井 廉, 藤田 悟 (法大)

学生セッション [4P会場] (3月17日(金) 13:00 ~ 15:00)

人・移動体 座長 渡辺 顕司 (産総研)

- 1 自律移動ロボットにおける歩行者流に沿った経路生成法  
○原 靖成, 羽田靖史 (工学院大)
- 2 通過点と滞在時間情報を保持し記号列化した歩行者動線の分類と可視化  
○宮城優里 (お茶の水女子大), 大西正輝 (産総研), 渡辺知恵美 (筑波大), 伊藤貴之 (お茶の水女子大), 高塚正浩 (シドニー大)
- 3 道路シーン中の歩行者の置かれている状況の認識 - 歩行者の体向き推定の基礎検討 -  
○熊本浩二, 山田啓一 (名城大)
- 4 HOG 特徴と色情報による視覚障害者誘導用ブロックの検出  
○門谷拓弥, 酒井 充, 丸山 博 (富山大)
- 5 (講演取消)
- 6 屋内環境における小型無人機のための消失点推定  
○石正幸大, 佐藤健哉 (同志社大)
- 7 公共の場における人の移動計測法  
○斎藤浩平, 花泉 弘 (法大)
- 8 Kinect V2 を用いる歩容認識に基づく個人識別手法  
○三堀 裕, 花泉 弘 (法大)

学生セッション [5P会場] (3月17日(金) 15:10 ~ 17:40)

都市空間と交通 座長 出口 大輔 (名大)

- 1 複数カメラを用いた 3次元空間走査手法の改良  
○佐々木拓馬, 花泉 弘 (法大)
- 2 ステレオカメラを用いる空き駐車スペース検出法の改良  
○山崎瑠香, 佐々木拓馬, 花泉 弘 (法大)
- 3 複数の航空写真を用いた 3D 都市モデルの作成手法  
○三ツ木裕隆, 藤田 悟 (法大)
- 4 A Dataset of Dashboard Camera Videos for Driving Danger Detection  
○狄 英櫻, 王 彘, 加藤ジェーン, 間瀬健二 (名大)
- 5 ドローンを自動追跡するカメラシステムの開発  
○藤ノ木凌, 羽田靖史 (工学院大)
- 6 全球画像列を使用した撮影位置の推定  
○多田裕貴, 太田寛志, 道西博行 (岡山理大)
- 7 道路周辺の 3次元情報と車載カメラ画像による車両の位置姿勢推定  
○黒部聡亮, 中島雅貴 (慶大), 原 孝介 (デンソーアイティラボラトリ), 木下久史 (デンソー), 斎藤英雄 (慶大)
- 8 車載カメラ映像における危険の検知  
○北垣 修 (名大)
- 9 ログファイルと走行動画による自走ロボットの位置推定誤差の検出  
○新田恭平, 雨貝翔平, 山口直哉, 紫合 治 (電機大)

学生セッション [6P 会場] (3月18日(土) 9:30~12:00)

ゲーム AI 座長 三輪 誠 (豊田工大)

- 1 ゲームの機械学習に用いる対戦譜の抽出方法  
○石川純平, 中山泰一 (電通大)
- 2 展開済みノードを用いた LGRF-2 による囲碁プログラム Fuego の効率化  
○野崎真也, 中村あすか, 前川仁孝 (千葉工大)
- 3 プレイアウト履歴から成るゲーム木を用いた囲碁アルゴリズム  
○川合 諒, 伊藤 雅 (愛知工大)
- 4 アメーバからヒントを得た数理モデルを用いた格闘ゲーム AI の提案  
○吉田修武, 石原 誠, 原田智弘, ラック ターウォンマット (立命館大)
- 5 RoboCupSoccer における実数値 GA による意思決定  
○水島 諒, 穴田 一 (東京都市大)
- 6 ニューラルネットワークを用いた麻雀の捨て牌危険度推定  
○矢ノ口裕貴, 篠埜 功 (芝浦工大)
- 7 文字, 数字, 記号列による Angry Birds の面白いステージの自動生成  
○蔣 雨軒, 鈴木勝貴, 原田智弘, ラック ターウォンマット (立命館大)
- 8 機械学習を用いたゲーム AI の人間らしい行動に関する研究  
○三浦大輔, 會澤邦夫 (島根大)
- 9 プレイヤー適応型健康促進の Motion Gaming AI  
○草野貴宏, 中川裕登, プージャーナー パリヤワン, 原田智弘, ラック ターウォンマット (立命館大)

学生セッション [7P 会場] (3月18日(土) 13:00~15:00)

ゲーム AI 応用 座長 原田 智広 (立命館大)

- 1 Memetic Algorithm に基づくプレイヤーの習熟度を考慮したゲームパラメータ調整機構の試作  
○篤海太一, 福田直樹 (静岡大)
- 2 マルチプレイヤーオンラインチームバトルゲームにおける Toxic Behavior 緩和機構の試作  
○渡辺観智, 福田直樹 (静岡大)
- 3 トピックモデルを用いた人狼ゲームの会話に基づく役職別のプレイヤー推定法  
○荒木大輔 (早大), 鳥海不二夫 (東大), 菅原俊治 (早大)
- 4 全自動麻雀卓における牌の攪拌率に関するマルチエージェント・シミュレーションを用いた研究  
○井手広康, 奥田隆史 (愛知県大)
- 5 戦略型ゲームによる提案応答ゲームの分析に基づくメタ交渉戦略の提案  
○森 顕之, 伊藤孝行 (名工大)
- 6 テーマパーク問題における合意形成のゲーム理論的分析  
○古川翔太, 辻 順平, 能登正人 (神奈川大)

学生セッション [1Q 会場] (3月16日(木) 9:30~12:00)

実世界システム 座長 加藤 ジェーン (名大)

- 1 レイアウトを自由に変更可能なオフィスにおける知的照明システムの執務机周辺照明特定手法の提案  
○富田龍太郎, 三木光範, 上南遼平, 三輪和広, 間 博人 (同志社大)
- 2 オフィスにおける執務者の個別照度を実現する照明の配置間隔と配光角について - 狭角型照明を用いた知的照明システム -  
○富岡亮登, 三木光範, 上南遼平, 提中慎哉, 間 博人 (同志社大)
- 3 家庭内余剰食材推定システムの提案  
○青島宇佳, 豊田哲也, 大原剛三 (青学大)
- 4 NeuralNetwork を用いた魚群探知機による魚種判別  
○平間友大, 鈴木恵二, 高 博昭, 和田雅昭 (はこだて未来大)
- 5 小売りに関するオントロジーを用いたグラフデータベースによる商品推薦  
○今野琢裕, 黄 潤和 (法大)
- 6 視線と移動速度に基づいた興味推定システム  
○北川 遼, 長谷川孔明, 今井倫太 (慶大)
- 7 傷病と症状の共起関係に基づく初診患者のための診療科判定システムの構築  
○安永 翼 (横浜国大), 高林 徹, 村上優行 (AR アドバンステクノロジー), 伊藤 豪, 中田雅也, 濱津文哉, 濱上知樹 (横浜国大)

- 8 画像データを用いた距離順位保存度による可視化結果の評価  
○宋 鵬, 斉藤和巳 (静岡県大)
- 9 埋め込み手法の違いによるアノテーション付き可視化の特性評価  
○大畑圭佑, 斎藤和巳 (静岡県大)

学生セッション [2Q 会場] (3月16日(木) 13:00~15:30)

実社会データ分析 座長 水野 貴之 (NII)

- 1 上流度の流れ図可視化法による産業分析  
○楊 小龍, 斉藤和巳 (静岡県大)
- 2 ネットワーク構造による意見形成モデルの影響度分析  
○鈴木優伽, 斉藤和巳 (静岡県大)
- 3 投票者モデルに基づくレビュー回数ユーザ重み影響度分析  
○鈴木優人, 斉藤和巳 (静岡県大)
- 4 実距離とステップ距離に基づく近接・媒介中心性による都市特性の分類  
○白澤穂香, 斉藤和巳 (静岡県大)
- 5 設備からの距離に基づく道路網上のエリアの特徴分析  
○ありふまうらな, 斉藤和巳, 池田哲夫, 湯瀬裕昭 (静岡県大)
- 6 移動中心性と移動連結性による都市避難地の比較評価  
○塚本竜太郎, 斎藤和巳 (静岡県大)
- 7 Multi-objective Delivery Network Optimization for Myanmar e-Government  
○Naing Min Thant, Victor KRYSSANOV, Nicolas LEQUAIN (Ritsumeikan University)
- 8 レビュー投稿者の甘辛度を考慮した美容院評判情報と利用者情報の可視化  
○日高加菜, 豊田哲也, 大原剛三 (青学大)
- 9 政治情報サイトからの政策表現文の抽出方法とその評価  
○永井茅希, 山田剛一, 絹川博之 (電機大)

学生セッション [3Q 会場] (3月17日(金) 9:30~12:00)

自然言語処理 (1) 座長 三浦 康秀 (富士ゼロックス)

- 1 Word2Vec によるユーザの嗜好を考慮した検索補助法の提案  
○TUAN DAO VAN, 佐藤 浩, 白川智弘 (防衛大)
- 2 商品の評判情報を含むツイートの自動抽出  
○小林美穂, 町田 翔, 河野一志, 山田絃司, 延澤志保 (東京都市大)
- 3 Twitter を用いた皮膚障害を引き起こす製品名等の抽出  
○阿部健一, 吉田博哉 (神戸情報大)
- 4 ツイート履歴の印象極性の動向を基にしたアカウント分類  
○山田絃司, 延澤志保 (東京都市大)
- 5 レビューを用いた児童向け絵本に関する情報表出の検討  
○白石 諒, 大竹恒平, 生田目崇 (中大)
- 6 不特定分野の商品レビューを対象とした評価情報の自動認識  
○河野一志, 町田 翔, 村松拓実, 小林美穂, 延澤志保 (東京都市大)
- 7 読者レビューでの評価情報に基づく漫画の推薦  
○村松拓実, 町田 翔, 河野一志, 延澤志保 (東京都市大)
- 8 視聴者のコメントに基づく楽曲推薦  
○大津健太郎, 町田 翔, 河野一志, 延澤志保 (東京都市大)
- 9 Opinion Mining に基づいた文章レベルの暴言検出  
○林 俊孝, 藤田ハミド, 樽松理樹, 羽倉 淳 (岩手県大)

学生セッション [4Q 会場] (3月17日(金) 13:00~15:00)

自然言語処理 (2) 座長 森田 一 (京大)

- 1 Web での特徴語と共起する語を用いたキーワード推薦  
○小野謙太郎, 岡 誠, 森 博彦 (東京都市大)
- 2 日本語電子カルテから ICD コードを自動的に出力する  
○崎下雅仁, 狩野芳伸 (静岡大)
- 3 HTML 文書構造を利用した Web 検索結果クラスタリング手法の有効性について  
○阿部寛之, 松原雅文, Goutam Chakraborty, 馬淵浩司 (岩手県大)
- 4 (講演取消)
- 5 Doc2Vec と SVM を用いた問題文の単元識別による学習支援のための基礎研究  
○嘉陽桃子, 當間愛晃 (琉球大)
- 6 議論マイニングによる議論掲示板利用者の能力推定  
○森尾 学, 藤田桂英 (農工大)

- 7 Tensorflow の上に実装した Deep Learning による文書分類  
○金子昌平, 黄 潤和 (法大)
- 8 深層学習を用いた読唇システム  
○ケンジパリアスカ (中京大)

学生セッション [5Q 会場] (3月17日 (金) 15:10 ~ 17:40)

自然言語処理 (3) 座長 大野 誠寛 (名大)

- 1 日常会話を対象とした中日対訳文の自動選択  
○山崎亘涼 (東京都市大),  
孟 愛林, 張 文玉 (大連交通大 / 東京都市大),  
原田千聖, 町田 翔, 延澤志保 (東京都市大)
- 2 オノマトペを含む日中対訳句を対象とした自動選択  
○原田千聖, 山崎亘涼 (東京都市大),  
孟 愛林, 張 文玉 (大連交通大 / 東京都市大),  
延澤志保 (東京都市大)
- 3 Web 議論におけるファシリテータエージェント実現に向けた質問生成手法の検討  
○池田雄斗, 白松 俊 (名工大)
- 4 特定の話題に関する対話エージェントの実現に向けた特徴語及び状態抽出法  
○松林 圭, 松原良和 (東京高専), 今野陽子, 小野良太 (調和技研),  
井上祐寛 (クレスコ), 山下晃弘 (東京高専)
- 5 対話システムにおける少数話題の発話文自動生成手法に関する検討  
○宅和晃志, 吉川大弘, フェリックス ジメネス, 古橋 武 (名大)
- 6 マルチモーダル対話を用いた見守りシステム構築への取り組み  
○飯島采永, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 7 2体のロボットによる対話活性度の向上  
○吉岡 駿, 松元崇裕, 岨野太一 (慶大),  
後藤充裕 (NTT), 今井倫太 (慶大)
- 8 CCG を用いた Spatial Description Clause の拡張への取り組み  
○稲子明里 (お茶の水女子大),  
塚原裕史 (デンソーアイティラボラトリ),  
小林一郎 (お茶の水女子大)
- 9 会議における発言の一貫性の自動評価とその応用  
○岡本康佑, 松原茂樹, 長尾 確 (名大)

学生セッション [6Q 会場] (3月18日 (土) 9:30 ~ 12:00)

自然言語処理 (4) 座長 牧野 拓哉 (富士通研)

- 1 倒置法を利用した記事タイトル生成に関する検証  
○伊藤 巧, 當間愛晃, 赤嶺有平, 山田孝治, 遠藤聡志 (琉球大)
- 2 深層学習を用いた論文タイトル生成における未知語処理について  
○大部達也, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 3 発表スライド上の用語に関する質問の自動生成  
○鄭 多運, 岡本康佑, 松原茂樹, 長尾 確 (名大)
- 4 時系列データの動向概要を示す自然言語生成手法への一考察  
○青木花純, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 5 モンテカルロ木探索を用いた構文木構築に基づく非決定的な文生成  
○熊谷香織, 小林一郎 (お茶の水女子大), 持橋大地 (統数研),  
麻生英樹 (産総研), 中村友昭, 長井隆行 (電通大)
- 6 深層学習を用いた画像刺激による脳活動データの説明文生成  
○松尾映里, 小林一郎 (お茶の水女子大), 西本伸志,  
西田知史 (NICT), 麻生英樹 (産総研)
- 7 複数時系列文書の差分を考慮したタイムライン要約への取り組み  
○柏井香里, 小林一郎 (お茶の水女子大)
- 8 ウェブ上の文書を要約表示する検索エンジンの開発  
○鷲見有貴, 長谷川明生 (中京大)

学生セッション [7Q 会場] (3月18日 (土) 13:00 ~ 15:00)

自然言語処理 (5) 座長 小川 泰弘 (名大)

- 1 機械学習によるかな書き文の語分割  
○森山柊平, 絹川博之 (電機大)
- 2 ソーシャルメディアに現れるくだけた表現を含む口語的表現の自動修正方式  
○星野恵以子, 寺田篤史, 村上 久, 秋吉政徳 (神奈川大)
- 3 入れ子構造に着目した動詞コロケーションの段階的獲得  
○町田 翔, 河野一志, 村松拓実, 延澤志保 (東京都市大)

- 4 統計的学習モデルを利用した日本語慣用語の意味的曖昧性解消  
○宮田 周, 竹内孔一 (岡山大)
- 5 単語間の類似度に基づいた単語感情極性の判定  
○森田晋也, 白井靖人 (静岡大)
- 6 副詞の意味に基づくロボットの動作生成に関する一考察  
○濱園侑美, 小林一郎 (お茶の水女子大), 持橋大地 (統数数理研究),  
麻生英樹 (産総研), 中村友昭, 長井隆行 (電通大)
- 7 zero-shot 学習を用いた言語資源の転移に関する一考察  
○樺山絵里, 小林一郎 (お茶の水女子大), 持橋大地 (統数研),  
麻生英樹 (産総研), 中村友昭, 長井隆行 (電通大)
- 8 HTML 内の並列構造を利用した Web ページ上のイベント情報抽出  
○河村一希, 竹内孔一 (岡山大)

学生セッション [1R 会場] (3月16日 (木) 9:30 ~ 12:00)

機械学習 (2) 座長 菊田 遥平 (クックパッド)

- 1 AdaBoost のサンプリング数に関する研究  
○菅原啓介, 徳山 豪 (東北大)
- 2 人の認知バイアスを応用した強化学習手法による適応的な学習について  
○樋口将大, 浦上大輔 (日大)
- 3 モーメンタム項を付加した Online Manifold Regularization  
○大堀 優, 徳山 豪 (東北大)
- 4 力学系学習木における適応的ノード選択  
○菅原康滉, 三浦勇氣, 栗林 倫, 沼倉彬雄, 加藤成将,  
佐藤和幸 (岩手大), 富澤武弥 (大船渡市役所),  
三好 扶, 明石卓也, 金 天海 (岩手大)
- 5 Artificial Bee Colony 法を用いたグラフ色塗り問題の解決  
○富樫勇哉, クラウス アランニャ, 狩野 均 (筑波大)
- 6 戦略的操作不可能な人気順を用いたマッチングメカニズムの設計  
○丸古凌介, 飯田伸也, 藤田 悟 (法大)
- 7 地域制約下における公平なマッチングメカニズムの提案  
○飯田伸也, 丸古凌介, 藤田 悟 (法大)
- 8 制約充足問題におけるインフルエンシャル変数の特定  
○浦地勇人, 沖本天太, 平山勝敏 (神戸大)
- 9 パラメータ共有型マルチモーダル深層自己符号化器を用いた部分観測下多様体学習の検討  
○佐々木勇人, 中田雅也, 津濱文哉, 濱上知樹 (横浜国大)

学生セッション [2R 会場] (3月16日 (木) 13:00 ~ 15:30)

ゲーム理論と社会シミュレーション 座長 藤田 桂英 (農工大)

- 1 動的な内部状態を持つゲーム理論を用いた競争関係の分析  
○石見尚之, 藤田 悟 (法大)
- 2 協力進化における間接互恵性と空間的局所性の相互作用に関するゲーム論的検討  
○陳 煥新, 鈴木麗壘, 有田隆也 (名大)
- 3 GPGPU を用いた 2 人ゲームにおける強化学習の高速化  
○黒木是治, 森山甲一, 武藤敦子, 犬塚信博 (名工大)
- 4 畳み込みニューラルネットワークを用いた Profit Sharing によるゲーム学習の実現  
○村上魁一, 長名優子 (東京工科大)
- 5 ディープラーニングを用いた人間の利他行動要因の特定: コーズマーケティングへの応用  
○高田康起, 下川哲矢 (東理大)
- 6 人工市場における人間の投資意思決定モデルの精緻化 ~ 脳情報ならび視覚情報を用いて ~  
○今川裕貴 (一橋大), 下川哲矢 (東理大)
- 7 プライバシー保護を考慮した連続ダブルオークションのためのパラメータチューニング機構および高速シミュレータの試作  
○佐藤 匠, 福田直樹 (静岡大)
- 8 人工市場を用いた分散投資規制が資産価格急落時の市場に与える影響の解明 - 単一市場にのみ投資する投資家を考慮したモデルでの実験 -  
○柏木 翔, 野崎 淳, 八木 勲 (神奈川工科大),  
水田孝信 (スパークス・アセット・マネジメント)

- 9 人工市場を用いた高頻度取引市場における情報転送遅延が市場に与える影響の分析

○日野克哉, 野崎 淳 (神奈川工科大),  
水田孝信 (スパークス・アセット・マネジメント),  
八木 勲 (神奈川工科大)

学生セッション [3R会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)

エージェントシミュレーション 座長 福田 直樹 (静岡大)

- 1 サービス経済における情報伝達が及ぼす影響の分析  
○小林 寛, 加瀬祐太, 藤田 悟 (法大)
- 2 Service Dominant Logicに基づくサービス交換ネットワークの形成  
○加瀬祐太, 小林 寛, 藤田 悟 (法大)
- 3 シミュレーションを用いた歩行経路推定の精緻化  
○伊織 瞳, 藤田 悟 (法大)
- 4 リアルタイムグリッド環境における単一移動目標捕獲マルチエージェントの性能向上  
○唐 霄, 延原 肇 (筑波大)
- 5 マルチエージェントシミュレーションによる熱伝導方程式の解法  
○清水幸紘, 芳賀博英 (同志社大)
- 6 深層強化学習エージェントの自己モデルによる意図の解釈  
○福地庸介, 大澤正彦, 唄野太一 (慶大),  
山川 宏 (ドワンゴ), 今井倫太 (慶大)
- 7 (講演取消)
- 8 深層強化学習によるシグナル伝達を介したマルチエージェントフォーメーションの形成  
○野口 渉, 飯塚博幸, 山本雅人 (北大)
- 9 自己主張と他者受容を考慮したコミュニケーションによる学級集団形成モデル  
○大久保達樹, 加藤昇平, 武藤敦子 (名工大)

**第3分冊****(ネットワーク)**

一般セッション [6C会場] (3月18日(土) 9:30~12:00)

システム・ストレージ設計・管理 座長 山口 実靖 (工学院大)

- Windows Subsystem for Linux によりプログラムの互換性と持続性と高める研究  
○松浦智之, 當仲寛哲 (USP研), 大野浩之 (金沢大)
- ユニケースにおけるコマンドの使用手法と実装  
○中村和敬, 當仲寛哲 (USP研)
- 性能情報を利用したストレージディスク障害予兆検知  
○鈴木克典, 増田峰義, 江丸裕教 (日立)
- ファイルの再利用を促進する手法の提案  
○小林寛明, 乃村能成 (岡山大)
- A Study on Network Performance for Distributed Storage Systems  
○Luis Guillen, 和泉 諭, 阿部 亨, 菅沼拓夫, 村岡裕明 (東北大)
- 分散ストレージシステム向け SDN 型ネットワーク制御手法の提案  
○和泉 諭, Luis Guillen, 阿部 亨, 菅沼拓夫, 村岡裕明 (東北大)

一般セッション [7C会場] (3月18日(土) 13:00~15:00)

IoT 連携サービス・システム 座長 梶 克彦 (愛知工大)

- 放送とネットや実世界のサービスを仲介するアプリケーションフレームワークの検討  
○池尾誠哉, 大亦寿之, 小川展夢, 山村千草, 宮崎 勝, 藤沢 寛 (NHK)
- 放送コンテンツを基点とした IoT 機器連携動作のためのアーキテクチャの検討  
○小川展夢, 池尾誠哉, 大亦寿之, 藤沢 寛 (NHK)
- 移動体向けデータ配信方式の提案  
○森 郁海, 塚本良太, 田村孝之 (三菱)
- (講演取消)
- 公共交通機関の情報連携モデルとその実証実験について  
○日高洋祐, 三田哲也 (JR 東日本)

一般セッション [1D会場] (3月16日(木) 9:30~12:00)

位置推定・位置情報応用 座長 大村 廉 (豊橋技科大)

- 訪問者支援と情報共有を目指したジオパーク向けモバイルガイドアプリケーションの開発  
○奥村 勝, 高橋伸弥, 鶴田直之 (福岡大)
- 作業船位置情報の取得と活用  
○長野晋平, 和田雅昭 (はこだて未来大)
- 小型イメージング LIDAR と DCNN による位置姿勢推定  
○伊藤誠悟, 平塚誠良, 太田充彦, 松原弘幸, 小川 勝 (豊田中研)
- Bluetooth Low Energy の通信特性を考慮した測位システムに関する研究  
○古館達也, 堀川三好, 岡本 東 (岩手県大)
- スマホカーナビにおける SVM を利用した車の停止判定方法  
○浅見宗広, 大平雄貴 (ヤフー)
- スマートフォンを用いた歩行者混雑予測システムの研究  
○木村卓哉, 佐藤 翼, 袴田和則 (総合警備保障)

一般セッション [2D会場] (3月16日(木) 13:00~15:30)

センシングとデータ収集・分析 座長 米澤 拓郎 (慶大)

- 位置情報に基づく機器稼働データ蓄積手法の提案  
○板戸陽子, 楓 仁志, 山田将史, 太田一史 (三菱)
- 未知の家電制御信号に適応可能な対話型家電操作ログ収集システムの提案  
○水本旭洋, 高橋雄太, 前田直樹, 荒川 豊, 安本慶一 (奈良先端大)
- 反響音の組み合わせを用いたスマートフォンの置き場の材質推定  
○長谷川達人 (東京医療保健大), 平橋智史 (金沢大), 越野 亮 (石川高専)
- 汎用的状況記録システムの設計と実装  
○黒瀬 浩 (金沢工大)
- Shiny サーバとスマートフォン・アプリを使った生体情報収集システムの構築  
○上田敏樹 (大谷大)

6 Web コンテンツ解析に基づく POI 潜在情報検索エンジンの提案

○廖 宸一, 櫻田 健, 河口信夫 (名大)

一般セッション [3D会場] (3月17日(金) 9:30~12:00)

障害対策・品質予測 座長 宮下 健輔 (京都女子大)

- Wi-Fi 過密環境における自律チャネル制御へ向けた通信品質予測手法  
○梶田宗吾, 天野辰哉, 山口弘純, 東野輝夫 (阪大), 高井峰生 (阪大/カリフォルニア大ロサンゼルス校)
- 自立型防災通信ステーションにおける2種類の衛星インターネットの活用  
○湯瀬裕昭 (静岡県大), 鍋田真一 (静岡学園高), 伊藤裕二 (メディア・ミックス静岡), 小坂弘史 (スカパー JSAT), 柴田義孝 (岩手県大)
- ネットワークシミュレータの仮想環境への適用  
○佐藤尚也, 鶴 薫 (三菱), 後沢 忍 (三菱電機インフォメーションシステムズ)
- マクロな動作状況に着目した Web サーバの異常状態の予測と制御  
○谷村優介, 笹井一人, 北形 元, 木下哲男 (東北大)
- 鉄道における輸送障害時の復旧見込み予測システムの研究開発  
○日高洋祐, 野崎真希, 三田哲也 (JR 東日本)
- 暫定対処を考慮した IT システム障害対処プラン自動生成システムの検討  
○永井崇之, 鈴木克典, 村瀬香緒里, 江丸裕教 (日立)

学生セッション [1S会場] (3月16日(木) 9:30~12:00)

ホームネットワークと情報家電 (1) 座長 美原 義行 (NTT)

- スマートタップ型生活見守りシステムに最適な家電の検討  
○長瀬淳生, 高林優稀, 一色正男, 安部恵一 (神奈川工科大)
- 省エネ促進のための電力の見える化機能を併せ持つ家電制御ツールの開発  
○志田 匠, 原 笑, 宮澤重明, 杉村 博 (神奈川工科大)
- タスクを中断させない家電連携の実現  
○大山 郁, 岡 誠, 森 博彦 (東京都市大)
- iHAC システムにおける異種プロトコル間の機器連携手法の提案  
○江崎敬俊, 梅山莉奈, 鈴木秀和 (名城大)
- マルチプラットフォーム対応 iHAC アプリケーションの設計  
○小久保由惟, 梅山莉奈, 鈴木秀和 (名城大)

学生セッション [2S会場] (3月16日(木) 13:00~15:30)

行動支援 座長 大村 廉 (豊橋技科大)

- RealSense を用いた薬剤ピッキング作業支援システムの開発  
○石沢智士, 村田嘉利, 佐藤永欣, 鈴木彰真 (岩手県大)
- ベッドからの起き上がり動作訓練システムの提案  
○遠藤 晶, 村田嘉利, 鈴木彰真, 佐藤永欣 (岩手県大)
- 自律型掃除ロボットとのインタラクション支援機構の試作  
○張 翔, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- ラケット装着型センサを用いたテニストレーニング支援システム  
○富岡亮太, 長谷川洋右, 長尾 確 (名大)
- スマートフォンと小型3軸加速度センサを利用した膝負荷低減システムの開発  
○井上香澄, 瀬尾敦生, 長尾和彦 (弓削商船高専)
- アレルギー対策判別システムとアレルギー情報伝達システムに関する研究  
○飯野和輝, 藤川真樹 (工学院大)
- マルチセンサーネットワークを用いた入浴時リスク検出システム  
○佐藤直樹, 佐々木淳, 高木正則, 山田敬三 (岩手県大)
- スマートタップとマットセンサを用いたパソコン実習室での学生の在席及び作業状況の管理システムの開発及び評価  
○舎川周平, 光森雄太郎, 斉藤 強, 菅沼健太, 一色正男, 安部恵一 (神奈川工科大)
- 空間認識能力計測のためのスマートフォン VR システムの構築  
○嶋田光佑, 廣井 慧 (名大), 梶 克彦 (愛知工大), 河口信夫 (名大)

学生セッション [3S 会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)

- コンシューマデバイス・システム (1) 座長 石田 繁巳 (九大)
- ウェアラブルシステムのための衣服間無線電力供給手法の提案  
○宮村騎久也, 宮路祐一, 大村 廉 (豊橋技科大)
  - 人の温熱快適性に配慮した空調制御の改善に関する検討と実証  
○三浦太樹, 濱谷尚志, 廣森聡仁, 山口弘純, 東野輝夫, 下田吉之 (阪大)
  - 適応型スマート空調制御のための室温の感じ方に関する個人特性分析  
○南谷拓光, 桐山伸也 (静岡大)
  - 環境ノイズ人感センサにおける人・環境依存性および整流昇圧回路の性能評価  
○池田一貴, 大村 廉 (豊橋技科大)
  - 省電力アンビエントセンシングの実現に向けたエナジーハーベスティング技術に関する調査  
○梅木寿人, 藤原聖司, 荒川 豊, 諏訪博彦, 安本慶一 (奈良先端大)
  - 大規模屋内空間の効率良い計測に向けた小型・省電力アンビエントセンサの設計開発  
○森田達弥, 藤原聖司, 荒川 豊, 諏訪博彦, 安本慶一 (奈良先端大)
  - 省電力なセンサとエッジノードの協調分散処理による消費電力の調査  
○藤原聖司, 梅木寿人, 森田達弥, 荒川 豊, 諏訪博彦, 安本慶一 (奈良先端大)
  - 大規模データ処理フレームワークのストリーミング機能を利用した機械学習処理の検討  
○一瀬綺衣 (お茶の水女子大), 竹房あつ子 (NII), 中田秀基 (産総研), 小口正人 (お茶の水女子大)
  - 大規模データ分散処理プラットフォーム Apache Spark を用いた分散並列機械学習の検討  
○加藤香澄 (お茶の水女子大), 竹房あつ子 (NII), 中田秀基 (産総研), 小口正人 (お茶の水女子大)

学生セッション [4S 会場] (3月17日(金) 13:00 ~ 15:00)

- コンシューマデバイス・システム (2) 座長 高橋 秀幸 (東北大)
- ユーザ識別機能を持つ家庭用デジタルサイネージの開発  
○細谷広海, 堀井亮伸, 金子将之, 杉村 博 (神奈川工科大)
  - センサとスマートフォンを用いた広告効果を高める対話型デジタルサイネージ  
○水谷三千代, 長江祐輝 (愛知工大), 遠藤正隆, 中嶋裕一, 三浦哲郎 (リオ), 菱田隆彰 (愛知工大)
  - TurtleBot2 を用いた自律移動可能なデジタルサイネージの開発  
○林 勇佑, 早川栄一 (拓大)
  - (講演取消)
  - 手首一周型ディスプレイの情報表示位置決定における加速度センサ利用に関する一検討  
○谷田佑貴, 藤波香織 (農工大)
  - 通信用光ファイバーを用いた石英ガラスのデジタルファブリケーション  
○内田直樹, 川原圭博, 浅見 徹 (東大)
  - 小水力発電の状況を確認するための Web システムの開発  
○飯島貴裕, 志田 匠, 梶山翔一, 有馬一貴, 杉村 博 (神奈川工科大)

学生セッション [5S 会場] (3月17日(金) 15:10 ~ 17:40)

- スマートフォンと応用 座長 神山 剛 (NTT ドコモ)
- 複数の Android 端末における通信制御ミドルウェアの WLAN と LTE 環境における評価  
○島田歩実 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
  - 無線 LAN アクセスを行う多数台 Android 端末の距離に応じた通信制御とバッテリー消費の考察  
○小柳文乃 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
  - ソフトウェア的依存性を考慮した断続的起動アプリケーションの消費電力推定  
○栗原 駿, 福田翔貴, 濱中真太郎 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大)

- アプリケーションの動作を考慮した通信デバイス省電力に関する一考察  
○村上 翼, 栗原 駿, 福田翔貴, 濱中真太郎 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大)
- アプリケーションの動作と消費電力を考慮したスマートフォン CPU クロック周波数制御  
○関屋拓司, 栗原 駿, 福田翔貴, 濱中真太郎 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大)
- スマートフォンを用いた間欠的センシングのための外付け電源管理システムの設計  
○石毛真修, 高木 雅, 川原圭博, 浅見 徹 (東大)
- 複数 PC が操作可能なスマートフォンを用いたマウスイベントインタフェースの実現  
○岩田 知, 大面忠親, 新谷虎松 (名工大)
- リズムパターン認識に基づく赤外線学習リモコン  
○宮脇雄也, 梶 克彦 (愛知工大)
- 固定した Android 端末上のカメラによる距離画像生成  
○北野和彦, 小林亜樹 (工学院大)

学生セッション [6S 会場] (3月18日(土) 9:30 ~ 12:00)

- セキュリティ 座長 千田 浩司 (NTT)
- 完全準同型暗号によるゲノム秘匿検索の分散処理に関する一検討  
○山本百合, 小口正人 (お茶の水女子大)
  - 完全準同型暗号を用いた Apriori アルゴリズムの並列分散計算による高速化手法の検討  
○宇佐美文梨, 小口正人 (お茶の水女子大)
  - センサネットワークにおける協調した意図的衝突による盗聴妨害手法  
○大栗正宏, 松垣博章 (電機大)
  - 開放環境無線センサネットワークにおける協調的パケット改ざん検知と不正ノード孤立化手法の提案とその評価  
○新居英志, 北之馬真正, 安達直世, 滝沢泰久 (関西大)
  - エクスターナルグリッドにおける信頼できる計算機による処理間依存関係の隠蔽効果の最大化  
○砂田俊平, 遠藤慶一, 樋上喜信, 小林真也 (愛媛大)
  - 閾値暫定法を用いたエクスターナルグリッドにおける高速性・機密性・信頼性のトレードオフ関係の定量的考察  
○田中祐生, 遠藤慶一, 樋上喜信, 小林真也 (愛媛大)
  - エクスターナルグリッドの処理結果を誤りに導くことを意図する悪人がもたらす影響の定量的評価  
○山口晃右, 遠藤慶一, 樋上喜信, 小林真也 (愛媛大)
  - ブラウザ部分仮想化の提案  
○小泉修一, 早川智一, 正田輝雄 (明大)
  - パスワードを保持しない代行入力システムによる SSO の実現  
○田崎優典, 安井浩之, 横山孝典 (東京都市大)

学生セッション [7S 会場] (3月18日(土) 13:00 ~ 15:00)

- ネットワーク運用・管理 座長 藤本 章宏 (和歌山大)
- Chef を応用した Kubernetes のコンテナ管理手法の提案と評価  
○土本大貴, 青山幹雄 (南山大)
  - 5GHz 帯無線 LAN を用いた下水管内無線伝送品質の測定 -IEEE802.11n を使用した場合 -  
○武居悠樹, 田中悠大, 石原 進 (静岡大)
  - ネットワーク情報の監視支援のための自動編纂手法の提案  
○松村洋志, 笹井一人, 北形 元, 木下哲男 (東北大)
  - インターネット到達性確認パケットの推定・追跡を用いた不正アクセスポイント検出手法  
○竹田智洋, 大平健司, 谷岡広樹, 佐野雅彦, 松浦健二, 上田哲史 (徳島大)
  - 無線アドホックネットワークにおける偽検出通知送出する攻撃ノード検出手法  
○曾田雄大, 松垣博章 (電機大)
  - 複数コネクションのクラスタリングに基づくサービス同定  
○原 雅貴, 荻澤慎之介 (工学院大), 中尾彰宏 (東大), 小口正人 (お茶の水女子大), 山本 周 (東大), 山口実靖 (工学院大)

- 7 コントローラの設定情報と論理トポロジの視覚的な関連付けを可能とする OpenFlow ネットワーク運用管理支援システム  
○藤田紘生, 井口信和 (近畿大)
- 8 TCP SYN Authentication の OpenFlow による実現  
○永井亮祐, 廣津登志夫 (法大)

学生セッション [1T 会場] (3月16日 (木) 9:30 ~ 12:00)

ネットワークプロトコル 座長 植田 和憲 (高知工科大)

- 1 複数アクセスポイントを用いた無線全二重データ電力同時伝送方式におけるスケジューリング手法の検討  
○川崎慈英, 小林 真, 猿渡俊介, 渡辺 尚 (阪大)
- 2 上下分離可能型無線ネットワークのスループットに関する基礎検討  
○上熊須匠, 小林 真, 猿渡俊介, 渡辺 尚 (阪大)
- 3 M2M ネットワークにおける MQTT を用いた調停機構  
○丸山真治, 高田秀志, 西出 亮, 山本修平 (立命館大)
- 4 無通信時間を考慮した無線 LAN パケット伝送時間に基づく瞬時スループットの提案  
○内田誠人, 喜田健司, 上野大二郎 (東洋大), 石川博康 (日大), 篠永英之 (東洋大)
- 5 高遅延環境における HTTP/2 の転送速度に関する考察  
○小田尚輝, 山口実靖 (工学院大)
- 6 トレードオフを考慮したノード移動による経路間衝突のない配送経路の検出率向上  
○伊佐野皓士, 桧垣博章 (電機大)
- 7 データ配送優先度を考慮した移動シンクノード群によるセンサデータ収集手法  
○関口直樹, 桧垣博章 (電機大)
- 8 モバイル端末ユーザにより構成される DTN システムへのマルチコプターノードの導入  
○宇野颯人, 林 秀和, 宇都宮陽一, 田 学軍, 奥田隆史 (愛知県大)
- 9 プライベートネットワーク間接続の MANET における NAT 越え P2P 通信方式の検討  
○田中有彩 (お茶の水女子大), 前野 誉 (スペースタイムエンジニアリング), 大和田泰伯 (NICT), 高井峰生 (カリフォルニア大ロサンゼルス校), 小口正人 (お茶の水女子大)

学生セッション [2T 会場] (3月16日 (木) 13:00 ~ 15:30)

Software Defined Network (SDN) 座長 柏崎 礼生 (阪大)

- 1 端末連携機能による動的資源適合型ネットワークシステムの研究  
○戸川和晃, 橋本浩二 (岩手県大)
- 2 SDN を用いたライブストリーミング経路制御手法  
○山本晃太郎, 橋本浩二 (岩手県大)
- 3 医療情報ネットワークにおける OpenFlow を用いた動的経路選択方式の基礎検討  
○岩崎裕輔, 小林 真 (阪大), 小野 悟 (静岡大), 猿渡俊介, 渡辺 尚 (阪大)
- 4 現実空間の利用者の活動に連動するリアクティブネットワーク構成法  
○門脇伸明, 笹井一人, 北形 元, 木下哲男 (東北大)
- 5 TCP コネクション制御を伴う DPN スイッチによるネットワークアプリケーション性能向上に関する一考察  
○荻澤慎之介, 原 雅貴 (工学院大), 中尾彰宏 (東大), 小口正人 (お茶の水女子大), 山本 周 (東大), 山口実靖 (工学院大)
- 6 レプリケーションによる OpenFlow コントローラの透過的切り替え手法  
○大野智裕, 廣津登志夫 (法大)
- 7 大規模災害時における仮想化ノード FLARE によるアプリケーション毎の SDN 制御  
○平久 紬 (お茶の水女子大), 中尾彰宏, 山本 周 (東大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)

学生セッション [3T 会場] (3月17日 (金) 9:30 ~ 12:00)

マルチエージェント・シミュレータ 座長 齋藤 正史 (金沢工大)

- 1 交通に影響する気象災害情報のデータ統合  
○加藤憲昭, 伊藤孝行 (名工大)

- 2 交通シミュレータ FITS への自転車モデルの導入と試作  
○高橋昂大, 生駒宇史, 今井昌一, 小林篤史, 古市昌一 (日大)
- 3 道路脇の景色が与える距離感への影響に関する考察  
○相馬郁矢, 鈴木彰真, 佐藤永欣, 村田嘉利 (岩手県大)
- 4 公共交通改善策検討のためのマルチエージェント交通シミュレーション環境の構築  
○相井良太, 大室高志, 中平天明, 小川祐樹, 服部宏充 (立命館大)
- 5 車体傾きを許容した自転車シミュレータの提案  
○石田雄紀, 島田哲哉, 植田晃一郎, 金田重郎 (同志社大)
- 6 マルチエージェントに基づく異種 IoT デバイスの協調制御手法  
○横山真悟, 加藤 匠, 高橋秀幸, 木下哲男 (東北大)
- 7 高忠実度評価環境を用いた Android アプリケーションの評価  
○恩田康平, 峰野博史 (静岡大)

学生セッション [4T 会場] (3月17日 (金) 13:00 ~ 15:00)

ITS システム 座長 清原 良三 (神奈川工科大)

- 1 狭域交通情報を効率的に共有するための中継車両選択制御と優先送信制御を両立する車車間通信方式  
○森 拓也, 湯 素華, 小花貞夫 (電通大)
- 2 情報の信頼度に基づいた効率的車車間通信ルーティングプロトコル  
○陳 洵, 佐藤健哉 (同志社大)
- 3 (講演取消)
- 4 車載カメラ利用に適した映像通信フレームワーク - 仮想視点移動映像による渋滞情報提示への応用 -  
○菊池裕太, 平田遼太郎, 池田 聖, 柴田史久, 木村朝子, 田村秀行 (立命館大)
- 5 電力ネットワークの特徴に基づく電力融通手法の提案  
○柴田大地, 伊藤孝行 (名工大)
- 6 完全集合分割アルゴリズムを用いた提携形成手法の提案  
○新美 真, 伊藤孝行 (名工大)
- 7 MQTT を用いた車載エッジコンピューティングアーキテクチャの提案と評価  
○宇野聡将, 井ノ口仁也, 青山幹雄 (南山大)

学生セッション [5T 会場] (3月17日 (金) 15:10 ~ 17:40)

スマート農業・漁業 座長 中澤 仁 (慶大)

- 1 草姿画像を用いた植物萎れ具合高精度推定  
○若森和昌, 兼田千雅, 柴田 瞬, 峰野博史 (静岡大)
- 2 カメラ映像による自己位置推定を用いた精密農業のための低価格自律移動ロボットの試作と評価  
○角谷和宣, 繁田 亮, 川原圭博, 浅見 徹 (東大)
- 3 新規就農者に対する IoT を利用した支援方法の検討  
○田上稔浩, 寺澤卓也 (東京工科大)
- 4 ウェアラブルセンサを用いた農作業推定について  
○阿久津樹輝, 千葉慎二 (仙台高等専門学校広瀬キャンパス)
- 5 二匹の牧羊犬を用いた群れ誘導における誘導位置の検証  
○渡邊春花, 藤岡 薫 (福岡女子大)
- 6 養殖魚モニタリング環境における情報収集のためのデータ送信タイミング決定手法の評価  
○石田晃一, 谷口義明, 井口信和 (近畿大)
- 7 航跡データを用いた漁場可視化手法の提案  
○木藤成汰, 高 博昭, 和田雅昭 (はこだて未来大)
- 8 腕時計デバイスを利用した小型船舶事故防止システムの開発  
○瀬尾敦生, 肥田琢弥, 長尾和彦 (弓削商船高専)
- 9 瀬戸内海地域における電波強度の計測について  
○肥田琢弥, 瀬尾敦生, 長尾和彦 (弓削商船高専)

学生セッション [6T 会場] (3月18日 (土) 9:30 ~ 12:00)

行動・状態推定 座長 落合 桂一 (NTT ドコモ)

- 1 時間変化を考慮した機械学習による着座姿勢推定手法  
○森田陽介, 飯島安恵, 今野 将 (千葉工大)
- 2 車載センサと歩行者の属性による歩行者の行動予測  
○三井弘希, 王 彧, 加藤ジェーン, 間瀬健二 (名大)
- 3 小型身体形状測定装置の提案  
○柴田涼平, 村田嘉利, 鈴木彰真, 佐藤永欣 (岩手県大)

- 4 複数のウェアラブル端末の時刻差分を用いた行動推定  
○伊藤 将, 藤田 悟 (法大)
- 5 着座姿勢に基づくワークプレイスの高機能化の検討  
○音田恭宏, 水本旭洋, 荒川周造 (奈良先端大), 小花光広, 中島千尋, 上西基弘 (岡村製作所), 荒川 豊, 安本慶一 (奈良先端大)
- 6 隠れマルコフモデルを用いた無拘束デバイスによる睡眠時の掻破行動時間計測  
○河野哲也, 籾木崇史, 栗原陽介 (青学大)
- 7 能動学習による携帯端末の所持場所判定機能の個人化のための一考察  
○佐藤公治, 藤波香織 (農工大)
- 8 (講演取消)
- 9 行動遷移確率に基づく行動系列選択による並列タスク検証の精度向上  
○中島 丞, 大村 廉 (豊橋技科大)

学生セッション [7T会場] (3月18日(土) 13:00 ~ 15:00)

クラウド・分散システム 座長 森 眞一郎 (福井大)

- 1 フォグコンピューティングにおけるジョブ割り振り戦略の定量的評価  
○森 友哉, 宇都宮陽一, 田 学軍, 奥田隆史 (愛知県大)
- 2 エッジコンピューティングにおけるアプリケーションの特徴と負荷を考慮した処理配分手法  
○志野嘉紀, 笹井一人, 北形 元, 木下哲男 (東北大)
- 3 分散 Web システムにおけるスケールリングアルゴリズムの改良と評価  
○松田正也, 最所圭三 (香川大)
- 4 DNS を用いた分散 Web システムにおける振分アルゴリズムの改良  
○森垣航太 (香川大)
- 5 VM クラスタにおけるサービス温度プロファイルによる熱分布制御  
○伊勢駿介, 廣津登志夫 (法大)
- 6 Hadoop における reduce タスク割り当ての改善手法  
○白水達也, 芝 公仁 (龍谷大)
- 7 (講演取消)
- 8 Geohash 用いた分散データベースの効率的な時空間範囲検索法  
○安達成一, 宮崎敏明 (会津大)

学生セッション [1U会場] (3月16日(木) 9:30 ~ 12:00)

マルチホップネットワーク (1) 座長 吉廣 卓哉 (和歌山大)

- 1 NTMobile におけるマルチキャスト機能の実現  
○菅沼良一, 納堂博史, 鈴木秀和 (名城大), 内藤克浩 (愛知工大), 渡邊 晃 (名城大)
- 2 NTMobile における通信制御機能の提案  
○金松友哉, 大久保陽平, 鈴木秀和, 渡邊 晃 (名城大), 内藤克浩 (愛知工大)
- 3 携帯電話基地局のカバレッジ外に存在する端末を対象とした同報配信システム  
○六平 豊, 中村嘉隆, 稲村 浩 (はこだて未来大)
- 4 無線アドホックネットワークにおける送信電力低下をとまなう故障中継無線ノード検出手法  
○武井 駿, 松垣博章 (電機大)
- 5 順次短縮無線リンク列を用いた高スループット無線マルチホップ配送  
○須田哲志, 松垣博章 (電機大)
- 6 送信電力変更による経路内衝突を回避する無線マルチホップ通信手法の SIR モデルによる拡張  
○沼田直弥, 松垣博章 (電機大)
- 7 商用 Android 端末間 D2D 通信アプリケーションの構築に関する一考察  
○小川純也, 生出拓馬, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)
- 8 無線センサネットワークにおけるデッドロック検出のための形式手法  
○池田愛大, 秋山直輝, 宮崎敏明 (会津大)

学生セッション [2U会場] (3月16日(木) 13:00 ~ 15:30)

マルチホップネットワーク (2) 座長 宮路 祐一 (豊橋技科大)

- 1 発展途上国における教育用 SNS のための DTN ルーティング方式の検討  
○原田 晋, 小坂隆浩 (同志社大)
- 2 WSN におけるコンテンツ指向型データ配信手法の導入  
○國安哲郎, 重安哲也 (県立広島大)
- 3 コンテンツ指向型ネットワークにおける協調キャッシュに基づく効率的なコンテンツ管理手法  
○青木美帆, 重安哲也 (県立広島大)

- 4 盗聴困難な無線マルチホップ配送のためのノイズ無線信号送信手法  
○嶋田 勇, 松垣博章 (電機大)
- 5 無線マルチホップネットワークにおける盗聴データ転送妨害手法  
○原嶋勇介, 松垣博章 (電機大)
- 6 間欠的無線アドホックネットワークにおける起動スケジュール変更による配送遅延短縮手法  
○堀江 慎, 松垣博章 (電機大)
- 7 無線マルチホップネットワークにおける最大通信量探索の時間短縮手法  
○久保勇暉, 松垣博章 (電機大)
- 8 森林内における複数通信方式を用いたセンサデータ回収効率化手法の提案  
○下平佳伸, 岸田隆祐, 塚田晃司 (和歌山大)
- 9 災害時における UAV を構成要素とする情報通信方法に関する研究  
○田中紀史 (岩手県大), 内田法彦 (福岡工大), 橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県大)

学生セッション [3U会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)

位置情報推定とその応用 座長 中村 嘉隆 (はこだて未来大)

- 1 IoT 位置トラッキングシステムの構築を目的とした実環境におけるタンドム BLE スキャナの受信性能評価  
○浦野健太, 廣井 慧, 河口信夫 (名大)
- 2 RFID を用いた無接触による室内位置推定  
○臧 啓蒙, 李 鵬, 宮崎敏明 (会津大)
- 3 WiFi 屋内位置推定におけるモンテカルロ手法を用いた端末側測位と環境側測位の統合  
○齋藤隼人, 大村 廉 (豊橋技科大)
- 4 ユーザ設置ビーコンを用いた通知環境の構築  
○橋本修平, 山本修平, 西出 亮, 高田秀志 (立命館大)
- 5 BLE 測位および PDR を用いたハイブリッド型屋内測位手法の提案  
○工藤大希, 堀川三好, 古舘達也, 岡本 東 (岩手県大)
- 6 線分情報に基づく位置姿勢推定と 3次元マップの更新  
○兼子朋也, 高橋淳二, 花見 唯, 徳永悠希, 戸辺義人 (青学大)
- 7 周辺ノードにおける位置情報と受信信号強度に基づいたセンサネットワークのための位置精度改善方式  
○山本 恵, 木村成伴 (筑波大)
- 8 Wi-Fi 電波強度を用いた歩行通路における人数推定  
○倉 聖美, 白石 陽 (はこだて未来大)
- 9 都市環境における 3次元空間上の Wi-Fi データベースの構築  
○天野辰哉, 梶田宗吾, 山口弘純, 東野輝夫 (阪大), 高井峰生 (阪大/カリフォルニア大ロサンゼルス校)

学生セッション [4U会場] (3月17日(金) 13:00 ~ 15:00)

生体情報 座長 佐藤 永欣 (岩手県大)

- 1 脳波を利用した遠隔通信相手集中度計測システムの設計と実装  
○長瀬綾佑 (青学大), 藤田晃佑, 唐山英明 (富山県大), ギョーム ロベズ, 戸辺義人 (青学大)
- 2 心拍データからコンテキストを抽出するためのグラフ構造に基づくクラスタリング手法  
○渡邊優太, 大越寿彦 (会津大), 太田昌克 (NTT), 宮崎敏明 (会津大)
- 3 画像の特徴量に基づく発赤の肉眼的所見に対応した客観評価尺度の検討  
○葛西拓人, 亀田昌志 (岩手県大), 大崎 真 (岩手保健医療大学設置準備室), 武田利明 (岩手県大)
- 4 在宅環境における睡眠時無呼吸症候群簡易検査のための無拘束計測システムの提案 ~高感度圧力センサを用いた臥位・無呼吸の状態判別~  
○徳富あゆな, 籾木崇史, 栗原陽介 (青学大)
- 5 WiFi 電波を用いた呼吸数等のバイタル情報測定と姿勢変化認識の検討  
○HaoChen Cui, 湯 素華, 小花貞夫 (電通大)
- 6 (講演取消)
- 7 避難所における顔認証技術を用いた安否確認迅速化手法  
○中 進吾, 中村嘉隆, 稲村 浩 (はこだて未来大)
- 8 概念モデルによる異なるドメイン間のリソース連携方法の提案  
○棚瀬泰宏, 青山幹雄 (南山大)

学生セッション [5U会場] (3月17日(金) 15:10～17:40)

- センサネットワークとデータ処理 座長 塚田 晃司(和歌山大)
- 1 センサネットワークにおける時刻同期の省資源性と計算時間に関する検討  
○秋本ゆり, 黒木琴海(静岡大), 倉田成人(筑波技術大), 渡辺 尚, 猿渡俊介(阪大)
  - 2 センサネットワークにおける一貫性のあるイベント観測時刻情報取得手法  
○荒尾彩子, 松垣博章(電機大)
  - 3 幾何学的性質に基づく無線センサ・ネットワークにおけるシンク・ノードの配置アルゴリズム  
○大須賀健悟, 朝倉宏一(大同大)
  - 4 BLE ビーコンを用いたマルチコプターの新たな航法技術の実現  
○大門雅尚, 堀川三好, 岡本 東(岩手県大)
  - 5 BLE 接続による柔軟なセンサ連携手法の提案  
○大竹 遼, 岸 知二(早大)
  - 6 WSN システムにおける異種センサ接続に対応した通信ノードの設計および実装  
○鳥居義高, 伊藤孝行, 大塚孝信(名工大)
  - 7 深層学習の分散実行に関する一検討  
○福島悠太, 三浦太樹, 濱谷尚志, 山口弘純, 東野輝夫(阪大)

学生セッション [6U会場] (3月18日(土) 9:30～12:00)

- ネットワーク設計 座長 佐藤 文明(東邦大)
- 1 Swift に対応した NTMobile フレームワークの設計  
○鈴木聡人, 山田貴之, 鈴木秀和(名城大), 内藤克浩(愛知工大), 渡邊 晃(名城大)
  - 2 NTMobile アダプタの実現方式の検討  
○尾久史弥, 納堂博史, 鈴木秀和(名城大), 内藤克浩(愛知工大), 渡邊 晃(名城大)
  - 3 NTMobile フレームワークの Java ラッパーの提案と実装  
○清水一輝(名城大), 八里栄輔(パレイキャンパスジャパン), 納堂博史, 鈴木秀和(名城大), 内藤克浩(愛知工大), 渡邊 晃(名城大)
  - 4 トラヒックの種類を考慮した移動式アクセスポイントの提案  
○小林祐斗, 高橋淳二, 戸辺義人(青学大)
  - 5 動画通信のための一時的な QoE の変動を考慮したハンドオーバーアルゴリズム  
○武居厚志, 木村成伴(筑波大)
  - 6 複数グループ間通話時のエリア IP フォンの動作検証  
○高柳真吾, 杉浦彰彦(静岡大)
  - 7 無線 LAN での動的チャンネル割り当てに伴う複数端末同時ハンドオーバー時の通信不能時間の測定  
○渡邊大也, 石原 進(静岡大)
  - 8 強化学習を用いたモバイルデータオフローディング手法自律獲得の検討  
○望月大輔, 峰野博史, 町田 樹(静岡大)
  - 9 複数台の自律飛行 UAV から得られる情報の最大化アルゴリズムの提案  
○渡辺大貴, 高橋淳二, 戸辺義人(青学大)

学生セッション [7U会場] (3月18日(土) 13:00～15:00)

- ホームネットワークと情報家電(2) 座長 廣井 慧(名大)
- 1 柔軟な設定変更が可能なレガシー家電機器用スマート化システムの設計  
○上野大輝, 岡田真実, 鈴木秀和(名城大)
  - 2 ECHONET Lite 規格書のオープンデータベースシステム  
○原 笑, 松原侃樹, 藤田裕之, 一色正男, 杉村 博(神奈川工科大)
  - 3 ECHONET Lite 機器のセキュア遠隔制御システムの提案  
○田中久順, 山田貴之, 大久保陽平, 鈴木秀和(名城大), 内藤克浩(愛知工大), 渡邊 晃(名城大)
  - 4 3D 仮想空間を用いたスマートハウスコントローラ  
○梶山翔一, 細谷広海, 有馬一貫, 杉村 博(神奈川工科大)
  - 5 DIY メイカーのためのスマートハウス構築支援システム  
○矢田和沙, 梶尾一郎(お茶の水女子大)
  - 6 ホームネットワークプログラムのための SPIN による ECA ルールの整合性検証  
○篠原諒恭, 大村 廉(豊橋技科大)

学生セッション [1V会場] (3月16日(木) 9:30～12:00)

- 自動運転・運転支援 座長 齊藤 裕一(農工大)
- 1 自動運転普及期における交差点進入支援方式  
○宮崎千展, 松山聖路(神奈川工科大), 徳永雄一(三菱), 齋藤正史(金沢工大), 清原良三(神奈川工科大)
  - 2 自動運転時代における効率的な車載 ECU 向け分散ソフトウェア更新方式  
○小沼 寛(神奈川工科大), 寺島美昭(創価大), 清原良三(神奈川工科大)
  - 3 自動運転普及期における速度規制に関する検討  
○矢島貴広, 清原良三(神奈川工科大)
  - 4 運転支援システムのための SVM を用いた外れ値検出の検討  
○小椋翔太, 尾坂啓宏(愛知工大), 伊藤信行(三菱電機エンジニアリング), 梶 克彦, 内藤克浩, 水野忠則, 中條直也(愛知工大)
  - 5 シートの振動を用いた自動車の周辺通知システムにおける実用性評価  
○菱田勇弥, 鈴木彰真, 村田喜利, 佐藤永欣(岩手県大)
  - 6 地理的位置と画像認識を併用した歩行者認識手法の提案  
○木下浩希, 西野剛史, 佐藤健哉(同志社大)
  - 7 GTFS を用いたリアルタイムバス停ナビゲーションシステムの提案  
○米本拓馬, 西尾 航, 鈴木秀和, 松本幸正(名城大)
  - 8 運行実績データに基づくバス到着時刻予測モデルの開発  
○佐藤孝大, 大場みち子(はこだて未来大)
  - 9 バスロケータを用いた運行状況の分析・可視化手法  
○今井 瞳, 廣井 慧, 河口信夫(名大)

学生セッション [2V会場] (3月16日(木) 13:00～15:30)

- 災害対策技術とネットワーク 座長 重野 寛(慶大)
- 1 大規模災害における SNS 情報をトリガとしたアプリケーション毎のトラフィック制御の一検討  
○柳田晴香(お茶の水女子大), 中尾彰宏, 山本 周(東大), 山口実靖(工学院大), 小口正人(お茶の水女子大)
  - 2 フェリーノードを用いた災害時通信システムのエミュレーション評価  
○高田千暁(お茶の水女子大), 前野 誉(スペースタイムエンジニアリング), 大和田泰伯(NICT), 高井峰生(カリフォルニア大ロサンゼルス校), 小口正人(お茶の水女子大)
  - 3 災害時における DTN をベースとしたマルチホップネットワークの実現  
○北田真也, 佐藤剛至, 橋本浩二, 柴田義孝(岩手県大)
  - 4 災害時における近距離無線を利用した情報配信システムの研究  
○山中祐樹(京都市大)
  - 5 災害時の緊急車輛を用いた省電力モバイルアドホックネットワークにおけるルーティングプロトコルの提案  
○美崎敦也, 高田豊雄, ベッドバハドゥール ピスタ, 小倉加奈代(岩手県大)
  - 6 災害発生状況における Wi-SUN マルチホップ通信の適用可能性の検討  
○高橋 謙, 高田豊雄, 小倉加奈代, ベッドバハドゥール ピスタ(岩手県大)
  - 7 災害時における SDN を用いたレジリエントルーティングの提案  
○高平寛之, 和泉 論, 阿部 亨, 菅沼拓夫(東北大)
  - 8 Drone 中継を考慮した災害時通信 Protocol  
○前山貴哉, 高丸尚教, 横山雄太郎(中部大)
  - 9 可視光通信において誤認識の検出および訂正を可能にする色変調方式の提案  
○北中 央, 岡本典樹, 塚田晃司(和歌山大)
- 学生セッション [3V会場] (3月17日(金) 9:30～12:00)
- 二輪・車・環境状態推定 座長 森 信一郎(千葉工大)
- 1 運転行動の時系列性を考慮した SAX による車両挙動分析手法  
○横山達也, 白石 陽(はこだて未来大)
  - 2 衛星測位システムの搬送波位相を用いた二輪車車体姿勢角推定手法の検討  
○太田拓伸, 木谷友哉(静岡大)

- 3 スマートフォンを用いた自転車走行時における障害物回避挙動の検出  
○武安裕輔, 白石 陽 (はこだて未来大)
- 4 曲率中心を用いた自転車走行状態の可視化手法  
○坂上友都, 高橋遼一, 金田重郎 (同志社大)
- 5 スマートフォンを用いた若者・高齢者に対する自転車運転時の相違分析  
○加藤 一, 坂上友都, 高橋遼一, 金田重郎 (同志社大)
- 6 住空間におけるユーザ環境理解のための状況変化の可視化  
○宮坂光太郎, 桐山伸也 (静岡大)
- 7 ABS 作動データを用いた分析による札幌市内の道路凍結の予測  
○穂本浩昇, 田中 讓, 瀧川一学 (北大)
- 8 ニューラルネットワークによる実環境下での環境音認識  
○山本修生, 伊藤克巨 (法大)
- 9 タッチ操作ログを用いたコンテンツ閲覧時の興味度合い推定の研究  
○加藤勇太, 岩本健嗣, 松本三千人 (富山県大)

学生セッション [4V 会場] (3月17日 (金) 13:00 ~ 15:00)

位置推定 座長 宮田 章裕 (日大)

- 1 床指紋を用いた室内位置推定手法の高速化  
○藤田貴大, 藤田 悟 (法大)
- 2 PDR とカメラ画像による進行方向のトラッキングを用いた屋内位置推定  
○根岸拓郎, 藤田 悟 (法大)
- 3 回転磁石マークを用いたスマートフォン3次元位置推定の基礎的検討  
○渡邊康祐, 廣井 慧 (名大), 神山 剛, 佐野博之,  
塚本昌克, 片桐雅二, 池田大造 (NTT ドコモ),  
梶 克彦 (愛知工大), 河口信夫 (名大)
- 4 携帯端末における地磁気センサの方向依存性の補正  
○安部北斗, 廣津登志夫 (法大)
- 5 車両からの電波到来角度を利用した歩行者測位精度向上のための方式  
提案  
○戸田和宏, 湯 素華, 小花貞夫 (電通大)
- 6 基地局通信履歴と GPS トレースを用いた都市レベルの旅行推定手法の  
提案  
○山田遊馬, 内山 彰, 廣森聡仁, 山口弘純, 東野輝夫 (阪大)
- 7 被災者捜索のための実用的な携帯端末位置推定法  
○丸山泰志, 穴澤和也, 宮崎敏明 (会津大)

学生セッション [5V 会場] (3月17日 (金) 15:10 ~ 17:40)

マルチメディア通信 座長 義久 智樹 (阪大)

- 1 ホームネットワークのための端末のキュー長を考慮した動画ビット  
レート制御方式  
○藤澤洋平, 木村成伴 (筑波大)
- 2 キューの状態に応じた重み付けによる WFQ 方式のための不使用帯域  
分配方式  
○久保田享祐, 木村成伴 (筑波大)
- 3 ライブ中継機能の動的構成を可能とするアドホック映像通信システム  
○今雪聡太, 橋本浩二 (岩手県大)
- 4 WebRTC を用いたツインビュー型 P2P ビデオ会議システム  
○木村友彦, 藤田 聡 (広島大)
- 5 レイヤー化されたビデオストリームの P2P 配信手法  
○山田悠太, 藤田 聡 (広島大)
- 6 繰り返しなされる DoS 攻撃への防御機能を備えたマルチツリー型ビデオ  
ストリーム配信手法  
○久富淳史 (広島大)
- 7 P2P ビデオストリーミングの2ホップ配信における LNC の効果につ  
いて  
○庄司拓矢, 藤田 聡 (広島大)
- 8 機械学習を用いた HTTP Adaptive Streaming の QoS 制御に関する一検討  
○生出真人, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)
- 9 放送通信融合環境における複数の供給端末を用いたデータ配信システ  
ムの評価  
○尾崎健志, 後藤佑介 (岡山大)

学生セッション [6V 会場] (3月18日 (土) 9:30 ~ 12:00)

ナビゲーション・運行システム 座長 川井 明 (滋賀大)

- 1 電子連結車両を用いた端末交通システムにおける運行スケジュールの  
最適化手法  
○根本晃輔, 長谷部浩二, 加藤和彦 (筑波大)
- 2 隊列走行可能な端末交通システムの障害時動作切り替え方法  
○秋谷龍太郎, 加藤和彦, 阿部洋丈, 長谷部浩二 (筑波大)
- 3 自動車のリアルタイム位置管理方式の提案  
○松倉龍之介, 村田嘉利, 鈴木彰真, 佐藤永欣 (岩手県大)
- 4 住所情報を用いた Web リンク情報の実世界マッピング手法  
○加藤義大, 櫻田 健, 河口信夫 (名大)
- 5 スマートウォッチの振動機能を用いた屋内ナビゲーション手法の提案  
○寺坂拓哉, 白石 陽 (はこだて未来大)
- 6 スマートデバイスによる歩行者行動を考慮したナビゲーションシステ  
ムの提案と実装  
○佐々木柁人, 松原俊一, Martin Duerst (青学大)
- 7 地図と全天球カメラの画像を利用した駅構内の案内アプリの提案  
○工藤 尊 (電機大), 伊藤昌毅 (東大), 柴原直也, 岩井将行 (電機大)
- 8 ワセナビ: 潜在的観光資源への誘導のためのウォークラリーアプリ  
ケーション  
○家入祐也 (早大), 中島 悠 (東邦大),  
綾木良太 (方痴民), 菱山玲子 (早大)
- 9 全天球カメラを用いた歩行者ナビゲーション向けの屋内外3次元地図  
構築に向けた検討  
○飯田啓量, 櫻田 健, 河口信夫 (名大)

学生セッション [7V 会場] (3月18日 (土) 13:00 ~ 15:00)

コミュニケーション支援 座長 岩本 健嗣 (富山県大)

- 1 めいぐるみのスマート化による無意識行動に基づくコミュニケーション  
支援システム  
○佐藤綾香, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 2 緩やかなつながりを提供するタンジブルアバタによるコミュニケー  
ション  
○遠藤慎一, 市橋啓太, 藤波香織 (農工大)
- 3 VR デバイスと人型ロボットを用いた遠隔対話システムの構築  
○頼富 颯 (愛知工大), 遠藤正隆, 中嶋裕一,  
三浦哲郎 (リオ), 菱田隆彰 (愛知工大)
- 4 遠隔操作ロボットと全方位カメラを用いた遠隔臨場感システムに関する  
一考察  
○三浦 誠, 内林俊洋, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)
- 5 マルチストーリーミングの音声情報による画面調整機能  
○齋藤 溪, 橋本浩二 (岩手県大)
- 6 雰囲気推定を用いたロボットによる自発的行動を促す目配せ表出  
○佐藤直希, 武内一晃, 一色正男, 山崎洋一 (神奈川工科大)
- 7 身体装着型カメラの映像を用いた集団活動時の楽しい振り返りのため  
の体験自動記録-会話場面の判定および評価-  
○木下恵理子, 藤波香織 (農工大)

第3分冊

(セキュリティ)

一般セッション [4D 会場] (3月17日 (金) 13:00 ~ 15:00)

リスク要因分析 座長 高田 豊雄 (岩手県大)

- 1 ネット依存度とパスワード管理意識の関連について  
○八城年伸 (安田女子大)
- 2 短縮 URL のオンデマンド安全性検査  
○中村章人, 松尾卓朗, 西川直登 (会津大)
- 3 Web ゲームサイトを題材とした攻防型ハッキング競技の提案  
○中矢 誠 (香川大), 大川昌寛 (北陸先端大),  
中島雅弘 (アーヴァイン・システムズ),  
富永浩之 (香川大)
- 4 大規模環境における悪意あるアクセスポイントの検知方式の検討  
○石倉 禅, 竹内 格 (NTT)

一般セッション [5D会場] (3月17日(金) 15:10～17:40)

攻撃分類 座長 八城 年伸 (安田女子大)

- 1 エントロピー実行形式検索技術のメモリイメージへの適用に関する一考察  
○高田慎也, 大田幸由, 中村 亨 (NTT)
- 2 初期ペイロードに着目したネットワーク走査活動の分析  
○中村康弘 (防衛大)
- 3 One-Class SVM を用いたマルウェア PDF 検出の一考察  
○岩本 舞, 小島俊輔 (熊本高専), 中嶋卓雄 (東海大)
- 4 2視点での人体追跡方式の検討  
○竹内 格, 石倉 禪, 高田慎也 (NTT)

学生セッション [1W会場] (3月16日(木) 9:30～12:00)

システムセキュリティ 座長 沖野 浩二 (富山大)

- 1 準パススルー型ハイパーバイザーを用いたブロックデバイス監視システムの性能評価  
○都築卓馬, 岡野兼也, 高 直我, 平野 学 (豊田高専)
- 2 ブロック単位でのディスクへの書き込み履歴から異常検出する手法の評価  
○吉田光輝, 池田征士朗, 原田滉史, 平野 学 (豊田高専)
- 3 4KiB ブロックごとの類似ハッシュの検出性能の評価  
○都築夏樹, 平野 学 (豊田高専)
- 4 スマートフォンアプリケーションの動作状況を利用したフォレンジック手法の検討  
○諏訪部功吉, 田中英彦 (情報セキュリティ大)
- 5 悪性サイトを攻撃ツールにより分類する Web クローラー  
○永井達也 (神戸大), 神蘭雅紀 (PwC サイバーサービス), 白石善明 (神戸大), 毛利公美 (岐阜大), 高野泰洋 (神戸大), 星澤裕二 (PwC サイバーサービス), 森井昌克 (神戸大)
- 6 IoT デバイスへのサイバー攻撃に関する検討  
○小寺建輝, 泉 隆 (日大)
- 7 マルウェアの実行状況に基づく検知手法  
○吉村豪康, 橋本正樹, 辻 秀典, 田中英彦 (情報セキュリティ大)
- 8 プログラムローダを用いた Stack-based Buffer Overflow 攻撃を緩和する手法の改善と評価  
○菅原捷汰, 王 氷, 宮崎博行, 近藤秀太, 渡辺亮平, 横山雅展, 齋藤孝道 (明大)
- 9 レジリエントサーバの改良と性能評価  
○佐野史和, 岡本 剛 (神奈川工科大), Winarno Idris, 畑 良知, 石田好輝 (豊橋技科大)

学生セッション [2W会場] (3月16日(木) 13:00～15:30)

ネットワークセキュリティ 座長 平野 学 (豊田高専)

- 1 RPL における自律ノードに基づいたセキュア通信方式の提案  
○小山峻矢, 中村嘉隆, 稲村 浩 (はこだて未来大)
- 2 ブラウザ経由による内部ストレージ種別の推定手法の提案と実装  
○種岡優幸, 石川貴之, 細井理央, 高橋和司, 安田昂樹, 田邊一寿, 細谷竜平, 齋藤孝道 (明大)
- 3 Android における WebView の Web アクセス観測機構の提案  
○今村祐太, 上川先之, 工藤直樹, 佐藤将也, 山内利宏 (岡山大)
- 4 公共 Wi-Fi サービスを偽装した攻撃用アクセスポイントの検出  
○大橋 翔, 廣津登志夫 (法大)
- 5 ネットワークセキュリティ管理のためのネットワーク可視化システムの実装  
○幅野莞佑, 武田圭史, 村井 純 (慶大)
- 6 Drive-by Download 攻撃における HTTP 通信の特徴を用いた検知手法の提案  
○榎本尚代, 田中英彦 (情報セキュリティ大)
- 7 通信パケットのログを利用したマルウェア感染インシデント再現システムの開発  
○奥田裕樹, 福田洋治, 井口信和 (近畿大)
- 8 ホップカウント初期推定値に基づく学習を用いたホップカウントフィラタリング方式  
○山越 寛, 木村成伴 (筑波大)

9 CSIRT 間の情報交換

○宮坂 剛, 後藤厚宏 (情報セキュリティ大)

学生セッション [3W会場] (3月17日(金) 9:30～12:00)

認証技術 座長 毛利 公一 (立命館大)

- 1 誤入力傾向を考慮した Levenshtein 距離による、柔軟なパスワード認証システム  
○小林怜央, 黒米祐馬, 武田圭史, 村井 純 (慶大)
- 2 検索エンジン攻撃に耐性のある画像認証方式の検討  
○林 夏生, 佐藤 敬 (北九州市大)
- 3 サーバ操作時の打鍵情報による継続的な個人認証手法の検討  
○梶原 礼, 河合博之, 納富一宏 (神奈川工科大)
- 4 Wi-Fi の受信信号強度を用いた近接検出による認証方式に関する一検討  
○堀 孝浩, 西郡裕子, 朴 美娘 (神奈川工科大), 岡崎直宣 (宮崎大)
- 5 学生証とパスワードの二要素認証を無線 LAN 接続の認証に用いる手法  
○仲野弘一, 大平健司, 谷岡広樹, 佐野雅彦, 松浦健二, 上田哲史 (徳島大)
- 6 スマートフォンにおける複数個の振動パターンを用いた覗き見攻撃対策認証手法の検討  
○廣瀬郁也, 平川 豊, 大関和夫 (芝浦工大)
- 7 導電性インクによる偽造指紋の作成となすましに対する安全性評価の試み  
○谷本海斗, 岡本 剛 (神奈川工科大)
- 8 マルチモーダル人工物メトリクスの提案と合成樹脂製品への適用  
○実川康輝, 藤川真樹 (工学院大)

学生セッション [4W会場] (3月17日(金) 13:00～15:00)

機械学習によるセキュリティ 座長 中村 康弘 (防衛大)

- 1 FaceNet に対する Adversarial Examples による意図的誤検出および誤認識  
○野間口圭, 黒米祐馬, 武田圭史, 村井 純 (慶大)
  - 2 Deep Learning の学習曲線を用いた CAPTCHA  
○坂井麻守, 森田 光 (神奈川大)
  - 3 DBSCAN によるクラスタ出現確率を用いたマルウェア感染由来の HTTP トラフィック検知  
○小川秀貴, 山口由紀子, 嶋田 創 (名大), 高倉弘喜 (NII), 秋山満昭, 八木 毅 (NTT)
  - 4 標的型攻撃の体験ができる自習型演習システムの提案と実装  
○八代 哲, 宮田大地, 馬場隆彰, 細井理央, 角田裕太, 渡辺亮平, 高橋和司, 細谷竜平, 齋藤孝道 (明大)
  - 5 Spectral Clustering を用いた不正侵入パケット検知による検知精度の向上  
○伊東道明, 福富 仁 (法大)
  - 6 攻撃分類を行う侵入検知システムにおける能動学習の性能評価  
○赤坂省伍, 梅澤 猛, 大澤範高 (千葉大)
  - 7 置き去り防止のためのマイクロ波ドップラーセンサを用いた自動車外からの乗員生体計測システム  
○廣瀬雅嵩, 鏑木崇史, 栗原陽介 (青学大)
  - 8 スマートフォンにおける Browser Fingerprint の時間経過に伴う変化の分析  
○田邊一寿, 石川貴之, 細井理央, 高橋和司, 安田昂樹, 種岡優幸, 細谷竜平, 齋藤孝道 (明大)
- 学生セッション [5W会場] (3月17日(金) 15:10～17:40)
- リスク分析とマネージメント 座長 岡本 学 (神奈川工科大)
- 1 防災情報の隠蔽による日常的な防災意識促進システムの提案  
○志垣沙灯子, 吉野 孝 (和歌山大)
  - 2 内部犯行を誘発する決定木分析  
○山田道洋, 新原功一, 菊池浩明 (明大)
  - 3 検出対象動作とリスクを紐づけ対策行動へ誘導するセキュリティ警告手法  
○仁科泉美, 大平健司, 谷岡広樹, 佐野雅彦, 松浦健二, 上田哲史 (徳島大)
  - 4 短縮 URL の安全性判断支援手法の検討  
○藤根麻羽, 小倉加奈代, 高田豊雄, バハドゥール ベッド (岩手県大)

- 5 人間の脆弱性を利用した標的型攻撃への防御手法の検討  
○八藤後茉央, 高田豊雄, バハドゥール ベッド,  
小倉加奈代 (岩手県大)
- 6 不正送金対策向け金融サイバーチェーンの検証  
○岡田周平, 森 滋男, 後藤厚宏 (情報セキュリティ大)
- 7 (講演取消)
- 8 プレッシャーによるサイバー攻撃兆候検知に向けた検討  
○石井友基, 後藤厚宏 (情報セキュリティ大)
- 9 海上インフラのサイバーセキュリティ  
○島田裕樹, 湯淺壱道 (情報セキュリティ大)

学生セッション [6W 会場] (3月18日(土) 9:30～12:00)

プライバシーと秘密分散 座長 菊池 浩明 (明大)

- 1 ISO/IEC29100 を評価指標としたプライバシー影響評価の実施と課題  
○浦田有佳里, 下村憲輔, 白石敬典, 田 娟, 中原道智,  
慎 祥揆, 瀬戸洋一 (首都大・産業技術大)
- 2 データ提供時のプライバシー設定の適正度を定量化する指標の提案  
○萱場啓太, 生出拓馬, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)
- 3 匿名加工における攻撃者知識と安全性に関する評価  
○林 弘悦 (中大), 西山賢志郎, 土井 洋 (情報セキュリティ大),  
趙 晋輝 (中大)
- 4 重複データのある水平分割データベースのダミー値追加による匿名化  
○伊奈優樹 (電通大)
- 5 センシティブ属性値の距離を考慮したダミー追加による1多様性アル  
ゴリズムの提案  
○大石慶一郎, 清 雄一, 田原康之, 大須賀昭彦 (電通大)
- 6 極小アクセス集合に基づく一般アクセス構造を実現する秘密分散法の  
情報比の評価  
○伊藤詩子, 枡窪孝也 (日大)

**第4分冊****(インタフェース)****一般セッション [6D会場] (3月18日(土) 9:30～12:00)****インタフェース(2) 座長 塚田 晃司(和歌山大)**

- 1 リビングルーム在室者の身体動作に基づく会話ロボットののための話しかけに適切なタイミング推定に関する基礎検討  
○藤本雄一郎, 永澤由基, 藤田欣也(農工大), 徐 建鋒, 酒澤茂之(KDDI総合研究所)
- 2 ビジュアルコードによるヒューマンマシン共生の情報社会の実現  
○上田謙一(ADEU.NEK)
- 3 対話における韻律情報の関係が生理的セラピー効果に与える影響  
○林 里奈(日本自動車部品総合研), 加藤昇平(名工大)
- 4 健常者をセンサノードとして用いたバリア検出手法に向けて  
○宮田章裕, 荒木伊織, 王 統順, 鈴木天詩(日大)
- 5 地方創生活動のための Collective Intelligence: 市民共創知研究会の構想  
○伊藤孝行, 白松 俊(名工大), 堀田竜士, 三井 実(富士ゼロックス), 仙石晃久(名工大), 藤田桂英(農工大), 福田直樹(静岡大)
- 6 市民共創による農作業支援技術開発のためのモーションセンサを用いた鎌動作の分析  
○一ノ瀬修吾, 白松 俊(名工大), 大森友子(Agriturismo 大森家)

**一般セッション [7D会場] (3月18日(土) 13:00～15:00)****インタフェース(3) 座長 柴田 邦臣(津田塾大)**

- 1 Webを通じたVR動画コンテンツに対するコメント共有システムの構築  
○坂口琢哉(安田女子大)
- 2 拡張現実を利用した3D電子テキスト表示の研究-入力インタフェースの現状と課題-  
○杉山正治, 生田敦司, 柴田みゆき(大谷大)
- 3 音声による属性情報付加を用いたかな漢字変換候補の選択手法  
○梅澤 猛, 大澤範高(千葉大)
- 4 文節単位の文字配置と隔行単位の背景着色がもたらす日本語電子リーダーの可読性向上  
○小林潤平, 新堀英二(大日本印刷), 川嶋稔夫(はこだて未来大)
- 5 assessment to systems thinking  
○糸魚川幸宏(Wisdom Inc.)

**一般セッション [1E会場] (3月16日(木) 9:30～12:00)****インタフェース(1) 座長 藤澤 誠(筑波大)**

- 1 ニューラルネットワークによる流体界面の曲率計算  
○笠 晃一(福岡工大)
- 2 遮光を活用した異方性反射の印刷法  
○櫻井快勢(ドワンゴ), 土橋宣典(北大), 西田友是(広島修道大)
- 3 多数のLEDの光量均等化のための巡回セールスマン問題を用いた導電性インクパターン生成手法  
○デウクトゥンタ, 奥谷文徳, 川原圭博, 浅見 徹(東大)
- 4 電子透かしと視野角を利用した新たな情報提示手法の提案  
○大寺 亮, 藤井俊輔(神戸情報大)
- 5 絵画技法を取り入れたARマーカの提案  
○山本祐介(日立)
- 6 複数種のLCDを配置した半球ドーム型高臨場感ディスプレイシステムの構築手法  
○神原利彦, 三上 学(八戸工大)

**学生セッション [1X会場] (3月16日(木) 9:30～12:00)****2次元グラフィックスと可視化 座長 向井 智彦(東海大)**

- 1 Swellart: 制約付き膨脹による2Dグラフィックのデフォルトデザイン  
○湯浅海貴, 中山雅紀, 藤代一成(慶大)
- 2 CoCoA: コミック/アニメ実写化のための俳優キャストティング支援  
○土方 希, 鹿間脩斗, 藤代一成(慶大)
- 3 アニマシーの始原的アニメーション  
○宮原裕貴, 中山雅紀, 藤代一成(慶大)
- 4 立体キャンバスを用いた2次元アニメーション制作支援手法  
○藤田正樹, 齋藤 豪(東工大)

- 5 陽的B-spline関数を用いた方向角パラメータ曲線  
○吉田雄一, 斎藤隆文(農工大), 吉田典正(日大)
- 6 複数Droneの最適回避経路生成  
○横山雄太郎, 高丸尚教, 前山貴哉(中部大)
- 7 Twitterにおけるテレビ番組の実況ツイートの可視化  
○菅野遥菜, 加納 徹, 竹島由里子(東京工科大)
- 8 数理統計学における検定の理解のための可視化  
○桃井 央, 斎藤隆文(農工大)
- 9 科学技術データ可視化のためのカラーマップエディタ作成  
○鶴見沙織, 加納 徹, 竹島由里子(東京工科大)

**学生セッション [2X会場] (3月16日(木) 13:00～15:30)****物理シミュレーションに基づくCG 座長 藤代 一成(慶大)**

- 1 豪雨時のワイパーによる排水のリアルタイム表示  
○田中直幸, 田中敏光, 佐川雄二(名城大)
- 2 リアルタイム破壊シミュレーションにおける亀裂表現の改良  
○熊田和大, 藤澤 誠, 三河正彦(筑波大)
- 3 翼の三角形分割と剛体近似を用いた紙飛行機のリアルタイムフライトシミュレーション  
○寺島 広, 小池崇文(法大)
- 4 SawTooth サイクルの拡張による圧力場計算の高速化  
○鶴賀淳樹, 岩崎 慶(和歌山大)
- 5 複数のfar-field格子を用いた流体シミュレーション  
○大垣公輔(和歌山大), 佐藤周平(ドワンゴ), 岩崎 慶(和歌山大), 西田友是(ドワンゴ)
- 6 領域削減の自動化によるWavelet Turbulenceの効率化  
○上直直人(和歌山大), 佐藤周平(ドワンゴ), 岩崎 慶(和歌山大), 西田友是(ドワンゴ)

- 7 (講演取消)
- 8 (講演取消)
- 9 粒子法を用いた土砂崩れのビジュアルシミュレーション  
○和田健太郎, 加納 徹, 竹島由里子(東京工科大)

**学生セッション [3X会場] (3月17日(金) 9:30～12:00)****AR/DR/VRと計測データの可視化 座長 竹島 由里子(東京工科大)**

- 1 実時間観測の援用により移動物体への拡張を可能にした隠消現実感の実現  
○堀田 勝, 坂内大樹(立命館大), 森 尚平(慶大), 池田 聖, 柴田史久, 木村朝子, 田村秀行(立命館大)
- 2 隠消現実感手法の客観評価のための共通データセットの開発  
○両角泰希(立命館大), 森 尚平(慶大), 池田 聖, 柴田史久, 木村朝子, 田村秀行(立命館大)
- 3 隠消現実感における両眼視野不整合についての分析と対策(3) ~ Light Field Renderingを用いた隠背景再構成に生じるジッタの分析 ~  
○松永知典(立命館大), 森 尚平(慶大), 池田 聖, 柴田史久, 木村朝子, 田村秀行(立命館大)
- 4 (講演取消)
- 5 タブレット端末を用いた拡張現実感による履歴書の手書き支援システム  
○長谷川力, 牧野光則(中大)
- 6 モーションセンサデバイスをを用いた仮装空間内での英単語学習教材の提案  
○矢澤亮太, 宮崎 剛(神奈川工科大)
- 7 VSMにおけるバーチャルツアー方式  
○大野光久, 田中慎之介, 沼田祐希, 吉田真澄(筑波学院大)

- 8 TimeTubes: 多次元時系列プレーザー観測データの視覚的融合による不確か性の緩和  
○澤田奈生子, 中山雅紀, Hsiang-Yun Wu(慶大), 植村 誠(広島大), 藤代一成(慶大)
- 9 監視カメラ画像からの水位変動の可視化  
○渡辺大地, 斎藤隆文(農工大)

**学生セッション [4X会場] (3月17日(金) 13:00～15:00)****人体・顔 座長 櫻井 快勢(ドワンゴ)**

- 1 キャラクターの局所的な身体構造を考慮した二次動作自動生成  
○金田綾乃, 福里 司, 福原吉博, 森島繁生(早大)

- 2 解剖学的構造をもつ手の陰的モデリング  
○中田聖人, 藤代一成 (慶大)
- 3 指紋の変形に基づく実時間 Stick-Slip シミュレーション  
○井垣友貴, 田川和義, 田中弘美 (立命館大)
- 4 漿膜・結合組織の粒子ベース変形・剥離表現法の提案  
○河野桃子, 田川和義, 田中弘美 (立命館大), 小森 優 (滋賀医大), 来見良誠 (JCHO 滋賀病院)
- 5 超音波画像における Chan-Vese Algorithm と Particle Filter を組み合わせた輪郭抽出法  
○齋藤太一, 中田雅也, 浜津文哉, 濱上知樹 (横浜国大)
- 6 3次元心臓 CT 画像からの自動冠動脈抽出に関する研究  
○関村匠斗, 土井章男 (岩手県大), 朴澤麻衣子, 森野禎浩 (岩手医大)
- 7 三次元顔特徴点を用いた DNN に基づく 2D フォトリアルスティック 顔動画生成の検討  
○佐藤一樹, 能勢 隆, 伊東 燦, 伊藤彰則 (東北大)
- 8 笑顔動画データベースを用いた顔動画の経年変化  
○山本晋太郎, サフキンパーベル, 佐藤優伍, 加藤卓哉 (早大), 森島繁生 (早大/JST ACCEL)

学生セッション [5X 会場] (3月17日(金) 15:10 ~ 17:40)

- 画像処理 座長 岡部 誠 (静岡大)
- 1 複数の深度カメラを用いたリアルタイム 3D スキャニング  
○松本依里紗, 藤田 悟 (法大)
  - 2 点群分布を考慮した対応点選定によるレーザスキャナと SFM の統合的 3次元記録手法  
○藤里和樹, 頼光拓真, 檀 寛成, 安室喜弘 (関西大)
  - 3 (講演取消)
  - 4 アンカリング効果を考慮した MPEG-4 動画における動画像の影響  
○青木拓磨, 杉浦彰彦 (静岡大)
  - 5 静止画による道路監視カメラ画像情報の一覧表示  
○孫 紹倫, 齋藤隆文 (農工大)
  - 6 前方ルートパノラマの作成  
○佐藤光平, 齋藤隆文 (農工大)
  - 7 画像選別によるツーリング後の思い出振り返り支援  
○杉浦正太郎, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)
  - 8 調理作業手順の効率的提示方法  
○市場彩花, 齋藤隆文 (農工大)
  - 9 (講演取消)

学生セッション [6X 会場] (3月18日(土) 9:30 ~ 12:00)

- 色と光 座長 藤堂 英樹 (東京工科大)
- 1 関与媒質の多光源レンダリングのための誤差推定法  
○安明真哉, 名畑豪祐, 岩崎 慶 (和歌山大)
  - 2 NS-FDTD 法によるモルフォチョウ構造色の光学解析  
○田中志歩, 小池崇文 (法大)
  - 3 色の周辺視野特性を考慮した広角視覚像  
○上野真実 (お茶の水女子大), 齋藤 豪 (東工大)
  - 4 (講演取消)
  - 5 半透明物体の分光学的特性のモデリング  
○平安奈苗, 北原雅啓, 岡部孝弘 (九工大)
  - 6 動的シーンの分光的な直接・大域成分への分解  
○鳥居杜朗, 岡部孝弘 (九工大)
  - 7 疎に配置された点光源群を用いた文字の最適表示  
○辻 春樹, 栗山 繁 (豊橋技科大)
  - 8 光線投影による化粧の再現に関する検討  
○津田香林, 峰友佑樹, 北野和哉, 加藤涼子, 久保尋之 (奈良先端大)

学生セッション [7X 会場] (3月18日(土) 13:00 ~ 15:00)

- モデリング・レンダリング 座長 岩崎 慶 (和歌山大)
- 1 遺伝的アルゴリズムによる 3次元形状モデルの進化的生成  
○菅河雅哉, 米元 聡 (九産大)
  - 2 繊維階層の微細構造をもつ糸を用いた織物の生成  
○都甲裕太郎, 池田泰成, 藤代一成 (慶大)
  - 3 方向性のある紙繊維シートの破断  
○篠崎紗衣子, 中山雅紀, 藤代一成 (慶大)

- 4 物体の形状による堆積への影響を考慮した埃の描画手法の提案  
○佐藤 樹 (早大), 森島繁生 (早大/JST ACCEL), 谷田川達也, 小澤禎裕, 持田恵佑 (早大)
- 5 構造色を持つ宝石の CG 表現  
○熱田一仁, 藤堂英樹 (東京工科大), 柿本正憲 (東京工科大/UEI リサーチ)
- 6 PBF による粒子の状態変化計算を用いた炭酸水の SSF による実時間描画  
○箭内一樹, 牧野光則 (中大)
- 7 炊き立ての白ご飯の写実的な描画  
○甘 曉博, 木村彰徳 (足利工大)

学生セッション [1Y 会場] (3月16日(木) 9:30 ~ 12:00)

- BCI・感性 座長 倉本 到 (京都工繊大)
- 1 簡易脳波センサを利用したルーティーンにおける集中度の解析  
○庄司尚矢, 平石広典 (秋田高専)
  - 2 個人写真閲覧時の脳波を用いた主観状態の推定  
○野村太輝 (名大), 森田純哉 (静岡大), 平山高嗣, 榎塚 優, 間瀬健二 (名大)
  - 3 三極電極のブレイン・コンピュータ・インターフェース (BCI) による外部機器操作  
○大休寺颯斗, 小川 均, Victor Kryssanov (立命館大)
  - 4 BCI による Web ブラウザ操作  
○荒谷優也, 川越恭二 (立命館大)
  - 5 心拍センシングに基づくマルチモーダル体感状況理解  
○青木 渉, 桐山伸也 (静岡大)
  - 6 座圧センサによる着席者の姿勢変化に関する研究  
○茂林真羽, 平石広典 (秋田高専)
  - 7 距離カメラを用いた WCST 実験における困惑状態の検出  
○和田勝貴, 長尾智晴 (横浜国大)
  - 8 マスコットロボットを活用したテクノストレス解消の研究  
○荒木亮磨, 土肥紳一 (電機大)
  - 9 スマートフォンを用いたテキストによる消防緊急通報時の焦り度判定手法の提案  
○樋口雄大, 北村尊義, 泉 朋子, 仲谷善雄 (立命館大)

学生セッション [2Y 会場] (3月16日(木) 13:00 ~ 15:30)

- コミュニケーション (1) 座長 山本 倫也 (関西学院大)
- 1 面接コミュニケーションにおける笑顔の同調度が評価に与える影響の検証  
○齋藤裕太 (東京工科大), 中村亮太 (湘北短期大), 上林憲行 (東京工科大)
  - 2 PhoTopicChat: SNS における話題連動画像表示手法の提案  
○奥原史佳, 清 雄一, 田原康之, 大須賀昭彦 (電通大)
  - 3 マウスポインタパタによるグループブラウジングとその応用  
○豊福拓也, 高井昌彰 (北大)
  - 4 粒子群社会モデルを用いた集団ダイナミクスの聴覚による理解  
○高野佑紀奈, 鈴木麗壘, 有田隆也 (名大)
  - 5 発言履歴のアニメーション表示の一手法  
○石田ゆい歩, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
  - 6 顔をスクリーンとしたコミュニケーション支援システムの提案  
○明松悠太, 吉野 孝 (和歌山大)
  - 7 作業効率向上のための他者の存在感提示システム  
○石川 諒, 井村誠孝 (関西学院大)
  - 8 ビジュアルコミュニケーションを活性化するためのエモーティコンのデザイン要素抽出  
○蛭間和也, 菊池 司, 榎本美香 (東京工科大)
  - 9 全顧客キャラクターが講演者発話にうなづく没入型講演体験システムの開発  
○田中一也, 渡辺富夫, 石井 裕 (岡山県大)

学生セッション [3Y 会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)

- コミュニケーション (2) 座長 吉野 孝 (和歌山大)
- 1 面接の場の成立要件をうなずきなどの定量的な指標で評価する方法の提案  
○湊谷健斗 (東京工科大), 中村亮太 (湘北短期大), 上林憲行 (東京工科大)

- 2 触れ合う要素を含んだ家族会議システムの提案と実装  
○川井彩耶, 的場やすし, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
- 3 円筒形タッチスクリーンの同時利用に関するユーザー調査  
○田中宏和, 三輪貴信, 橋本周司 (早大)
- 4 メガネ型センサデバイスをを用いた人間関係の推定  
○赤瀬涼太 (富山県大)
- 5 個人に特化した対話システムのための対話と SNS を用いた応答手法の構築  
○三木康太, 宮部真衣 (和歌山大)
- 6 遠隔ミーティングにおける発話権取得のための挙手動作ロボットの開発  
○櫻井亜彩子, 福森 聡, 山本倫也 (関西学院大)
- 7 確率的作業持続モデルを用いた PC 作業者の割り込み非許容時間の予測  
○白鳥翔太, 藤本雄一郎, 藤田欣也 (農工大)
- 8 電車内に閉じ込められた乗客の相互扶助行動を促すシステムデザインの提案  
○八木涼平, 北村尊義, 泉 朋子, 仲谷善雄 (立命館大)
- 9 就眠前の親子コミュニケーションを促進するインタラクティブ寝具  
○飯沢奈緒, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)

**学生セッション [4Y 会場] (3月17日 (金) 13:00 ~ 15:00)**

- ナビゲーション 座長 垂水 浩幸 (香川大)**
- 1 ユーザの興味を考慮した観光プラン推薦システムの提案  
○宇野 都, 植竹朋文 (専修大)
  - 2 楽しさを考慮したナビゲーションシステムの提案  
○松井愛弓, 植竹朋文 (専修大)
  - 3 ナッジに基づく観光情報提示ツールのデザイン表現の検討  
○平石雄規, 北村尊義, 泉 朋子, 仲谷善雄 (立命館大)
  - 4 地域課題の解決に向けたオープンデータ利用の試み - 高槻市の地域課題を対象として -  
○仲西 渉, 盛山将広, 松下光範 (関西大)
  - 5 見たままの風景情報に基づく地図検索手法に対する音声入力インタフェースの検討  
○田中智大, 北村尊義, 泉 朋子, 仲谷善雄 (立命館大)
  - 6 複合現実感を用いたジオパークアプリのガイドアプリ開発とその性能評価  
○福田将之, 前田佐嘉志, 鶴田直之 (福岡大)
  - 7 行動模倣に基づいた地図を利用した道案内 CG 人物システムの構築  
○前田侑城, 森 博志, 外山 史, 東海林健二 (宇都宮大)
  - 8 科学館・博物館における展示パネル内画像の複雑さ分析手法の開発  
○山田航平, 中平勝子, 北島宗雄 (長岡技科大)

**学生セッション [5Y 会場] (3月17日 (金) 15:10 ~ 17:40)**

- VR・AR 座長 樋口 啓太 (東大)**
- 1 ヘッドマウントディスプレイを用いた全天球映像を含む多視点映像切替システム  
○熊澤正貴, 橋本浩二 (岩手県大)
  - 2 多視点映像を用いたスポーツ中継個人視聴システムの提案  
○三浦雄一郎, 橋本浩二 (岩手県大)
  - 3 没入型仮想現実システムにおける映像刺激による転倒防止のための身体動揺の予測  
○渡部裕貴, 梅澤 猛, 大澤範高 (千葉大)
  - 4 (講演取消)
  - 5 温冷覚刺激を3点に提示した際に生じる錯覚現象の分析  
○新井啓介, 橋口哲志, 柴田史久, 木村朝子 (立命館大)
  - 6 モバイル環境向け VR におけるヘッドトラッキングの実現  
○中地功貴, 打矢隆弘, 内匠 逸 (名工大)
  - 7 卓上投影型 AR における投影面の色や凹凸を考慮した情報投影位置決定手法の提案  
○市橋啓太, 藤波香織 (農工大)
  - 8 レーザスキャナを利用した地下浸水予測情報の AR 可視化  
○廣瀬 詢, 平野智之, 山森康生, 藤里和樹, 頼光拓真, 尾崎 平, 檀 寛成, 窪田 論, 安室喜弘 (関西大)

- 9 Bird song explorer: 野鳥の歌行動体験のための立体音響に基づく仮想森林アプリケーション  
○娜 仁, 鈴木麗麗, 有田隆也 (名大), 中臺一博 (ホンダ RIJ/ 東工大), 奥乃 博 (早大)

**学生セッション [6Y 会場] (3月18日 (土) 9:30 ~ 12:00)**

- デザイン・HRI (1) 座長 山本 倫也 (関西学院大)**
- 1 音によるヒューマン・エージェント・インタラクションのためのプロトタイプシステムの試作  
○棚橋 徹 (日大), 小林一樹 (信州大), 北原鉄朗 (日大)
  - 2 人間とロボットの会話における「間」のデザイン  
○大藤聖菜, 馮 建美, 小山大幾, 今井倫太 (慶大)
  - 3 エージェント製作支援のためのタイプ別パーチャルインプット生成システム  
○澤田志織, 嶋野太一, 今井倫太 (慶大)
  - 4 身体動作を用いた教育支援ロボットの感情表出法に関する基礎的実験  
○谷寄悠平, フェリックス ジメネス, 吉川大弘, 古橋 武 (名大)
  - 5 アームロボットを用いたユーザの意図により動く自動合わせ鏡システムの開発  
○豊永哲士, 蓮本諒介, 小山大幾, 今井倫太 (慶大)
  - 6 インタラクションに着目した物体認識のための人の動作による属性定義手法  
○石島 樹, 石井雅樹 (秋田県大)
  - 7 手振りで意図表出を行う手振りハンドロボットの開発  
○池田香織, 石井 裕, 渡辺富夫 (岡山県大)

**学生セッション [7Y 会場] (3月18日 (土) 13:00 ~ 15:00)**

- デザイン・HRI (2) 座長 古橋 武 (名大)**
- 1 ペルソナ法における顔写真使用の効果について  
○早川 葵, 喜多千草 (関西大)
  - 2 ソーシャルデータによる Android アプリの GUI ユーザビリティ評価  
○扇田昌紀, 小枝正直 (大阪電通大)
  - 3 コンピュータ強化されたドールハウスの提案と開発  
○尾崎保乃花, 椎尾一郎 (お茶の水女子大)
  - 4 禁煙場所における喫煙に注意を喚起するデジタルサイネージ  
○加藤史記, 太田高志, 川口翔悟, 村本 遼 (東京工科大)
  - 5 キャラクターフィギュアに表情変化と発話動作を付加する拡張現実システム  
○吉崎翔大, 高井昌彰 (北大)
  - 6 ロボットメディアの集客効果の評価  
○永森剛史, 入江 俊, 中田 仁, 檜山正樹, 田村 仁 (日本工大)
  - 7 アンケートに特化したサービスロボットによるマーケティングプラットフォーム拡張の研究  
○井上直己, 青木大起, 宮内真紀江, 前佛達也, 中村隆宏, 成田雅彦 (産業技術大)

**学生セッション [1ZA 会場] (3月16日 (木) 9:30 ~ 12:00)**

- 学習支援・センシング (1) 座長 高田 秀志 (立命館大)**
- 1 リズム解析に基づくタップダンスの習熟度評価法  
○山元亮典, 橋本周司, 三輪貴信, ギエルモ エンリケズ, フェイ・イーヤップ (早大)
  - 2 (講演取消)
  - 3 Myo を用いた走行フォームの解析  
○三窪僚太, 田村 仁, 檜山正樹, 入江 俊, 仲田 仁 (日本工大)
  - 4 刺激の強弱に着目したブレイクポイントの作りやすい通知手法の検討  
○金子雅司, 岩田 満 (都立産業技術高専)
  - 5 特徴の空間分布を利用した特定物体検出手法の提案  
○吉田侃又, 赤嶺有平 (琉球大), 根路銘もえ子 (沖縄国際大)
  - 6 HOG 特徴量を用いた時系列画像からの人物検出  
○荻莊裕太, 阿部 亨, 菅沼拓夫 (東北大)
  - 7 アドホックなデバイスグループ化手法に基づく位置情報アプリケーション開発環境について  
○渡邊正人, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)

- 8 Beacon による屋内危険空間への接近通知の認識  
○辻川直斗, 竹本一哉, 藤井誠貴, 中道 上 (福山大),  
渡辺恵太 (DNP 情報システム),  
小滝泰弘 (信興テクノミスト)

- 9 移動行為認識システムの開発  
○上野 晃, 小川 均, Victor Kryssanov (立命館大)

学生セッション [2ZA 会場] (3月16日(木) 13:00 ~ 15:30)

学習支援・センシング (2) 座長 新谷 虎松 (名工大)

- 1 射形のモーションデータを用いた弓道訓練システムの実装と評価  
○星野直紀, 小宮山撰, 盛川浩志 (青学大)
- 2 料理支援を目的とした画像処理による液体投与量の測定  
○仲田 仁, 田村 仁 (日本工大)
- 3 没入感の高い注視点記録システムによる DJ 熟練者と初学者の比較  
○南 和宏, 北村尊義, 泉 朋子, 仲谷善雄 (立命館大)
- 4 即興合奏支援システムのためのスマートフォンセンサーを用いた身体動作認識手法  
○水野創太, 白松 俊, 一ノ瀬修吾 (名工大), 北原鉄朗 (日大)
- 5 異なるインタフェースを使用した際の学習プロセスの違いの検証  
○清 夏実, 岡 誠, 森 博彦 (京都市大)
- 6 外国語初心者を対象とした会話レッスンのための教授支援システムの設計と実装  
○柴田健介, 竹川佳成, 平田圭二 (はこだて未来大)
- 7 顔追跡による教材注目情報の取得  
○田所龍介, 納富一宏 (神奈川工科大)
- 8 機械翻訳を介した知識伝達過程へのユーザ適応に関する分析  
○鈴木 宏, 菱山玲子 (早大)

学生セッション [3ZA 会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)

入力インタフェース (1) 座長 藤波 香織 (農工大)

- 1 視線と上腕動作による入力を併用した GUI 環境の設計に関する基礎的研究  
○阿部優里香, 芹澤俊介, 浅川裕美, 武藤 剛 (文教大)
- 2 視線ジェスチャ検出とそのユーザインタフェースへの応用  
○庄林祐太, 藤江真也 (千葉工大)
- 3 直観的入出力による有限要素法インタフェース補助  
○林 優輔, 大寺 亮 (神戸情報大)
- 4 VR 環境におけるピンチ動作を用いた視覚に頼らない文字入力方法の検討  
○二本松拓哉, 中村喜宏 (日大)
- 5 VR 環境におけるカードゲームのためのタンジブルインタフェースの検討  
○大川恭平, 中村喜宏 (日大)
- 6 ネットワーク型バーチャルプラネタリウムにおけるポインティング UI の評価  
○篠崎雅和, 横山真男, 瀬田陽平 (明星大)
- 7 RGB-D カメラによる位置姿勢推定を用いた直観的で複数同時使用可能な監視カメラ操作デバイス  
○八木賢太郎 (慶大), Thomas Bruce (南オーストラリア大),  
斎藤英雄 (慶大)
- 8 複合現実空間におけるメニュー操作のための前腕を用いたインタラクション手法の提案  
○浅井拓己, 小川修平 (立命館大), 大槻麻衣 (筑波大),  
柴田史久, 木村朝子 (立命館大)
- 9 複合現実空間において複雑な模様の彫刻を行うための電子機能の検討  
○山本拓也, 川越真帆 (立命館大), 大槻麻衣 (筑波大),  
柴田史久, 木村朝子 (立命館大)

学生セッション [4ZA 会場] (3月17日(金) 13:00 ~ 15:00)

入力インタフェース (2) 座長 前田 篤彦 (NTT 未来研)

- 1 マスク装着型デバイスによる呼気入力を用いた認証方法の提案と実装  
○三品雅揮, 川瀬智久, 阿部隼多, 諸戸貴志, 濱川 礼 (中京大)
- 2 CSM 周波数と基本周波数を用いた音声によるマウスカーソル操作  
○田上 集, 小口純矢, 光本大記, 松原聖人, 嵯峨山茂樹 (明大)

- 3 形状変化特性を変更可能なメタ・インタフェース実現にむけたジェスチャ操作の調査  
○塚田悠斗, 白神翔太, 木下雄一郎, 郷健太郎 (山梨大)

- 4 電気回路と一体で印刷可能なアクチュエータによる動的インタフェース及びロボットの試作  
○中原健一, 鳴海絃也, 川原圭博, 浅見 徹 (東大)

- 5 Development of a Flexible Optics-based Tactile Sensor System  
○許 晉誠, エンリケズ ギエルモ, 橋本周司 (早大)

- 6 背面形状変化によるスマートフォンの安定保持  
○久穴保拓磨, 谷田佑貴, 藤波香織 (農工大)

- 7 日本語入力の効率化を図る同時打鍵方式手法  
○松原侃樹, 梶山翔一, 金子将之, 杉村 博 (神奈川工科大)

- 8 積層漆回路を用いたタッチインタフェースの検討  
○青山周平, 川畑裕也, 駒田 悠, 明神 優, Yunze Zhang,  
橋本悠希, 志築文太郎 (筑波大)

学生セッション [5ZA 会場] (3月17日(金) 15:10 ~ 17:40)

会議・学習支援 座長 服部 哲 (駒大)

- 1 意見集約システムを用いた Cyber-Physical Hybrid Discussion による大規模議論支援  
○仙石晃久, 伊藤孝行, 河瀬 諭, 大塚孝信 (名工大),  
松尾徳朗 (産業技術大), 藤田桂英 (農工大),  
白松 俊 (名工大)
- 2 対面型とソーシャルメディア型の討議同期率の比較による市民参加型熟識支援システムの分析  
○武内千晶, 阿部啓太, 林 秀彦 (北星学園大)
- 3 Meeting Support Interface Seamlessly Integrating Shared and Individual Workspaces  
○Rim HAJJAMI, Ryo Nishide, Ian Piumarta, Hideyuki Takada  
(Ritsumeikan University)
- 4 電子付箋を利用した議論のための連想支援機構の開発  
○鈴木智也, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 5 プログラミング演習講義における TA 支援システムの提案  
○横山裕紀, 江木啓訓 (電通大)
- 6 対話分析を用いたグループ編成支援システム  
○久保田巨, 江木啓訓 (電通大)
- 7 Bluetooth アドホックネットワークを利用した分散型作品画像揭示システムの開発  
○吉本幸太, 遠藤慶一, 樋上喜信, 小林真也 (愛媛大)
- 8 音声ファイルを介した言語能力測定可能性の検証  
○長田颯斗 (和歌山大), 荒牧英治 (奈良先端大), 宮部真衣 (和歌山大)

学生セッション [6ZA 会場] (3月18日(土) 9:30 ~ 12:00)

コミュニティー支援 座長 柴田 邦臣 (津田塾大)

- 1 地方創生のための共創プロジェクト促進システム「みらいラボ」の試作  
○仙石晃久, 伊藤孝行, 白松 俊 (名工大),  
堀田竜士, 三井 実 (富士ゼロックス),  
藤田桂英 (農工大), 福田直樹 (静岡大)
- 2 MissionForest: 組織内外における協働支援のためのタスク構造化システムの試作  
○後藤馨昌, 渡辺 賢, 白松 俊 (名工大)
- 3 地域イベントの活性化に寄与する評価経済の考えに基づく変動報酬型地域通貨の提案と有効性検証  
○中村拓磨, 横山 誠, 村上貴彦, 上林憲行 (東京工科大)
- 4 育児ケア成果データの見える化による男女共同参画の気づき意識の支援に向けた検討  
○西川 奏 (釧路公大), 山根麻美, 若狭節子 (釧路市役所),  
上川原ひろみ (市立釧路総合病院),  
山内寿代 (釧路孝仁会看護専門学校),  
皆月昭則 (釧路公大)
- 5 コミュニティ劇場型広告モデルの提案とデザイン  
○志賀拓哉, 中村拓磨, 谷合啓輔, 横山 誠,  
村上貴彦, 上林憲行 (東京工科大)

6 地域コミュニティに於ける、社会関係性を豊かにする為のリアルタイム対話型の広告・広報支援サービスの開発

○谷合啓輔, 志賀拓哉, 中村拓磨, 横山 誠, 村上貴彦, 上林憲行 (東京工科大)

7 キーワード連想を利用した Twitter における会話類似性の可視化

○高嶋恵子, 向 直人 (椋山女学園大)

8 Twitter 上の多様な情報を統合利用するための情報ダッシュボードの構築

○北田哲也, 高田秀志 (立命館大)

#### 学生セッション [7ZA 会場] (3月18日(土) 13:00 ~ 15:00)

推薦・コラボレーション 座長 高田 秀志 (立命館大)

1 食事メニュー推薦のためのマイクロブログを用いたユーザの食事嗜好・履歴推定手法の検討

○下室孝平 (和歌山大), 灘本明代 (甲南大), 荒牧英治 (奈良先端大), 宮部真衣 (和歌山大)

2 代替食材を考慮した料理レシピ推薦システムの提案

○平野真喜子, 植竹朋文 (専修大)

3 訪問看護における褥瘡ケア情報管理システムの開発

○高橋遼平, 長安珠旺 (近畿大), 堀 謙太 (兵庫医科大), 小笠原映子 (新潟大), 大星直樹 (近畿大)

4 商品の外観画像の判別によって実績情報の自動提示を可能とするコンサルティング支援システム

○伊藤 旭, 井口信和 (近畿大)

5 ツイートの傾向解析によるユーザー推薦アプリの提案

○川口辰弥, 塚田晃司 (和歌山大)

6 孤独で退屈な通勤電車を楽しむ共体験サービス” Theater in train” の開発

○近藤孝哉 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)

7 NTP を用いる複数 Monolith 間同期の実現

○藤田佳樹, 片桐 滋, 大崎美穂 (同志社大)

#### 学生セッション [1ZB 会場] (3月16日(木) 9:30 ~ 12:00)

アクセシビリティ・安心安全 (1) 座長 鈴木 彰真 (岩手県大)

1 電子クリニカルパスにおける記録を促進する称賛フィードバック機能のプロトタイプ作成

○福田侑弥, 杉原太郎 (岡山大), 鈴木齋王 (宮崎大), 金平 唯, 五福明夫 (岡山大), 荒木賢二 (宮崎大)

2 視線による処方監査能力の点数化の検討

○神原広明, 桑原盛人, 中道 上, 江藤精二 (福山大)

3 糖代謝異常のマタニティのための看護援助アプリケーションの開発

○西川 奏 (釧路公大), 上川原ひろみ, 山添優香, 加藤 泉, 白田志津絵 (市立釧路総合病院), 山内寿代 (釧路孝仁会看護専門学校), 皆月昭則 (釧路公大)

4 手話 CG Wiki のユーザインタフェースの評価

○山口達也, 恒川隆明, 澤野弘明 (愛知工大), 石井成郎 (愛知きわみ看護短期大), 鈴木裕利 (中部大)

5 時間の錯覚効果を利用した就寝時刻改善システム「IllusionClock」の提案と実装

○畑中 衛, 菊地慎之介, 野地遼一, 三井健史, 濱川 礼 (中京大)

6 ハンドジェスチャを活用した遠隔医療コミュニケーションに関する検討

○大串健太 (近畿大), 山本豪志朗, 黒田知宏 (京大), 大星直樹 (近畿大)

7 (講演取消)

8 肌の輝度変化による血管年齢の推定システム

○今井 慧, 岡田 優, 仲田 仁, 檜山正樹, 入江 俊, 田村 仁 (日本工大)

#### 学生セッション [2ZB 会場] (3月16日(木) 13:00 ~ 15:30)

アクセシビリティ・安心安全 (2) 座長 大星 直樹 (近畿大)

1 KINECT を用いた転倒防止システムの提案

○新沼昂幸, 村田嘉利, 鈴木彰真, 佐藤永欣 (岩手県大)

2 (講演取消)

3 高齢ドライバの公道上における運転行動特性分析の試み

○中西賢汰, 多田昌裕 (近畿大)

4 運転技能自動評価システムを用いた高齢者安全運転教育の効果検証の試み

○川口祐平, 多田昌裕 (近畿大), 蓮花一己 (帝塚山大)

5 リアルタイム安全アドバイス提供システムを用いた高齢運転者講習の試み

○小坂田光, 多田昌裕 (近畿大)

6 ユニバーサルドライビングインタフェースの提案

○阿部貴也, 村田嘉利, 佐藤永欣, 鈴木彰真 (岩手県大)

7 つぶやき表現を用いた音声案内によるドライバーの曲がり角認知支援の検討

○山脇拓哉, 北村尊義, 泉 朋子, 仲谷喜雄 (立命館大)

8 携帯端末を用いたリアルタイム自動車運転技術向上支援システムの開発

○當金将見, 角田博保, 赤池英夫, 中山泰一 (電通大)

### 第4分冊

### (コンピュータと人間社会)

#### 一般セッション [3E 会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)

プログラミング教育 座長 渡辺 博芳 (帝京大)

1 高校生を対象としたプログラミング学習時の脳波履歴の収集とその分析

○齋藤友彦 (東京都市大), 梅澤克之 (湘南工科大), 石田 崇 (高崎経済大), 中澤 真 (会津大), 平澤茂一 (早大)

2 自己学習時の閲覧履歴・編集履歴・脳波履歴を組み合わせた学習者分析 - ビジュアルプログラミング言語「Scratch」を用いて -

○中澤 真 (会津大短大), 梅澤克之 (湘南工科大), 後藤正幸 (早大)

3 高校生を対象とした C 言語学習時の閲覧履歴と脳波履歴による学習状態判定方法

○梅澤克之 (湘南工科大), 石田 崇 (高崎経済大), 齋藤友彦 (東京都市大), 中澤 真 (会津大), 平澤茂一 (早大)

4 高校生を対象とした C 言語学習時の編集履歴による学習状況の分析

○石田 崇 (高崎経済大), 梅澤克之 (湘南工科大), 齋藤友彦 (東京都市大), 中澤 真 (会津大), 平澤茂一 (早大)

5 タブレット PC を携帯しながら机間巡視する補助者のためのプログラミング演習の指導支援ツールの機能拡張

○太田翔也, 富永浩之 (香川大)

6 プログラミング学習の経験がその後の進路等に与える影響に関するアンケート調査

○高田秀志 (立命館大), 荒木貴之 (武蔵野大), 小野寺務, 瓜谷輝之 (スーパーサイエンスキッズ)

7 プログラミング入門教育の教室環境の調査

○土肥紳一 (電機大)

#### 一般セッション [4E 会場] (3月17日(金) 13:00 ~ 15:00)

学習支援 座長 大崎 理乃 (産業技術大)

1 サービスラーニングを取り入れた授業科目の評価運営方法

○大橋裕太郎, 山地秀美 (日本工大)

2 情報リテラシー教育におけるチーム学習の効果

○内田君子 (名古屋学芸大), 大矢彦彦 (名古屋外国語大), 奥田隆史 (愛知県大)

3 インテンシティの定量化による日本サッカーにおける戦術及び練習方針の改善

○對間昌宏, 野中尚輝, 竹内 啓, 鎌野智樹, 中間雅之, 小池東紗 (東大)

4 LEGO を用いた協調学習支援システムのための操作環境の開発

○野口孝文, 千田和範, 稲守 栄 (釧路高専)

5 外国語会話訓練を目的としたビデオ通話システムの開発

○松本章代, 佐伯 啓 (東北学院大)

6 スキャナで読めるマークシートを活用した小テスト通過型単位認定方式

○小川 健 (専修大)

#### 一般セッション [5E 会場] (3月17日(金) 15:10 ~ 17:40)

情報処理教育 座長 坂東 宏和 (獨協医科大)

1 高等学校情報科教員採用の危機的現状

○中野由章 (神戸科技高), 中山泰一 (電通大)

- 2 iPadによる情報処理教育の実践  
○田中雅章(ユマニテク短大), 神田あづさ(仙台白百合女子大), 中野潤三(鈴鹿大), 大森 晃(東理大)
- 3 ものづくり企業の社員向けデータベースシステム開発の教育と実施結果の検証  
○新田雅道(小松短大), 園田良孝(コマツ工業専門学院)
- 4 IPA情報処理試験を活用した教育の実践と評価  
○廣重法道(福岡大)
- 5 タッチタイピングゲーム開発ツールキットの開発  
○久保裕也(千葉商科大)
- 6 汎用TAエージェントと連携するパソコン操作手順書作成システムの検討  
○高橋 勇(北里大)
- 7 カードゲーム戦略を題材とした応用C演習における提出コードの更新状況の可視化と2015年度への適用  
○花川直己, 玄馬史也, 富永浩之(香川大)

一般セッション [6E会場] (3月18日(土) 9:30~12:00)

- ICTツールを用いた授業支援** 座長 関谷 貴之(東大)
- 1 こどもがデータを使いこなすための模擬ワークプレイスのデザイン  
○塩瀬隆之(京大総合博物館), 木村亮介, 近藤崇司(GOCCO), 松浦 真(cobon), 小竹めぐみ, 小笠原舞(こどもみらい探求社), 辻 邦浩(ナレッジキャピタル)
- 2 初等数学教育のための直感的インターフェースの開発  
○藤井研一, 古賀 歩, 山崎伸久, 中川 玄(阪工大)
- 3 学生証ICカードを活用した授業および教育指導支援  
○高尾哲康(富山国際大)
- 4 PBLによるプロジェクト管理演習のためのコミュニケーション支援ツールを用いた授業実践  
○佐々木茂, 高井久美子, 荒井正之, 小川充洋, 渡辺博芳(帝京大)
- 5 大学研究室における研究活動の多様性を考慮した計画・遂行支援システムの設計  
○大浦拓馬, 佐藤克己, 森本康彦(東京学芸大), 中村勝一, 中山祐貴(福島大), 宮寺庸造(東京学芸大)
- 6 産学連携キャリア教育の学生報告書のリーダビリティ評価と計量テキスト分析による意識向上効果の報告  
○鈴木孝幸, 八木 勲, 鷹野孝典, 宮崎 剛, 稲葉達也, 納富一宏(神奈川工科大)
- 7 SOTARO: オープンチャットとロボットの連携による演習授業支援システム - Human-in-the-loop 型機械学習によるアプローチ -  
○渥美雅保, 村田祐樹, 安川 葵(創価大)

一般セッション [1F会場] (3月16日(木) 9:30~12:00)

- LMS・授業支援システム** 座長 宮崎 誠(畿央大)
- 1 学習履歴取得システム開発に関する一考察  
○松田 健(長崎県立大), 大谷康介(binary lab), 中野美知子(早大)
- 2 閲覧履歴可視化システムによる複合文書解読と総合判断過程の研究  
○中野美知子(早大), 松田 健(長崎県立大), 大谷康介(binary lab)
- 3 ルーブリックに基づくレポート自動採点システムの構築  
○山本 恵(名古屋外国語大), 梅村信夫(名古屋学芸大), 河野浩之(南山大)
- 4 知識マップを介して知識修得を図る学習システムの研究  
○上野春毅, 加藤 巽, 塚田尚幸, 吉田史也, 立野 仁, 山川広人, 小松川浩(千歳科技大)
- 5 Classroom Response Systemにおける応答状況に基づく自律的な学習支援機能の検討  
○水谷晃三(帝京大)
- 6 連想記憶CNNを用いたITSの構築に関する研究  
○難波道弘(山梨英和大)
- 7 学習支援システムLePoのオープンソース化  
○吉崎弘一(大分大), 堀田博史(園田学園女子大)

一般セッション [2F会場] (3月16日(木) 13:00~15:30)

- 高齢社会デザイン** 座長 中澤 篤志(京大)
- 1 介護施設の申し送りにおける情報共有システム導入の効果  
○中島正人(富士通総研), 福田賢一郎, 三輪洋靖, 西村拓一(産総研)
- 2 分散型台帳技術とパーソナルデータストアによる在宅ケア情報の共有  
○加藤綾子(文教大)
- 3 生活意欲の向上を目指した障害者・高齢者の被服行動支援プロジェクト  
○松森藍子, 星野 寛(コネクトドット)
- 4 コミュニケーションロボットを用いたコミュニティ形成支援の課題と展望  
○鎌田光宣(千葉商科大)
- 5 高齢者とのデジタル絵本共同制作プロジェクトーコミュニケーション教育プログラムの構築と実践ー  
○有賀妙子, 森 公一(同志社女子大), 真下武久(成安造形大), 日下菜穂子(同志社女子大)
- 6 ユニバーサルツーリズム安心システムの改良とフィールド実験  
○工藤 彰(ノーザンシステムサービス), 狩野 徹, 阿部昭博(岩手県大)
- 7 ウェアラブル歩行解析のための床反力および足圧中心位置推定手法  
○福司謙一郎, 野崎岳夫(NEC)

一般セッション [3F会場] (3月17日(金) 9:30~12:00)

- 災害及び社会への情報システム応用** 座長 大場 みち子(はこだて未来大)
- 1 (講演取消)
- 2 津波災害時の行動特性に着目した安全避難の共創  
○上田 遼(富士通総研)
- 3 予測・最適化に基づく配水システムの運用支援フレームワーク  
○伊豆倉さやか, 西岡 到(NEC)
- 4 ユーザ数100万人の電子お薬手帳を題材とした現実的な災害シナリオでの高機能高可用性情報ストレージ基盤の可用性とデータ取得時間の実証実験  
○宮崎淳子, 齋藤邦夫, 手塚 大(日立ソリューションズ東日本), 中村隆喜(東北大), 亀井仁志(日立), 和泉 諭, 菅沼拓夫, 村岡裕明(東北大)
- 5 平成28年熊本地震での熊本県立大学における安否情報システムの活用  
○鍋田真一(静岡学園高), 湯瀬裕昭(静岡県大), 澤田道夫, 相良宗臣(熊本県大)
- 6 X-band MP レーダ雨量情報のGIS降雨量解析(平成27年関東・東北豪雨)  
○西尾雅弘(久留米工大), 森 正寿(近畿大)

一般セッション [4F会場] (3月17日(金) 13:00~15:00)

- 生体・生命と情報** 座長 吉本 潤一郎(奈良先端大)
- 1 生態的中立下における進化的放散の力学  
○鈴木崇規, 千葉 聡(東北大)
- 2 ビッグデータから見た心拍変動リスク指標の冗長性  
○湯田恵美, 吉田 豊, 小笠原宏樹, 早野順一郎(名古屋大)
- 3 PET-CT画像を用いたがん自動診断システム・特徴量の計測・表示による定量的画像診断  
○後藤田結(Realmedia Lab.), 金子つばさ(Realmedia Lab.), 中原理紀, 陣崎雅弘(慶大), 有澤 博(横浜市大)
- 4 PET-CT画像を用いたがん自動診断システム・小さな異常集積の抽出アルゴリズム  
○金子つばさ(Realmedia Lab.), 後藤田結(Realmedia Lab.), 中原理紀, 陣崎雅弘(慶大), 有澤 博(横浜市大)
- 5 ミトコンドリアゲノムのグラフ表示と生物分類への応用  
○水田智史, 齋藤 達, 小田桐健(弘前大)

一般セッション [5F会場] (3月17日(金) 15:10~17:40)

- 社会インフラとしての情報システム** 座長 居駒 幹夫(日立)
- 1 ビッグデータ時代におけるID社会の考察  
○八木晃二, 大曾根匡(専修大)
- 2 SOAに基づいた地方議会の活動を支える情報流通基盤構築の構築  
○本田正美(島根大)

- 3 電力システム改革に対応した火力発電計画作成システムの最適化計算手法の開発  
○前田達郎, 松本尚之, 須藤昌吉, 中原良樹(東芝), 上野邦明, 中山 英, 森田啓介, 丹羽雄紀(東京電力フエエル&パワー)
- 4 REST型Webサービスによる生産工程管理支援システム  
○越田高志(松江高専)
- 5 へき地における長距離移動マタニティの受療行動の安全支援システム開発の検討  
○皆月昭則(釧路公大), 山内寿代(釧路孝仁会看護専門学校)

**一般セッション [6F会場] (3月18日(土) 9:30~12:00)**

- 人文科学とコンピュータ 座長 後藤 真(国立歴史民俗博物館)**
- 1 商用デジタルカメラ画像から緑赤植生指標を得る簡便方法の提案  
○尾崎敬二(国際基督教大)
- 2 情報リテラシーとテレパシー  
○小池 誠(マイクロ特許事務所)
- 3 社会調査における郵送による質問紙とWebアプリケーションの比較  
○小久保温, 澁谷泰秀(青森大), 吉村治正(奈良大), 渡部 論(秋田県大)
- 4 テキスト解析による紋章情報の分類  
○柴田みゆき, 生田敦司, 横澤大典, 杉山正治(大谷大), 平塚 聡(四條畷学園短大)
- 5 (講演取消)
- 6 イベント指向データ管理手法を用いた系図表示-複数の系譜情報のデータ構造-  
○平塚 聡(四條畷学園短大), 杉山正治, 横澤大典, 生田敦司, 柴田みゆき(大谷大), 松浦 亨(北大病院)
- 7 超音波とZigBeeを組み合わせた屋内測位システムの開発  
○平澤泰文, 松川 節(大谷大), 何 一偉, 小南昌信(大阪電通大)

**一般セッション [7F会場] (3月18日(土) 13:00~15:00)**

- 情報社会 座長 橋本 誠志(徳島文理大)**
- 1 プロジェクト従事者の行動特性と職務経験に関する考察-属性による差異の比較-  
○三好きよみ(筑波大)
- 2 大きな問題の解決方法  
○高原利生(無所属)
- 3 倫理学研究のコベルニクスの転回の概念  
○上江洲基(名桜大学)
- 4 剽窃チェックソフトiThenticateの利用とその課題  
○尾鷲瑞穂(国立環境研究所)
- 5 非同期チーム編成における互恵編成戦略の提案と評価  
○早野真史, 菅原俊治(早大)

**学生セッション [3ZB会場] (3月17日(金) 9:30~12:00)**

- 異常検知手法 座長 児玉 公信(情報システム総研)**
- 1 赤潮への早期対策支援を目的とした漁業従事者向け赤潮情報配信システムの開発  
○牧野雄之, 中岡優人, 遠藤慶一, 黒田久泰, 樋上喜信, 小林真也(愛媛大)
- 2 赤潮発生予測の為の海水温情報伝達システムの開発  
○阿草 裕, 遠藤慶一, 黒田久泰, 樋上喜信, 小林真也(愛媛大)
- 3 沖縄県内のツイッター情報を用いた異常事態通知システムの開発  
○小林未季, 中里 取(名桜大学)
- 4 地図画像からの曲がり角密集地域検出ツール  
○奈良清仁, 森田瑛登, 村上 久, 秋吉政徳(神奈川大)
- 5 速度差を考慮した自転車とスマートフォン端末を用いた路面異常検出  
○鈴木隆二, 高橋淳二, 戸辺義人(青学大)
- 6 マイクロブログ上のサイドビジネス商法による要注意ユーザの発見手法に関する研究  
○高嶋小百合, 寺口敏生, 田中成典(関西大)
- 7 モバイル回線帯域のモニタリングによる知的環境認識を用いた被災者数推定  
○石川真次郎, 杉浦彰彦(静岡大)

**学生セッション [4ZB会場] (3月17日(金) 13:00~15:00)**

- 高齢社会デザイン (1) 座長 山田 和範(パナソニック)**
- 1 救急車内における音声合成技術を用いた被救済者情報の読み上げシステム  
○高松将也, 岩本健嗣, 松本三千人(富山県大)
- 2 認知能力訓練のための画像に基づくシーン記述を用いた出現・消失物体探レクイズの生成  
○檜作孟志, 平山高嗣(名大), 森田純哉(静岡大), 榎堀 優, 間瀬健二(名大)
- 3 音声対話により認知症を抑制する回想法システムの提案  
○平野雄大, 打矢隆弘, 内匠 逸(名工大), 西村良太(慶大), 桜井 優(神奈川大)
- 4 発話音声を用いた軽度認知症スクリーニングゲーディーブニュールネットワークを用いた判別モデルの検討  
○清水絢子, 加藤昇平, 佐久間拓人(名工大)
- 5 IP電話を用いた迷惑電話防止システムの開発  
○Calvin Janitra Halim, 吾藤秀亮, 青井佑太, 伊藤宏紀, 長尾和彦(弓削商船高専)
- 6 咽喉マイクを用いた嚥下機能検査システムの性能改善に関する検討  
○山下大貴, 綱川隆司, 西田昌史, 西村雅史(静岡大), 古川大輔, 村西幸代(君津中央病院), 森野智子(静岡県大), 黒岩眞吾(千葉大)
- 7 誤嚥予防のための耳装着型外耳道内圧計測システムの開発  
○大塚亮平, 鎌木崇史, 栗原陽介(青学大)
- 8 尿意予測システムのための水分代謝系数理モデルの提案  
○大木康頌, 栗原陽介, 鎌木崇史(青学大)

**学生セッション [5ZB会場] (3月17日(金) 15:10~17:40)**

- 高齢社会デザイン (2) 座長 赤津 裕子(沖電気)**
- 1 在宅介護者のための介助法提示支援システムの開発  
○梅本美月, 吉野 孝(和歌山大), 永坂和子, 藤原奈佳子(人間環境大)
- 2 Deep Learningを用いた訪問介護のデイ日誌の電子化  
○小森一誠, 秦 優哉, 大枝真一(木更津高専)
- 3 自らの癌治療に関する意思決定支援システムの構築に向けて  
○竹島未紗, 喜多千草(関西大)
- 4 BLEビーコンを所持する徘徊高齢者の移動追跡手法の開発  
○福本加奈恵, 白松 俊, 岩田 彰(名工大), 永井明彦(筑波大), クグレ マウリシオ(名工大)
- 5 PXs: 移動している人や移動体に装着されている動画カメラを通じてリアルタイムな世界映像体験を入院患者向けに提供するサービスの開発  
○中村整輔(東京工科大), 岡崎博樹(手仕事工房), 上林憲行(東京工科大)
- 6 避難行動支援向けエージェント型IoTシステムの検討  
○片山健太, 横山真悟, 加藤 匠, 高橋秀幸, 横田信英, 杉安和也, 木下哲男(東北大)
- 7 着座時における高齢者の姿勢の歪みの評価  
○圓井 楓, 伊藤穂南, 細野雄一郎(文教大), 菅生 誠(テレビビジネス), 武藤 剛(文教大), 武藤ゆみ子(東工大)
- 8 高齢者のタブレット使用におけるタッチ操作特徴の分析  
○小栗真弥, 浦田真由, 遠藤 守, 安田孝美(名大), 野村佳代, 高橋 謙(デンソー)

**学生セッション [6ZB会場] (3月18日(土) 9:30~12:00)**

- アクセシビリティと文章内容 座長 馬場 哲晃(首都大)**
- 1 指文字による文字入力方式の検討  
○芝野和真, 荻野 正(明星大)
- 2 彩度・コントラスト比を考慮した色弱者向け配色変換手法  
○岩瀬裕子(早大), 岩田 一(神奈川工科大), 白銀純子(東京女子大), 深澤良彰(早大)
- 3 イラスト顔を使用した印象評価における配色効果と顔の部位の影響  
○佐藤晶平, 杉浦彰彦(静岡大)

- 4 小さな善意で、ケアを受けたい、ケアをする人を繋ぐ『小さな思いやりのパトシリレー』サービスの開発  
○大津賢広 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)
- 5 状況即応的なプレゼンテーションのためのスライド管理機構の試作  
○伊藤栄俊, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 6 Ruby on Rails における自動訳文置換えの適応範囲の拡張  
○佐藤駿介, 松原俊一, Martin Duerst (青学大)
- 7 キー入力の癖の学習に基づく入力間違い推定法の検討  
○西村希楓, 寺澤卓也 (東京工科大)
- 8 探索的閲覧のための地方議会議事録の構造化手法の検討  
○成瀬雅人, 渡辺 賢, 白松 俊 (名工大), 松島格也 (京大)
- 9 (講演取消)

学生セッション [7ZB 会場] (3月18日(土) 13:00 ~ 15:00)

バイオ情報学 座長 吉本 潤一郎 (奈良先端大)

- 1 正規化ハミング距離を用いた三次元点集合マッチングの高速化とインフルエンザウイルス解析への応用  
○佐々木耀一 (北大), 渋谷哲朗 (東大), 大森亮介, 伊藤公人, 有村博紀 (北大)
- 2 ランク学習を用いた創薬における化合物合成経路予測  
○渡辺敬介, 安尾信明, 新井直樹, 関嶋政和 (東工大)
- 3 遺伝子発現情報を用いた B 型肝炎慢性肝疾患のネットワーク解析  
○西田 鉄 (北大)
- 4 Random forest を用いたドッキング構造の学習によるバーチャルスクリーニングのポスト処理  
○安尾信明, 関嶋政和 (東工大)
- 5 Mixed Reality を用いたタンパク質構造描画システムの開発  
○坂本 巨, 関嶋政和 (東工大)

学生セッション [1ZC 会場] (3月16日(木) 9:30 ~ 12:00)

プログラミング教育 (1) 座長 中西 渉 (名高)

- 1 小学生を対象としたプログラミング教育の在り方と実践  
○阿部啓太, 武内千晶, 林 秀彦 (北星学園大)
- 2 小学生の学習に適したプログラミング学習教材の提案  
○川西芳宏, 吉田博哉 (神戸情報大)
- 3 小学生向けプログラミング教材開発 - コンピュータの動きをまねるボードゲーム -  
○高橋弘樹, 猪股俊光, 杉野栄二, 新井義和, 今井信太郎, 成田匡輝 (岩手県大)
- 4 Scratch を用いた図形理解を深める授業実践  
○吉原健人, 山守一徳 (三重大), 葛原孝紀 (津市立西が丘小学校)
- 5 Scratch コスチューム画像のサイズ均一化ツールの開発  
○稲垣 諒, 山守一徳 (三重大)
- 6 生徒のプログラムから Kinect を利用するプログラミング環境の提案  
○小林史弥, 本多佑希, 島袋舞子, 兼宗 進 (大阪電通大)
- 7 身体の動きを対象とした小学生プログラミング教育用ツール  
○中村 駿, 関口晃樹, 松下浩明 (香川高専)
- 8 高大連携の LEGO プログラミング講座の 2016 年度の教育実践におけるアンケート結果の分析  
○植 勇希, 楠目 幹, 塩田智基, 富永浩之 (香川大)

学生セッション [2ZC 会場] (3月16日(木) 13:00 ~ 15:30)

プログラミング教育 (2) 座長 土肥 紳一 (電機大)

- 1 制御構造における変数の値変化と役割の理解を目的とした独自の図表現によるプログラミング学習支援の研究  
○飯田和佐, 大沢 卓, 新井聖也, 水谷晃三, 荒井正之 (帝京大)
- 2 An interactive environment to teach programming based on chain learning  
○Nikolai Shumilin, Ryo Nishide, Ian Piumarta, Hideyuki Takada (Ritsumeikan University)
- 3 入学前教育におけるプログラミング学習の検討  
○小山田圭吾, 市川 尚, 富澤浩樹, 阿部昭博 (岩手県大)
- 4 オブジェクト指向の入門的な開発スタイルを意識させる初級 Java プログラミングのグループ演習の支援システムの GUI 検討  
○辻 健人, 玄馬史也, 富永浩之 (香川大)

- 5 LEGO Mindstorms マイコンの走行体を用いた制御系の Java プログラミングのグループ演習における解答プログラムの分析  
○劉 世博, 辻 健人, 中井智己, 富永浩之 (香川大)
- 6 カードゲーム戦略を題材とした応用 C 演習における提出コードの ABC サイズによる品質評価とサーバ上での提示機能  
○玄馬史也, 富永浩之 (香川大)
- 7 対戦型ゲームによるプログラミング導入教育システム「アルゴロボ」  
○小西 誉, 野口翔平, 紫合 治 (電機大)
- 8 プログラミング演習を対象とした教師支援の検討  
○石嶋 慧, 平川 豊, 大関和夫 (芝浦工大)

学生セッション [3ZC 会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)

フィールドでの教育支援 座長 伊藤 一成 (青学大)

- 1 圃場データの教材利用に向けた人感センサ検知画像への農作業情報自動付与機能の開発と評価  
○平野 竜, 高木正則, 佐々木淳, 山田敬三 (岩手県大)
- 2 農業体験学習における振り返り支援システムの開発と評価  
○加藤弘祐, 佐々木順, 高木正則, 山田敬三 (岩手県大)
- 3 高解像度画像表示と観察範囲制御による鑑賞支援  
○古藤健太, 川嶋稔夫 (はこだて未来大)
- 4 VR 技術を用いた防災学習アプリケーションの試作  
○林 康平, 三尾敏幸, 島袋舞子, 兼宗 進 (大阪電通大)
- 5 映像投影により実空間へ視覚教示を重畳する教育支援システム  
○浅田真央, 高橋一誠, 鈴木健嗣 (筑波大)
- 6 スマートフォン依存の抑制を目的としたゲームアプリ識別手法の検討  
○竹内裕幸, 平川 豊, 大関和夫 (芝浦工大)
- 7 LeapMotion 機器を用いたライトニングトークにおけるポイント操作の支援ツールの機能拡張と試行実践  
○石井怜央, 辻 健人, 内山 豊, 玄馬史也, 富永浩之 (香川大)
- 8 教育用並列プログラミング言語における CPU 制御による見かけ上の速度向上率の増加  
○田中寛章, 水谷泰治 (阪工大)

- 9 画像位置を収集する教育支援ソフトの開発と授業実践  
○宮田健志, 山守一徳 (三重大)

学生セッション [4ZC 会場] (3月17日(金) 13:00 ~ 15:00)

プログラミング教育 (3) 座長 竹田 尚彦 (文部科学省)

- 1 ソフトウェア演習支援のためのチャットシステムへの機械学習の組み込みと授業での運用実験  
○安川 葵, 渥美雅保 (創価大)
- 2 図形表現を用いた可視化によるプログラム実行状況の解析  
○神山拓哉, 六沢一昭 (千葉工大)
- 3 プログラミング初学者教育における要支援者予測のためのログデータクラスタリング解析  
○橋本玄基, 大枝真一 (木更津高専)
- 4 初心者を対象とするプログラミング能力評価ツール作成のための評価基準の提案  
○小宅直樹, 山内大輔, 鈴木裕利 (中部大), 石井成郎 (愛知きわみ看護短期大)
- 5 オンラインプログラミング学習システムのための適応型出題モデルの提案  
○齋藤宏太郎, 豊田哲也, 大原剛三 (青学大)
- 6 置き換えモデルによる Scala の実行過程の可視化  
○竹内俊貴, 酒井三四郎 (静岡大)
- 7 アクティブラーニングにおけるテレプレゼンスロボットの効果的な導入方法の検討  
○戸塚聖来, 橋本浩二 (岩手県大)
- 8 移動ロボットによる人物識別のためのインタラクティブな教師付き機械学習とその演習授業への適用  
○村田祐樹, 渥美雅保 (創価大)

学生セッション [5ZC 会場] (3月17日(金) 15:10 ~ 17:40)

教育とゲーム 座長 長瀬 寛之 (岡山大)

- 1 携帯端末におけるゲーミフィケーションを用いた学習アプリゲーミフィケーションの開発  
○酒井 瞳, 中桐齊之 (兵庫県大)

- 2 論理回路を体験するパズルゲーム型教材の提案  
○常岡天祐, 清水健吾, 大村基将, 島袋舞子, 兼宗 進 (大阪電通大)
- 3 サイバーセキュリティ対処能力向上を目的としたシリアスゲームへの攻撃者側視点の導入  
○菅原大暉, 小島健資, 小林優太, 古市昌一 (日大)
- 4 高大連携における論理思考を訓練する情報国語のゲーム課題「図柄説明」の教育実践とアンケート分析  
○萬木大志, 辻 健人, 花川直己, 富永浩之 (香川大)
- 5 発達障がいを持つ子供の生活支援のための Web+Android システム  
○加藤秀斗, 角田 均, 小久保温, 新宅伸啓, 田中志子, 工藤雅世 (青森大), 坂田 令 (リンクステーション)
- 6 初等中等教育における ICT 機器の導入と活用の実態調査 ~ 3 大都市の比較を通じて ~  
○金丸 舞, 松永信介 (東京工科大)
- 7 視線特性分析を通じた算数困難を有する聴覚障がい児への算数学習支援の研究  
○芝間太久郎, 松永信介 (東京工科大)
- 8 ゲーミフィケーションを用いた電流回路に関する学習支援教材の開発  
○玉井翔悟, 菅沼大輔, 松永信介 (東京工科大)
- 9 ナビゲーションによるデバッグプロセス体験学習システム  
○浅井俊伍, 酒井三四郎 (静岡大)

学生セッション [6ZC 会場] (3月18日(土) 9:30 ~ 12:00)

学習支援 座長 野口 孝文 (釧路高専)

- 1 研究活動における課題遂行のための知的支援システム  
○森田尚也, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 2 人型ピクトグラムを用いたソートアルゴリズムを学ぶデジタルコンテンツの実装と評価  
○玉城亮治, 伊藤一成 (青学大)
- 3 人型ピクトグラムを用いた n 進法を学ぶデジタルコンテンツの実装と評価  
○金 仙雅, 伊藤一成 (青学大)
- 4 高大連携における論理思考を訓練する情報数学のゲーム課題「フェルミ推定」の教育実践とアンケート分析  
○清水 越, 萬木大志, 花川直己, 富永浩之 (香川大)
- 5 小学校における NIE 支援のための地図を用いたニュース閲覧システム - ニュース記事の地図配置手法 -  
○内山 豊 (香川大), 黒田晃史 (STNet), 安藤一秋 (香川大)
- 6 数学的な問題解決授業における授業設計と実施を支援するシステムの開発と評価  
○野呂孝佑, 市川 尚, 富澤浩樹, 阿部昭博 (岩手県大)
- 7 作戦盤の同時操作を可能とするミーティング支援システム  
○鈴木寿弥, 橋本浩二 (岩手県大)
- 8 実践知能アプリケーション構築プラットフォーム PRINTEPS における教師ロボット連携授業のためのクイズモジュール  
○石川 礼, 小篠裕子, 齋藤英雄 (慶大)

学生セッション [7ZC 会場] (3月18日(土) 13:00 ~ 15:00)

情報処理教育 座長 和田 勉 (長野大)

- 1 県立高校における「サイバーセキュリティ技術実践授業」の実施について  
○西郡裕子, 佐藤 直, 中島高樹, 西山賢志郎 (情報セキュリティ大), 武藤幸一 (情報科学専門学校), 山田恭弘 (神奈川県立住吉高)
- 2 Twitter におけるセキュリティ意識の経時変化 ~ 啓発すべきセキュリティ要素特定の可能性 ~  
○村雲俊彦, 清光英成 (神戸大)
- 3 物理的可視化に基づく数独システムの開発  
○佐々木夢乃 (同志社大), ニコラクラブ (パリ国立高等鉱業学校 / 同志社大), 富田遼大, 芳賀博英 (同志社大)
- 4 Leap Motion と 3D プリンタを用いた学習支援教材の開発  
○堀田一希, 宮崎圭太, 安彦智史 (仁愛大)
- 5 OpenStack を活用したサーバ学習環境構築システムの開発  
○浮田博揮, 井口信和 (近畿大)

- 6 学校機関ごとの個別情報を組み込んだ情報セキュリティの導入教育のためのクイズ形式のアドベンチャーゲームの試作  
○阿部隆幸, 中矢 誠, 太田翔也, 富永浩之 (香川大)
- 7 情報セキュリティの導入教育のための大会イベント BeeCon におけるハッキング競技 CTF の問題構築  
○楠目 幹, 阿部隆幸, 中矢 誠, 富永浩之 (香川大)

学生セッション [1ZD 会場] (3月16日(木) 9:30 ~ 12:00)

計測と可視化 座長 本田 正美 (島根大)

- 1 構造材料分野における web 技術を活用した可視化プラットフォームの構築  
○横田佳代子, 兼松篤子, 浦田真由, 遠藤 守, 安田孝美, 小山敏幸 (名大)
- 2 高速車線変更シーンにおける個人リスク知覚の分析  
○包 娜仁 (名大)
- 3 スマートフォンゲームを活用した献血推進活動に関する考察  
○高長根颯, 宮崎勇斗, 藤田凌輔, 阿部大河, 林 秀彦 (北星学園大)
- 4 (講演取消)
- 5 (講演取消)
- 6 (講演取消)
- 7 粒子法を用いた群集歩行のシミュレーション  
○吉野将史 (明星大)
- 8 要求された照度と色度を提供するフルカラー LED 照明実験室における照明制御方法の提案  
○竹中智哉, 三木光範, 上南遼平, 中原蒼太, 間 博人 (同志社大)
- 9 天井移動型センサを利用した視覚障害者の歩行データ計測とその応用  
○新田大幹, 長尾 確 (名大)

学生セッション [2ZD 会場] (3月16日(木) 13:00 ~ 15:30)

システム開発と構築 座長 柿崎 淑郎 (電機大)

- 1 デジタルアーカイブにおける聞き書き活用支援システムの構築  
○寺嶋一将, 植竹俊文, 竹野健夫 (岩手県大)
- 2 アスペルガー症候群の人のためのコミュニケーション支援ツールの開発  
○橋詰春菜, 大場みち子 (はこだて未来大)
- 3 最適な水泳競技練習スケジュールの生成と支援システムの構築  
○村上勇輝, 竹野健夫, 植竹俊文 (岩手県大)
- 4 心理状態に基づく照明光色制御システムの開発  
○小田原健雄, 貝瀬 峻, 磯部 譲, 山本弥沙季, 佐藤侑希, 三栖貴行 (神奈川工科大), 渡部智樹 (NTT), 一色正男 (神奈川工科大)
- 5 システム開発契約とセキュリティ  
○尾藤宏光 (情報セキュリティ大)
- 6 広告表示プリンタシステム「KadaPos/ カダポス」における Google 認証を用いた広告表示機構の開発  
○高田良介 (香川大学 大学院), 後藤田中 (香川大), 國枝孝之, 山田 哲 (リコー), 佐野弘実 (コヤマ・システム), 竹下裕也 (テリムクリ), 八重樫理人 (香川大)
- 7 SNS データを用いたツーリズム・DESTINATION 可視化システム  
○高橋静音, 山田敬三, 高木正則, 佐々木淳 (岩手県大)
- 8 (講演取消)
- 9 過去資料の再利用を考慮した登山計画書作成支援システムの実装  
○野原章弘, 白松 俊, 大田忠親, 新谷虎松 (名工大)

学生セッション [3ZD 会場] (3月17日(金) 9:30 ~ 12:00)

観光情報と社会 (1) 座長 本田 正美 (島根大)

- 1 観光のための情報推薦の高度化  
○岡本慎平, 高山 毅 (尾道市立大)
- 2 BLE ビーコンによる位置情報を利用した商店街情報アプリの構築  
○佐々木夏美, 岡本 東, 堀川三好 (岩手県大)
- 3 観光者に適切なレベルで情報を提供するシステム  
○新原慎太郎, 高山 毅 (尾道市立大)
- 4 地域活動情報を用いた地域広報誌作成システム  
○蔭 超傑 (中京大), 福安真奈 (名大), 水野秀哉, 畔柳昭佳 (瀬戸市役所), 中 貴俊, 山田雅之, 宮崎慎也 (中京大), 遠藤 守 (名大)

- 5 ロコミを利用した感情可視化マップシステム  
○山田明輝, 高山 毅 (尾道市立大)
- 6 ソーシャルメディア情報収集支援における深層学習の応用  
○山崎拓己, 岡本 東, 堀川三好 (岩手県大)
- 7 学習指導要領を踏まえた修学旅行支援システム  
○江島修平, 高山 毅 (尾道市立大)
- 8 観光行動分析のためのプローブパーソナリティを用いた中心性指標の評価  
○大石真生, 齊藤和巳, 渡邊貴之 (静岡県大)
- 9 オープンデータを活用した広域観光支援システムの開発  
○上田翔磨, 阿部昭博, 市川 尚, 富澤浩樹 (岩手県大)

**学生セッション [4ZD 会場] (3月17日 (金) 13:00 ~ 15:00)**

**情報システムと人間社会 座長 清水 則之 (名桜大)**

- 1 不完全な POI 名称に対する機械学習によるカテゴリ推定手法  
○金平卓也, 荒川 豊, 安本慶一 (奈良先端大)
- 2 動画教材の論理構造を捉えて要約の質を向上させる方法の提案  
○西川晃晃, 中村太戯留, 上林憲行 (東京工科大)
- 3 CGM 連携機能を持ったデジタルサイネージにおける投稿自動判別システム  
○長島悠貴, 工藤直哉 (静岡県大), 伊藤裕二 (メディア・ミックス静岡), 小坂弘史 (スカパー JSAT), 湯瀬裕昭, 渡邊貴之 (静岡県大)
- 4 Fingerprint と PDR を用いたユーザ自己補正による屋内位置推定手法の提案  
○住田明優, 小坂隆浩 (同志社大)
- 5 沖縄県内のツイートデータを用いた移動パターンの分析手法の研究  
○宮城圭介, 中里 収 (名桜大学)
- 6 ゲーミフィケーションを利用したまちあるきアプリによる地域活性化の検討  
○川口和夏, 内平隆之, 中桐齊之 (兵庫県大)
- 7 ウェアラブルデバイスを活用した健康増進型野外ミュージアム鑑賞支援システムの提案  
○千葉桂也, 阿部昭博, 市川 尚, 富澤浩樹 (岩手県大), 工藤 彰 (ノーザンシステムサービス)
- 8 SNS 写真データを用いた外国人旅行者のツーリズム・デスティネーションの可視化  
○李 爽, 山田敬三, 高木正則, 佐々木淳 (岩手県大)

**学生セッション [5ZD 会場] (3月17日 (金) 15:10 ~ 17:40)**

**行動支援システム 座長 金子 格 (東京工芸大)**

- 1 スマートデバイスを用いた保健師・妊婦のつながり支援システムの開発  
○西川 奏 (釧路公大), 上川原ひろみ (市立釧路総合病院), 山根麻美, 若狭節子 (釧路市役所), 山内寿代 (釧路孝仁会看護専門学校), 皆月昭則 (釧路公大)
- 2 ゲーム性を有する子ども見守りサービスの開発  
○河本純一, 吉田博哉 (神戸情報大)
- 3 マルチエージェントを用いた乗客の最適車内立ち位置に関する考察  
○富山侑子, 宇都宮陽一, 奥田隆史 (愛知県大)
- 4 女子大学生の日常生活における情報機器の使用実態  
○渡部なな子, 角田真二, 向後朋美, 阿部 史, 井上久美子, 泉 直子 (十文字学園女子大)
- 5 女子大学生を惹きつける LINE の魅力と危険  
○佐藤佳奈, 角田真二, 向後朋美, 阿部 史, 井上久美子, 泉 直子 (十文字学園女子大)
- 6 無線 LAN ログを活用した出席情報管理の実現  
○長瀬雄貴, 佐藤隆士 (大阪教大)
- 7 スマートフォン向けオープンキャンパス案内支援システムの開発・運用とその効果 (GSIS 学生プロジェクト)  
○加賀谷祐輝, 田高 周, 佐藤広夢, 山田裕介, 野崎裕樹, 珊瑚彩主紀, 鎌水大和, 池野直人 (東北大)
- 8 LINE 利用状況に着目した留学生のコミュニケーションの実態調査  
○平野吉範, 田島博之 (秀明大)

- 9 就活生の横の繋がりを重視したコミュニケーションに関する研究  
○唐沢直樹, 土屋 健 (諏訪東京理科大), 澤野弘明 (愛知工大), 広瀬啓雄, 山田哲暁, 三代沢正 (諏訪東京理科大), 小柳恵一 (早大)

**学生セッション [6ZD 会場] (3月18日 (土) 9:30 ~ 12:00)**

**エンタテインメント (3) 座長 築瀬 洋平 (Unity Technologies)**

- 1 育成ゲームを用いた研究室滞在の習慣化に関する一検討  
○濱田もえ, 仲西 渉, 安尾 萌, 松下光範 (関西大)
- 2 ゲーミフィケーションを用いた、研究活動の活性化を目指すシステムの提案  
○武田涼太, 棟方 渚, 小野哲雄 (北大)
- 3 市民農園利活用のためのコミュニティサイトの開発  
○松本侑真, 千葉慎二 (仙台高専)
- 4 印象で作るフォトフレーム：ユーザの感性にもとづくデジタルファブリケーションシステム  
○戸塚 敬, 白神翔太, 木下雄一郎, 郷健太郎 (山梨大)
- 5 位置情報を用いたストーリー形式のエリア回遊システムの開発  
○小笠原友香, 内平隆之, 中桐齊之 (兵庫県大)
- 6 ARpile- シャドウボックス自動生成システムの提案  
○伊藤貴洋, 志津野之也, 濱川 礼 (中京大)
- 7 VR ウォークスルー型ホラーハウスの実現と検証  
○吉川高摩, 魚井宏高 (大阪電通大)
- 8 実空間とサイバー空間の融合 透明迷路サービス：“Cyber Labyrinth”  
○竹野寛人 (東京工科大), 岡崎博樹 (手仕事工房), 上林憲行 (東京工科大)
- 9 ポートレイト画像の変換と 3D プリンターによる浮世絵版木の生成  
○野口 渉, 村岡健慈, 増田 愛, 加納 徹, 藤堂英樹, 太田高志 (東京工科大)

**学生セッション [7ZD 会場] (3月18日 (土) 13:00 ~ 15:00)**

**農業・牧畜支援システム 座長 荻野 紫穂 (武蔵大)**

- 1 スマートアグリ実現に向けた植物工場での収穫日予測モデルの開発  
○湯浅将真, 大場みち子 (はこだて未来大)
- 2 農産物の生産における暗黙的な情報プロセスからの課題抽出と解決法の設計  
○川下和馬, 山田耕嗣, 高橋 徹 (阪産大)
- 3 GPS を用いた放牧牛の行動把握支援システムの提案と開発  
○古川瀬知, 高木正則, 佐々木淳, 山田敬三 (岩手県大)
- 4 猿検知システムを用いた同時出現時の接近ターン分析  
○北爪孝明, 杉浦彰彦 (静岡大), 中井一文 (鳥羽商船高専)
- 5 フィールドピングを用いた特定外来生物啓発活動支援システムの開発  
○岡田雄太郎, 富澤浩樹, 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 6 山間部における測定誤差を考慮した最尤法による猿移動経路推定  
○森 竜馬, 杉浦彰彦 (静岡大), 中井一文, 江崎修典 (鳥羽商船高専)
- 7 ユーザの役割に応じて作業を支援する農作物警戒情報システムの開発  
○佐々木優太, 南野謙一, 後藤裕介, 渡邊慶和 (岩手県大)

**学生セッション [1ZE 会場] (3月16日 (木) 9:30 ~ 12:00)**

**災害情報 座長 吉野 孝 (和歌山大)**

- 1 リアルタイム災害支援マップの構築に関する研究  
○山本滉輔, 山本雄平, 田中成典, 藤本雄紀 (関西大)
- 2 災害時における傷病者情報共有システム  
○小原博明, 白井靖人 (静岡大)
- 3 震災情報を考慮した観光情報提供システムの開発と評価  
○萬 直之, 阿部昭博, 市川 尚, 富澤浩樹 (岩手県大)
- 4 台風災害時の行動促進情報提供システムの開発  
○岡本志歩, 高橋亨輔, 井面仁志, 白木 渡 (香川大)
- 5 災害時における在宅医療機器利用者の情報送信システム  
○山澤広和, 佐々木淳, 高木正則, 山田敬三 (岩手県大), 高橋 健 (共立医科器械)
- 6 学校教員を対象とした行動認識による体感型避難訓練システムの開発  
○細川 司, 高橋亨輔, 井面仁志, 白木 渡 (香川大)
- 7 被災地域の位置情報により優先度を変化させる災害情報配信スケジュールリング手法の提案  
○下村 樹, 塚田晃司 (和歌山大)

学生セッション [2ZE 会場] (3月16日(木) 13:00～15:30)

音声・言語 座長 田中 洋一 (仁愛女子短大)

- 1 近距離無線通信を利用した幼児向け言語学習環境の構築  
○中山洋輔, 江川莉奈, 富田遼大, 芳賀博英 (同志社大)
- 2 英語の語彙能力向上を目的としたシリアスゲーム FishyFishy の開発  
○久保田大輝 (日大),  
Naomi Nazar (Amsterdam University of applied sciences),  
大久保友博, 斉藤咲喜子, 栗飯原萌, 古市昌一 (日大)
- 3 英単語並べ替え問題におけるマウス軌跡を利用した単語レベルの迷い抽出  
○松川奈央, 宮崎佳典, 厨子光政 (静岡産大), 法月 健 (静岡産大)
- 4 電子ノート作成支援システムの利用が及ぼす学習効果の検証  
○成田陽介, 西崎博光 (山梨大)
- 5 文章の書き分けに着目した言語運用能力の評価方法の検討  
○赤木信也, 納富一宏 (神奈川工科大)
- 6 ヒューマノイド型ロボットの動作を利用した言語技術向上手法の検討  
○二井 克, 加藤翔牙, 宇都宮陽一, 奥田隆史 (愛知県大)
- 7 多読支援のための単語の分散表現を利用した語彙予測  
○谷本祐次, 安藤一秋 (香川大)

学生セッション [3ZE 会場] (3月17日(金) 9:30～12:00)

学習の可視化と動画教材の活用 座長 芳賀 瑛 (法大)

- 1 パラダイムシフトをふまえたキャリア支援に関する研究-マルチエージェントシミュレーションによる-  
○伊神聖人, 宇都宮陽一, 奥田隆史 (愛知県大)
- 2 ICTを用いた理科教材の開発  
○関谷信吾, 白木厚司, 大島哲平, 佐野麻里恵 (千葉大),  
中山弘敬 (国立天文台), 角江 崇,  
下馬場朋禄, 伊藤智義 (千葉大)
- 3 学習動画を視覚的に構造化して提供する学習教材の提案  
○齋藤広通, 鈴木 唯, 中村太戯留, 上林憲行 (東京工科大)
- 4 複数視点の動画を用いた授業省察補助アプリケーション活用の実践  
○空野耕介, 尾崎拓郎 (大阪教大)
- 5 ビデオを併用した多言語コミュニケーションによる安全な遠隔環境教育プログラム  
○王 博, 鈴木 宏 (早大),  
イクキピョウ (四川省鼎源酒業营销有限公司),  
家入祐也, 菱山玲子 (早大)
- 6 注釈, 字幕, アンケート機能などを駆使して動画教材をベースに異なる学習対象向けに二次動画教材を作成する方法とその有効性検証  
○中村郁也, 中村太戯留, 上林憲行 (東京工科大)
- 7 音声を再生時に合成する携帯端末向け講義ビデオの提案  
○斉藤 秀, 黒田晃弘, 古川文人, 佐々木茂 (帝京大)
- 8 映像講義における視聴者の行動分析ツールの開発  
○岡田浩希, 納富一宏, 鈴木孝幸 (神奈川工科大)
- 9 マインドマップを用いて動画教材と関連情報を構造化する学習支援ツールの提案  
○鈴木 唯, 中村太戯留, 上林憲行 (東京工科大)

学生セッション [4ZE 会場] (3月17日(金) 13:00～15:00)

生体情報に基づくスキル教育 座長 芳賀 瑛 (法大)

- 1 リスク認識における新人とベテランの差異  
○藤田裕司 (九工大), 中村 潤 (芝浦工大), 久代紀之 (九工大)
- 2 技能伝承におけるモダリティ変換有無の学習効果の比較  
○末吉 開, 岡 誠, 森 博彦 (東京都市大)
- 3 板書の検知を用いた教授行動振り返りシステムの提案  
○岡澤大志, 江本啓訓 (電通大)
- 4 スライド発表における癖検出機構に基づく発表練習支援システム  
○松浦辰雄, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 5 場所法を応用したAR英単語学習システムに向けた基礎検討  
○中村光貴, 福嶋政期, 苗村 健 (東大)
- 6 口腔内3Dダイナミックモデルを用いた発音学習法の提案  
○白鳥優莉 (青学大)

- 7 脳波・視線・体温を用いた外国人対象の漢字学習支援アプリの学習効果評価  
○梁 曉冬, 天野直紀 (東京工科大)

- 8 近赤外分光法を用いた脳血流量変化情報に基づく色聴感覚優位性の判別  
○小邑啓将, 鏑木崇史, 栗原陽介 (青学大)

学生セッション [5ZE 会場] (3月17日(金) 15:10～17:40)

LMS・Web 座長 黒田 嘉宏 (阪大)

- 1 行列表現を含む数式検索手法ならびに学習項目の抽出法の提案  
○進士晃太郎, 宮崎佳典 (静岡大)
- 2 探索視点の顕在化を考慮した着目Webページ間関係の動的視覚化システムの提案  
○荒川大祐, 天野 崇, 中山裕貴, 大沼 亮, 神長祐明 (福島大),  
宮寺庸造 (東京学芸大), 中村勝一 (福島大)
- 3 カリキュラム自己設計のための科目区分ダイアグラム検索システムの試作  
○宮脇克典, 池田雄斗, 福本加奈恵, 水野創太, 白松 俊 (名工大)
- 4 学生の学習意欲を促進するOJSとその問題の粒度についての考察  
○宇崎裕太, 長尾和彦 (弓削商船高専)
- 5 条件付き集計を可能としたMoodleアンケートモジュールの開発  
○山口達大, 山守一徳 (三重大)
- 6 Office OnlineのMoodleプラグイン化による協働学習支援システムの提案  
○中村朋之, 尾崎拓郎 (大阪教大)
- 7 LMSの学習履歴を用いて外発的動機づけを促進する機能の開発  
○浅井康貴, 江本啓訓 (電通大)

学生セッション [1ZF 会場] (3月16日(木) 9:30～12:00)

空間情報と日本文化 座長 山田 太造 (東大)

- 1 地理情報と連携した震災関連資料デジタルアーカイブ支援システムの開発  
○田畑大樹, 富澤浩樹, 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 2 シンプルなメタデータが付与された東日本震災アーカイブの写真資料のための時空間情報を利用したコンテンツ集約手法  
○横山雄哉, 積 佑典, 三原鉄也, 永森光晴, 杉本重雄 (筑波大)
- 3 観光活用を目的とした観光情報と地域史料の統合手法の提案  
○稲垣惇也, 奥野 拓 (ほこだて未来大)
- 4 郷土食WEBマップによる地域と時間の表現の提案  
○河村郁江, 伊藤孝行 (名工大)
- 5 まちあるきカウントシステムを利用した地域における回遊行動向上の検討  
○吉岡菜里子, 内平隆之, 中桐齊之 (兵庫県大)
- 6 日本の文化にふれるための浮世絵体験システムの開発  
○吉原美香子, 時井真紀 (筑波大)
- 7 手書き変体仮名認識システム-制約解消器のWebサービス化-  
○山藤一輝, 鈴木徹也, 相場 亮 (芝浦工大)
- 8 一点透視図法の絵画における注目領域の抽出-遠近法導入時に着目して  
○杉本はるか, 阪田真己子 (同志社大),  
松尾良磨, 山本倫也 (関西学院大)
- 9 腰部の加速度情報を用いたさんさ踊りの「上手さ」の比較・評価に関する一検討  
○鎌田裕嗣, 松田浩一, 菊地直樹 (岩手県大)

学生セッション [2ZF 会場] (3月16日(木) 13:00～15:30)

博物館情報と人文科学 座長 山田 太造 (東大)

- 1 配列解析を用いた美術館における鑑賞行動分析とその可視化  
○矢野颯斗, 松永菜摘 (静岡県大), 泰井 良 (静岡県立美術館),  
渡邊貴之 (静岡県大)
- 2 対話型鑑賞のためのコンテンツ制作支援システム  
○井浦菜摘, 時井真紀 (筑波大)
- 3 画像解析を用いた星空観測の適時情報通知システムの開発  
○鈴館 陸, 浦田真由, 遠藤 守, 安田孝美 (名大),  
毛利勝廣 (名古屋科学館)

- 4 科学系博物館におけるデジタルコンテンツを用いた解説支援のためのモバイルガイドの提案と開発  
○永井一輝, 浦田真由, 遠藤 守, 安田孝美 (名大), 毛利勝廣 (名古屋科学館)
- 5 多様な資料の統合的利用によるインタラクティブな観賞支援システム  
○村田拓真, 川嶋稔夫 (はこだて未来大)
- 6 教育現場におけるヒューマノイド型ロボットのいじめ抑制に対する効果に関する研究  
○西山幸寛, 井手広康, 奥田隆史 (愛知県大)
- 7 Kinect を使ったオノマトペ学習システムの開発  
○村上満美, 時井真紀 (筑波大)
- 8 Web リソースを用いたゲームにおける Work 実体の同定手法  
○濱田 唯, 三原鉄也, 永森光晴, 杉本重雄 (筑波大)
- 9 BLE スタンプラリーの展示観覧行動への効果に関する研究  
○岡田一晃, 廣井 慧, 河口信夫 (名大)

学生セッション [3ZF 会場] (3月17日 (金) 9:30 ~ 12:00)

エンタテインメント (1) 座長 松下 光範 (関西大)

- 1 VR 技術を用いたフライ捕球訓練システム  
○津田直彦, 井村誠孝 (関西学院大)
- 2 足底圧分布に基づくダンス技術評価手法  
○佐藤正隆, 井村誠孝 (関西学院大)
- 3 ゲームサウンドにおける身体保持感と運動主体感の分析とモデル化  
○八幡大樹, 伊藤彰教, 伊藤謙一郎 (東京工大)
- 4 ウェアラブルデバイスによる心拍・視線移動の測定を用いた歩行時における異性への好意判定手法の検討  
○関間莉央, 小池崇文 (法大)
- 5 プロジェクタ投影映像を介した可視光通信による複数台ドローンの移動制御の安定化の検討  
○山崎弘靖, 小池崇文 (法大)
- 6 深度センサを用いたバーチャル楽器演奏システム  
○村上裕美, 中島克人 (電機大)
- 7 行動・環境と音楽的要素の組み合わせによるメロディ作成支援手法の提案  
○古井智裕, 加藤勇太, 岩本健嗣, 松本三千人 (富山県大)
- 8 遠隔音楽ライブ支援システムにおける視聴者の識別  
○山下大貴, 宮崎 啓, 中井智己, 垂水浩幸 (香川大)
- 9 遠隔音楽ライブにおける視聴者の動作入力改善とその評価  
○高崎祐哉, 垂水浩幸, 宮崎 啓, 中井智己 (香川大)

学生セッション [4ZF 会場] (3月17日 (金) 13:00 ~ 15:00)

観光情報と社会 (2) 座長 原田 要之助 (情報セキュリティ大)

- 1 リピーターのための観光周遊プラン作成支援システム  
○大澤吉輝, 高山 毅 (尾道市立大)
- 2 地方の交通拠点における移動情報提供システムの開発  
○鈴木聖大, 阿部昭博, 市川 尚, 富澤浩樹 (岩手県大)
- 3 アニメ聖地巡礼の活性化を支援するシステム  
○秋吉 徹, 高山 毅 (尾道市立大)
- 4 旅の思い出を記録する観光ガイドブック生成システムの開発  
○宮川 伶, 熊野圭馬 (香川大), 國枝孝之, 池田哲也, 山田 哲 (リコー), 後藤田中, 紀伊雅敦, 八重樫理人 (香川大)
- 5 観光客の視点に立った周遊支援システムの基礎検討  
○山内友貴, 阿部昭博, 市川 尚, 富澤浩樹 (岩手県大)
- 6 宿泊施設の自己評価と口コミ評価の相関を分析するシステム  
○井上趙宏, 高山 毅 (尾道市立大)
- 7 観光日記生成 / 印刷システム (KaDiary) における画像認識技術を用いた撮影位置推定機能の開発  
○熊野圭馬, 山本和也, 宮川 伶 (香川大), 國枝孝之, 山田 哲 (リコー), 後藤田中, 紀伊雅敦, 八重樫理人 (香川大)
- 8 観光シミュレーションゲーム: スケジュール作成のゲーム化とリアリティ向上  
○高林真也, 高山 毅 (尾道市立大)

学生セッション [5ZF 会場] (3月17日 (金) 15:10 ~ 17:40)

エンタテインメント (2) 座長 垂水 浩幸 (香川大)

- 1 雑話システムにおけるユーモア生成の受容性向上に関する検討  
○岩倉亮介, 吉川大弘, フェリックス ジメネス, 古橋 武 (名大)
- 2 オープンコミュニケーションとしてのラジオトークに見られる重複発話現象の解析  
○荒畑 翼, 寺岡丈博, 榎本美香 (東京工大)
- 3 画像検索に基づく声優認識のための画像音声対収集支援システムの試作  
○鹿田理央, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 4 棋譜データの統計解析に基づく将棋の対局解説方法の提案  
○鷺津昂大, 華山宣胤 (尚美学園大)
- 5 決定木学習を利用した格闘ゲームにおける対戦相手の行動予測に基づく行動選択  
○酒井賢人, 森山甲一, 武藤敦子, 犬塚信博 (名工大)
- 6 ポケモン GO は試験成績に影響を及ぼしたか?  
○赤星俊平, 白水菜々重, 松下光範 (関西大)
- 7 ヘッドマウントディスプレイを用いた3DCGの仮想空間での一人称視点と三人称視点における作業の比較  
○西山雄弥, 小池崇文 (法大)
- 8 折り図に基づく折り紙制作支援手法の提案  
○一期崎祐貴, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 9 視線追跡による好みのキャラクタの判定  
○加藤木健太, 藤堂英樹 (東京工大), 柿本正憲 (東京工大 / UEI リサーチ)



# FIT2017 第 16 回情報科学技術フォーラム 選奨論文・一般論文 講演募集予告

大会会期：2017年9月12日(火)～14日(木)

会 場：東京大学 本郷キャンパス(東京都文京区本郷 7-3-1)

**FIT2017 Web ページ ⇒ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2017/>**

**論文受付期間(予定)：2017年4月24日(月)～5月15日(月)**

◆応募ページ数：2～8ページ程度(3ページ目以降は追加代[4,000円/頁]が必要です) ◆講演時間：20分

情報処理学会(IPSJ)並びに、電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ(ISS)、ヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2017年9月には第16回目を東京大学で開催します。本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。皆様の研究成果発表の場として、標記の通り論文発表を募集しますので奮ってご応募ください。

## ■ イベント企画(予定)

『招待講演 池内克史氏(マイクロソフトリサーチ/アジア首席研究員)』ほか多数を企画予定

## ■ 申込主要日程(予定)

登録申込/投稿受付開始：2017年4月24日(月) → 登録申込締切：2017年5月15日(月)

最終掲載原稿：2017年6月29日(木)

# FIT2017より、査読付き論文は廃止とし、選奨論文制度を取り入れました。

# 登録申込と原稿投稿は上記のFIT2017Web ページよりお願いします。詳細は決定次第 Web ページでお知らせします。

## ■ 表彰

FIT2017 から選奨方法が変わります。受賞のチャンスが広がりました。ぜひチャレンジしてください。

FIT には以下の表彰制度があります。

船井ベストペーパー賞	選奨論文の中から FIT 学術選定委員会で審査の上、3件選定 賞金は船井情報科学振興財団より 20万円贈呈
FIT 論文賞	選奨論文の中から FIT 学術選定委員会で審査の上、数件選定 賞金は FIT 運営委員会より 5万円贈呈
FIT ヤングリサーチャー賞	2017年12月31日現在で 33歳未満の講演者の中から、発表者の 1.5%を上限として選定
FIT 奨励賞	一般発表のセッションごとに座長の裁量で優秀な発表を 1件その場で選定(該当なしもあり) FIT 終了後に賞状を贈呈

## ● 選奨論文(4～8ページ程度)

研究会取り扱い分野をよくご確認の上、ご自身の論文内容と一致した研究会を、申込者自身の責任において適切に選択してください。

選奨論文(船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞への審査を希望する論文)として応募する場合は、Web からの講演申込みの際に、「船井ベストペーパー賞/FIT 論文賞への審査希望」欄にチェックを入れてください。FIT 初日の、船井ベストペーパー賞セッションに組み込まれ、FIT 学術選定委員会担当委員による 1次審査を行います。1次審査の結果は当日の夕方までに大会会場に掲示されます。

2次審査は FIT 終了後実施され、上位 3名が船井ベストペーパー賞、次点数名が FIT 論文賞の受賞者となります。

※ 4ページ以上の投稿が必須ですが、3ページ目からは追加ページ代(4,000円/ページ)が発生します。たとえば 6ページ投稿の場合、4ページ分の追加ページ代が発生しますので、講演参加費のほかに「4,000円×4=16,000円」の追加費用が必要となります。

## ● 一般論文(2～8ページ程度)

研究会取り扱い分野をよくご確認の上、ご自身の論文内容と一致した研究会を、申込者自身の責任において適切に選択してください。

※ 3ページ以上の投稿も可能ですが、3ページ目からは追加ページ代(4,000円/ページ)が発生します。たとえば 4ページ投稿の場合、2ページ分の追加ページ代が発生しますので、講演参加費のほかに「4,000円×2=8,000円」の追加費用が必要となります。

## ● 論文誌推薦制度について

論文誌推薦制度については、現在、詳細を検討中です。決定次第、FIT2017Web ページに掲載いたします。

### ■ 問合せ (FIT2017 幹事学会) ■

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 一般社団法人情報処理学会 事業部門  
電話 (03) 3518-8373 FAX (03) 3518-8375 E-mail: jigyo@ipsj.or.jp



## 最適な答えで、お客さまの経営課題を解決する。

より豊かな社会を実現する通信ネットワークを支えるために磨き上げた、技術力、解決力、運用力、サポート力、そしてサービス品質。その力を、お客さまのビジネスへ。単なるICTパートナーではなく、お客さまのビジネスパートナーであるために。私たちは、宣言します。お客さまの経営課題にまで向き合い、事業戦略を検討し、その解決と運用にまで取り組む。数々のシステム更改の実績をベースに、先進の技術・オペレーションのノウハウを結集し、世界中の最新技術を組み合わせて、お客さまのグローバルな事業展開にも最適な答えを導き出す。私たちは、キャリアグレードを実現するシステムインテグレーターのNTTコムウェアです。



スマートフォン、タブレット端末にARアプリ『PictuAR(ピクチュアル)』をインストールし、本広告のキューブ全体のビジュアルを撮影すると画像が動き出します。(アプリから撮影してください)

『PictuAR(ピクチュアル)』のアプリは、下記のQRコードから取得できます。



Android  
端末向け



iOS  
端末向け

取引先企業様の導入事例を豊富にご紹介! <http://www.nttcom.co.jp/> **コムウェア 事例** **検索**

設計品質はそのまま超小型産業用パソコンを作りました。  
Windows 10 IoT が快適に動作します。  
SuperCD



*Menu*

製品名: SuperCD  
製品型式: VAC-G019S710  
OS: Windows Embedded Standard 7  
価格: ¥79,800- (100台購入時価格)

製品型式: VAC-G019L7N  
OS: Interface Linux System 7  
価格: ¥69,800- (100台購入時価格)

CPU: Intel Atom E3845 1.91GHz  
メモリ: 2GB  
補助デバイス: SSD 32GB  
補助デバイス: CFast ストレージ (選別)  
デジタル出力: 入力4点 / 出力4点  
N: 2ポート (1Gbps)  
ポート (20)



詳細はこちら

製品の仕様、デザイン、価格については、予告なく変更する場合があります。  
本広告に記載した会社名、商品名は、各会社の商標または登録商標です。

URL: [www.interface.co.jp](http://www.interface.co.jp)



世界屈指のエンジニアリング会社。  
グローバルでの  
競争力向上を実現。

世界有数のオフィス機器メーカー。  
グローバルビジョンの具現化を  
ITで実現。

大手金融企業の経営改革  
プロジェクトに参加。投資判断の  
精度を高め、さらなる成長を実現。

巨大総合商社の  
業務効率化を推進し、  
新規ビジネスへの挑戦を支援。

その成功にも、アビームの力。

明日のしゅみをデザインするITソリューションカンパニー **アビームシステムズ株式会社**

〒467-0851 愛知県名古屋市瑞穂区塩入町18-1 T&I昭和第2ビル TEL:052-824-2030 MAIL:jpbssaiyo@abeam.com HP:www.abeam-s.com



## Google Japan University Programs

Google University Relations チームは、アカデミックコミュニティと強い互恵関係を築き、継続的に活動することを目指しています。

### Google 教員研究アワード プログラム

世界的な研究をサポートするために、  
常勤教員へ(無条件ギフトとして)資金  
を贈呈

[もっと詳しく](#)

[http://research.google.com/university/relations/research\\_awards.html](http://research.google.com/university/relations/research_awards.html)

### Google 博士課程 フェローシッププログラム

特に優秀な博士課程の学生に、(無条  
件ギフトとして)10,000米ドルを贈呈

[もっと詳しく](#)

[http://www.google.com/intl/en\\_cn/university/research/phdfellowship.html](http://www.google.com/intl/en_cn/university/research/phdfellowship.html)

### カンファレンス スポンサーシッププログラム

最高 3,000 米ドルまでの財政支援と、  
Google が参加しているカンファレンス  
への出席

[オンライン申し込みはこちら](#)

<https://services.google.com/fb/forms/conference/>

### Google 学生トラベル 支援金

学生が国際会議へ参加するための航空  
券代金および宿泊費用として、最大  
3,000 米ドルを援助

[もっと詳しく](#)

[http://www.google.com/intl/en\\_cn/university/research/travelgrants.html](http://www.google.com/intl/en_cn/university/research/travelgrants.html)



Google

# DENSO

株式会社デンソーITソリューションズ  
DENSO IT SOLUTIONS, INC.

〔主な事業〕

事務業務システムの開発・保守  
技術業務システムの開発・保守  
インフラ構築・保守・運用



“世界トップのITソリューション”に  
チャレンジ!!

本社・名古屋事業所: 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1-27-2  
(日本生命笹島ビル11階)  
刈谷事業所: 〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1  
(株デンソー本社構内)  
Tel: 0566-25-5600 Fax: 0566-25-4558  
<http://www.dnitsol.com/>

## 研究者のための「プロフェッサー・エージェンシー」

共同研究  
コーディネート

知的財産の  
商品化支援

産学連携  
プロモーション  
支援

転職・キャリア  
支援サービス

社会人博士号  
取得支援

起業支援

プロフェッサーエージェンシー

検索

ウェブのエントリーフォームから、いつでも無料でご登録できます。

<http://www.criprof.com>

ご登録やサポートに関するご相談もすべて無料です。いつでもお気軽にお問合せください。

メール / [prof@hq.cri.co.jp](mailto:prof@hq.cri.co.jp) フリーコール / 0800-919-0018

受付時間 9:30～18:00(土・日・祝日除く)



CREEK & RIVER Co., Ltd.

C&R グループ拠点: 東京・大阪ほか全国14拠点、ソウル、北京、上海、カリフォルニア

株式会社 クリーク・アンド・リバー社

事業開発グループ プロフェッサー事業部

〒102-0083 東京都千代田区麹町2丁目10番9号 C&R グループビル



1085070405



# 機械学習エンジニア募集中!

クックパッドでは、一緒に働くメンバーを募集しています。  
データと技術を駆使してユーザに価値あるサービスを提供し、  
一緒に毎日の料理を楽しみにしていきましょう。



<https://recruit.cookpad.com/>

クックパッド 採用 🔍



クックパッド株式会社

〒150-6012 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー12F

## 「情報処理」 「情報処理 特集別刷」 amazonでご購入いただけます!

情報処理学会では、会誌「情報処理」「特集別刷」をオンライン通販サイト amazon でも販売しています。ぜひご利用ください。



### 「情報処理」 特集別刷 ▶

会誌「情報処理」の特集記事のみを抜き出した別刷(冊子)です。興味のある分野について手軽に読むことができます。※取扱いは56巻10号分までになります。

◆ 価格 720円(税込)

### ◀ 「情報処理」(毎月15日発行)

各分野のトップレベルの方々が、最新技術を分かりやすく解説しています。著名人による巻頭コラム、特集、解説、報告、連載、コラムなど。

◆ 価格 1,730円(税込)(55巻5号より)

※ 55巻4号までは価格 1,728円(税込)になります。



一般社団法人  
**情報処理学会**  
Information Processing Society of Japan

会誌編集部 E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp)  
Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

ご注文は ⇒ <http://www.amazon.co.jp/>

# 企業とユーザーを One to Oneで 結ぶ

最適なタイミングで最適な情報を届ける  
広告配信技術の実現を

CyberAgent

# AI Lab

adtech studio にある人工知能技術の  
研究開発を行う専門的な組織。  
研究テーマは大きく4分野を研究。

## チャットボット

対話接客プラットフォーム「AI Messenger」上の対話システムを研究開発します。  
有人対応による接客の対話データを大量に蓄積しており、それを元により賢い接客ボットを産み出していきます。自然言語処理や深層学習による研究も進んでいます。

## 画像情報処理

主に画像や動画を用いた研究開発を行っています。画像内にあるオブジェクトのアンノテーションを行ったり、画像を基にしたレコメンデーションの開発、さらには広告のパナー画像の自動生成のような弊社の強みを活かした研究開発も進めています。

## ブランディング

WEB広告が商品ブランドの向上・店舗への来店にどれだけ寄与するかを科学しています。1回の広告接触の価値を明らかにしていくために、位置情報や広告配信ログ、アンケートデータを機械学習・因果推論などのアプローチで解いていきます。

## RTB/オークション

より効率的な広告取引の設計をメカニズムデザインで行い、近似したアルゴリズムを導入します。また、その他にも広告クリック確率及び売上発生確率の予測という機械学習タスクや、広告導入のユーザー経験への影響の推定といった計量経済学の問題を扱っています。

# R

Recruit

## 採用情報

募集職種

### Data Scientist

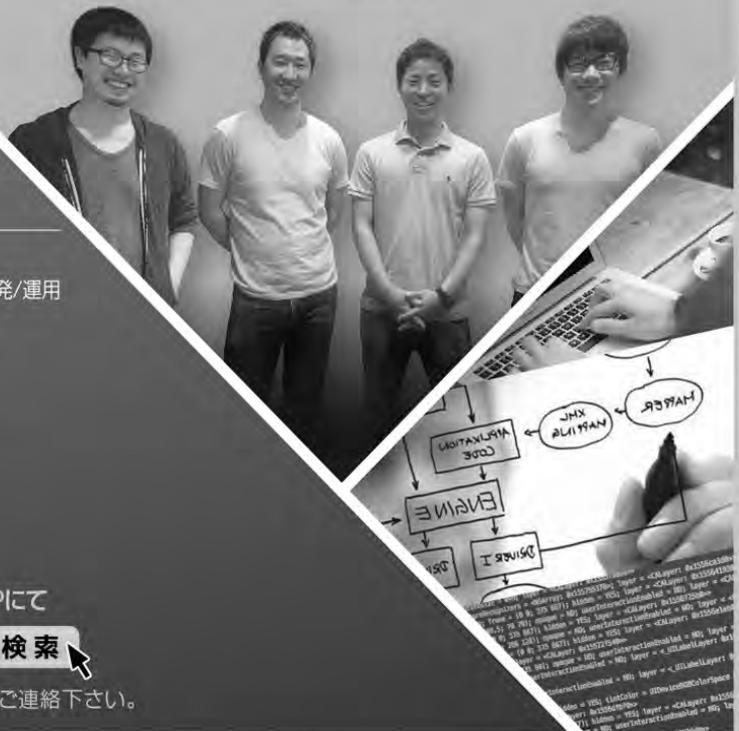
- ・アドテクプロダクトへの機械学習モデルの導入、運用
- ・既存機械学習モデルの改善
- ・データ分析を軸としたコンサルティング業務

### Data Platform Engineer

- ・リアルタイムデータ処理基盤の設計/開発/運用
- ・クラウド/オンプレミス環境を横断するデータパイプラインの設計/開発/運用
- ・データウェアハウスの設計/開発/運用

### Researcher

- ・最先端の研究の調査、レポート
- ・大学や研究機関との産学連携・共同研究
- ・国内/国外の会議・ジャーナルへの論文投稿
- ・研究結果を第三者が利用できるツールの開発
- ・新しい研究テーマの開拓、テーマに応じたデータの獲得



積極採用中!

▼ 詳細・お問い合わせはHPIにて

アドテクスタジオ 採用

検索

選考関係なく、まずは話を聞いてみたい、という方もお気軽にご連絡下さい。

CyberAgent

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号  
TEL:03-5459-0202(代表) FAX:03-5459-0222  
Email:adtech\_saiyo@cyberagent.co.jp

adtech studio

https://adtech.cyberagent.io/

QRコード▶



# 記入してレコチョコブースに来れば 素敵なノベルティをプレゼント!!

※ノベルティは数に限りがございます。

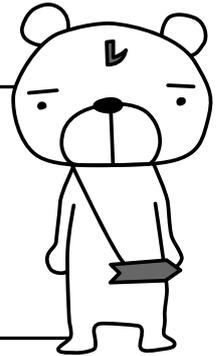
♪ Q.あなたが考える音楽×は? ♪

音楽

×

ここに書いて下さい ▲

その理由をお書き下さい



職業：学生・会社員・その他（        ） 年齢：                      性別：男・女

ご記入に際しましては、以下をご確認の上、ご同意いただきましてからアンケートにご記入ください。

・個人情報の取り扱いについては、株式会社レコチョコ（以下「弊社」といいます）のプライバシーポリシーに従い、責任をもって収集、利用、保護にあっております。

※プライバシーポリシーはこちら（<http://recochoku.jp/corporate/policy.html>）

・ご記入いただいたアンケートの回答に関する著作権は、すべて弊社に帰属するものとし、また弊社は、その回答いただいた内容を自由に選択し、ご記入者様の事前の承諾なく必要に応じて修正および編集することができるものとします。なお、ご記入者様は、当該著作権にかかる著作者人格権を弊社に対して行使しないものとします。

・弊社、または弊社が指定した者は、回答いただいた内容を利用し、ご記入者様の承諾なしに開示することができるものとします。

# 第4回 学生クラウドプログラミングワールドカップ THE 4TH Cloud Programming World Cup

10th FORUM8主催イベント  
FORUM8 DESIGN FESTIVAL  
2016-3DAYS+ EVE 2016.11.16(水)-18(金)

## ■受賞作品

表彰式：2016年11月17日(木)

**World Cup Award**  
「Fire Plugin」  
- Simulation of Influences of Director Action in Fire Accident  
上海大学 fireman



まず、C#とMicrosoft Kinect SDKを使って、プラグインで必要となるアニメーションを認識するアプリケーションを開発しました。次に、Delphi XE2を使って、C#アニメーション認識アプリを統合するUC-win/Roadのプラグインを開発しました。このプラグインは、火災事故において、Kinectで集めた先導者の動きに従う人々の反応をシミュレートします。先導者の動きをシミュレートするだけでなく、実際には変化する数値などを提供するの、避難訓練や研究に使用できます。

### 審査員特別賞

#### Environmental Design and IT Award

福田 知弘 氏 (審査委員長、大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー 工学専攻 准教授)



「Leap Motion Controller」  
上海大学 Unknown Legion

#### Best Interface Award

植原 太郎 氏 (ニュージャージー工科大学 建築デザイン学部 准教授)



「Sketch it!」  
上海交通大学 Super3D

#### Best Environmental Simulation Award

羽倉 弘之 氏 (デジタルハリウッド大学大学院 特任教授)



「The Early Warning Plugin of Ponding」  
同済大学 HateRainyDays

#### Best Practice Award

ベンクレアシュ・ヨアン 氏 (フォーラムエイトVR開発 テクニカル・マネージャ)



「Development of graphical programming interface」  
上海交通大学 Hua cheng

### ノミネート賞

「Driving Simulation with Real Vehicle Interface」  
武漢理工大学 Intelligent Transportation Research Center



「JumpFly!!!」

上海海事大学 YOU



「A Rear」- end Collision Alarming System  
長安大学 Human@



第6回 学生BIM&VRデザインコンテスト オンライン  
Virtual Design World Cup  
THE 6TH STUDENT BIM & VR DESIGN CONTEST  
ON CLOUD SIMULATED

Theme2016  
「メルボルン  
セントラルシティの拡張」  
表彰式：2016年11月17日(木)

**World Cup Award**  
「Green Wave」  
国立高雄大学 Dreams



第15回3D・VRシミュレーションコンテスト オン・クラウド  
3DVR Simulation Contest on Cloud  
表彰式：2016年11月16日(水)

**GRAND PRIX**  
「境港市水木しげるロード」  
境港市



10th FORUM8 DESIGN FESTIVAL  
2017-3DAYS+ EVE  
All about FORUM8 & Products

2017.11.15 Wed-17 Fri SHINAGAWA InterCity Hall  
EVE.11.14- 品川インターシティホール

3次元リアルタイム・バーチャルリアリティ

**UC-win/Road Ver.12**

Ultimate: ¥1,800,000 / Driving Sim: ¥1,280,000  
Advanced: ¥970,000 / Standard: ¥630,000

2017.1リリース予定

Ver.12新機能

- 64bit対応
- UAVプラグイン・オプション Ver.2
- 電子国土地図サービスプラグイン拡張
- HUD(バーチャルディスプレイ)表示
- 環境アセスプラグイン・オプション
- シミュレーションリアルタイム連携 etc.

TV VRをテーマとしたキッズ向けエデュテインメント番組  
バックン&河北麻友子のあつまれ!VRフレンズ

放送局: TOKYO MX1

毎週金曜19:00-19:30

提供: (株)フォーラムエイト  
アプリ「Emuキャス」PCスマホで無料で視聴!  
(一部地域除く)

放送予定

第11回 3月17日(金) 19:00~19:30

第12回 3月24日(金) 19:00~19:30

★2017年卒、第二新卒 / インターンシップ募集中

※表示価格はすべて税別です。※製品名、社名は一般に各社の商標または登録商標です。

株式会社 フォーラムエイト 東京本社

東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 21F

ショールーム: 東京・名古屋 / セミナールーム: 東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・札幌・金沢・宮崎・神戸研究室・上海・青島 / ハノイ・台北・ロンドン

Tel (代表) 03-6894-1888 (営業窓口) 0120-1888-58

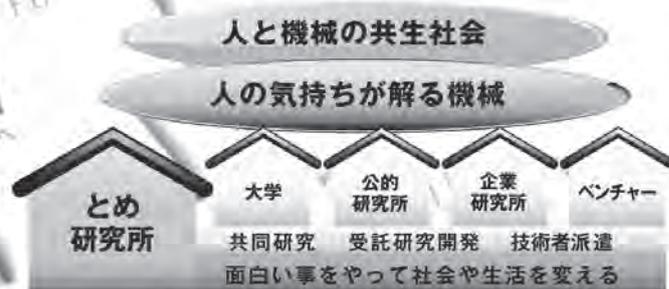
Fax 03-6894-3888 | E-mail f8tokyo@forum8.co.jp

FORUM8  
フォーラムエイト

www.forum8.co.jp

# とめ 株式会社とめ研究所

知能情報処理技術をコアコンピタンスとした  
ソフトウェア研究開発受託会社



知能情報処理技術をコアコンピタンスとし、大学・公的研究機関・企業研究所・ベンチャー等と国家PJ応募・共同研究・受託研究開発・技術者派遣で協創し、来るべき“人と機械の共生社会”の構築に貢献します。

ホストク相当の技術者が共同研究者のように研究開発の加速推進に貢献します



技術者の4割が博士号取得者、7割が博士課程出身です。

難解な技術課題を解決するアルゴリズムの研究開発や社会を変えるシステムの開発を目指す志の高いエンジニア達です。

情報関連だけではなく、数学、物理学の研究室出身者なども多く、多様な課題をお客様とともに解決します。

研究開発、システム開発、組込み制御開発までお任せください

画像処理、信号処理、数値解析、検査・計測・ロボット、データマイニング、自然言語処理、ヒューマンインタフェース、機械学習・ディープラーニング、組込み制御 他



人と機械の共生でもっと生活を楽しく

**とめ 株式会社とめ研究所**

URL: <http://www.tome.jp> E-mail: [info@tome.jp](mailto:info@tome.jp)

- |                                |                                    |                  |                  |
|--------------------------------|------------------------------------|------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> 本社ラボ  | 京都市下京区中堂寺南町134 京都高度技術研究所内7F        | TEL 075-315-0074 | FAX 075-315-0274 |
| <input type="checkbox"/> 京阪奈ラボ | 京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザラボ棟13F      | TEL 0774-94-4187 | FAX 0774-94-4337 |
| <input type="checkbox"/> 名古屋ラボ | 名古屋市中区金山5-11-6 名古屋ソフトウェアセンター3F     | TEL 052-883-8790 | FAX 052-883-8791 |
| <input type="checkbox"/> 横浜ラボ  | 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークウエストタワー11F | TEL 045-465-4236 | FAX 045-465-4237 |
| <input type="checkbox"/> 東京ラボ  | 川崎市高津区坂戸3-2-1 かながわサイエンスパーク西棟3F     | TEL 044-833-7155 | FAX 044-281-0600 |

# 第79回全国大会委員名簿

## 第79回全国大会 組織委員会

委員長 東野 輝夫(阪大) 副委員長 大場 みち子(はこだて未来大)  
委員 小林 稔(明大), 長谷川 輝之(KDDI総合研究所), 間瀬 健二(名大)

## 第79回全国大会 プログラム委員会

委員長 間瀬 健二(名大) 副委員長 枝廣 正人(名大)  
委員 有田 隆也(名大), 石川 佳治(名大), 伊藤 一成(青山学院大), 大場 みち子(はこだて未来大), 加藤 由花(東京女子大),  
河口 信夫(名大), 佐藤 理史(名大), 重安 哲也(県立広島大), 柴田 邦臣(津田塾大), 菅谷 みどり(芝浦工大),  
高田 広章(名大), 高橋 ひとみ(日本IBM), 長野 徹(日本IBM), 長谷川 輝之(KDDI総合研究所), 原 英樹(千葉工大),  
平山 高嗣(名大), 広淵 崇宏(産総研), 峯松 信明(東大)

## 第79回全国大会 実行委員会

名誉実行委員長 安田 孝美(名大) 委員長 河口 信夫(名大) 副委員長 長尾 確(名大)  
幹事 松原 茂樹(名大)  
委員 石黒 祥生(名大), 榎堀 優(名大), 大野 誠寛(名大), 大平 茂輝(名大), 小川 泰弘(名大), 小田 昌宏(名大),  
加藤 芳秀(名大), 櫻田 健(名大), 塩谷 亮太(名大), 嶋田 創(名大), ジメネス フェリックス(名大), 高橋 桂太(名大),  
出口 大輔(名大), 西田 直樹(名大), 本田 晋也(名大), 平山 高嗣(名大), 廣井 慧(名大), 松崎 拓也(名大),  
宮島 千代美(名大), 森崎 修司(名大), 山口 由紀子(名大), 吉川 大弘(名大)

## 第79回全国大会 プログラム編成WG

委員長 間瀬 健二(名大)  
委員 五十嵐 悠紀(明大), 石渡 要介(三菱電機), 大崎 理乃(産技大), 沖野 浩二(富山大), 加藤 晴久(KDDI総合研究所),  
金子 聡(日本IBM), 神山 剛(NTTドコモ), 亀岡 弘和(NTT), 河村 彰星(東大), 蔵川 圭(NII), 五島 正裕(NII),  
小松 裕成(富士通), 榊 剛史(ホットリンク), 重安 哲也(県立広島大), 志築 文太郎(筑波大), 柴田 邦臣(津田塾大),  
庄野 逸(電通大), 関嶋 政和(東工大), 高村 大也(東工大), 竹島 由里子(東京工科大), 立石 孝彰(日本IBM),  
中村 素典(NII), 西出 隆志(筑波大), 西村 康孝(KDDI), 野嶋 琢也(電通大), 野々山 秀文(セコム), 芳賀 瑛(法政大),  
橋本 誠志(徳島文理大), 長谷川 勇(スクウェア・エニックス), 馬場 哲晃(首都大), 原田 要之助(情報セキュリティ大),  
阪野 貴彦(産総研), 広淵 崇宏(産総研), 藤本 章宏(和歌山大), 本田 正美(島根大), 三島 健(NTT), 水野 慎士(愛工大),  
南出 靖彦(東工大), 峯松 信明(東大), 山口 実靖(工学院大), 山口 高康(NTTドコモ), 山田 和範(パナソニック),  
山田 太造(東大), 横川 三津夫(神戸大), 横山 大作(東大), 渡辺 晴美(東海大), 渡辺 博芳(帝京大)

## 第79回全国大会 イベント企画協力

CITP続々誕生 一国際的に通用する高度情報処理技術者資格—  
J17 - J07から10年, 何を変え何を定めるか  
IPSJ-ONE  
Life Hacks for WorkPlace  
2016年サイバー事件回顧録 ~技術と法制度の両面から~  
5th IPSJ Samurai Programming Contest Samurai Coding 2016-17 World Final  
会誌「情報処理」公開編集委員会  
コンピュータは, どんな作品を生み出していくのだろうか —人工知能と創造性  
~コンピュータパイオニアが語る~「私の詩と真実」  
サイバーセキュリティを確立するための戦略は? —サイバー攻撃の最前線からのレポート—  
社会システム・サービス最適化のためのソーシャルCPSの研究開発  
情報システムのデザインコンペ  
情報通信技術が先導するオープンイノベーション  
「情報力」で街を変える ~ビッグデータ活用技術開発とその社会実装~  
将来の情報学リーダーが創造する新しい価値  
人工知能とディープラーニング: 研究開発を牽引する国プロと科学技術政策  
デジタルコンテンツクリエイション最前線  
日本の実情にマッチしたアジャイル開発に向けて ~デジタルプラクティスライブ~  
メタサイエンスとしての情報学をつくる  
文部科学省 大学入学者選抜改革推進委託事業  
「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」  
論文必勝法~書こう!通そう!論文誌!~

資格制度運営委員会  
寛 捷彦(情報処理学会J17 WG 主査)  
IPSJ-ONE企画・実施委員会  
info-WorkPlace委員会  
電子化知的財産・社会基盤(EIP)研究会  
プログラミングコンテスト委員会  
会誌編集委員会  
佐藤 理史(名古屋大学)  
歴史特別委員会  
コンピュータセキュリティ(CSEC)研究会  
安達 淳(国立情報学研究所)  
情報システムと社会環境研究会  
高田 広章(名古屋大学)  
中澤 仁(慶應義塾大学)  
平山 高嗣(名古屋大学)  
間瀬 健二(名古屋大学)  
デジタルコンテンツクリエイション研究会(DCC)  
デジタルプラクティス編集委員会  
有田 隆也(名古屋大学)  
角田 博保(情報処理学会 情報入試委員会 委員長)  
論文誌ジャーナル/JIP編集委員会

今大会では, 名古屋大学様より会場のご提供をいただき誠にありがとうございました。  
ここに厚くお礼申し上げます。

一般社団法人 情報処理学会

技術基礎から作業の実際、法への対応など包括的に学ぶ

# デジタル・フォレンジックの基礎と実践

- 佐々木良一 編著  
上原哲太郎, 野崎周作, 白濱直哉, 八槇博史, 山本清子, 櫻庭信之 著  
A5判・288頁 3200円+税
- ◆デジタル・フォレンジックに携わる情報処理技術者や警察・検察、金融関係者、弁護士向けにまとめられた実践に役立つ教科書である。執筆陣はデジタル・フォレンジック研究会が中心となり、デジタル・フォレンジックとは何か、どのような技術があるのか、といった基礎的事項から、実際に用いる簡単なツールの使い方や OS やファイルシステムの解説、さらには法律や法定対話といった実践的・応用的事項までを記載し、包括的に学べるようにまとめた。

群知能をデータマイニングに活かす



# 群知能とデータマイニング

- Ajith Abraham, Crina Grosan, Vitorino Ramos 編/  
栗原聡・福井健一 訳  
A5判・320頁 3780円+税
- ◆昆虫や鳥は、単独では秩序だった行動をとることはないが、群れになると秩序だった集団行動をとる。群れとなることで知的な行動をとる様子を群知能と呼ぶ。本書は、群知能を計算機上で再現し、その性質をデータマイニング技術に利用する研究について解説する。

シミュレーションの方法と結果も掲載

# はじめてのFPGA設計

VHDLによる回路記述からシミュレーションまで

- 坂巻佳壽美 著  
B5判・248頁 3600円+税
- ◆FPGA デバイスを用いた VHDL によるデジタル回路設計を初学者向けに解説。回路設計、VHDL 記述の解説だけでなく、シミュレーション結果画面も掲載し、一通りの手順をわかりやすく解説。具体的な設計事例を基にプログラミング言語や回路設計手順を説明することで、効率良く学ぶことができる。

エージェントと人工知能の先端領域

# 数理議論学

- 若木利子, 新田克己 著  
A5判・208頁 3600円+税
- ◆人工知能の研究分野において新しい技術である数理議論についてはじめて日本語で解説。本書の技術は、これまで人工知能研究において苦手であった意志決定や、法律の知識を利用した裁判の支援、マルチエージェントシステムによる推論や交渉にも応用分野が広がっている。人工知能 (AI) 研究者必読の書。

実践に役立つ MATLAB のプログラムも掲載

# カルマンフィルタの基礎



- 足立修一, 丸田一郎 著  
A5判・240頁 2900円+税
- ◆カルマンによって提案されたカルマンフィルタは、50年以上経った現在でも、理論と応用の両面で活発に研究開発されている。本書はカルマンフィルタの理論をわかりやすく解説した教科書。学習の理解を深める多くの演習問題を掲載。

ユーザーがどこで最も混乱し、非効率を感じ、不満を抱くのか？

# 情報デザインシリーズ ユーザーエクスペリエンスの測定

UXメトリクスの理論と実践

- トム・タリス, ビル・アルバート 著/篠原稔和 監訳  
B5変形・344頁 4500円+税
- ◆サービスやシステムを使用するにあたって得られる、行動パターンや行動頻度 (ユーザーの経験: UX) を測定することによって、ユーザーの満足度を把握することが可能となった。これにより、ユーザーがどこで非効率化を感じ、どこに不満を抱くのかという部分を把握し分析することができる。UX の測定方法やデータの分析方法について、理論と豊富な事例に基づき詳しく解説。



# 学生のための情報リテラシー

Office 2016/Windows 10版

- 若山芳三郎 著  
B5判・196頁 2200円+税

横幹〈知の統合〉シリーズ

# 価値創世をになう人材の育成

- 横幹〈知の統合〉シリーズ編集委員会 編  
A5判・128頁 1800円+税

# フレッシュマン 大学新入生のための学び方ワークブック

# 第2版 セミナーテキスト

- 初年次教育テキスト編集委員会 編  
B5判・144頁 2000円+税

# ソーシャルメディアと〈世論〉形成

- 遠藤薫 著  
A5判・344頁 3600円+税

# プログラミング原論

# プログラミング言語 Java 第4版

- アレクサンダー・ステパノフ,  
ポール・マクジョーンズ/柴田芳樹訳  
B5変形・288頁 2800円+税

- ケン・アーノルド, ジェームズ・ゴスリン,  
デビッド・ホームズ著/柴田芳樹訳  
B5変形・804頁 3900円+税



東京電機大学出版局

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-14-8 <http://www.tdupress.jp>  
TEL03-5280-3433(営業) FAX03-5280-3563